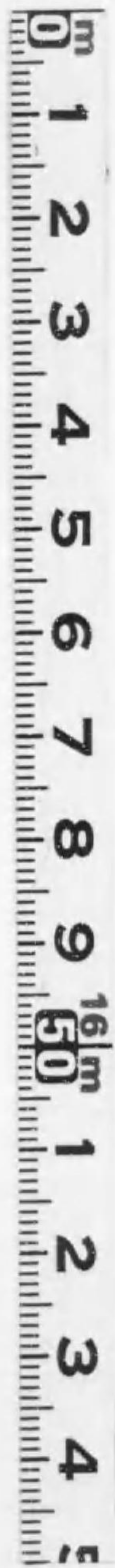


~~29/7
104~~



始



警察法規類章別覽一

第一卷

第一編 警務

第一章 通則

第二章 庶務

第三章 會計

第四章 兵事

第五章 共濟組合

第六章 雜

第二卷

第二編 保安

第一章 安寧

第二章 風俗

第三章 特殊營業

第三卷

第四章 交通

第五章 渡航、移民

第六章 產業

第七章 人事

第八章 外事

第九章 司法

第十章 工場

第十一章 行政裁判、訴願

第十二章 補則

15117
53

神奈川縣警察部編纂

警察法規類典 保安

大正
15. 1. 9
丙交

帝國地方行政學會發行

第二編 保安

第四章 交通

第一節 道路、橋梁

● 道路法

大正八年四月十一日
法律第五十八號

改正 大正一一年三月法律第三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル道路法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
道路法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ道路ト稱スルハ一般交通ノ用ニ供スル道路ニシテ行政廳ニ於テ第二章ニ依ル認定ヲ爲シタルモノヲ謂フ

第二條 左ニ掲グルモノハ道路ノ附屬物トシ道路ニ關スル本法ノ規定ニ從フ但シ命令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

一 道路ヲ接続スル橋梁及渡船場

二 道路ニ附屬スル溝、竝木、支壁、柵、道路元標、里程標及道路標識

三 道路ニ接スル道路修理用材料ノ常置場

四 前各號ノ外命令ヲ以テ道路ノ附屬物ト定メタルモノ

第三條 本法ニ於テ橋梁又ハ渡船場ト稱スルハ前條第一號ノ橋梁又ハ渡船場ヲ謂フ
本法ニ於テ渡船場ト稱スルハ渡船ヲ包含ス

第四條 本法ニ於テ他ノ工作物ト稱スルハ堤防、堰堤、護岸、鐵道用橋梁其ノ他命令ヲ以テ定ムル工作物ヲ謂フ

第五條 本法ニ於テ道路ニ關スル工事ト稱スルハ道路ノ新設、改築及修繕ニ關スル工事ヲ謂フ

第六條 道路ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ニ付テハ私權ヲ行使スルコトヲ得ス但シ所有權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定

第二編 保安 第四章 交通

若ハ移轉ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第七條 道路、沿道又ハ道路ノ附屬物ニ關スル本法ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ新ニ道路、沿道又ハ道路ノ附屬物ト爲ルヘキモノニ關シ之ヲ準用スルコトヲ得

第二章 道路ノ種類、等級及路線ノ認定

第八條 道路ヲ分チテ左ノ四種トス

- 一 國道
- 二 府縣道
- 三 市道
- 四 町村道

第九條 道路ノ等級ハ前條記載ノ順序ニ依ル

第十條 國道ノ路線ハ左ノ路線ニ就キ主務大臣之ヲ認定ス

- 一 東京市ヨリ神宮、府縣廳所在地、師團司令部所在地、鎮守府所在地又ハ樞要ノ開港ニ達スル路線
- 二 主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル路線

第十一條 府縣道ノ路線ハ左ノ路線ニシテ府縣内ノモノニ就キ府縣知事之ヲ認定ス

- 一 府縣廳所在地ヨリ隣接府縣廳所在地ニ達スル路線
- 二 府縣廳所在地ヨリ府縣内郡市役所所在地ニ達スル路線
- 三 府縣廳所在地ヨリ府縣内樞要ノ地、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 四 府縣内樞要ノ地ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 五 府縣内樞要ノ港津ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 六 府縣内樞要ノ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地又ハ港津ニ達スル路線
- 七 數市町村ヲ連結スル重要ナル幹線ニシテ其ノ沿線地方ト密接ノ關係ヲ有スル樞要ノ地、港津又ハ鐵道停車場ニ達スル路線
- 八 樞要ノ港津又ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル國道又ハ府縣道ニ連絡スル路線

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

九 地方開發ノ爲必要ニシテ將來前各條ノ一ニ該當スヘキ路線

第十二條 (削除)

第十三條 市道ノ路線ハ市内ノ路線ニ就キ市長之ヲ認定ス

第十四條 町村道ノ路線ハ町村内ノ路線ニ就キ町村長之ヲ認定ス

第十五條 市町村長ハ市町村ノ爲特ニ必要アル場合ニ限り市町村外ノ路線ニ就キ地元市町村長ノ意見ヲ聞キ路線ノ認定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ路線ニシテ市長ノ認定シタルモノハ市道ノ路線、町村長ノ認定シタルモノハ町村道ノ路線トス

第十六條 上級ノ道路ト下級ノ道路ト路線力重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ上級ノ道路トス

第三章 道路ノ管理

第十七條 國道ハ府縣知事、其ノ他ノ道路ハ其ノ路線ノ認定者ヲ以テ管理者トス但シ勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テ

ハ其ノ市内ノ國道及府縣道ハ市長ヲ以テ管理者トス

第十八條 道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ係ルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依ル管理者タル關係行政廳ノ一ヲ以テ管理者ト爲スコトヲ得

道路ト他ノ工作物ト兼用ヲ兼メル場合ニ於テハ其ノ道路及工作物ノ管理ニ付前項ノ規定ヲ準用ス但シ私人ヲ管理者ト爲スコトヲ得ス

第十九條 道路ノ區域ハ管理者之ヲ定ム

第二十條 道路ノ新設、改築、修繕及維持ハ管理者之ヲ爲スヘシ

主務大臣必要アリト認ムルトキハ國道ノ新設又ハ改築ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ道路管理者ノ權限ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣之ヲ行フ

第二十一條 道路ト他ノ工作物ト兼用ヲ兼メル場合ニ於テハ管理者ハ其ノ工作物ノ管理者ヲシテ道路ニ關スル工事を執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得但シ河川法第十條第一項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ規定ニ依ル

第二十二條 他ノ工事又ハ行爲ノ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ハ管理者其ノ工事執行者又ハ行爲者ヲシテ之

ヲ執行セシムルコトヲ得

第二十三條 前二條ノ規定ニ依ル場合ノ外特別ノ事由アル場合ニ於テハ管理者タル行政廳ハ下級行政廳又ハ私人ヲシテ道路ノ修繕ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條 管理者ニ非サル者ハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ經テ道路ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路ノ維持ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ハ管理者道路ニ關スル工事ト共ニ之ヲ執行スルコトヲ得

第二十六條 管理者ニ非サル者ハ管理者ノ許可又ハ承認ヲ得テ一定ノ期間橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スルコトヲ得ル橋梁又ハ渡船場ヲ設クルコトヲ得

第二十七條 管理者ハ特別ノ事由アル場合ニ限リ橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スル橋梁又ハ渡船場ヲ設クルコトヲ得

第二十八條 管理者ハ交通ヲ妨ケサル限度ニ於テ道路ノ占用ヲ許可又ハ承認スルコトヲ得

第二十九條 前條第一項ノ規定ニ依ル占用方法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル公共ノ利益トナルヘキ事業ニ係ルモノナル場合ニ於テ管理者正當ノ事由ナクシテ其ノ許可若ハ承認ヲ拒ミ又ハ不相當ナル占用料ヲ定メタルトキハ主務大臣ハ事業業者ノ申請ニ依リ占用ヲ許可若ハ承認シ又ハ占用料ヲ定ムルコトヲ得

第三十條 管理者ハ其ノ管理ニ屬スル道路ノ臺帳ヲ調製スヘシ

第三十一條 道路ノ構造、維持、修繕及工事執行方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 道路ノ管理ノ爲必要ナル吏員ノ設置及其ノ職務權限ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 道路ニ關スル費用及義務

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

第三十三條 主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ハ國庫ノ負擔トス第二十條第二項ノ規定ニ依ル國道ノ新設又ハ改築ニ要スル費用ニ付亦同シ

第三十四條 前條ノ場合ニ於テ道路ト他ノ工作物ト兼ヌルモノナルトキハ其ノ費用ノ負擔ニ付テハ前條第二項但書ノ規定ヲ準用ス但シ河川法第三十條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ規定ニ依ル

第三十五條 第三十三條第二項ノ規定ニ依ル費用ニシテ國道ノ新設又ハ改築ニ要スルモノハ其ノ一部ヲ國庫ヨリ補助スルコトヲ得特別ノ事由アル場合ニ於テ府縣道以下ノ道路ノ新設又ハ改築ニ要スル費用又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ設クル橋梁若ハ渡船場ニ關スル費用ハ許可又ハ承認ヲ得タル者ノ負擔トス

第三十六條 他ノ工事又ハ行爲ノ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ費用ハ管理者他ノ工事又ハ行爲ニ付費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシム

第三十七條 特別ノ事由アル場合ニ於テハ第二十三條ノ規定ニ依ル道路ノ修繕ニ關スル工事又ハ道路ノ維持ニ要スル費用ハ管理者同條ノ下級行政廳ノ統轄スル公共團體又ハ同條ノ私人ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十八條 道路ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ管理者ハ其ノ者ヲシテ利益ヲ受クル限度ニ於テ道路ニ關スル工事ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三十九條 特ニ道路ヲ損傷スル原因ト爲ルヘキ事業ヲ爲ス者アル場合ニ於テ管理者ハ之カ爲ニ要スル道路ノ維持又ハ修繕ノ費用ノ一部ヲ其ノ事業業者ニ負擔セシムルコトヲ得

第四十條 道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生シタル他ノ工事ノ費用ハ管理者特別ノ事由アル場合ニ於テ他ノ工事ニ

第二編 保安 第四章 交通

九六一

付費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムル場合ヲ除クノ外道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシム

第四十二條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依ル義務ヲ履行スル爲必要ナル費用ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外義務者ノ負擔トス

第四十三條 道路ニ關スル費用ノ負擔金ハ費用負擔者カ道路ニ關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合ヲ除クノ外第三十三條第一項ノ主トシテ軍事ノ目的ヲ有スル國道其ノ他主務大臣ノ指定スル國道ノ新設又ハ改築ニ要スルモノニ在リテハ國庫、其ノ他ノモノニ在リテハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス

前項ノ費用負擔者カ公共團體ナル場合ニ於テ之ヲ統轄スル行政廳又ハ行政廳タル管理者カ道路ニ關スル工事ノ執行又ハ道路ノ維持ヲ爲ストキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ費用負擔者之ヲ爲スモノト看做ス

第四十一條ノ規定ニ依ル負擔金ハ前二項ノ例ニ依リ國庫又ハ公共團體ノ收入トス

第四十四條 道路ノ占用料其ノ他道路ヨリ生スル收益ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス但シ第二十六條ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ得テ徵收スル橋錢又ハ渡錢ハ其ノ許可又ハ承認ヲ得タル者ノ收入トス

第四十五條 道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキハ管理者ハ沿道ノ土地ニ立入り又ハ其ノ土地ヲ一時材料置場トシテ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ立入り又ハ使用ヲ爲サムトスルトキハ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外豫メ土地ノ占有者ニ通知スルコトヲ要ス

第四十六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ管理者ハ道路附近ニ居住スル者ヲ使役シ、道路附近ノ土地ヲ一時使用シ又ハ土石、竹木其ノ他物品ヲ使用若ハ收用スルコトヲ得

第四十七條 前二條ノ規定ニ依リ立入り、使用、使役又ハ收用ニ因リ現ニ生シタル損害ハ立入り、使用、使役又ハ收用ノ後三月内ニ管理者之ヲ補償スヘシ

第四十八條 沿道ノ土地、竹木又ハ工作物ノ管理者ハ其ノ土地、竹木又ハ工作物ノ道路ニ及ホスヘキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ

第四十九條 道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム沿道ノ土地ニ於ケル工作

〔神奈川警〕

物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同シ

第五十條 沿道ノ區域ハ管理者之ヲ定ム

第五十一條 左ニ掲グルル場合ニ於テハ管理者ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ其ノ爲シタル許可承認ヲ取消シ其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、道路ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ヲ改築除却セシメ若ハ之ニ因リテ生スヘキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ原狀回復ヲ爲サシムルコトヲ得

一 道路ニ關スル法令ノ規定ニ違反シタルトキ

二 道路ニ關スル法令ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ノ條件ニ違反シタルトキ

三 詐欺ノ手段ヲ以テ道路ニ關スル法令ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ得タルトキ

四 道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキ

五 公益上必要ト認ムルトキ

前項第五號ノ場合ニ於テ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理者ハ道路ニ關スル工事ノ費用ヲ負擔スル者ヲシテ其ノ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

前二項ノ規定ハ主務大臣カ第二十九條ノ規定ニ依リテ其ノ爲シタル許可若ハ承認ヲ取消シ、其ノ效力ヲ停止シ又ハ其ノ條件ヲ變更スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條 左ニ掲グルル事項又ハ其ノ變更廢止若ハ取消ハ第一號ニ在リテハ行政廳ニ於テ、其ノ他ニ在リテハ管理者者ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受ケヘシ但シ主務大臣ハ輕易ナル事件ニ限り命令ヲ以テ認可ヲ受ケシメサルノ定ヲ爲スコトヲ得

一 國道以外ノ道路ノ路線ヲ認定スルコト

二 道路又ハ沿道ノ區域ヲ定ムルコト

三 道路ノ新設又ハ改築ヲ爲スコト

四 第二十一條乃至第二十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ執行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコト

五 第二十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ爲スコト

- 六 第二十五條ノ規定ニ依リ他ノ工事ヲ執行スルコト
- 七 第二十七條ノ規定ニ依リ橋錢又ハ渡錢ヲ徵收スル橋梁又ハ渡船場ヲ設ケルコト
- 八 第二十八條ノ規定ニ依リ道路ノ占用ヲ許可若ハ承認シ又ハ道路ノ占用料ヲ徵收スルコト
- 九 第三十七條乃至第四十一條ノ規定ニ依リ費用ヲ負擔セシムルコト
- 十 前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲スコト
- 第五十三條 監督官廳ハ監督上必要ト認ムルトキハ前條ノ行政廳又ハ管理者ニ對シ前條各號ニ掲ケル事項又ハ其ノ變更廢止若ハ取消ヲ命ジ其ノ他命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
- 第五十四條 行政執行法第五條及第六條ノ規定並之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ管理者カ強制スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第五十五條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ義務ニ屬スル負擔金、占用料、橋錢、渡錢其ノ他ノ費用ハ管理者國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位並其ノ追徵還付及時效ニ付テハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル
- 第五十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 一 許可ヲ得スシテ道路若ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ執行シ又ハ道路若ハ其ノ附屬物ヲ占用シタル者
 - 二 許可ヲ得スシテ橋梁又ハ渡船場ノ使用ニ對シ橋錢、渡錢其ノ他ノ財物ノ交付ヲ請求シタル者
 - 三 道路ノ使用ニ對シ路錢其ノ他ノ財物ノ交付ヲ請求シタル者
 - 四 詐欺ノ手段ヲ以テ許可ヲ得タル者
 - 五 正當ノ事由ナクシテ第四十六條ノ規定ニ依ル管理者ノ命ニ從ハサル者
 - 六 第四十八條又ハ第二條及第四十八條ノ規定ニ違反シテ道路又ハ其ノ附屬物ニ及ホスヘキ損害ヲ豫防スル爲必
要ナル施設ヲ爲ササル者

第六章 訴訟

第五十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ管理者ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴訟スルコトヲ得

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

- 本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス
 - 第五十八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ管理者ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 - 第五十九條 第四十七條ノ規定ニ依リ補償ヲ受ケヘキ者同條ノ規定スル期間内ニ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テハ其於テ補償ニ不服アルトキハ通知後六月内ニ、同條ノ規定スル期間内ニ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ期間經過後六月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴訟シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス
- 第七章 雜則
- 第六十條 本法中府縣、府縣知事、府縣廳又ハ府縣道ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ道、道廳長官、道廳又ハ地方費道ニ關シ市、市長、市役所又ハ市道ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ區、區長、區役所又ハ區道ニ關シ郡役所ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ支廳、島ニ付テハ島廳ニ關シ之ヲ適用ス
 - 第六十一條 北海道ニ付テハ道路ノ種類、等級及路線ノ認定並第三十三條乃至第三十六條、第四十三條、第四十四條及第五十二條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得
 - 第六十二條 道路ノ路線ノ認定ノ變更廢止其ノ他ノ場合ニ於テ不用ニ歸シタル道路及其ノ附屬物ヲ構成シタル物件並材料器具機械等ノ管理及處分ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得
 - 前項ノ變更廢止ノ場合ニ於テ道路及其ノ附屬物ヲ構成シタル物件ハ勅令ヲ以テ定ムル期間ノ滿了スル迄第六條ノ規定ヲ準用シ土地收用法中第六十六條ノ規定及之ヲ準用スル規定ノ適用ニ付テハ不用ニ歸セサルモノト看做ス
 - 第六十三條 左ニ掲ケル法令ノ規定ハ本法ニ依ル道路ニ關シ之ヲ適用セス
 - 一 明治四年十二月十四日布告治水修路架橋等運輸ノ便利ヲ興ス者ニ税金取立方許可ニ關スル件
 - 二 明治十一年七月二十二日達郡區町村編制府縣會規則地方稅規則施行順序ニ關スル件第十二項
 - 三 明治十二年二月二十七日達河港道路堤防橋梁費ヲ舊慣ニ因リ支辨シ得ル件
 - 四 陸地測量標條例第二條

- 五 水路測量標條例第二條
- 六 電信線電話線建設條例第一條、第四條及第五條
- 七 軍用電信法第四條第二項ノ規定ニ依リ準用スル電信線電話線建設條例第一條、第四條及第五條
- 八 河川法第十條第二項、第十一條及第三十二條
- 九 砂防法第八條及第十六條
- 十 私設鐵道法第四十二條
- 十一 輕便鐵道法第五條ノ規定ニ依リ準用スル私設鐵道法第四十二條
- 十二 電氣事業法第九條
- 十三 大正三年法律第三十七號

附則

第六十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正八年十一月勅令第四百五十九號ヲ以テ同九年四月一日ヨリ施行）

第六十五條 左ニ掲ケル法令ハ之ヲ廢止ス

- 一 明治五年第三百二十五號布告
 - 二 明治六年第四百六十六號布告
 - 三 明治六年第四百十三號達
 - 四 明治九年第六十號達
 - 五 明治十八年第一號布達
 - 六 明治二十年勅令第二十八號
- 第六十六條 本法施行前爲シタル處分及之ニ附シタル條件ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ牴觸セザル限り本法ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件ト看做ス
- 第六十七條 本法ニ依リ管理者ノ許可又ハ承認ヲ受クヘキ事項ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法ニ依リ管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス但シ管理者ハ本法施行ノ日ヨリ三月内ニ六月ヲ下ラサル期間ヲ指定

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

シ其ノ期間經過後ハ許可又ハ承認ノ效力ヲ失フヘキ旨ヲ告示スルコトヲ得

第六十八條 本法施行前爲シタル處分ニ關スル訴訟又ハ行政訴訟ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附則（大正十一年法律第三號）

本令中第二十條、第三十三條、第四十三條及第六十條ノ改正規定ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十一年八月勅令第三百八十三號ヲ以テ四月一日ヨリ施行）其ノ他ノ規定ハ大正十年法律第六十三號第一條施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正十二年四月一日ヨリ施行）但シ同法附則但書ノ規定ニ依リ別ニ其ノ施行ノ期日ヲ定ムル府縣ニ付テハ其ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 道路法施行令

大正八年十一月五日
勅令第四百六十號

改正 大正十一年八月勅令第三八四號

既道路法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

道路法施行令

- 第一條 國道ノ路線ノ認定又ハ其ノ變更若ハ廢止ヲ爲サムトスルトキハ勅令ノ定ムル道路會議ニ之ヲ諮問スヘシ但シ重要ナラサル變更又ハ廢止ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 府縣道以下ノ道路ノ路線ノ認定又ハ其ノ變更若ハ廢止ヲ爲サムトスルトキハ府縣道ニ付テハ府縣會、市道ニ付テハ市會、町村道ニ付テハ町村會ニ之ヲ諮問スヘシ但シ重要ナラサル變更又ハ廢止ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 前項ノ規定ニ依ル諮問ハ道路法第十七條但書ノ規定ニ依ル府縣道ニ付テハ府縣會及市會ニ之ヲ諮問スヘシ
- 第四條 國道ノ路線ノ認定又ハ其ノ變更若ハ廢止ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示スヘシ
- 第五條 府縣道以下ノ道路ノ路線ノ認定又ハ其ノ變更若ハ廢止ヲ爲シタルトキハ地方ノ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ
- 第六條 市町村長道路法第十五條ノ規定ニ依リ市道町村道ノ路線ノ認定又ハ其ノ變更若ハ廢止ヲ爲シタルトキハ地元市町村長ニ之ヲ通知スヘシ

- 前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ地方ノ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ
- 第六條 前三條ノ告示ニハ路線名並路線ノ起點終點及重要ナル經過地ヲ表示スヘシ
- 第七條 府縣廳、師團司令部、鎮守府又ハ郡市役所ノ所在地ヲ國道又ハ府縣道ノ路線ノ起點終點ト爲ストキハ市町村ニ於ケル道路元標ノ位置ニ依ルヘシ
- 第八條 東京市ニ於ケル道路元標ノ位置ハ日本橋ノ中央トス
- 第九條 道路元標ハ各市町村ニ一箇ヲ置ク
- 第十條 道路元標ノ様式ハ内務大臣ノ指定スルニ依リ
- 第十一條 道路元標ハ管理者之ヲ建設スヘシ等級ヲ異ニスル道路ニ係ルモノナルトキハ上級道路ノ管理者之ヲ建設スヘシ
- 第十二條 道路又ハ沿道ノ區域ヲ定メタルトキハ管理者タル行政廳ハ地方ノ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ内務大臣ノ指定スル道路附屬物ノ區域ヲ定メタルトキ亦同シ
- 第十三條 内務大臣道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ國道ノ新設又ハ改築ヲ爲ストキハ豫メ官報ヲ以テ其ノ道路ノ路線名、區間及工事開始ノ期日ヲ告示スヘシ
- 第十四條 前項ノ國道ノ新設又ハ改築ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ終了スルトキハ前項ノ規定ニ準シ之ヲ告示スヘシ
- 第十五條 道路ノ供用ヲ開始シ又ハ廢止スルトキハ管理者タル行政廳ハ豫メ地方ノ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ内務大臣ノ指定スル道路附屬物ノ供用ヲ開始シ又ハ廢止スルトキ亦同シ
- 第十六條 道路法第二十六條ノ規定ニ依リ橋梁又ハ渡船場ヲ設クルコトヲ許可又ハ承認シタルトキハ管理者タル行政廳ハ地方ノ公布式ニ依リ設置者並橋梁又ハ渡船場ノ額及徵收期間ヲ告示スヘシ同法第二十七條ノ規定ニ依リ橋梁又ハ渡船場ヲ設クルトキ亦同シ
- 第十七條 左ニ掲ケルモノニ付テハ橋梁又ハ渡船場ヲ徵收スルコトヲ得ス
 - 一 軍隊
 - 二 演習中ノ軍人軍屬
 - 三 召集令狀若ハ召集傳達書ヲ所持シ應召ノ爲通行スル軍人又ハ召集令狀配達人

〔神奈川県警〕

〔神奈川県警〕

- 四 簡閱點呼令狀若ハ簡閱點呼傳達書ヲ所持シ簡閱點呼ニ參會スル爲通行スル軍人又ハ簡閱點呼令狀配達人
- 五 徵發ニ關スル令書配達人
- 六 徵發人夫及其ノ引率人
- 七 徵發物件及其ノ運搬人
- 八 勤務中ノ憲兵又ハ警察官吏
- 九 護送中ノ囚人又ハ刑事被告人及其ノ護送人
- 十 水火災警防ノ爲又ハ其ノ演習ノ爲通行スル當該官吏員又ハ一定ノ服裝ヲ爲シタル消防夫水防夫
- 十一 尋常小學校ニ往復ノ兒童
- 十二 受持區内ニ勤務中ノ修路工夫
- 第十三條 橋梁又ハ渡船場ヲ徵收スル者ハ徵收ノ場所ニ左ニ掲ケル事項ヲ榜示スヘシ
 - 一 設置者
 - 二 橋梁又ハ渡船場ノ額
 - 三 徵收期間
 - 四 橋梁又ハ渡船場ヲ徵收セサル場合
- 第十四條 道路臺帳ヲ調製シタルトキハ管理者タル行政廳ハ地方ノ公布式ニ依リ其ノ旨ヲ告示スヘシ
- 第十五條 利害關係人ハ道路臺帳ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得
- 第十六條 他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌル道路ニ關シ告示スヘキ事項ハ道路法第十八條第二項ノ規定ニ依リ他ノ工作物ノ管理者タル行政廳ヲ以テ道路及工作物ノ管理者ト爲シタル場合ニ於テハ其ノ管理者同法第十七條ノ規定ニ依リ
- 第十七條 第五條ノ規定ハ道路法第十五條若ハ第十八條第一項ノ規定ニ依リ道路ニ關シ第十條、第十一條、第十二條若ハ第十五條ノ規定ニ依リ告示ヲ爲ス場合又ハ同法第十五條ノ規定ニ依リ告示ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 第十八條 道路法第四十五條ノ規定ニ依リ通知ハ三日前ニ場所及日時ヲ指定シ之ヲ爲スヘシ

道路法第四十五條ノ規定ニ依リ邸内ニ立入ル場合ニ於テハ日出前日没後ハ占有者ノ意ニ反シテ立入ルコトヲ得ス

第十九條 道路ノ路線ノ認定者及道路ノ管理者ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ監督ス

一 町村長認定者又ハ管理者ナルトキハ第一次ニ郡長、第二次ニ府縣知事、第三次ニ内務大臣

二 市長認定者又ハ管理者ナルトキハ第一次ニ府縣知事、第二次ニ内務大臣

三 前二號ニ規定スル以外ノ者認定者又ハ管理者ナルトキハ内務大臣

第二十條 左ニ掲グル事項又ハ其ノ變更、廢止若ハ取消ハ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 市長ヲ以テ管理者トスル國道又ハ府縣道ノ新設又ハ改築ヲ爲スコト

二 道路法第十五條ノ規定ニ依リ二府縣以上ニ互ル路線ヲ認定スルコト

三 道路法第二十四條ノ規定ニ依リ承認ヲ府縣ニ對シ爲スコト

四 道路法第十七條但書ノ市ノ市内道路ニ關シ同法第三十九條又ハ第四十條ノ規定ニ依リ負擔セシムル費用ノ負擔方法ヲ定ムルコト

五 道路法第三十七條又ハ第三十九條乃至第四十一條ノ規定ニ依リ國ニ費用ヲ負擔セシムルコト

第二十一條 左ニ掲グル事項又ハ其ノ變更、廢止若ハ取消ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

一 道路法第十五條ノ規定ニ依リ二郡市以上ニ互ル一府縣内ノ道路ノ路線ヲ認定スルコト

二 道路法第三十七條又ハ第三十九條乃至第四十一條ノ規定ニ依リ府縣ニ費用ヲ負擔セシムルコト

第二十二條 前二條ニ規定スルモノヲ除クノ外道路法第五十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クヘキモノニ付テハ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 本令中府縣、府縣知事、府縣廳、府縣會又ハ府縣道ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ道、道廳長官、道廳、道會又ハ地方費道ニ關シ市、市長、市役所、市會又ハ市道ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ區、區長、區役所、區會又ハ區道ニ關シ郡、郡長又ハ郡役所ニ關スル規定ハ北海道ニ付テハ支廳管内、支廳長又ハ支廳、島ニ付テハ島廳管内、島司又ハ島廳ニ關シ之ヲ適用ス

附則

第二十四條 本令ハ道路法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年四月一日ヨリ施行)

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第二十五條 道路法施行ノ際認定スヘキ國道ノ路線ニ關シ豫メ道路會議ニ諮問シタルモノト看做ス

第二十六條 道路法施行ノ際認定スヘキ府縣道又ハ地方費道ノ路線ニ關シ本令公布後ニ於テ豫メ府縣會又ハ道會ニ諮問シタルモノハ本令ニ依リ諮問シタルモノト看做ス郡道、市道、區道又ハ町村道ノ路線ノ認定ノ諮問ニ付亦同シ

第二十七條 市道、區道又ハ町村道ノ路線ノ認定ニ付テハ道路法施行ノ際ニ限り第六條ノ規定ニ拘ラス平面圖ヲ公衆ノ縦覽ニ供シ其ノ旨ヲ告示スルコトヲ得

前項ノ平面圖ニハ路線ノ位置並路線ノ交叉點及兩端ノ地番若ハ地先地番ヲ表示スヘシ別ニ地番圖書ヲ作製シ平面圖ニ添附スルコトヲ妨ケス

第二十八條 市區町村ニ於ケル道路元標ノ位置ニ付本令施行前道廳長官又ハ府縣知事ノ定メタルモノハ本令ニ依リ定メタルモノト看做ス

附則(大正十一年勅令第三百八十四號)

本令中第十條ノ二ノ規定並第十七條及第二十三條ノ改正規定ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス其ノ他ノ規定ハ大正十年法律第六十三號第一條施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十二年四月一日ヨリ施行)但シ同法附則但書ノ規定ニ依リ別ニ其ノ施行ノ期日ヲ定ル基點ニ付テハ其ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年法律第三號中第十一條ノ改正規定施行ノ際認定スヘシ府縣道ノ路線ニ關シ本令公布後ニ於テ豫メ府縣會ニ諮問シタルモノハ道路法施行令第二條ノ規定ニ依リ諮問シタルモノト看做ス

● 郡道、市道及町村道繼續占用ノ許可又ハ承認ニ關スル件

大正十年四月十二日 縣令第六十號

大正九年三月三十日內務省令第六號第二條第九號及第三條第九號ノ規定ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要セサルノ件左ノ通相定ム

一、大正九年七月一日內務省訓令第十一號ノ定メニ據ラサル郡道、市道及町村道ノ繼續ノ占用ニシテ五箇年以内ノモノヲ二回限リニ於テ許可又ハ承認スルコト

●道路警戒標及道路方向標ニ關スル件

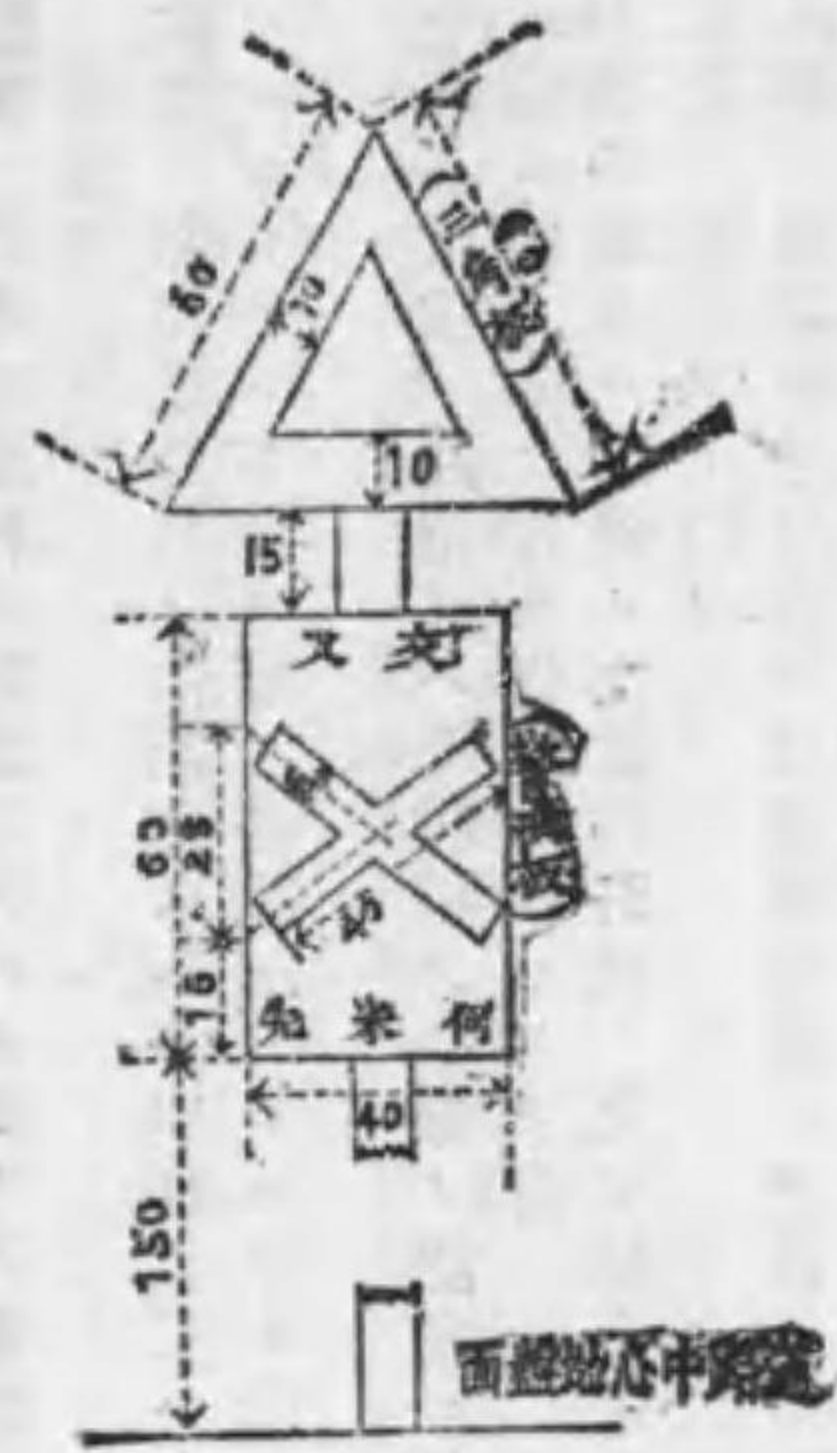
大正十一年十一月九日
内務省令第二十七號

- 道路警戒標及道路方向標ニ關スル件左ノ通定ム
- 第一條 道路ノ屈曲部、坂路其ノ他交通上危險ノ虞アル箇所ニ對シ必要アル場合ニ於テハ道路警戒標ヲ建設スヘシ
 - 第二條 十字路、丁字路其ノ他ノ箇所ニ對シ交通上必要アル場合ニ於テハ道路方向標ヲ建設スヘシ
 - 第三條 道路警戒標及道路方向標ヲ建設スル場合ニ於テハ別記様式ニ依ルヘシ
 - 第四條 道路警戒標ハ第一條ニ規定スル箇所ノ前後八十メートル乃至百四十メートルノ地點ニ於テ道路ノ方向ニ面シ左側路端ニ之ヲ建設スヘシ但シ市街地ニ在リテハ相當其ノ距離ヲ短縮スルコトヲ得
 - 第五條 道路方向標ハ道路ニ面シ路端ニ之ヲ建設スヘシ

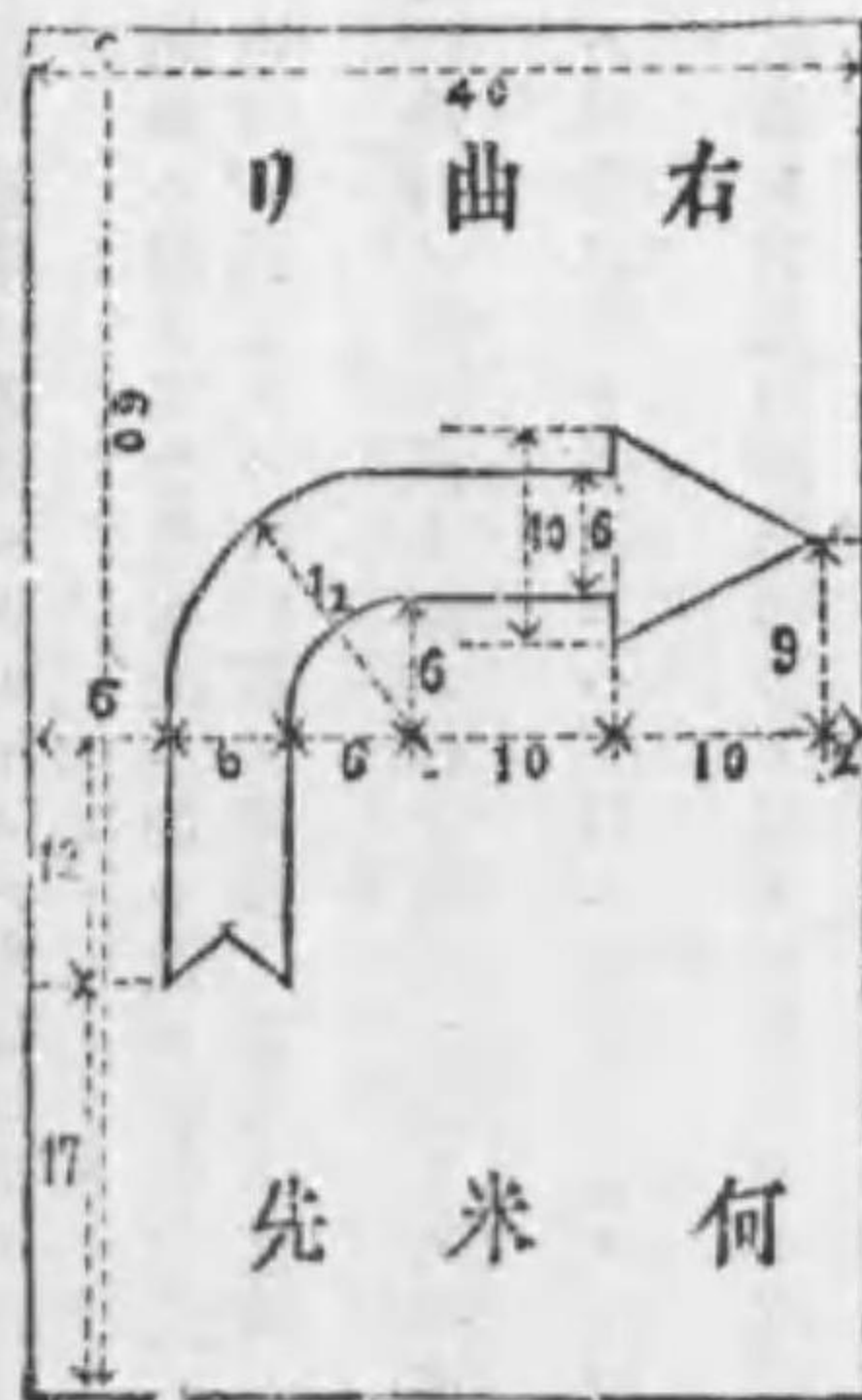
附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記様式)

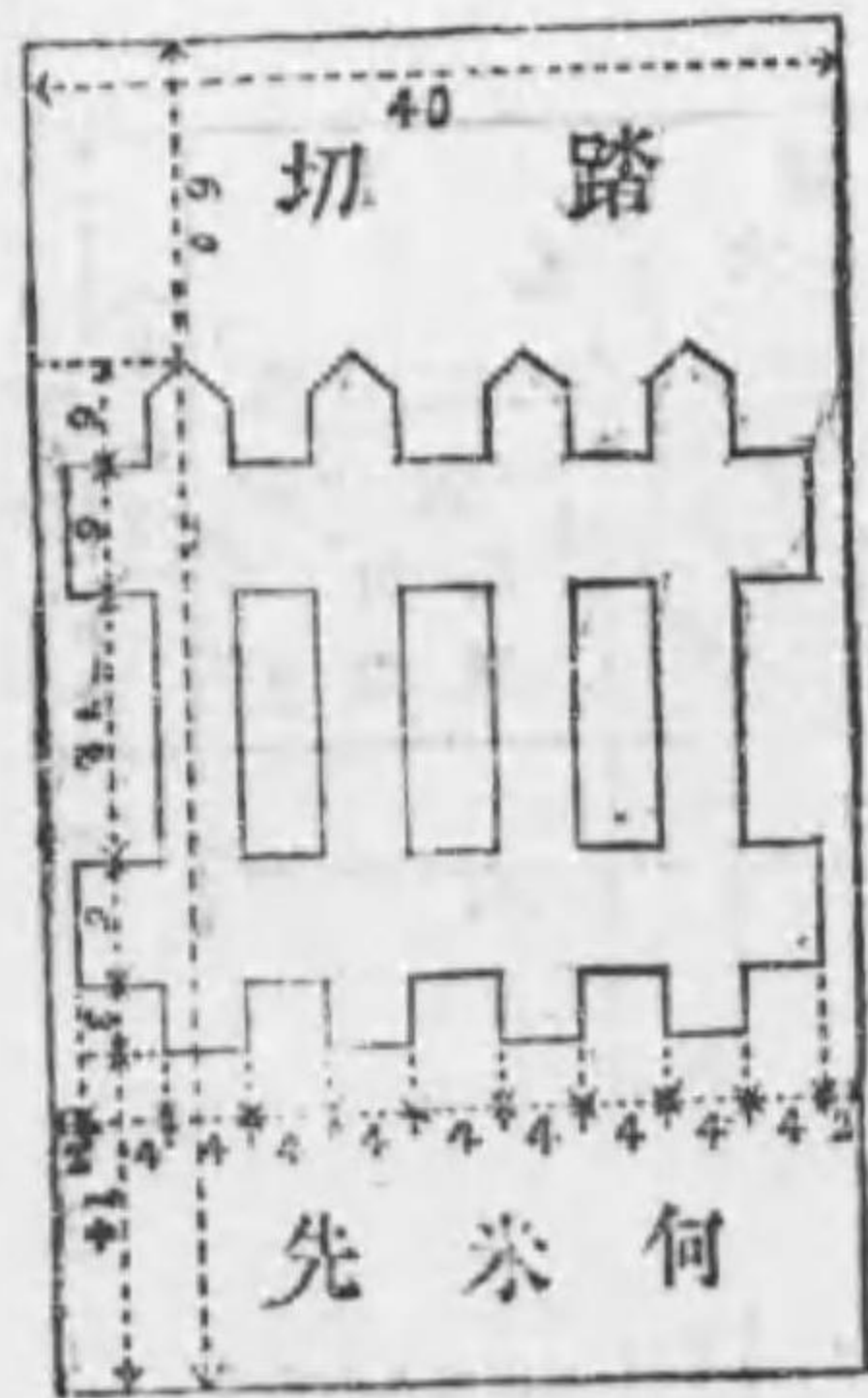
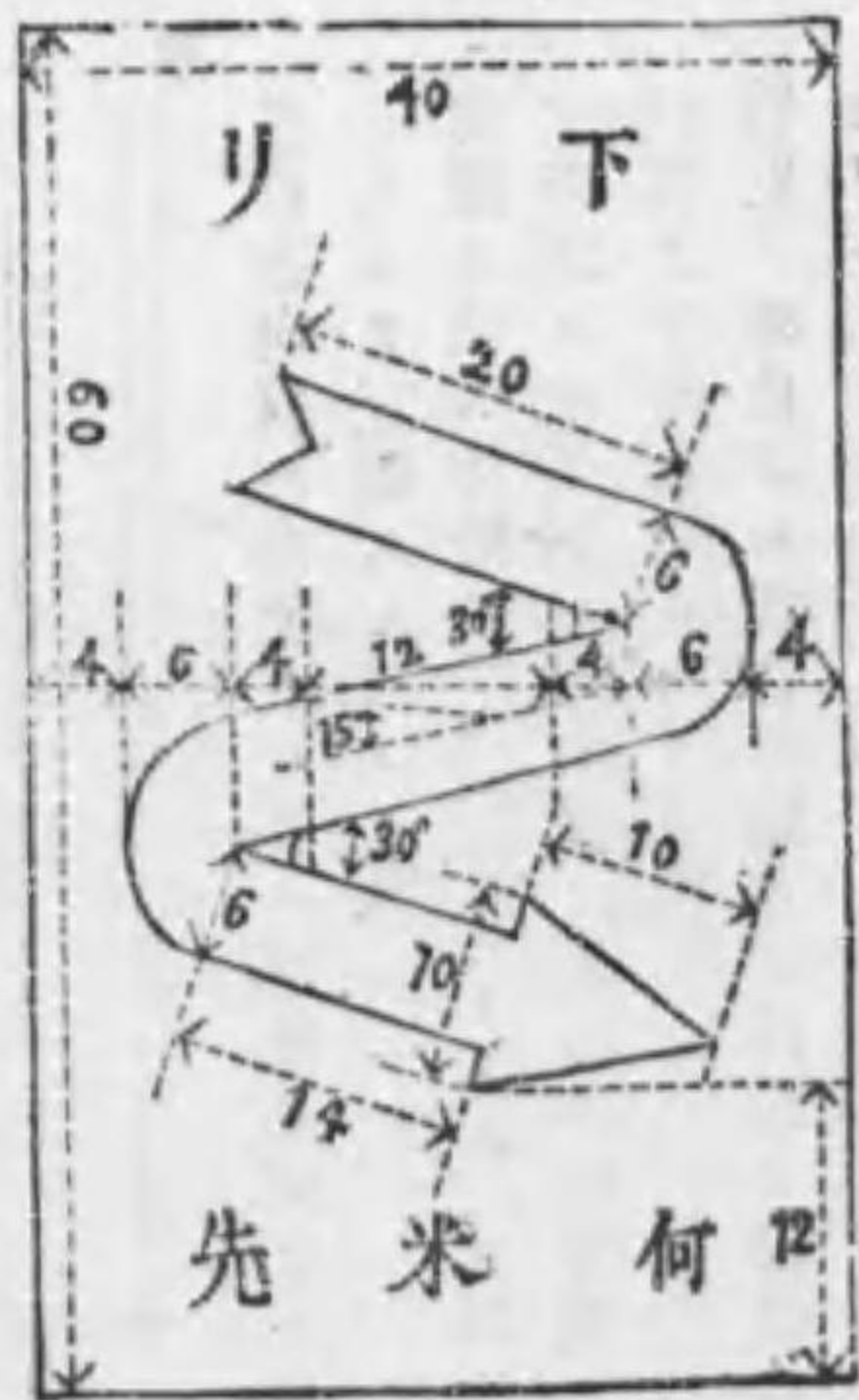
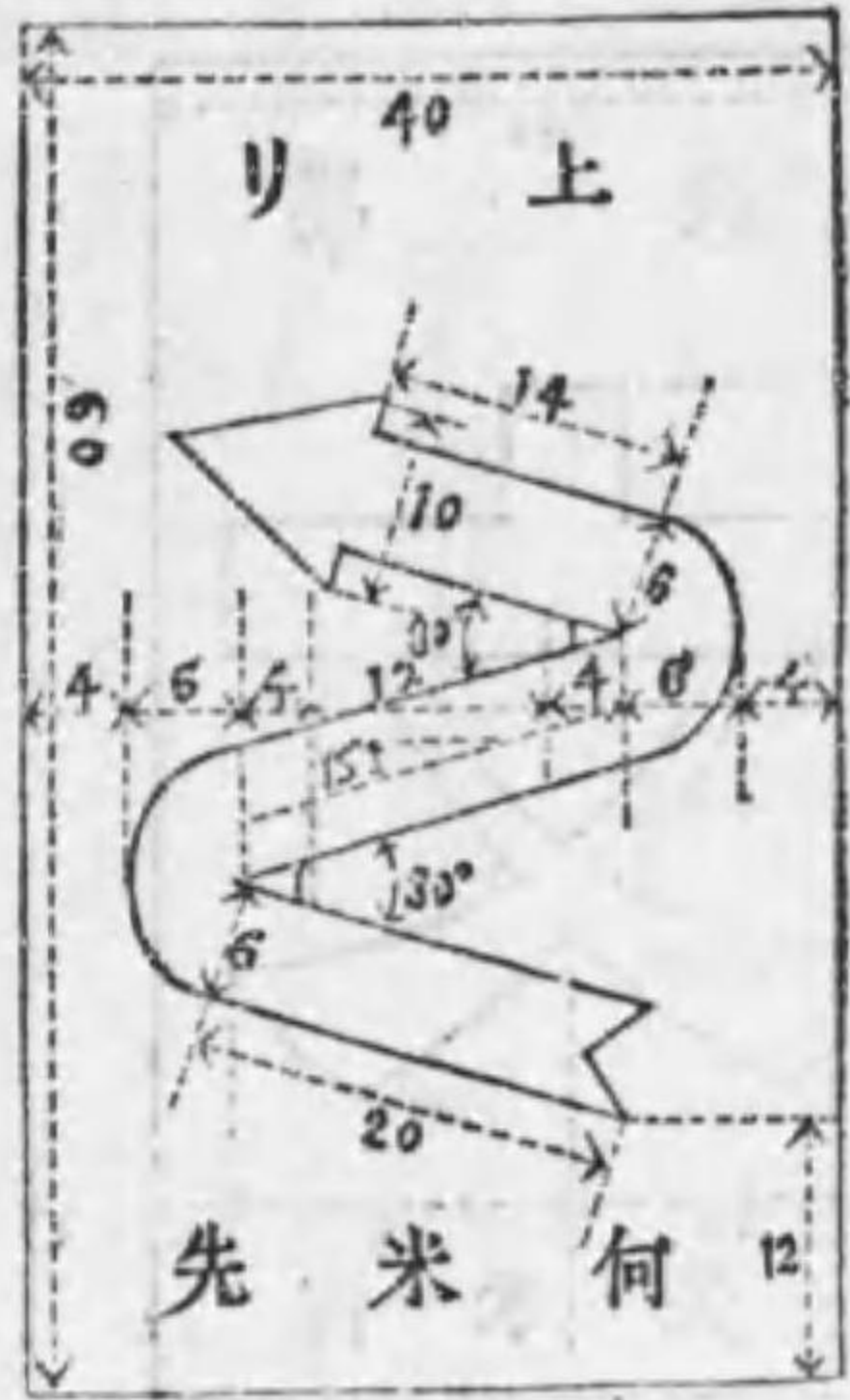
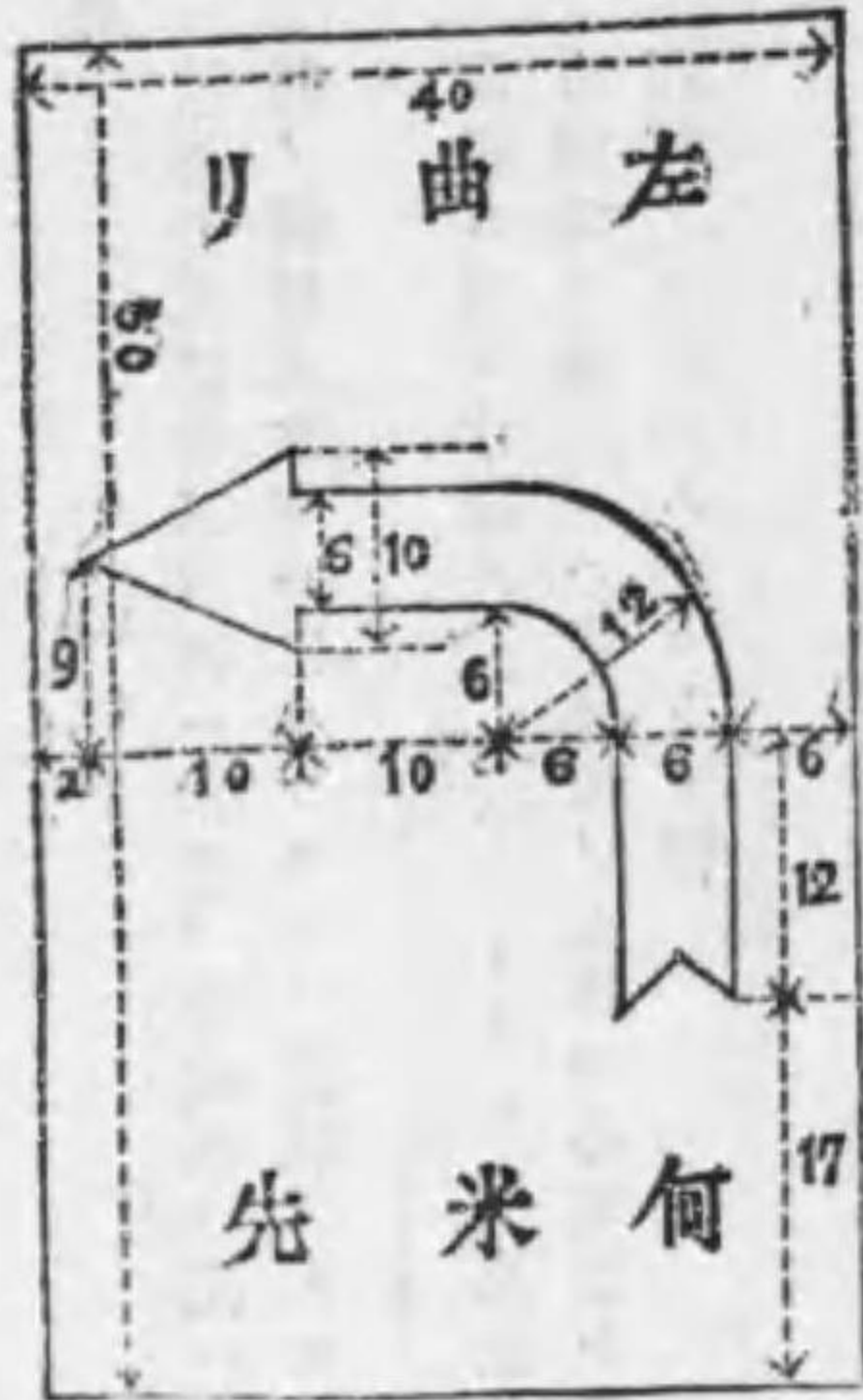
道路警戒標

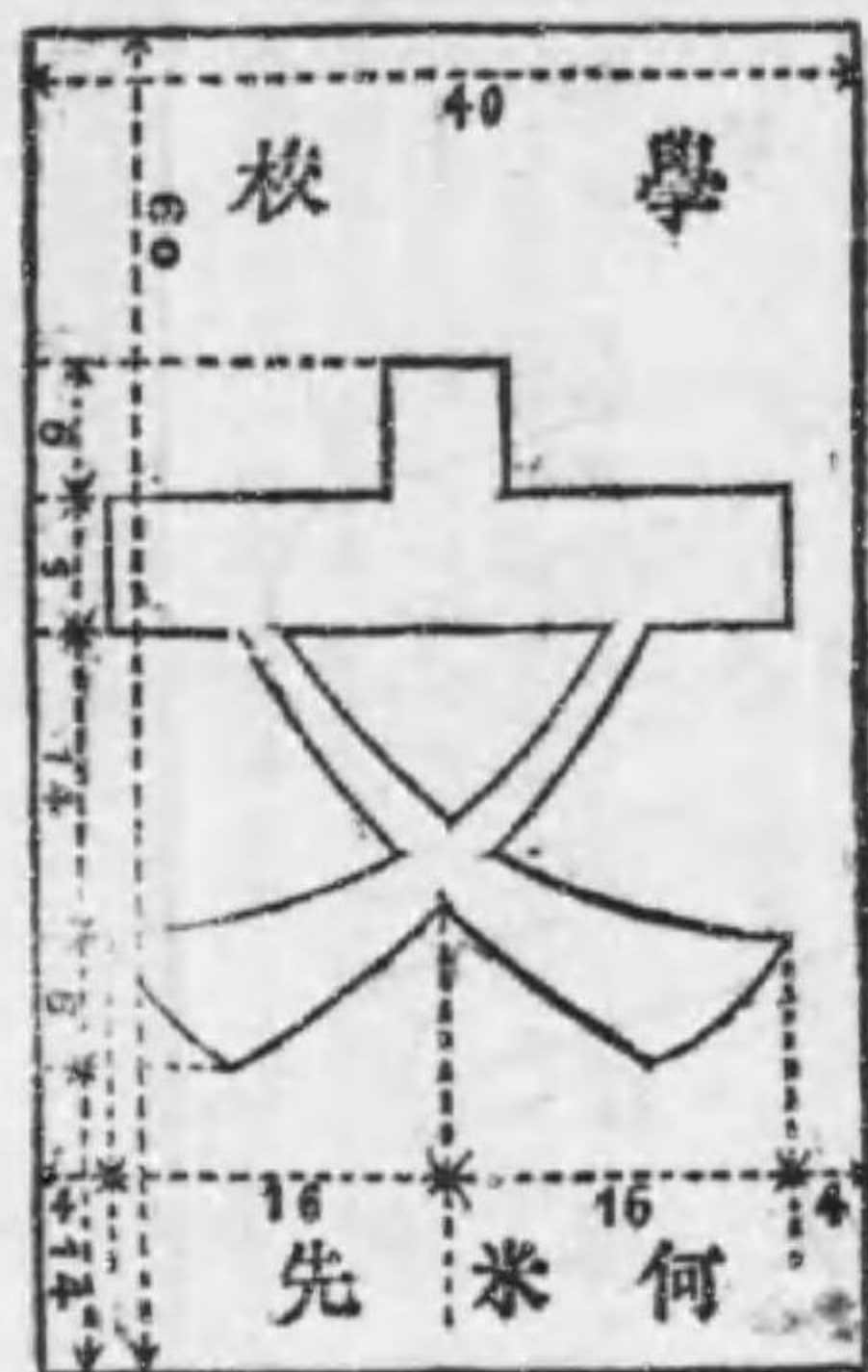


〔神奈川警〕



〔神奈川警〕



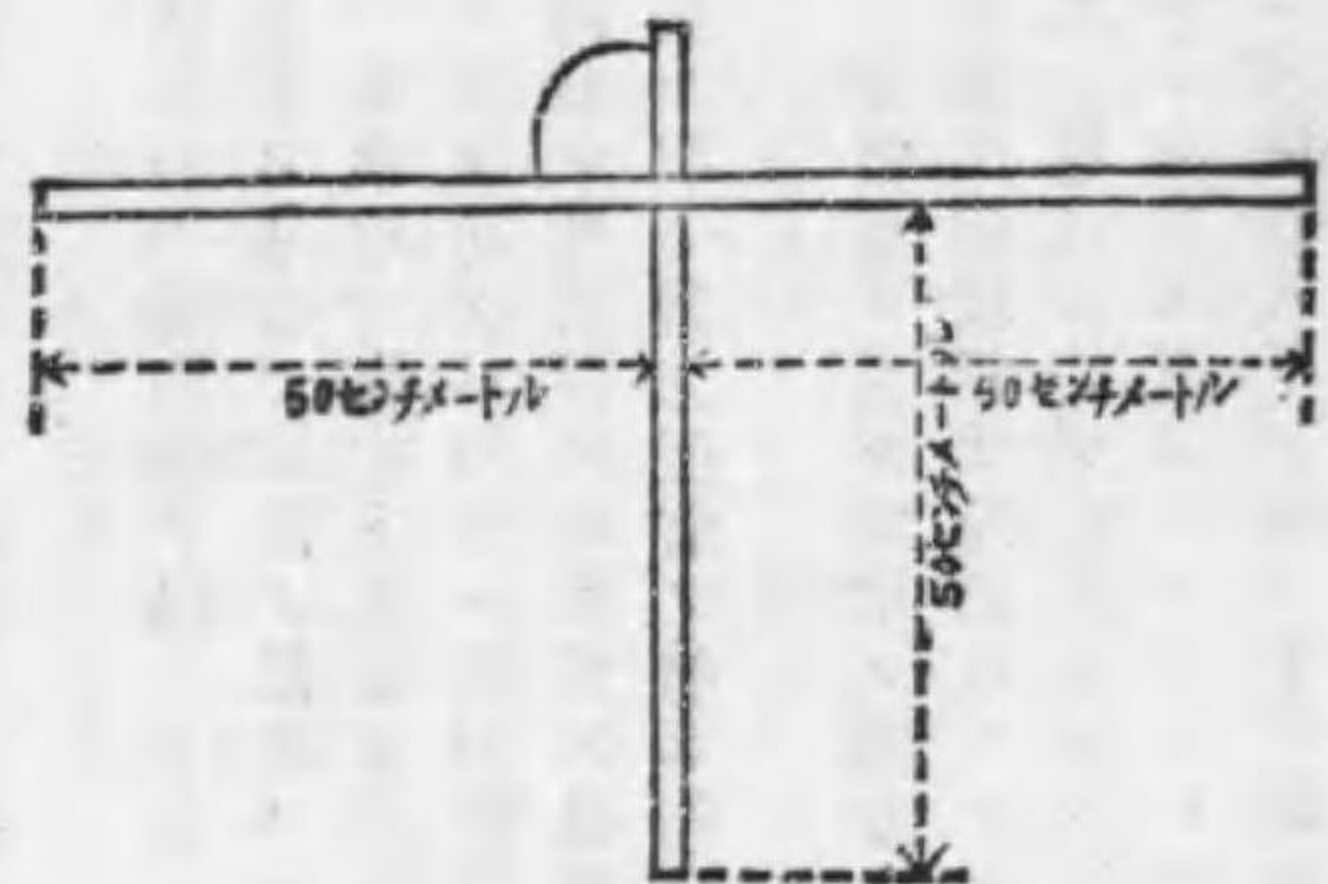


備考

- 一 道路警戒標中三角板ハ赤色、警戒板ハ黒色トシ其ノ符號及文字ハ白ヘンキニテ記載スルモノトス
- 二 前圖ニ示ス寸法ハ「センチメートル」ヲ單位トス市街地ニ在リテハ警戒板ノ道路中心地盤上高ハ相當之ヲ増加スルコトヲ得

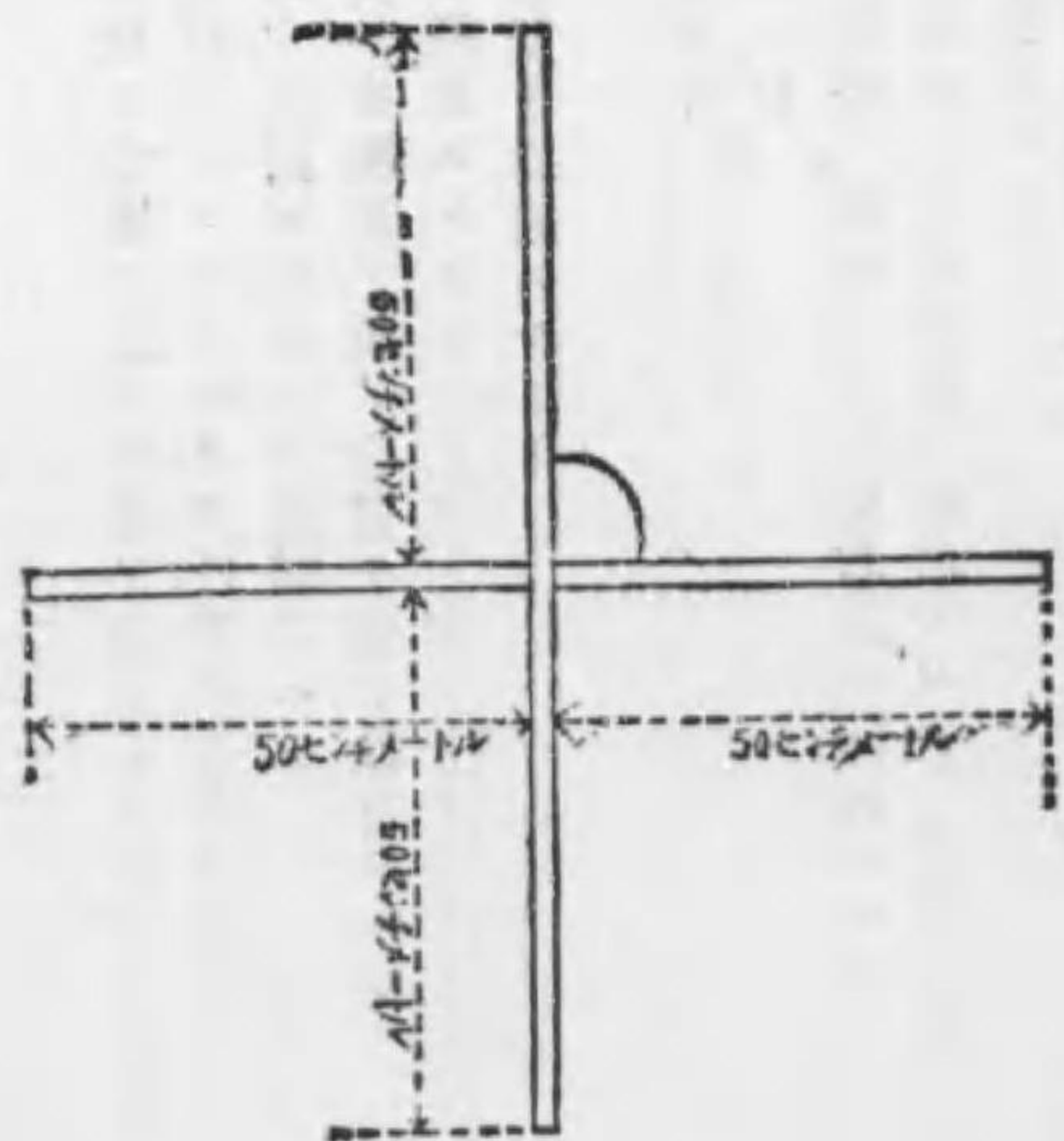
〔神奈川警〕

〔丁字路ノ分〕

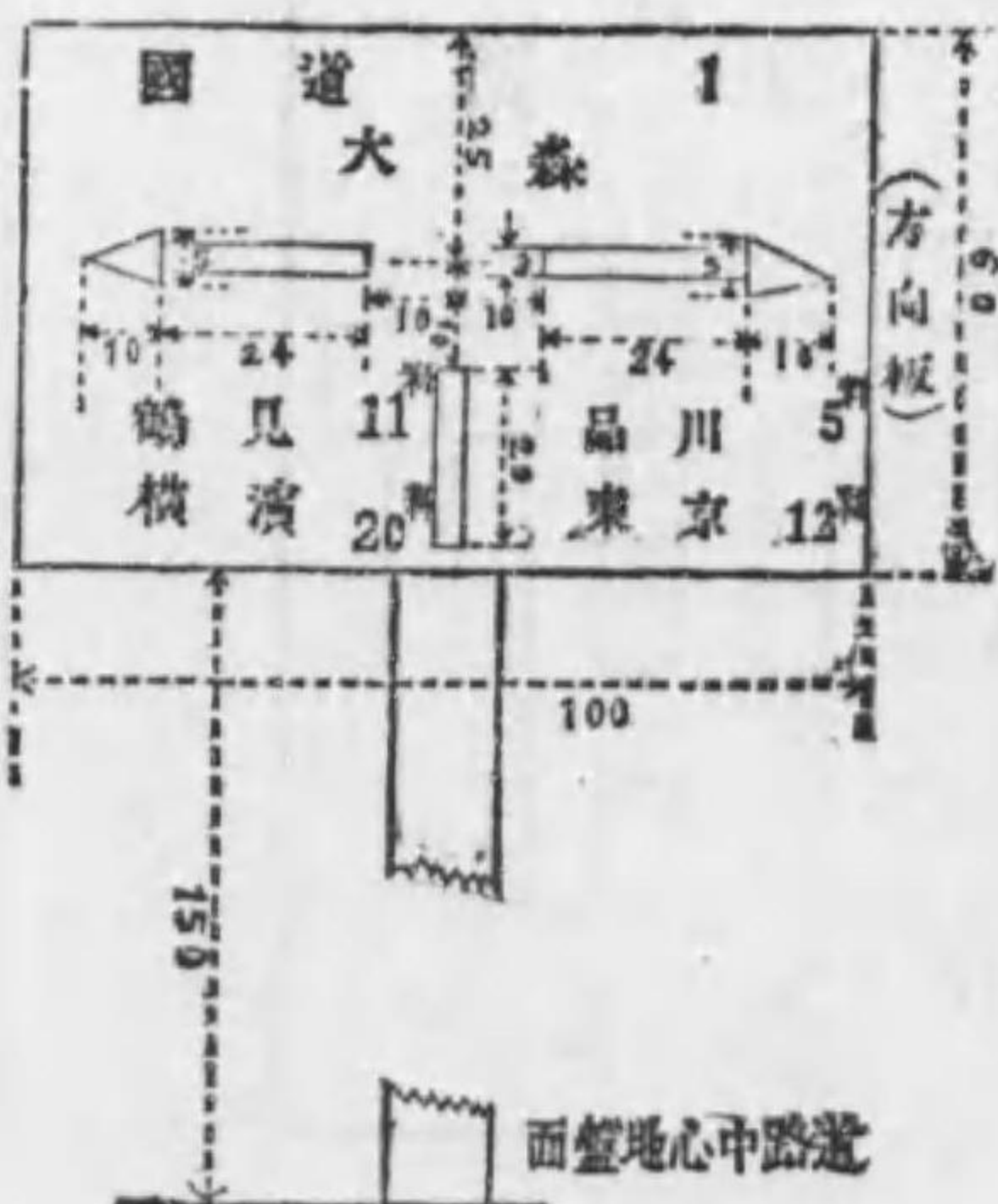


〔神奈川警〕

〔十字路ノ分〕



道路方向標



備考

- 一 道路方向板ハ白色トシ其ノ符號及文字ハ黒色ヘンキニテ記載スルモノトス
- 二 前圖ニ示ス寸法ハ「センチメートル」ヲ單位トス市街地ニ在リテハ方向板ノ道路中心地盤上高ハ相當之ヲ増加スルコトヲ得
- 三 特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外左ノ構造ニ依ルモノトス

●道路取締令

大正九年十二月十六日
内務省令第四十五號

道路法第四十九條ノ規定ニ基キ道路取締令左ノ通定ム

道路取締令

- 第一條 道路ヲ通行スル者ハ左側ニ依ルヘシ
- 第二條 歩道、車道等ノ區別アル道路ニ於テハ其ノ區別ニ從ヒ通行スヘシ
隊伍、神輿、葬列其ノ他ノ行列ハ車道ヲ通行スヘシ但シ兒童、幼兒ノ隊伍ハ此ノ限ニ在ラス

第二編 保安 第四章 交通

小兒車ハ歩道ヲ通行スヘシ

第三條 牛車、馬車、自動車其ノ他ノ重キ車輛ハ歩道ヲ横切ルヘカラス但シ通路ニ特別ノ裝置アル場合又ハ最寄警察官吏ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

牛、馬、諸車等ハ斜ニ道路ヲ横切ルヘカラス

地方長官必要ト認ムルトキハ交通頻繁ナル道路ニ於テ特ニ指定シタル場所ノ外區域及時間ヲ限リ車道ノ横斷ヲ禁止スルコトヲ得

第四條 牛、馬、諸車等行進フトキハ互ニ左方ニ避讓スヘシ

第五條 牛、馬、諸車等前方ニ在ル者ヲ追越ス場合ハ止ムヲ得サルトキヲ除クノ外前者ハ左方ニ避ケ後者ハ其ノ右方ヲ通過スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ後者ニ於テ音響器ヲ鳴ラシ又ハ掛聲其ノ他ノ合圖ヲ爲シ前者ノ避クルヲ待チテ進行スヘシ

牛、馬、諸車等電車ヲ追越ス場合ハ道路ノ狀況ニ依リ止ムヲ得サルトキヲ除クノ外其ノ左方ヲ通過スヘシ

第六條 進行中ノ消防車、郵便車、傷病人運搬車及隊伍、神輿、葬列ニ對シテハ避讓スヘシ

第七條 牛、馬、諸車等ハ左ノ場合ニ於テハ音響器ヲ鳴ラシ又ハ掛聲其ノ他ノ合圖ヲ爲シ徐行スヘシ

一 道路ノ交叉點、曲角其ノ他屈曲ノ場所又ハ雜沓ノ場所ヲ通過スルトキ

二 第三條第三項ノ規定ニ依リ地方長官ノ特ニ指定シタル場所ヲ通過スルトキ

三 歩道ヲ横切ルトキ

四 安全地帯ノ設ケナキ停留場ニ在ル電車ノ側方ヲ通過スルトキ

牛、馬、諸車等坂路、隧道又ハ橋梁ヲ通過スルトキハ徐行スヘシ

牛、馬、諸車等道路交叉ノ場所ニ於テ右折セムトスルトキハ道路ヲ横切リタル後右方ニ轉向スヘシ

第一項第四號ノ場合ニ於テ乗降客輻湊スルトキハ牛、馬、諸車等ハ一時進行ヲ停止スヘシ

第八條 牛、馬、諸車等ハ夜間燈火ヲ用井スシテ通行スヘカラス

地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ前項ニ異リタル規定ヲ設ケルコトヲ得

第九條 鐵道又ハ軌道ノ踏切ヲ通過セムトスルトキハ汽車、電車等ノ接近セサルコトヲ確メタル後通行スヘシ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第十條 牛、馬、諸車等ハ安全地帯内ヲ通行スヘカラス

第十一條 道路ノ交叉點、曲角、隧道又ハ橋梁等ニ牛、馬、諸車等ヲ駐ムヘカラス

牛、馬、諸車等ヲ道路ニ駐ムルトキハ其ノ左側端ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ牛馬等ノ奔逸ヲ防クニ必要ナル措置ヲ爲スヘシ但シ竝木、道路元標、里程標及道路標識等ニ之ヲ繋クヘカラス

第十二條 荷車ノ輪帶幅ハ左ノ制限ニ從フヘシ

牛車 三寸五分以上 四輪車ニ在リテハ其ノ前輪ヲ後輪

馬車 三寸以上 同上

大車 荷臺ノ面積十八平方尺以上ノモノ 二寸以上

無限軌道其ノ他道路ヲ損傷セサル特別ノ裝置ヲ爲セル車ニ在リテハ其ノ裝置ノ幅ヲ以テ前項ノ輪帶幅ト看做ス

第十三條 荷車ノ積載量ハ車體ノ重量ヲ合セ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

自動車 千四百貫

牛車 四輪車 五百五十貫

馬車 四輪車 四百貫

大車 其ノ他 五百貫

其ノ他 三百五十貫

第十四條 荷車ノ積荷ノ容積ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

一 高 自動車ニ在リテハ荷臺ヨリ八尺

二 前後ノ出幅 其ノ他ノ荷車ニ在リテハ六尺

三 左右ノ出幅 荷臺ヨリ各二尺

自動車ニ依ル積荷ハ之ヲ車體ノ前後左右ニ突出セシムルコトヲ得ス

第十五條 地方長官ハ土地ノ狀況、道路、橋梁又ハ車輛ノ構造若ハ裝置ニ依リ第十二條第一項、第十三條及第十四條ノ制限ニ異リタル規定ヲ設ケルコトヲ得

- 第十六條 第十三條、第十四條ノ規定又ハ第十五條ニ基ク命令ニ依ル荷車ノ積載量、其ノ積荷ノ容積ノ制限ヲ超スル物ニシテ分割スヘカラサル場合ハ出發地警察官署ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十七條 管理者ハ道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキハ道路ノ通行ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得
- 第十八條 地方長官ハ危險豫防上其ノ他公安上必要ト認ムルトキハ道路ノ通行ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得
- 第十九條 警察官吏ハ危險豫防上其ノ他公安上必要ト認ムルトキハ一時道路ノ通行ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得
- 第二十條 道路ヲ掘鑿シ又ハ道路ニ物ヲ置ク場合ニハ繩張、點燈其ノ他危險豫防ニ必要ナル裝置ヲ爲スヘシ
- 第二十一條 沿道ノ土地ニ物ヲ堆積シ又ハ立テ置クトキハ倒壞、崩落ヲ防クニ必要ナル裝置ヲ爲スヘシ
- 第二十二條 沿道又ハ沿道ノ土地ニ於テ工作物ヲ建設、撤去若ハ修繕シ又ハ其ノ他ノ作業ヲ爲ストキハ土砂、瓦石、竹木、金物等ノ道路ニ飛散又ハ墜落スルヲ防クニ必要ナル裝置ヲ爲スヘシ
- 第二十三條 警察官署ハ道路及沿道ノ土地ニ於ケル工作物其ノ他ノ施設及物件ニ付其ノ占有者ニ對シ危險防止其ノ他交通保全ノ爲必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得
- 第二十四條 道路ニ於テ物ヲ運搬スルトキハ其ノ飛散、漏出、墜落及危險ヲ防クニ必要ナル裝置ヲ爲スヘシ
- 第二十五條 道路ニ於テ物ヲ運搬スルトキハ其ノ飛散、漏出、墜落及危險ヲ防クニ必要ナル裝置ヲ爲スヘシ
- 第二十六條 交通頻繁ナル道路ニ於テ兒童、幼兒ニ遊戯ヲ爲サシメ又ハ保護者ナクシテ幼兒ヲ歩行セシムヘカラス
- 第二十七條 道路ニ於テ煙火、空氣銃、吹矢ノ類ヲ弄シ又ハ投石、投球等危險ノ行爲ヲ爲スヘカラス
- 第二十八條 第二條、第三條第一項、第二項、第四條乃至第八條第一項、第十條及第二十五條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第三條第三項ノ規定ニ基ク禁止ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
- 第二十九條 第十一條、第十三條、第十四條、第十六條、第二十三條、第二十四條及第二十六條ノ規定ニ違反シタル者、第十二條第一項ノ規定又ハ第十五條ノ規定ニ基ク命令ニ依ル輪帶幅ノ制限ニ違反シタル荷車ヲ使用シ若ハ同條ノ規定ニ基ク命令ニ依ル積荷ノ容積ノ制限ニ違反シタル者又ハ第十七條、第十八條ノ規定ニ基ク禁止若ハ制限ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス
- 第三十條 第十九條乃至第二十一條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十二條ノ規定ニ基ク處分ニ違反シタル者ハ百

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

圓以内ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

第三十條 前條ノ罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ハ其ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三十一條 本令ニ規定スルモノノ外道路法第四十九條ノ規定ニ基ク命令ハ地方長官之ヲ定ム

附 則

本令ハ大正十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ使用スル荷車ノ輪帶幅ハ大正十五年十二月三十一日迄本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

●道路取締令施行規則

大正十年六月二十一日
縣令第八十二號

道路取締令施行規則左ノ通り定ム

道路取締令施行規則

- 第一條 本則ニ於テ道路ト稱スルハ道路法第一條ニ依ル道路並一般交通ノ用ニ供スル道路及橋梁、渡船場、溝渠其ノ他ノ附屬物ヲ謂フ
 - 第二條 道路法第一條ノ道路以外ノ道路ニ於テハ本則ニ規定スルモノノ外道路取締令ノ規定ヲ遵守スヘシ
 - 第三條 道路ニ於テ牛馬諸車ニ依リ人ヲ殺傷シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキハ速ニ停車シ警察官吏ノ指揮ヲ受クヘシ
 - 第四條 道路ヲ通行スル者ハ警察官吏ノ信號ニ從フヘシ
 - 第五條 道路ニ於テハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
 - 一、木梗、石割、荷造其ノ他交通ノ妨害トナルヘキ作業ヲ爲サ、ルコト
 - 二、鹽リニ佇立シ又ハ彷徨セサルコト
 - 三、牛馬車其ノ他ノ諸車ヲ併行又ハ連繫セサルコト
- 但シ運轉不能トナリタル自動車ヲ牽引スル爲メ連繫スルハ此ノ限りニ在ラス
- 四、荷車ハ後押ノミニテ進行セサルコト

- 五、車輛二輛以上連續シテ進行スルトキハ後車ハ前車ニ對シ相當ノ距離ヲ保ツコト
- 六、牛馬諸車ハ市街地ニ在リテハ各其ノ車輛幅員ノ二倍半未滿ノ道路ヲ通行セサルコト
但シ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限リニ在ラス
- 七、牛馬諸車ハ已ムテ得サル場合ノ外交通頻繁ノ道路ニ於テ後退シテ方向ヲ轉換セサルコト
- 八、新聞雜誌其ノ他ノ印刷物ヲ朗讀又ハ放吟セサルコト
但シ警察官吏ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限リニ在ラス
- 九、蓋リニ奇異ノ行裝戲謔ノ言行ヲ爲サ、ルコト
- 十、塵埃、汚物ヲ投棄シ又ハ汚水ヲ撒布シ其ノ他不潔ノ行爲ヲ爲サ、ルコト
- 第六條 道路商人ハ市街地ニ在リテハ警察官署ノ指定シタル時間地域ノ外營業ヲ爲スコトヲ得ス但シ行商ヲ爲スハ此限リニ在ラス
- 道路商人ノ營業方法交通ヲ妨ケ公安ヲ害シ若ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルト認ムルトキハ警察官署ハ之ヲ制限スルコトアルヘシ

- 第七條 道路商ノ用ニ供スル屋臺店ハ長六尺幅三尺屋臺車ハ長八尺幅三尺ヲ超ユヘカラス
- 第八條 荷車ハ車輛右側踏易キ箇所ニ所有者ノ住所氏名及車輛ノ重量ヲ明記スヘシ
牛馬車ニ在リテハ前項ノ外所轄郡市役所ノ指示スル形狀ノ車輛記號番號札ヲ車輛部踏易キ箇所ニ掲出スヘシ
- 第九條 荷車ノ荷臺面積十四平方尺以上十八平方尺未滿ノモノハ之ヲ小車トス
小車ノ輪帶幅並積載量ハ左ノ制限ニ從フヘシ
一、輪帶幅一寸以上但シ牛馬ニヨリ輓クモノニ在リテハ一寸五分以上トス
二、積載量車輛ノ重量ヲ合セ七百二十貫但シ牛馬ニヨリ輓クモノニ在テハ二百貫迄トス
- 第十條 牛馬車ハ貨物積卸其ノ他已ムテ得サル場合ノ外道路ニ停車スルコトヲ得ス
- 第十一條 荷車ハ馭車臺ノ設備アルモノ、外乘馭スルコトヲ得ス
- 第十二條 狂躁其ノ他ノ惡癖若ハ疾病アル牛馬ヲシテ荷車ヲ輓カシムルコトヲ得ス
- 第十三條 滿十八歳以上ノ者ニ非サレハ牛馬車ヲ馭スルコトヲ得ス

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

- 第十四條 十五歳未滿ノ者ヲシテ牛馬車ノ索綱ヲ把ラシメ若ハ二十五貫以上ノ貨物ヲ積載シタル荷車ヲ輓カシメ又ハ十歳未滿ノ者ヲシテ貨物ヲ積載シタル荷車ヲ輓カシムルコトヲ得ス
- 第十五條 道路取締令第十六條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具スヘシ
一、貨物ノ品種又ハ名稱
二、容積又ハ重量
三、積載及運搬ノ方法
四、運搬ノ日時及通路
- 道路取締令第十六條ノ許可ヲ受ケタルトキハ運搬中其ノ許可證ヲ携帶シ又ハ携帶セシムヘシ
- 第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ日時場所、方法ヲ具シ出發地警察官署ノ許可ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 一、名義ノ如何ヲ問ハス多數人隊伍ヲ爲シ道路ヲ通行セムトスルトキ、但シ軍隊學生々徒葬列及之ニ類スルモノハ此ノ限リニ在ラス
- 二、市街地ニ於テ航空機又ハ自動車ニヨリ印刷物其ノ他ノ物ヲ撒布セムトスルトキ
- 三、市街地ノ道路ニ於テ徒歩競争ヲ爲サムトスルトキ
- 四、通行禁止又ハ制限ノ道路ヲ通行セムトスルトキ
- 五、道路ニ神輿、山車若ハ踊屋臺ノ類ヲ置キ又ハ之ヲ運行セムトスルトキ
- 六、道路ヲ經テ建造物ヲ移シ又ハ荷車ニ依ラスシテ交通ヲ妨ケヘキ長大ノ物件ヲ運搬セムトスルトキ
- 第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ日時、場所、方法又ハ期間若ハ構造設備ヲ具シ圖面ヲ添ヘ所轄警察官署ニ願出テ許可ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ但シ第三號乃至第五號ノ場合ニ於テ道路管理者ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限リニ在ラス
- 一、道路ニ看板、掲燈、日除ノ類ヲ突出セムトスルトキ但シ道路上八尺以上ノ高度ニ於テ二尺以内ヲ突出セシムル場合ハ此限リニ在ラス
- 二、道路又ハ道路ニ沿ヒ牛馬車ノ繫留場ヲ設置セムトスルトキ

- 三、一時工事ノ爲メ道路ニ竹木、土石、其ノ他工事ノ材料ヲ置キ若ハ板圍繩張足代ノ類ヲ設ケ又ハ道路ヲ掘鑿セムトスルトキ
- 四、一時道路ニ幕張店、葎張店ノ類ヲ設ケルトキ
- 五、祭典、縁日、賣出等ノ爲メ道路ニ轆杭、舞臺其他ノ飾物ヲ設ケルトキ
- 第十八條 道路占用ニ關シ道路管理者ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ前條第三號乃至第五號ニ該當スルトキハ其ノ占用開始前許可證寫ヲ添ヘ所轄警察官署ニ届出ツヘシ
- 第十九條 第十七條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ目的ノ爲メ道路又ハ其ノ附屬物ヲ損壞シタルトキハ速ニ原形ニ復スヘシ
- 第二十條 道路取締令第十六條又ハ本則第十六條第十七條ノ許可ヲ受ケタルモノト雖道路若ハ交通保全又ハ美觀風致保持ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ警察官署ハ行爲ノ停止物件ノ除去其ノ他必要ノ措置ヲ命スルコトアルヘシ
- 第二十一條 道路ニ沿ヒタル軒檐ニハ軒樋及懸樋又ハ之ニ代ルヘキ設備ヲ爲スヘシ但シ草葺屋根ハ此限リニ在ラス
- 第二十二條 道路ニ沿ヒタル店頭、屋根、物干、窓、手摺等ニ危險又ハ嫌惡ノ念ヲ惹起セシムヘキ物品ヲ陳列若ハ存置スヘカラス
- 第二十三條 第六條第一項、第八條、第十一條、第十五條第二項、第十八條、第二十一條、第二十二條ノ規定ニ違反シ又ハ第六條第二項ノ規定ニ基ク制限ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
- 第二十四條 第六條第二項ノ規定ニ基ク制限ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
- 第二十五條 左ニ掲ケル規則ハ之ヲ廢止ス

〔神奈川警〕

- 一、明治十七年甲第三十九號道路使用願ニ關スル件
- 二、明治二十二年縣令第二十一號街路取締規則

〔神奈川警〕

- 三、明治二十三年縣令第四十八號道路橋梁往來止メニ關スル件
- 四、明治三十三年縣令第七十四號荷車取締規則
- 五、明治三十九年縣令第七十一號街路取締規則施行區域ノ件

●道路取締令施行規則取扱手續

大正十年六月二十一日
訓令第四十四號

郡役所 市役所 町村役場 警察官署

道路取締令施行規則取扱手續

- 第一條 本手續ニ於テ取締令ト稱スルハ道路取締令規則ト稱スルハ道路取締令施行規則ヲ謂フ
- 第二條 郡市役所ハ荷車ノ檢印前ニ於テ取締令第十二條規則第八條第一項第九條ノ事項ヲ調査シ牛馬車ニ在リテハ規則第八條第二項ノ車輛記號番號札ヲ掲出セシムヘシ
- 第三條 規則第八條第二項ノ車輛番號ハ追次番號トシ番號札ハ長一尺幅四寸ノ金屬板黒地ニ白色ノ亞刺比亞數字ヲ以テ橫形ニ書シ記號ハ郡市ノ頭字ヲ以テスヘシ但シ橫須賀市ニ在リテハ「賀」足柄上郡及足柄下郡ニ在リテハ「上」及「下」トス
- 第四條 取締令第十六條ノ願出ニシテ積載量ヲ超過スルニ依ル場合ハ可成道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ
- 第五條 取締令第十六條又ハ規則第十六條ノ願出ヲ許可シタルトキハ關係警察官署ニ通報スヘシ
- 第六條 取締令第十八條第二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ警察部長ニ報告スヘシ
- 第七條 取締令第二十二條規則第二十條ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ詳細事由ヲ具シ警察部長ニ稟議スヘシ但シ緊急ヲ要スル場合ハ處分後報告スルコトヲ得
- 第八條 規則第十七條第三號乃至第五號ノ規定ニ基ク處分ハ三十日ヲ超ヘテ之ヲ爲スヘカラス
- 第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ道路管理者ハ管轄警察官署ノ意見ヲ徵スヘシ

- 一、道路占用ノ願出アリタルトキ但シ道路ノ法部占用ヲ除ク
 - 二、取締令第十七條ノ處分ヲ爲ストキ
 - 三、橋錢又ハ渡錢ヲ徴スル橋梁又ハ渡船場ノ願出アリタルトキ
 - 四、管理者カ道路ニ標燈、標識、樹木並ニ之ニ類スル工作物其ノ他ヲ設置若ハ植付クルトキ
 - 五、管理者カ道路ノ改築修繕若ハ維持ノ爲メ道路ニ其ノ材料置場ヲ設置シ又ハ一時材料ヲ置クトキ但シ直ニ道路ニ撒布スル爲メ土砂ヲ置ク場合ヲ除ク
- 第十條 道路管理者ハ道路ノ掃除撤水除雪其ノ他清潔方法ニ關スル計畫ヲ毎年四月末日迄ニ管轄警察官署ニ通報スヘシ但シ横濱市、横須賀市ヲ除ク外ハ之ヲ省略スルコトヲ得

●道路取締令施行規則取扱方ノ件

大正十年六月二十二日
西警保發第一〇六號

道路取締令施行規則六月二十一日付公布相成候處同則第六條ノ道路商地域指定ニ關シテハ左記ニ依リ取扱ヒ相成度依命此段及通牒候也

道テ道路管理者ニ對シテハ別紙ノ通り照會置候條申添候也 (別紙ハ別案ヲ添付ス)

道路商地域指定取扱方法

- 一、從來慣行アル地域ニシテ而カモ交通上多大ノ支障ナキ場所ニ限リ此ノ際特ニ指定スルコト
- 二、從來慣行アル地域ニシテ交通上多少ノ支障アル場所ト雖モ毎月數回ニ限ル縁日等ノ爲メ營業スル場所ハ其ノ當日ヲ限リ指定スルコト
- 三、花見期節納涼期節其ノ他之ニ類スル場合從來慣行アル地域ハ其ノ期間ヲ定メ交通上多大ノ支障ナキ限リ指定スルコト
- 四、從來慣行ナキ地域ハ絕對ニ之ヲ指定セサルコト但シ土地ノ狀況其ノ他特別ノ事情アル場合ハ稟議ノ上處分スルコト

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

五、道路商指定區域ハ道路管理者ト協商シ之ヲ決定シ適宜ノ方法ヲ以テ表示スルコト

道路商營業方法

- 一、出店ハ出幅三尺前幅九尺以内トスルコト
- 二、歩車道ノ區別アル道路ニアリテハ歩車道ノ境界上ニ沿ヒ車道ニ向ヒ出店セシムルコト但シ歩道ノ幅員二間以上ノ場所ニ在リテハ歩道ニ向ツテ出店スルコト
- 三、歩車道ノ區別ナキ道路ニ在リテハ地先ノ下水(下水ナキ道路ハ道路端)ニ沿ヒ道路ニ向ツテ出店スルコト
- 四、飲食物販賣又ハ商品ノ販賣若シクハ商品ノ説明ヲナシテ人寄セテ爲スモノニアリテハ特ニ場所ヲ指定スルコト

●道路取締令施行規則取扱方ノ件

大正十年六月二十二日
西警保發第一〇五號 警察部長

郡市町村長宛

道路取締令施行規則第六條ノ道路商ノ爲メ道路占用ノ許可並道路工事施行ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成度尙ホ本件ニ關シ警察官署長ニ對シ別紙ノ通り通牒セシメ候條御了知相成度此段及照會候也

道路商ノ爲メ道路占用ノ件

- 一、道路商ノ爲ニスル道路ノ占用ハ所轄警察官署ノ指定シタル地域内ニ限リ之ヲ許可セラレタシ
- 二、前項ノ許可ハ毎日占用スルモノニ在リテハ二週間又ハ一月毎ニ其ノ他ハ三ヶ月又ハ六ヶ月毎ニ占用ヲ更新セシメ而カモ許可ハ願書提出者中ヨリ抽籤其ノ他公平ナル方法ニ依リ可成同一人ニ獨占セシメサル様セラレタシ
- 三、占用許可ハ一人當リ七合五勺(出幅三尺前幅九尺)以内トシ同一人ニ數箇所ヲ許可セサル様セラレタシ

道路工事施行

- 一、長距離ニ亙ル工事ハ可成之ヲ數區ニ分割シ一區ノ竣成ヲ俟テ順次施行セラレタシ
- 二、道路ノ全幅ニ亙ル工事ハ可成片側ヨリ施行シ一方ニ於テ車馬通行ノ餘地ヲ存セシムル様セラレタシ
- 三、一旦工事ニ著手シタルトキハ猶豫ナク速ニ工事ヲ竣成セシムル様セラレタシ

- 四、工事ノ用材並掘鑿シタル土石等ヲ亂雜ニ放棄シ又ハ消火栓ヲ閉塞セサル様セラレタシ
- 五、工事終了シタルトキハ殘餘ノ材料ハ直ニ取片附テ爲シ掘鑿シタル道路面ハ速ニ原形ニ復セラレタシ
- 六、道路修繕ノ爲メ運搬セル土砂ハ道路上ニ貯溜セス可成速ニ之ヲ撤布セラレタシ
- 七、道路工事ノ爲メ道路ヲ掘鑿シタルトキハ其ノ周圍ニ堅牢ナル防圍ヲ設ケ夜間ハ燈火ヲ點スル等危險豫防ノ裝置ヲ爲スコト

●道路取締令第十六條ニ依ル出願許可ニ關スル件

大正十二年四月二十七日
保收第三五九三號

道路取締令第十六條ノ願出ニシテ積載量ヲ超過スルニ依ル場合ハ可成道路管理者ノ意見ヲ徵スヘキコトニ訓令相成居候處往右手續ヲ履行セス許可セラレル向アリ爲ニ交通上支障ヲ醸シタル事實有之候ニ付テハ將來此ノ點ニ關シ一層御留意相成度シ

●道路工事施行ニ關スル件

大正十三年三月二十五日
保發第一〇八號

本月二十日縣下警察官署長會議ニ於テ御申出テアリタル標題ノ件ニ關シ本日附テ以テ內務部長ヘ左記ノ通り照會致置候條御了知相成度依命此段及通牒候也

記

道路工事施行ニ關スル件 (大正十三年三月二十五日十三、保收第一〇八號)

各警察官署ノ交通保全計劃並ニ交通取締上必要ニ付道路管理者カ道路掘鑿其ノ他道路ニ關スル工事施行ノ際ハ其ノ施行前ニ豫メ工事ノ方法、場所、期間等ヲ關係警察官署ニ御通報相成候様致度此段及照會候也
追而本文ノ趣縣下各市町村長ニ御示達相煩度申添候也

●畜力利用取締方ニ關スル件

大正十年六月二十八日
西產農發第二〇二號內務警察產業部長

各警察署長宛

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

道路取締令施行規則發布相成一般周知方ニ就テハ御配慮中トハ存シ候得共近時畜力利用ノ趣旨ヲ以テ農用手車ニ畜牛ヲ附シ曳ニ供用スルコトヲ獎勵シタル結果漸次増加ノ狀況ニ付之等當業者ニ對シ特ニ遵守セシムヘキ事項別紙ノ通り各郡市長宛照會致置候條御打合セノ上取締上齟齬スルカ如キコト無之様御留意相成度此段及照會候也

(別紙)

畜力利用者注意事項

- 一、荷車ノ荷臺面積十四平方尺未滿ノ手車ニ牛馬ヲ利用スルハ從前ト異ナルコトナシ但シ積載量ハ車輛ノ重量ヲ合セ百二十貫迄トス
- 二、荷車ノ荷臺面積十四平方尺以上十八平方尺未滿ノモノ(道路取締令施行規則第九條)ハ輪帶幅並積載量ハ左ノ制限ニ從フコト
 - (イ) 輪帶幅 一寸五分以上トス(牛馬ヲ附セサル小車ハ一寸以上)
 - (ロ) 積載量 車輛ノ重量ヲ合セ二百貫トス(牛馬ヲ附セサル小車百二十貫迄トス)
- 三、荷車ノ荷臺面積十八平方尺以上又ハ積載量貳百貫以上ノモノハ牛車又ハ馬車ノ規定ニ從フコト(牛車ノ輪帶幅三寸五分以上馬車同三寸以上其ノ他ハ道路取締令ノ規定ニ依ル)
- 四、荷臺ニ人ヲ乗セ又ハ乗取セサルコト
- 五、責任者ト同行スル場合ノ外十八歳未滿ノ者又ハ老弱ノ者ハ手車ニ牛馬ヲ裝セサルコト但シ特別ノ設備ヲ爲シ牛馬ヲ供用セントスルトキハ警察官吏ノ承認ヲ受クルコト
- 六、狂躁恐怖其他惡癖若クハ疾病アル牛馬ヲ使用セサルコト
- 七、道路又ハ道路ニ沿ヒ牛馬又ハ手車ノ繫留場ヲ設置セントスルトキハ道路取締令施行規則第十七條ニ準シ警察官署ノ許可ヲ受クルコト但シ道路ニ繫留場ヲ設置スル場合ハ道路管理者ノ許可ヲモ受クルコト

●荷車取締ニ關スル件

大正十一年九月二十八日
成內士第四二五號內務部長警察部長

各署長、土木派出所主事宛

大正十年一月一日ヨリ施行相成タル道路取締令第十二條ノ荷車輪帶幅ノ制限ハ同令附則ニ依リ大正十五年十二月三

十一日迄猶豫セラレ居候得共右ハ本令施行ノ際現ニ使用スルモノニ限ラレ新規調製ノモノハ全然第十二條ノ制限ニ據ラサルヘカラサル精神ニ有之候ニモ不拘往々ニシテ其ノ見解ヲ異ニシ取扱區々ニ渉ル傾向アルカ故ニ荷車營業者ニ於テハ將來ノ得失ニ顧慮スル處ナク間々之ヲ奇貨トシ其取扱緩ナル方面ニ於テ鑑札ヲ受ケ以テ之レヲ他ノ方面ニ使用セムトスル者アルヤノ間ヘ有之候之等ハ税金關係等ニ匪貽スル一現象ナリトスルモ道路ノ管理交通ノ取締稅務ノ整理等ヨリ延テハ荷車營業者自體ノ利害ニ少ナラサル影響ヲ及ホス義ニ付爾來新規調製者ハ無論修繕車等ニ對シテモ懇々注意ヲ施シ兩々相待テ法ノ精神ニ副ヘ違算ナキ様取締有之度依命此段及通課候也

● 不合格荷車取締方ノ件

大正十四年三月四日
財市定丙第一三三七號橫濱市役所

保安課宛

荷積牛馬車荷積車等ニシテ大正九年十二月内務省令第十五號及大正十年六月神奈川縣令第八十二號ニ據ル輪帶幅不合格無檢印ノ車輛ニ對シテハ從來御取締相成候事ト存シ候モ爾今當所ニ於テ檢査ノ際發見シタル場合ハ其ノ都度別紙様式ニ依リ通報可致候條相當御取締方御配慮相成度及依願候也

左記

財市定 第 號
大正 年 月 日

橫濱市役所

神奈川縣警察部保安課御中

左記車輛ハ當所ニ於テ檢査ノ結果輪帶幅不合格ニ付及通知候也

種別	輪帶幅	輛數	住	所	氏	名	摘	要

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

● 道路ニ關スル工事取締ニ關スル件

大正十一年七月二十六日
内務省發士第八七號内務省土木局長通課

道路ニ關スル工事ハ管理者ニ於テ執行スルト其ノ他ノ者ニ於テ管理者ノ許可承認ヲ受ケ之ヲ執行スルト同ハス其ノ施行ニ當リテハ力メテ道路交通上ニ支障ヲ生セザラシムヘキハ勿論ノ義ニ有之候處往往右ノ趣旨ニ副ハサルモノ有之道路利用上遺憾少カラサルニ付自今左記要項ニ依リ措置相成候様致度尙此ノ旨管下道路管理者ニモ御通達相成度

記

- 一、各起業者カ道路ノ同一箇所ニ於テ各自各別ニ工事ヲ施行スルカ如キコトナキ様豫メ計劃ヲ定メ協定ノ上同時ニ施行スルコト
- 二、道路ノ掘鑿ハ作業上支障ナキ限り可成其ノ範圍ヲ狭少ナラシメ且ツ同時ニ長區間ニ互リ施行セサルコト尙其ノ工事ハ成ルヘク之ヲ敏速ナラシムルコト
- 三、道路ヲ横斷シテ掘鑿スル場合ハ一側ノ掘鑿ヲ終リ之ニ完全ナル棧橋ヲ架設シタル後他側ノ掘鑿ヲ爲スコト但シ二部ニ分テ施工シ能ハサルトキハ夜間交通杜絶シタル後ニ於テ日日出前迄ニ棧橋ヲ架設スルコト
- 四、人家ノ軒先ニ接近シテ道路ヲ掘鑿スル場合ハ居住者ノ出入ヲ妨ケサル様棧橋ヲ架設スルコト
- 五、掘鑿土砂ハ交通ニ支障ナキ場所ニ搬出シ掘坑附近ニハ成ルヘク之ヲ堆積シ置カサルコト
- 六、掘坑ノ周圍ハ勿論掘鑿土砂又ハ工所用物品ヲ置キタル箇所ニハ通行人ニ危険ヲ及ホササル様構其ノ他ノ設備ヲ爲シ且ツ夜間ハ注意燈ヲ點スルコト
- 七、市内ノ主要ナル道路其ノ他交通頻繁ナル道路ニ於テ工事ヲ執行スルニ當リテハ其ノ工事施行箇所ニ工事施行期間及起業者名(起業者カ府縣又ハ市ナルトキハ其ノ工事ヲ擔當スル部局名)ヲ榜示セシムルコト尙請負者ヲシテ工事ヲ執行セシムルトキハ請負者名ヲモ併記セシムルコト
- 八、道路ノ掘坑ハ成ルヘク速ニ埋戻ヲ爲スコト
- 九、道路埋戻ノ際ハ舊道路ノ交通ト同等以上ニ復舊スルコト但シ特別ナル工法ヲ以テ鋪裝セル道路ノ路面工事ハ

起業者ノ負擔ニ於テ道路管理者之ヲ施行スルコト

●道路取締令ニ關スル件

大正九年十二月二十三日 內務省警發第三五八號警保局長通牒

本月十六日ヲ以テ公布相成候道路取締令ノ義來ル大正十年一月一日ヨリ施行相成候處右實施ノ機會ニ於テ取締令規定條項中日常遵守スヘキ事項ヲ一般民衆ニ普ク了解セシメ義務ノ觀念ヲ厚カラシムルニ努メ交通ノ危險ヲ防止シ安全ヲ圖ルニ備フルハ時宜ニ適シタル措置ト被存候尤モ此ノ邊ニ付テハ從來適應ニ御計劃相成居候義ニ有之候得共此際更ニ普及宣傳ヲ圖リ候義ハ適當ノ機會ト存候間特ニ御配慮ノ上當省令及貴廳交通取締規則中最モ主要ナル事項ヲ平易ニ摘録印刷シ貴管下都會地ニ於ケル學校、工場、諸興行場、料理屋、飲食店、浴場、理髮店等公衆ノ頻々出入ノ場所其ノ他一般ノ注意ヲ惹起スヘシト認メラルル場所ニ配付若ハ揭示方御取計相成候度尙自動車、自轉車等ヲ運轉操縱シ若シクハ使用候者ニ對シテハ取締令ノ趣旨御示達ノ上充分之ヲ遵守スルニ從順ナラシメ違反行爲ヲ遂行スルコトナキヲ期シ度又一面ニ於テ青年會、衛生會等ノ多衆會同ノ機會ヲ利用シ時々警察官吏ヲシテ交通取締上必要ノ事項ヲ反覆説述シテ宣傳ニ努メシメ民衆ヲシテ交通上ニ於ケル紀律節制ヲ重シスルノ習慣ヲ馴致セシメラレ度申付進候迄モ無之義ニハ候得共本件取締令ノ任ニ當リ候警察官吏ニシテ道路ノ通行等ニ當リ規則ノ條項ニ背反スルノ舉措ニ出ツル様ノコト有之候テハ一般民衆ニ於テ面白カラサル感想ヲ惹起シ執行上ニ及ホスノ影響モ可尠少被存候間取締令ノ任ニ在ルモノニ於テモ充分取締規則ノ規則ヲ體得シ以テ範ナ一般ニ示シ相俟ツテ交通警察ノ目的ヲ達成候様貴部下ニ御示達相煩度右申進候也

追而本件ハ各地交通事故ノ日常頻々發生スルニ願ミ交通ノ保全ヲ圖ルノ豫防警察上極メテ緊要ナルヲ認メ道路取締令ノ施行ヲ機トシ交通上ニ於ケル義務ノ觀念ヲ一般民衆ニ注入シテ充分自覺ヲ促シ警察取締令相俟テ良好ナル習慣ヲ慣致スルノ趣旨ニ外ナラサル義ニ有之候間前項申進候方法ヲ實行シテ普及宣傳ヲ圖ルト共ニ一面相當ノ時機御見計ノ上時々一定ノ期間及場所ヲ限リ警察官吏ヲシテ交通整理ニ當ラシメラレ度尙本件ノ執行ニ當リ候警察官吏中如上ノ趣旨ヲ充分了得セシ執行苛酷ニ涉リ候様ノ事有之候テハ徒ラニ民衆ノ反感ヲ來シ初期ノ目的ヲ達スル能ハサルノ結果ヲ生スヘク懸念被致候間此邊周到ニ御示達相成候度候

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

〔別紙〕

道路ヲ通行スルニ付心懸クヘキコト

- 一、道路ニテハ左側ヲ通ルコト
- 二、歩道ト車馬道ノ區別アル所テハ其ノ區別ニ從ツテ通ルコト
- 三、歩道ト車馬道トノ區別ナキ所テハ人ハ道路ノ左端ニ近ク通ルコト
- 四、隊伍、神輿、葬列其ノ他ノ行列ハ車道ヲ通ルコト
- 五、小兒車ハ車道ヲ通ルコト
- 六、道路ヲ行進フトキニハ互ニ左ニ避ケルコト
- 七、道路ヲ追越ストキニハ合圖シテ前ノ者ノ左ニヨケルヲ待チ右側ヲ通ルコト
- 八、消防車、郵便車、傷病者ノ運搬車、神輿、葬列ニ對シテハ常ニ左ニヨケルコト
- 九、電車ノ停留場ニ安全地帯ナキ處テハ可成通行ノ妨害トナラヌ様ニシテ電車ヲ待合スコト
- 十、電車ノ駐ツテ居ル處ヲ車馬ヲ進メルニハ乗客ニ危險ナキ様ニ心懸クテ徐行スルコト若シ乗降客ノ込合ツテ居ル際ニハ一時駐マルコト
- 十一、馬力車ヲ進メル者カ道路ノ交叉點ヲ曲角ヲ道路ヲ横切ルトキニハ合圖ヲナシツツ左圖ノ様ニシテ通ルコト

1. 道路ノ左側ヨリ右側ニ移ラントスルトキ

2. 道路ヲ右ニ折レントスルトキ



3. 道路ヲ左ニ折レントスルトキ



4. 道路ニテ交通巡查ノ合圖ニヨリ車馬ノ進行チ一時駐ムル時ニハ道幅ヲ十分殘シテ手前ニトマルコト



- 十二、牛馬車カ雜沓ノ場所ヲ通ル時ハ合圖ヲ爲シツツ徐行スルコト
- 十三、夜間牛馬車ヲ進ムルニハ燈火ヲツケルコト
- 十四、往來テ乘馬、自轉車ナトノ積古ハセヌコト
- 十五、往來テ燈火、空氣銃、吹矢ナトヲ弄シタリ石投ケ、球投ケナト危險ナコトヲセヌコト
- 十六、往來テ子供ニ遊戯ヲサセタリ附添人ナキ幼兒ヲ獨リ歩キサセヌコト
- 十七、以上ハ重ナルコトナルカ尙其ノ他ノ道路ノ取締規則ニ掲ケテアルコトヲ守ルコト

●道路取締ニ關スル件

大正九年十二月二十七日
發警第九八號警保、土木兩局長通牒

道路取締令今般公布相成候處右ハ主トシテ從來廳府縣令ヲ以テ規定相成居候交通取締ニ關スル諸規則中各地大體ニ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

於テ其ノ規定ノ内容ヲ同フスルモノヲ統一シタル者ニ有之交通取締ニ付テハ平素ニ於テ充分御配慮相成居候義ニ有之候得共道路法實施ニ伴ヒ各般ノ施設著々計劃ノ折柄一般民衆ヲシテ交通上ニ於ケル紀律節制ヲ重ニスルノ良風ヲ馴致セシメ危險ヲ防止シ交通ノ安全ヲ圖ルハ一層緊切ナルヲ認メ候間本件ノ趣旨直接執行ノ任ニ當リ候貴部下ヘ周到御示達ノ上貴管下一般ニ本令周知ノ方法ヲ講セシメ土地ノ狀況ヲ參酌考量シテ適應ニ措置シ本令ノ規定條項ヲ遵守シテ違反ナカラシムルニ努メシメラレ度尙本令ノ施行ニ付左記御參考迄申進候

記

- 一、道路ノ左側通行其ノ他ニ付テハ陸軍官憲ニ於テモ交通保全上本令發布ノ精神ニ基キ軍事上ノ行動ニ支障ナキ範圍ニ於テ之ヲ遵守スヘキ旨陸軍一般ヘ通牒相成候ニ付仰承相成度尙第一條ハ道路狀況又ハ交通ノ狀態ニ依リテハ左側通行ニ依ル能ハサル場合モ可有之旁々之ニ違反者ニ對シ科罰ヲ以テ臨ムハ苛察ニ失スルノ嫌アルニ依リ省令中制裁ヲ附セサル事ニ爲シタル次第ニ有之候條本趣旨ニ從ヒ執行ノ任ニ當ル者ヲシテ左側通行ノ榜示ニ違反シタリトノ事由ヲ以テ警察犯處罰令ニ依リ處罰候條ノコトナカラシメ一ニ取締上ノ運用ニ依リ左側通行ヲ勵行シ之カ習慣ヲ馴致スルニ努メラレタシ
- 二、第三條第三項ハ人馬諸車等雜沓輻輳ノ場所ニ於テ一定ノ區域内ニ於テ車道ヲ橫斷シ得ヘキ場所ヲ指定シ其ノ以外ハ一般ノ橫斷ヲ禁止シテ交通上ノ危險ヲ防止シ安全ヲ圖ルト共一面ニ於テハ車馬ノ行進ヲ容易ナラシムルノ趣旨ニ出テタルモノナルヲ以テ本件ノ指定ニ付テハ便宜ノ方法ニ依リ御措置相成度候
- 三、第七條第三項牛馬諸車等道路ノ交叉セル場所ヲ右折スル場合ニ於テハ廳府縣令中右折ハ大廻ノ規定ニ相成居候得共實行上的確ヲ期スル能ハサルニ鑑ミ本條ニ於テハ之カ方法ヲ指示シ牛馬諸車等右折セントスル場合ニ於テハ道路ノ中央地點ヲ橫切リタル後右方ニ轉向セシムルコトト爲シタルモノニ有之候
- 四、第八條第一項牛馬諸車等夜間通行ノ場合燈火ヲ用キシムルノ規定ハ職務上平素之ヲ用キサルヲ例トスル陸軍軍人ノ乘馬等ノ場合ニハ適用ナキモノナルニ依リ執行上誤リナキ様致度候
- 五、第十一條第二項ハ牛馬諸車等道路ニ駐ムル場合ハ左側端ニ於テ之ヲ爲サシメ其ノ車體等チ一般通行スル者ノ行進スル方向ニ置カシメ交通上ノ障害ナカラシメムトスルモノニシテ例ヘハ道路ノ左側チ南向行進セルモノカ右側ノ某地點ニ駐止セント欲スル時ハ先ツ其ノ左側對向點ヲ通過シタル後道路ヲ橫切リ更ニ北向ニ轉換

行通シ此ノ新方向ニ於ケル道路ノ左側端ニ駐止セシムルノ趣旨ニ出テタルモノナルヲ以テ交通事務又ハ警備ノ警察官吏ヲシテ特ニ注意セシメラレ度候

六、第十二條ニ規定セル荷車輪帶幅ノ制限ハ全國之ヲ統一スルノ必要ヲ認メタルニ因レモノナルヲ以テ其ノ現ニ使用スル荷車ノ輪帶幅ニシテ本條ノ制限ニ適合セサルモノハ附則ノ規定ニ依リ大正十五年末迄六箇年間ヲ限リ之ヲ使用シ得ルコトト爲シ本令施行後新ニ調製スルモノハ總テ本令ノ制限ニ從ハシムルノ趣旨ニ有之本件ハ道路保全ノ維持ニ及ホスノ影響少カラズ且交通取締上ニモ關係ヲ有スル義ニ付事實已ムヲ得サルモノノ外ハ努メテ本令ノ制限ニ據ラシメ度從テ第十五條ノ規定ニ基キ土地ノ狀況其ノ他ノ事由ニ依リ本令ニ規定スル輪帶幅ノ最少限ニ滿タサル輪帶幅ニ依ラシムル外致方無之場合ヲ除クノ外本令ト異ナリタル規定ヲ設ケラレサル様致度候

七、第十三條ニ規定セル荷車ノ積載量ハ第十二條ノ輪帶幅ノ制限ニ依ル車輪ヲ考慮シ一人挽一頭立ノ場合ヲ規定シタルモノナルヲ以テ第十五條ノ規定ニ依リ之ト異ナリタル規定ヲ設ケラレル場合ニ於テモ之ニ準據シ且積載量ノ制限超過ハ人又ハ牛馬等動物ノ虐待ト相關スルニ依リ此ノ邊御考慮ノ上規定上竝取締上相當御注意相成度候

八、路面ノ耐力ハ道路ノ構造路面ニ及ホス荷重ノ影響ハ車輛ノ構造、荷重ノ重量、荷積ノ具合等ニ關シ各異同アルヲ免レスト雖モ各道ニ於ケル運輸ノ共通ハ交通上極メテ緊要ノ事ニ屬スルヲ以テ第十二條第一項及第十三條ノ規定ニ在リテハ路面ノ耐力ハ輪帶幅一寸ニ付五十貫内外、二輪車ノ車輪及四輪車ノ後輪ノ直徑ハ二尺ヲ標準トシ行進四輪車ノ方向轉換ノ難易ヲ考慮シ輪帶幅及積載量ヲ一定シタルモノナルヲ以テ前二項ノ趣旨ニ依リ本令ト異ナリタル規定ヲ設ケル場合ニ於テ車輛ノ直徑ト輪帶幅トヲ變更セントスル時ハ兩者ノ相乘積ヲ定數タラシメ又同時ニ積載量ヲ變更セントスル時ハ四輪車ノ後車輪ハ總荷量ノ三分ノ二乃至四分ノ三ヲ分擔スルモノトシテ計算シ常ニ路面ノ保持ノ有利ニシテ端數ナキモノヲ採ラレ度尙此ノ場合ニ於テハ隣接府縣ト克ク協調ヲ遂ケ相互運輸ノ共通ヲ圖ル様御注意相成度候

九、第十七條ノ道路工事ニ關シ管理者ニ於テ道路ノ通行ヲ禁止シ制限スル場合ハ豫メ警察官署ト照覆シ措置セシメラレ度又第十八條第一項ニ依リ地方長官ニ於テ道路ノ通行ヲ禁止若シクハ制限ヲ爲スニ當リ其ノ長期ニ涉

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

ル場合ハ管理者ニ對シ豫メ知照セラレ度候

十、現行廳府縣令中本省令ニ規定スル條項ニ概觸セルモノニシテ本省令ノ趣旨ニ副ハサルモノ有之候ハハ相當整理ヲ行ハレ殊ニ罰則ニ付テハ科罰上均衡ヲ失スルコト無之様御措置相成度候

十一、荷車ノ積載量、積荷ノ容積ノ制限ヲ超ユルモノニシテ分割スヘカラサルモノニ付從前ノ規定ニ依リ警察官署ノ許可ヲ與ヘタルモノニシテ本令施行後ニ互ルモノニ付テハ彼は煩累ヲ重ホシメサル様便宜措置セシメラレ度候

十二、道路占用ノ許否ハ道路法第二十八條ノ規定ニ依リ道路管理者ノ權限ニ屬シタリト雖モ交通取締上ノ目的ニ依リ更ニ當該取締官憲ノ許否ヲ受ケシムルノ權限ヲ排除シタルモノニ無之ヲ以テ相當規定ヲ設ケ取締上ノ必要ニ應スルハ妨ケナキ所ニ有之候得共斯クテハ民衆ヲシテ管理者及當該取締官憲ノ許可ヲ重複ニ受ケシムルノ結果ヲ生シ彼是煩累ニ涉ルヘキヲ以テ省令中別ニ之レカ規定ヲ爲サザリシ次第ニ有之從ツテ地方ノ實情ニ徴シ交通取締上必要已ムヲ得サルニ於テハ本令第三十一條ニ基キ廳府縣令ヲ以テ當該取締官憲ノ許可ヲ受ケシムルノ規定ヲ爲シ得ヘキ義ニ付可然御措置相成度尙本件道路占用ノ許可ニ付テハ管理者當該取締官憲ノ何レニ於テスルチ間ハス相互照覆ノ上處理候様致度候

●道路取締令執行ニ關スル件

大正十年一月十四日 西警保發第九號

道路取締令ノ施行ニ關シ左記事項御了知相成度依命此段通牒候也

記

- 一、道路ノ左側通行其ノ他ニ付テハ陸軍官憲ニ於テモ交通保全上取締令發布ノ精神ニ基キ軍事上ノ行動ニ支障ナキ範圍内ニ於テ之ヲ遵守スヘキ旨陸軍次官ヨリ陸軍一般ニ通牒シアルヲ以テ此ノ旨心得ラレタシ
- 二、取締令第八條第一項牛馬諸車等夜間通行ノ場合燈火ヲ用ヒシムル規定ハ職務上平素之ヲ用ヒサルヲ例トスル陸軍軍人乘馬等ノ場合ニハ適用ナキモノナルニ依リ執行上誤リナキ様注意アリタシ 以上

●陸軍一般へ通牒

大正九年十二月十六日 陸普第五五七四號

今般内務省令第四十五號ヲ以テ道路取締令發布相成候處軍事上ノ要求ニ基ク軍用車輛ノ制式、軍隊ノ行動等ハ素ヨリ本令ノ拘束ヲ受クヘキ筋合ニ無之候得共軍事上支障ナキ範圍ニ於テハ本令發布ノ精神ニ基キ之ヲ遵守スヘキコト勿論ノ義ト承知相成度依命及通牒候也

●軍隊並砲車輜重車ニ對シ一般ノ車馬途上避讓方

明治十八年二月十二日
陸軍省達乙第二十二號

途上ニ於テ軍隊並砲車輜重車ト一般ノ車馬ト行逢フ時避讓方ノ儀ニ付内務卿ヨリ別紙之通各地方ヘ及訓示候趣申來候間爲心得此旨相達候事

警視廳各府縣 東京府
ヲ除ク

(別紙)

途上ニ於テ車馬行逢フ時ハ互ニ左方ヘ避讓スヘキ旨各地方ニ於テ規定有之候處今般陸軍卿ヨリ照會ノ旨モ有之ニ付軍隊並砲車輜重車ニ行逢フタル時ニ限り右方ヘ避讓スヘキ様管下ヘ告示スヘシ此旨及訓示候也

但一般車馬互ニ左方ヘ避讓スヘキ規則ト相抵觸セサル様致スヘシ

明治十八年一月二十七日

内務卿伯爵山縣有朋

●橋船渡場取締規則

明治十四年十二月十四日
布達甲第二百四十二號

改正 明治三十四年四月縣令第三〇號

橋船渡場取締規則別冊ノ通改定來ル明治十五年一月一日ヨリ施行候條此旨布達候事
但明治十二年十二月 甲第二百二十號同十三年四月甲第六十九號布達ハ同日限リ廢止トス

(別冊)

船渡場取締規則

第一條 橋梁ヲ架シ又ハ船渡徒步越等ノ業ヲ開キ其賃錢ヲ領收スル渡場ハ必ラス此ノ規則ヲ遵守スヘシ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第二條 渡場ニハ此ノ規則並ニ賃錢表ヲ行旅ノ見易キ場所ヘ揭示スヘシ其渡場懸隔ノ場所ニ於テ賃錢ヲ領收スルモノハ其領收所ヘモ之ヲ揭示スヘシ

但賃錢表揭示牌ニハ必ラス縣廳ノ檢印ヲ受クヘシ

第三條 賃錢表揭示牌水火盜難毀等ニ係ハル節ハ更ニ之ヲ調製シ其事由ヲ詳記シタル書面ヲ添ヘ速ニ書換ヘ檢印ヲ出願スヘシ

但本條ノ場合ニ於テハ其事由ヲ記シ假ニ賃錢表ヲ揭示シ置クヘシ

第四條 持場巡同ノ警部巡查及ヒ軍隊隊伍ヲ粗ミ行進ノ節ヲ除クノ外何人ニ依ラス賃錢揭示牌ニ記載シアル賃錢ヲ其通行ノ都度收入シ得ルト雖モ酒手等無謂種々ノ名義ヲ作爲シ賃錢外ノ金錢ヲ請求スルヲ得ス

第五條 總テ賃錢受取方ハ可成速ニシ夫レカタメ時間ヲ費サシムヘカラス

第六條 湯水等ノ節故ラニ人馬ノ步涉ヲ拒ミ強テ橋船等ニ據ラシムルカ如キ所爲アル可カラス

第七條 定額ノ賃錢ヲ受取りタル上ハ假令一人タリトモ速ニ越渡ヲ爲ス可シ多人數ニイタル迄行旅ヲ留メ置クヘカラス

第八條 渡津ノ水際ニハ尺度ヲ盛リタル水量杭ヲ建設シ豫テ平水ヨリ川止ニ至ル迄ノ水量ヲ明瞭ニ記載シ置キ自他ノ標識ニ便ナラシムヘシ

第九條 出水又ハ暴風雨ノ節ハ其度ヲ量リ通行ヲ止メ旅客ヲシテ危險ニ陥ラシム可カラス

第十條 此規則ニ違背スルモノハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ拾錢以上壹圓以下ノ料料ニ處ス

●渡津橋梁開設出願書式

明治十三年五月十日
布達甲第八十六號

橋梁ヲ架シ又ハ渡津ヲ開クノ業ヲ爲サントスル者出願心得方ニ付明治十二年十二月 甲第貳百貳拾壹號ヲ以布達及ヒ置候處今般出願書式左ノ通り相定候條自今右ニ準據可致此旨布達候事

渡津橋梁開設出願書式
(本、假、橋梁渡)又ハ(渡船)(徒步越)開設願

何國何郡區何町村何々河川又ハ湖海

第二編 保安 第四章 交通

橋幅及橋長

一川幅 何百何十間(海路ノ渡船ニアツテハ其凡ソノ里數ヲ海里ニ據テ記ス可シ)

航路

右ハ何國何郡(區)何町村ヨリ何國何郡(區)何町村ヲ經テ何々地ニ達スヘキ何々街道又ハ何々道 數所ニ達スヘキ地筋ヲ主記ニ係ル(河)(川)(湖)(海)ニ候處何々其架橋又ハ渡津ノ開設ヲ要スニ付(架橋)(渡船)(徒步越)ノ業(私共)町村協力(私費)ヲ以開設ノ上右入費償却ノ爲メ別紙ノ通り(渡津)請求仕度(尤モ從來架橋渡船徒步越等ノ候間御許可被成下度別紙 架橋ナラハ仕様及方法書渡津ナラハ船ノ大小渡津ノ方法等郡ヲ十二相添此段奉願候也)年本縣甲第貳百貳拾壹號布達ニ示シタル箇條ヲ洩ナク列記シタル者

何國何郡(區)何町村
何拾何番地
又ハ
惣代人
何 之 誰印
何 之 誰印
何 之 誰印
何 之 誰印

年月日

(戸長)

何 之 誰印

神奈川(縣令)某殿

一本文登町村若シクハ數町村組合願スル者ハ壹町村ニ三名以上ノ者連署スヘシ又渡津所在地元町村外ノ者若シクハ一個人ヨリ出願セントスル者ハ必ラス本項ニ準シ其地元町村惣代人ノ連署ヲ要ス可シ
一同河川又ハ湖海ニテ近傍ノ土地ニ賃錢ヲ要スル架橋又ハ渡津アルモノハ其許可ヲ得タル者若シクハ町村惣代人ノ連署ヲ要スヘキ事
一(戸長)ハ架橋若シクハ渡津ヲ要スル地元及出願ノ町村又ハ出願人ノ居住地共皆ナ連署スヘキ事

(神奈川縣)

(神奈川縣)

道路橋梁河川港灣等通行錢徵收ノ件

明治四年十二月十四日
太政官布告

治水修路ノ儀ハ地方ノ要務ニシテ物産蕃盛庶民殷富ノ基本ニ付府縣管下ニ於テ有志ノ者共自費或ハ會社ヲ結ヒ水行ヲ疏シ險路ヲ開キ橋梁ヲ架スル等諸般運輸ノ便利ヲ興シ候者ハ落成ノ上功費ノ多寡ニ應ジ年限ヲ定メ税金取立方被差許候間地方官ニ於テ此旨相心得右等ノ儀願出候者有之節ハ其地ノ民情ヲ詳察シ利害得失ヲ考ヘ入費税金ノ制限等篤ト取調大藏省ヘ可申出事
但本文ノ趣管内無洩可相違事

渡船場へ一人タリトモ出船ノ儀揭示セシム

明治六年五月七日
大藏省達第七十五號

府縣

諸道川々渡船場ノ儀ハ至當ノ賃錢ヲ請取越立候儀ニ付警覺人タリ共速ニ可越立ハ當然ニ候處多人數ニオヨヒ候迄行旅ヲ留置候弊習有之趣相聞以ノ外ノ儀ニ付以來一人タリ共早々出船候様川場ヘ揭示可致置候事

道路橋梁河川港灣等通行錢徵收ニ關スル命令書下附ノ件

明治十七年九月十七日
第一四六號內務省土木局長通牒

人民一己若ハ組合、會社等ノ資金ヲ以テ道路橋梁港灣渡津等ヲ新築又ハ修築シ其ノ費目ヲ償却スル爲メ通行ノ人馬車或ハ出入ノ船舶貨物ヨリ道錢、橋錢、渡船賃等ヲ收入センコトヲ出願シ本省ヘ御稟申ノ節ハ該事業ノ設計工法圖書及繪圖並償却金仕譯書ニ本人若クハ組合、會社財產ノ圖書ヲ添ヘ爲差出御座ニ於テハ地元並關係町村ニ於テ故障ナキ旨ヲ證明セラレ別紙ノ雛形ニ依リ尙實地ニ就キ篤ト取捨斟酌シ願人ヲシテ遵守セシムヘキ命令書案ヲ製シ御差出有之度此段及通牒候也

(別紙)

道路開設(或ハ何々)ニ付免許命令書

- 第一條 何府下何國何郡何町何村迄(或ハ何國何郡何町何村迄)私費ヲ以テ新道ヲ開設スルニ付(或ハ何々ニ付キ)免許人ハ左ノ各條ヲ遵守スヘシ
- 第二條 免許人ハ總テ管廳ノ許可シタル設計及工法ニ從ヒ成工セシムヘシ
- 第三條 免許人ハ實地起業ノ前日迄身元保證トシテ凡工費豫算總額ノ幾分一二十分一以上十分一迄工事ニ當ル金額(國立銀行ノ預手形)若ハ此ノ金額ニ相當スル公債證書ヲ管廳ニ差出ス可シ管廳ハ工業竣功検査済ノ後之ヲ還付スヘシ
- 第四條 該事業ハ免許ヲ得タル後何ヶ月内ニ起工シ其起工シタル月ヨリ何ヶ月以内ニ竣工セシムヘシ
- 第五條 管廳ハ工事ヲ監督スルニ當リ實地ノ利害ニ因リ設計及工法ノ變更ヲ命スルコトアル可シ之レカ爲メ豫算金額十分一迄増費ヲ要スルモ免許人ハ其工事ノ變更ヲ拒ムヲ得ス
- 第六條 免許人免許ヲ得タル後何ヶ月ヲ經テ起工セス又ハ起工後何ヶ月間ニ竣功セス若ハ第二條ニ示シタル設計工法及第五條ノ場合ニ於テ管廳ヨリ命スル設計、工法ニ違背シタルトキハ其免許ヲ解クコトアルヘシ
- 但天災又ハ已ムヲ得サル事故ニ因リ工事遅延シタルコトヲ證明シ管廳ニ於テ是ヲ是認シタルトキハ更ニ相當ノ延期ヲ與フルコトアル可シ
- 第七條 前條ニ依リ免許ヲ解ク場合ニ於テハ自費ヲ以テ原形ニ復セシムヘシ若シ速ニ其ノ命令ニ從ハサル時ハ身元保證金ヲ以テ其費用ニ供シ剩餘アルモノハ之ヲ還付シ不足アルモノハ之ヲ償ハシム可シ且既ニ仕拂タル工費ハ免許人ノ損失トス
- 第八條 免許人ハ竣功公告ノ當日ヨリ何年間定メノ如ク通行ノ人馬車牛等(或ハ出入ノ船舶貨物)ヨリ道錢(或ハ橋錢渡船賃其ノ他港錢等)ヲ收入スルヲ得ヘシ
- 第九條 免許年期間ハ通常修繕、非常修繕及一切ノ保存法共免許人ニ於テ擔當處辨スヘシ
- 第十條 免許年期間免許人ニ於テ前條ノ修繕及保存ヲ怠リ管廳ノ督促ヲ受クルモ尙之ヲ奉セサルトキハ管廳ハ其ノ免許ヲ解キ第七條ニ照シ處分スルカ(或ハ其ノ之ヲ奉スルニ至ル迄臨時營業ヲ停止セシムルカ)又ハ管廳自ラ修繕ヲ行ヒ其ノ收入金ヲ抑ヘテ該費ヲ支辨スルコトアル可シ

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

- 第十一條 免許人ハ常ニ該工事ニ關スル諸簿冊及計算書類ヲ整頓シ置キ管廳ノ需メニ應シ其檢閲ニ供スヘシ
- 第十二條 免許人ハ毎年何月迄ニ前年度ニ係ル出納決算書ヲ作り之ヲ管廳ニ差出スヘシ
- 第十三條 免許人ハ管廳ノ許可ヲ得ルニアラサレハ免許ノ權利ヲ他ニ讓與スルヲ得ス
但工事竣成ニ至ラサル間讓與ノ許可ヲ請フヲ得サルモノトス
- 第十四條 免許人ニ於テ若シ疾病事故アリテ事業ヲ果ササルトキハ保證人引受ケ一切ノ諸當務ヲ盡ス可シ
- 第十五條 免許人ハ既成ノ構造物ヲ他人ニ抵當トシテ金員其他ヲ借入ルルヲ得ス
- 第十六條 免許期間中ト雖モ官ノ都合ニ依リテハ資金償却方法書ニ據リ元利金ノ内既往ニ屬スル收入金(償却方法ニ依ル)ヲ控除シ全ク未償却金額ヲ以テ買上ルコトアルヘシ
- 第十七條 該事業ヲ起シタルカ爲メ他ニ妨碍ヲ生スルコトアルトキハ免許人ハ管廳ノ指揮ニ從ヒ自費ヲ以テ之ヲ解除スヘシ
- 第十八條 免許満期ノ後ハ敷地及構造物共無代價ニテ官有ニ歸スルモノトス
- 第十九條 一般ノ法律規則ノ爲メ該事業ニ不利アルモ免許人ハ管廳ニ對シ其ノ補償ヲ請求スルヲ得ス
- 第二十條 免許人ニ於テ前々條ニ違背スルトキハ管廳ハ何時ニ拘ラス免許ヲ解キ第七條ニ照シ處分スヘシ

●道路橋梁河川港灣等通行錢徵收ニ關スル命令書案中

官有ノ文字解釋ノ件

明治二十八年一月三十一日
土工第六號內務省土木局長通牒

今般官有ノ文字ヲ用ヒタル當時ノ意義ニ依リ解釋スヘキコトニ決定相成候條左ノ趣旨ニ依リ御處分相成可然存候
國有ニ歸セシムルノ意義ヲ以テ命令相成リタルモノハ期間満了ノ上ハ之ヲ國有トシ其ノ府縣又ハ市町村有ニ歸セシムル意義ヲ以テ命令相成リタルモノハ期間満了ノ上ハ之ヲ府縣又ハ市町村有トシ總テ當該道路負擔者ニ其ノ維持ヲ負擔セシム
右依命及通牒候也

●修路條例

明治十三年九月十三日
布達甲第百五十八號

明治十二年七月甲第百三十五號布達道路橋梁修築及掃除條例相慶シ更ニ左ノ通修路條例相定候條此旨布達候事

修路條例

- 第一條 道路橋梁修築掃除等ノ事務ハ總テ成規ニ從ヒ該町村〔戸長〕ノ擔任スルモノトス
- 第二條 國縣道ト假稱スル路線〔及横濱區内ニ屬スル道路橋梁〕修築ハ目論見帳相添出願ノ上許可ヲ經ヘシ若シ臨時危險ヲ生シ時日ヲ移ス可ラサル箇所ハ差向キ假稱等ノ處分ヲ爲スヲ得ヘシト雖モ施行ノ後其旨速ニ届出ヘシ但道路ニ附帶セル下水路モ亦本條ニ依ル
- 第三條 里道ト假稱セル各道路橋梁等〔横濱〔區〕内ノ分ハ之ヲ除ク〕ノ修築ハ該町村限リ〔戸長〕ノ認可ヲ經テ直チニ施行スルコトヲ得尤利害ノ他ニ影響スルモノハ豫メ其町村ニモ協議ス可シ
- 第四條 新道ヲ開キ又ハ路線ヲ變更シ及ヒ橋梁ヲ新設シ又ハ其舊形ヲ改メ架セントスル者其他事ノ新規ニ係ル類ハ道路ノ種別ニ拘ハラズ目論見帳及ヒ精細ナル畫圖面相添へ出願スルモノトス尤地種ノ變換ヲ要スル事業ハ其地積ノ取調書ヲモ共ニ差出スヘシ
- 〔但新規起功ニ係ルモノハ明治九年第百三十號又ハ同十二年第二十二號公布ノ旨趣履行濟ノ廉顧面ニ詳明ナラシム可シ〕
- 第五條 道路橋梁修繕ノ爲メ車馬其他ノ往來止ヲ要スルトキハ出願ノ上指揮ヲ請フヘシ尤非常天災等ニ由リ俄然危險ヲ生セシ場所ハ假ニ臨機ノ處分ヲ爲スヲ得可シ
- 第六條 工事施行ノ節ハ該地所管ノ警察署若シクハ警察分署ヘ其創設ヲ届出可シ
- 第七條 凡ソ許可ヲ得テ施行スル工事ハ竣功ノ後日數十日以内ニ於テ其旨届出可シ
- 但第四條ニ從ヒ許可ヲ得テ施行シタルモノハ其出來形精算帳等ヲ副ユ可シ
- 第八條 〔目論見帳並出來形精算帳ハ戸長及ヒ其町村總代ニ任スル者ノ連署捺印ヲ要スルモノトス〕
- 第九條 工費ノ〔官費或ハ地方稅支辨ニ關スル箇所〕事業ハ縣廳ニ於テ之ヲ擔理ス可シト雖トモ其修築ヲ要スルトキハ事由ヲ具シ出願スルモノトス若シ危險ニ涉ルモノハ第二條又ハ第五條ノ末項ニ依ルヘシ
- 第十條 用惡水路及ヒ小渠ノ架橋等狹陋ニシテ踏車ノ通行差支ル場所ハ該道幅ニ從ヒ改造又ハ増補スル者トス但此場合ニ於テハ其改造ニ係ルモ必シモ第四條ノ手續キニ據ルヲ要セス

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

- 第十一條 用惡水路及ヒ下水路等ノ道路ヲ横截リタル箇所ハ總テ相當ノ極管若シクハ橋梁ヲ架設スルモノトス
- 第十二條 河川暴漲及大風雨ノ節ハ晝夜ノ別ナク町村内ヲ巡視シ豫メ道路橋梁等ノ損害ヲ防禦ス可シ
- 第十三條 道路橋梁ノ掃除ハ渾テ其土地人民ノ負擔スル者トス故ニ各町村常ニ之ヲ怠ルヘカラス且道路又ハ橋梁ニ小破ヲ生シ或ハ路傍下水路ノ梗塞シタル等アラハ併セテ其補繕若シクハ整浚ヲ爲スヘシ〔尤浚上タル泥土等ハ横濱區ハ明治十二年丙第四百三號遠塵芥掃除及糞尿汲除規則第六條ニ據リ各郡ハ同第四百四號連同規則同條ニ處分スヘシ〕
- 但本條補繕等ノ如キハ國縣道ト假稱スル線路及ヒ横濱區内ニ係ルモノト雖直チニ施行スルヲ得ヘシ
- 第十四條 道程標及ヒ分道榜牌等ノ確明ナラサルモノハ速ニ之ヲ改設シ又蕪苔等ノ生セシモノハ逐次除去シテ以テ文字ヲ瞭然ナラシム可シ
- 第十五條 〔道路橋梁ノ工事ニシテ既ニ竣功セシ者ハ明治十年本縣乙第百二十六號達ニ依リ每三ヶ月ツツ遺漏ナク調成シ翌月十日限リ其郡區役所ヘ送呈スルモノトス〕

● 通行禁止其他制限ニ關スル報告方ノ件

大正十四年七月十八日 十四保發第一四三號

交通事故防止上必要有之候ニ付貴署又ハ道路管理者ニ於テ通行禁止又ハ之カ制限ヲ爲シタル場合ハ爾今左記様式ニ依リ電話即報スルト同時ニ無遅滞書面報告相成度此段依命通牒候也

左記

- 一、電話報告事項
- 1. 通行禁止又ハ之カ制限ノ別
- 2. 場所〔市町村名自何番地至何番地〕並ニ距離
- 3. 禁止若ハ制限年月日及期間
- 4. 禁止若ハ制限事由

二、書面報告事項

電話報告事項ノ外略圖添付

備考、通行禁止又ハ之ヲ制限ノ場合ニ於テ期間五日以内ナルトキハ書面報告ヲ省略スルモ支障無之候

第二節 鐵道、軌道

●鐵道營業法

明治三十三年三月十六日
法律第六十五號

改正 明治四三年四月法律第五〇號、大正八年四月第五四號
朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル鐵道營業法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
鐵道營業法

第一章 鐵道ノ設備及運送

第一條 鐵道ノ建設、車輛器具ノ構造及運轉ハ命令ヲ以テ定ムル規程ニ依ルヘシ
第二條 本法其ノ他特別ノ法令ニ規定スルモノノ外鐵道運送ニ關スル特別ノ事項ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依

ル

鐵道運輸規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 運賃其ノ他ノ運送條件ハ關係停車場ニ公告シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス

運賃其ノ他ノ運送條件ノ加重ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ前項ノ公告ハ一月以上之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 傳染病患者ハ主務大臣ノ定ムル規程ニ依ルニ非サレハ乗車セシムルコトヲ得ス

附添人ナキ重病者ノ乗車ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得

第五條 火藥其ノ他爆發質危險品ハ鐵道力其ノ運送取扱ノ公告ヲ爲シタル場合ノ外其ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得

第六條 鐵道ハ左ノ事項ヲ具備シタル場合ニ於テハ貨物ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得ス

一 荷送人カ法令其ノ他鐵道運送ニ關スル規定ヲ遵守スルトキ

二 貨物ノ運送ニ付特別ナル責務ノ條件ヲ荷送人ヨリ求めザルトキ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

三 運送カ法令ノ規定又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反セザルトキ

四 貨物カ成規ニ依リ其ノ線路ニ於ケル運送ニ適セルトキ

五 天災事變其ノ他已ムナ得サル事由ニ基因シタル運送上ノ支障ナキトキ

前項ノ規定ハ旅客運送ニ之ヲ準用ス

第七條 運送ニ付特別ノ設備ヲ要スル貨物ニ關シテハ鐵道ハ其ノ設備アル場合ニ限り之ヲ引受ケルノ義務ヲ負フ

第八條 鐵道ハ直ニ運送ヲ爲シ得ヘキ場合ニ限り貨物ヲ受取ルヘキ義務ヲ負フ

第九條 貨物ハ運送ノ爲受取リタル順序ニ依リ之ヲ運送スルコトヲ要ス但シ運輸上正當ノ事由若ハ公益上ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條 鐵道ハ貨物ノ種類及性質ヲ明告スヘキコトヲ荷送人ニ求ムルコトヲ得若シ其ノ種類及性質ニ付疑アルトキ

ハ荷送人ノ立會ヲ以テ之ヲ點檢スルコトヲ得

點檢ニ因リ貨物ノ種類及性質カ荷送人ノ明告シタル所ト異ナラサル場合ニ限り鐵道ハ點檢ニ關スル費用ヲ負擔シ

且之カ爲生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

前二項ノ規定ハ火藥其ノ他爆發質危險品ヲ成規ニ反シ手荷物中ニ收納シタル疑アル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 貨幣、有價證券其ノ他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送委託ノ際其ノ物品ノ種類、性質及價格ヲ明告シ且

増賃金ヲ支拂ヒタル場合ノ外鐵道ハ損害賠償ノ責ニ任セス但シ鐵道力増賃金ノ支拂ヲ請求セザルニ因リ荷送人ニ

於テ其ノ支拂ヲ爲ササルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項増賃金ノ割合ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 牛馬其ノ他ノ獸類ニ付テハ荷送人カ運送委託ノ際價格ヲ明告セザルトキ又ハ明告スルモ鐵道運輸規程ニ

ヨリ鐵道ノ請求スル増賃金ヲ支拂ハサルトキハ其ノ損害ニ付鐵道ハ鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額迄ヲ限り賠償

ノ責ニ任ス

前項賠償金額ノ制限ハ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ損害ヲ生シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十三條 惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラサル手荷物ノ滅失、毀損ニ付テハ鐵道ハ鐵道運輸規程ニ定ムル最高金額迄

ヲ限り損害賠償ノ責ニ任ス

第十三條ノ二 荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲シタル後六月内ニ其ノ權利者ヲ知ル能ハサル場合ニ於テハ鐵道其ノ所有權ヲ取得ス 託送手荷物及一時預リ品ニ付亦同シ

第十三條ノ三 鐵道力其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ貨物ノ引渡ヲ爲スコト能ハサルトキハ貨主ノ費用ヲ以テ之ヲ倉庫營業者ニ寄託スルコトヲ得

貨物ヲ寄託シタルトキハ鐵道ハ運送ナク荷送人及荷受人ニ對シ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

貨物ヲ寄託シタル場合ニ於テ倉庫證券ヲ作製セシメタルトキハ其ノ證券ヲ交付テ以テ貨物ノ引渡ニ代フルコトヲ得

鐵道ハ第一項ノ費用ノ辨濟ヲ受クル迄倉庫證券ヲ留置スルコトヲ得

前四項ノ規定ハ貨物ノ引取期間内ニ其ノ引取ナキ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 運賃償還ノ債權ハ一年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第十五條 旅客ハ營業上別段ノ定アル場合ノ外運賃ヲ支拂ヒ乘車券ヲ受クルニ非サレハ乘車スルコトヲ得ス

第十六條 旅客力乘車前旅行ヲ止メタルトキハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 天災事變其ノ他已ムテ得サル事由ニ因リ運送ニ著手シ又ハ之ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ旅客及荷送人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ鐵道ハ既ニ爲シタル運送ノ割合ニ應ジ運賃其ノ他ノ費用ヲ請求スルコトヲ得

第十八條 旅客ハ鐵道係員ノ請求アリタルトキハ何時ニテモ乘車券ヲ呈示シ検査ヲ受クヘシ

有效ノ乘車券ヲ所持セス又ハ乘車券ノ検査ヲ拒ミ又ハ取集ノ際之ヲ渡ササル者ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ罰金ヲ支拂フヘシ

前項ノ場合ニ於テ乘車停車場不明ナルトキハ其ノ列車ノ出發停車場ヨリ運賃ヲ計算ス乘車等級不明ナルトキハ其ノ列車ノ最優等級ニ依リ運賃ヲ計算ス

第二章 鐵道係員

(神奈川管)

(神奈川管)

第十九條 鐵道係員ノ職制ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 地方鐵道業者ハ鐵道係員ノ服務規程ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十一條 主務大臣ハ鐵道係員タルニ要スル資格ヲ定ムルコトヲ得

第二十二條 旅客及公衆ニ對スル職務ヲ行フ鐵道係員ハ一定ノ制服ヲ著スヘシ

第二十三條 地方鐵道係員ハ職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リ又ハ失行アリタルトキハ懲戒ヲ受ク

地方鐵道業者ハ懲戒ニ關スル規程ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

懲戒ヲ爲スヘキ場合ニ於テ地方鐵道業者之ヲ爲ササルトキハ監督官廳ニ於テ懲戒ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 鐵道係員職務取扱中旅客若ハ公衆ニ對シ失行アリタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十五條 鐵道係員職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リ旅客若ハ公衆ニ危害ヲ與スノ虞アル所爲アリタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 鐵道係員旅客ヲ強ヒテ定員ヲ超エ車中ニ乗込マシメタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十七條 鐵道係員旅客又ハ荷送人若ハ荷受人ト通謀シ運賃ノ一部若ハ全部ヲ免レシメタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第二十八條 鐵道係員道路踏切ノ開通ヲ怠リ又ハ故ナク車輛其ノ他ノ器具ヲ踏切ニ留置シ因テ往來ヲ妨害シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十九條 鐵道ニ之ヲ適用セス

第三章 旅客及公衆

第三十條 鐵道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 有效ノ乘車券ナクシテ乘車シタルトキ

二 乘車券ニ指示シタルモノヨリ優等ノ車ニ乘リタルトキ

三 乘車券ニ指示シタル停車場ニ於テ下車セサルトキ

第三十條 運送品ノ種類若ハ性質ヲ詐稱シ又ハ運賃ヲ免ルルノ目的ヲ以テ詐偽ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲

第二編 保安 第四章 交通

1007

- 役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第三十條ノ二 前二條ノ所爲ハ鐵道ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス
- 第三十一條 鐵道運送ニ關スル法令ニ背キ火藥類其ノ他爆發質危險品ヲ託送シ又ハ車中ニ携帯シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第三十二條 列車警報機ヲ濫用シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第三十三條 旅客左ノ所爲ヲ爲シタルトキハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 一 列車運轉中乗降シタルトキ
 - 二 列車運轉中車輛ノ側面ニ在ル車扉ヲ開キタルトキ
 - 三 列車中旅客乗用ニ供セサル箇所ニ乗リタルトキ
- 第三十四條 制止ヲ背セスシテ左ノ所爲ヲ爲シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス
 - 一 停車場其ノ他鐵道地内吸煙禁止ノ場所及吸煙禁止ノ車内ニ於テ吸煙シタルトキ
 - 二 婦人ノ爲ニ設ケタル待合室及車室等ニ男子安ニ立入りタルトキ
- 第三十五條 鐵道係員ノ許諾ヲ受ケスシテ車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ旅客又ハ公衆ニ對シ寄附ヲ請ヒ、物品ノ購買ヲ求メ、物品ヲ配付シ其ノ他演說勸誘等ノ所爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス
- 第三十六條 車輛、停車場其ノ他鐵道地内ノ標識指示ヲ改竄、毀棄、撤去シ又ハ燈火ヲ滅シ又ハ其ノ用ヲ失ハシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 信號機ヲ改竄、毀棄、撤去シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス
- 第三十七條 停車場其ノ他鐵道地内ニ安ニ立入りタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス
- 第三十八條 暴行脅迫ヲ以テ鐵道係員ノ職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ處ス
- 第三十九條 車内、停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ發砲シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第四十條 列車ニ向テ瓦石類ヲ投擲シタル者ハ科料ニ處ス
- 第四十一條 第四條ノ規定ニ違反シ傳染病患者ヲ乗車セシメタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス傳染病患者其ノ病症ヲ隠蔽シテ乗車シタルトキ亦同シ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

前項ノ場合ニ於テ途中下車セシメタルトキト雖既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十二條 左ノ場合ニ於テ鐵道係員ハ旅客及公衆ヲ車外又ハ鐵道地外ニ退去セシムルコトヲ得

一 有效ノ乗車券ヲ所持セス又ハ検査ヲ拒ミ運賃ノ支拂ヲ背セサルトキ

二 第三十三條第三號ノ罪ヲ犯シ鐵道係員ノ制止ヲ背セサルトキ又ハ第三十四條ノ罪ヲ犯シタルトキ

三 第三十五條、第三十七條ノ罪ヲ犯シタルトキ

四 其ノ他車内ニ於ケル秩序ヲ紊ルノ所爲アリタルトキ

前項ノ場合ニ於テ既ニ支拂ヒタル運賃ハ之ヲ還付セス

第四十三條 前諸條ノ犯罪及鐵道保安ニ關スル犯罪ニシテ罰金、拘留又ハ科料ノ刑ニ該ルヘキ罪ノ現行犯アリタルトキ被告人カ其ノ住所氏名ヲ分明ニ告知セス又ハ逃亡ノ虞アルトキハ鐵道係員ハ司法警察官ニ之ヲ引致スルコトヲ得

附 則

第四十四條 (削除)

第四十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治三十三年八月勅令第三百三十號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

鐵道略則、鐵道犯罪罰例、明治十六年(七月)第二十三號布告ハ之ヲ廢止ス

●鐵道營業法第二十九條及第二十條違反者取扱方ニ關スル件

大正五年五月 辰警保收第四〇三四號

本文(本編第九章第一節刑事事ニ輯ム)

●地方鐵道法

大正八年四月十日 法律第五十二號

改正 大正一〇年四月法律第三八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地方鐵道法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

地方鐵道法

- 第一條 本法ハ軌道條例ニ規定スルモノヲ除クノ外道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル地方鐵道ニ之ヲ適用ス
- 地方鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本法ヲ適用ス
- 道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニシテ政府ノ鐵道又ハ地方鐵道ニ接續スルモノニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二條 地方鐵道ハ人力又ハ馬力其ノ他之ニ類スルモノヲ以テ動力ト爲スコトヲ得ス
- 第三條 地方鐵道ノ軌間ハ三呎六吋トス特別ノ場合ニ在リテハ四呎八吋半又ハ二呎六吋ト爲スコトヲ得
- 第四條 地方鐵道ハ之ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條 地方鐵道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第六條 地方鐵道會社ハ株金全額拂込前ト雖監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得但シ軌道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ地方鐵道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第七條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ社債ヲ募集スルコトヲ得ス
- 社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス
- 社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス
- 第八條 鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ルニ非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス
- 鐵道ノ附屬物件ハ命令ノ定ムル所ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ貸渡又ハ讓渡スルコトヲ得ス
- 第九條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ス
- 第十條 地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス
- 合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ屬スル權利義務ヲ

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

承継ス

- 第十一條 免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得
- 第十二條 地方鐵道業ヲ營ムトスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受ケヘシ

 - 一 起業目論見書
 - 二 線路豫測圖
 - 三 建設費概算書
 - 四 運送營業上ノ收支概算書

- 免許ニハ工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限ヲ附ス
- 第十三條 免許ヲ受ケタル者ハ左ノ書類及圖面ヲ監督官廳ニ提出シ工事施行ノ認可ヲ受ケヘシ

 - 一 線路實測圖
 - 二 工事方法書
 - 三 建設費豫算書
 - 四 免許ヲ受ケタル者カ會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社ノ設立登記簿本

- 工事施行ノ認可ニハ工事ノ著手及竣功ノ期限ヲ附ス
- 第十四條 地方鐵道業者ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ第十二條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依リテ附セラレタル期限ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得
- 第十五條 左ニ掲グル土地ヲ以テ鐵道用地トス

 - 一 線路用地
 - 二 停車場、信號所、車庫及貨物庫等ノ建設ニ要スル土地
 - 三 鐵道專用ニ供スル發電所、變電所及配電所等ノ建設ニ要スル土地
 - 四 鐵道構内ニ職務上常住ヲ要スル鐵道係員ノ舍宅及運輸保線ノ職務ニ從事スル鐵道係員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地
 - 五 鐵道ニ要スル車輛、器具、機械ヲ修理製作スル工場及其ノ資材、器具、機械ヲ貯藏スル倉庫等ノ建設ニ要ス

ル土地

第十六條 道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ニ關スル工事ノ施設ハ所管行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條 政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ地方鐵道ニ接続シ若ハ之ヲ横斷シテ鐵道若ハ軌道ヲ敷設シ又ハ

地方鐵道ニ接近シ若ハ之ヲ横斷シテ道路、橋梁、河川、運河及溝渠等ヲ造設スルトキハ地方鐵道業者ハ之ヲ拒ム

コトヲ得ス
前項ノ場合ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ地方鐵道業者ニ設備ノ共用又ハ變更ヲ命スルコトヲ

得

設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第十八條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り免許ニ屬スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得

第十九條 左ノ場合ニ於テハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一 工事施行ノ認可ヲ申請スヘキ期限迄ニ認可ヲ申請セサルトキ

二 工事施行ノ認可ヲ受ケサルトキ

三 工事施行ノ認可ニ附シタル工事著手ノ期限迄ニ工事ニ著手セサルトキ

四 營業廢止ノ許可ヲ受ケタルトキ

免許ヲ受ケタル者死亡シタルトキハ相続人ハ免許ニ屬スル權利義務ヲ承繼スルコトヲ得

第二十條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第二十一條 地方鐵道業者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃及料金ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十二條 地方鐵道業者ハ旅客列車及混合列車ノ發著時刻及度數ヲ定メ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

監督官廳ハ公益上必要アリト認ムルトキハ列車ノ發著時刻及度數ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十三條 監督官廳ハ監査員ヲ派遣シテ鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態、會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ

得
鐵道ノ工事、運輸保線ノ狀態及會計ノ整理ニ付法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ違ヒ又ハ不適當ナリト認ムルモ

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

ノアルトキハ監督官廳ハ其ノ改築又ハ改善ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ工事、

運輸又ハ設備使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

監査員ハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ニ説明ヲ求メ金櫃、帳簿、書類及圖面ヲ檢閲スルコトヲ得

第二十四條 地方鐵道業者ハ地方鐵道ノ監督事務ニ關シ往復スル吏員ニシテ監督官廳ノ發行スル證券ヲ携帯スル者

ヲ無賃ニテ乗車セシムヘシ

第二十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運輸又ハ直通運

輸ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合及費用ノ負擔ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因

リ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十六條 地方鐵道業者ハ監督官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ鐵道ノ貸借又ハ營業若ハ運輸ノ管理ノ委託若ハ受

託ヲ爲スコトヲ得ス

營業又ハ運輸ノ管理ノ委託ヲ受ケタル地方鐵道業者ハ其ノ管理ニ付監督官廳ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ

責ニ任ス

第二十七條 地方鐵道業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ運輸營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコ

トヲ得ス

地方鐵道會社ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 主務大臣ハ地方鐵道ノ會計及運賃ノ割引ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第二十九條 地方鐵道業者ハ法令ノ定ムル所ニ依リ平時及戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ヲ負フ

第三十條 政府ハ公益上ノ必要ニ因リ地方鐵道ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ地方鐵道業

者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

地方鐵道ノ一部買收セラレタル爲殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ地方鐵道業者

ハ該線路及其ノ附屬物件ノ買收ヲ申請スルコトヲ得

第三十一條 買收價額ハ最近ノ營業年度末ヨリ起リ既往三年間ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日

ニ於ケル建設費ニ乗シタル額ヲ二十倍シタル金額トス
前項ノ益金トハ營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業
年度末ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノニ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ
乘シタルモノヲ謂フ

營業收入及營業費ノ計算ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第三十二條 買收ノ日ニ於テ運輸開始後前條第一項ニ規定スル三年ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場合又ハ前條第一
項ノ金額ヲ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ其ノ建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

第三十三條 地方鐵道業者カ鐵道若ハ其ノ附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リ改築
若ハ改造ヲ爲スヘキ場合ニ於テ之ヲ爲ササルトキハ補修ニ要スル金額ハ之ヲ營業費ニ加算シ改築又ハ改造ニ要ス
ル金額ハ之ヲ買收價額ヨリ控除ス

第三十四條 買收ヲ受クヘキ地方鐵道業者カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコト
ヲ得

前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ル

第三十五條 買收代價ハ券面金額ニ依リ五十五年內ニ償還スヘキ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス此ノ場合ニ於
テ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ券面金額五十圓トス

第三十六條 政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道業者カ其ノ接近シ又ハ並行ス
ル區間ノ營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキハ政府ハ其ノ營業廢止ニ因リテ生スル損失ヲ補償スルコト
ヲ得殘存線路ノミニ付營業ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ亦同シ

補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ規定ニ依リテ算出シタル價額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル金額以內
ニ於テ政府之ヲ定ム

前條ノ規定ハ補償金ノ支拂ニ付テ準用ス

第三十六條ノ二 政府ニ於テ地方鐵道ニ接近シ又ハ並行シテ鐵道ヲ敷設シタル爲地方鐵道ノ每營業年度ニ於ケル益
金又ハ益金ト地方鐵道補助法ニ依リ受ケル補助金トノ合計カ當該營業年度ノ建設費ニ益金ノ平均割合ヲ乘シタル

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

額ニ不足スルトキハ政府ハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ヨリ五年ヲ限リ帝國鐵道特別會計收益勘定歳出豫算ノ範圍
內ニ於テ其ノ不足額ヲ補償スルコトヲ得但シ每營業年度ニ於ケル補償額ハ益金又ハ益金及補助金ト合セ建設費ノ
百分ノ七ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ益金ノ平均割合トハ政府ノ該鐵道運輸開始ノ日ノ屬スル營業年度ノ前營業年度末ヨリ起リ既往三年間ニ於
ケル每營業年度ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタル殘額ノ合
計ヲ除シタルモノヲ謂フ

第三十一條第三項ノ規定ハ前二項ノ益金、營業收入及營業費ニ、地方鐵道補助法第六條及第七條ノ規定ハ第一項
ノ補償ニ付テ準用ス

第三十七條 地方鐵道業者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ
他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト

二 政府ニ於テ又ハ他ノ地方鐵道業者ヲシテ地方鐵道業者ノ計算ニ於テ必要ナル施設若ハ營業ノ管理ヲ爲シ又ハ
爲サシムルコト

三 免許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セラレルコトヲ得ス

第三十八條 免許ヲ受ケスシテ地方鐵道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上二千圓以下
ノ罰金ニ處ス

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ地方鐵道業者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタルトキ

二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ

四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類、圖面ノ提出若ハ調製ヲ怠リ又ハ
虚偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス
第四十條 前二條ノ規定ハ公共團體カ地方鐵道業ヲ營ム場合ニ之ヲ適用セス

附則

第四十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (大正八年八月勅令第三百七十四號ヲ以テ同年同月十五日ヨリ施行)

第四十二條 私設鐵道法及輕便鐵道法ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ爲シタル免許若ハ指定、許可又ハ認可ハ本法ニ依リテ爲シタル免許、許可又ハ認可ト看做ス但シ其ノ免許若ハ指定、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニシテ本法ニ抵觸スルモノハ其ノ效力ヲ失フ

第二條及第三條ノ規定ハ舊法ニ依リテ免許又ハ指定ヲ受ケタルモノニ之ヲ適用セス

第四十三條 輕便鐵道法ニ依リテ輕便鐵道抵當原簿ニ登錄セラレタル事項ハ之ヲ鐵道抵當法ニ依リ鐵道抵當原簿ニ登錄セラレタルモノト看做シ輕便鐵道抵當原簿ハ鐵道抵當原簿ト看做ス

第四十四條 輕便鐵道法ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十五條 軌道又ハ專用鐵道ヲ地方鐵道ニ變更セムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケハシ

●軌道法

大正十年四月十四日
法律第七十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル軌道法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

軌道法

第一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル爲敷設スル軌道ニ之ヲ適用ス

一般交通ノ用ニ供セサル軌道ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 軌道ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ道路ニ敷設スヘシ

第三條 軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスル者ハ主務大臣ノ特許ヲ受ケヘシ

(神奈川管)

(神奈川管)

第四條 前條ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル軌道經營者ハ軌道敷設ニ要スル道路ノ占用ニ付道路管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス此ノ場合ニ於ケル道路ノ占用料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スヘシ
天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ期間ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第六條 軌道經營者ノ工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ道路ニ關スル工事ニ付道路管理者ノ許可又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做ス河川法、砂防法及之ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ認可ニ付亦同シ

第七條 軌道經營者ノ工事施行ノ認可ヲ受ケタルトキハ主務大臣ノ指定スル期間内ニ工事ニ著手シ之ヲ竣功セシムヘシ

第五條第二項ノ規定ハ前項ノ期間ニ付之ヲ準用ス

第八條 地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ道路ニ敷設スル軌道工事及之カ爲必要ヲ生シタル道路ニ關スル工事ノ全部又ハ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル工事ニ要スル費用ノ負擔ニ付道路管理者及軌道經營者ノ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第九條 道路管理者道路ノ新設又ハ改築ノ爲必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ道路敷地ト爲スコトヲ得

第十條 軌道經營者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ運輸ヲ開始スルコトヲ得ス

第十一條 軌道經營者ハ旅客及荷物ノ運賃其ノ他運輸ニ關スル料金並運輸時刻ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ運賃、料金又ハ運輸時刻ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十二條 軌道經營者ハ軌道間ノ全部及其ノ左右各二尺ヲ限リ道路ノ維持及修繕ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル費用ノ負擔ニ付テハ第八條第二項ノ規定ヲ準用ス

地方長官必要アリト認ムルトキハ道路管理者ヲシテ前項ノ維持及修繕ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル費用ノ負擔ニ付テハ第八條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九條ノ規定ニ依リ道路敷地ト爲シタルモノニ付テハ第一項ノ維持及修繕ハ道路管理者之ヲ爲スヘシ

第十三條 主務大臣又ハ地方長官ハ監督上必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ヲシテ帳簿、書類及圖面ヲ提出セシ

メ又ハ監査員ヲ派遣シテ軌道ノ設備、事業ノ狀況並會計及財産ノ實況ヲ監査セシムルコトヲ得

第十四條 軌道ノ建設、運輸、運轉、保員及會計ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ他人ニ讓渡スルコト

ヲ得

第十六條 軌道經營者ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り軌道ノ讓渡又ハ事業若ハ運轉ノ管理ノ委託若ハ受託

ヲ爲スコトヲ得

前項ノ管理ノ委託ヲ受ケタル者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ委託ヲ爲シタル者ト共ニ其ノ責ニ任ス

第十七條 軌道經營者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルニ非サレハ軌道ノ附屬物件ノ讓渡又ハ貸渡

ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 國又ハ公共團體ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ軌道ノ全部又ハ一部及其ノ附屬物件ヲ買收セムトスルトキハ

軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

公共團體ニ於テ前項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

公共團體ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲シタルトキハ特許ニ因リテ生スル權利義務ヲ承繼ス

第十九條 地方鐵道法第三十一條乃至第三十五條ノ規定ハ國ニ於テ前條第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ之ヲ

準用ス

公共團體カ前條第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テハ買收價額ハ協定ニ依ル協議調ハサルトキハ申請ニ因

リ前項ノ規定ニ準シ算出シタル金額ヲ標準トシテ主務大臣之ヲ裁定ス

第二十條 公共團體カ第十八條第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テ公益上ノ必要ニ因リ兼業ニ屬スル資産及

軌道經營ニ必要ナル貯藏物品ヲ買收セムトスルトキハ軌道經營者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

公共團體カ第十八條第一項ノ規定ニ依ル買收ヲ爲ス場合ニ於テハ軌道經營者ハ兼業ニ屬スル資産及軌道經營ニ必

要ナル貯藏物品ノ買收ヲ求ムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ買收價額ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

〔神奈川書〕

〔神奈川書〕

第二十一條 軌道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

軌道會社ハ株金全額拂込前ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲其ノ資本ヲ増加スル

コトヲ得

前二項ノ規定ハ地方鐵道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十二條 軌道會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 左ノ場合ニ於テハ特許ハ其ノ效力ヲ失フ

一 工事施行ノ認可申請期間内ニ認可ヲ申請セザルトキ

二 工事施行ノ認可ヲ受ケザルトキ

三 事業廢止ノ許可ヲ受ケザルトキ

四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ工事施行ノ認可申請期間内ニ會社設立ノ登記ヲ爲サザルトキ

第二十四條 軌道經營者軌道ニ關スル工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ地方長官ノ指示スル所ニ從ヒ道路ヲ原狀ニ

回復スヘシ

地方長官必要アリト認ムルトキハ軌道經營者ノ負擔ニ於テ道路管理者ヲシテ前項ノ規定ニ依ル工事ヲ爲サシムル

コトヲ得

第二十五條 本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 地方鐵道法第七條第二項第三項、第八條第一項、第十條第二項、第十一條、第十五條、第十七條、第

十九條第二項、第二十三條第二項第三項、第二十五條、第二十七條、第三十條第二項及第三十六條ノ規定ハ軌道

ニ之ヲ準用ス但シ地方鐵道法第七條第三項及第八條第一項中鐵道抵當法トアルハ明治四十二年法律第二十八號ト

ス

第二十七條 軌道經營者カ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シ其ノ他

公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト

二 他人ヲシテ軌道經營者ノ計算ニ於テ必要ナル施設又ハ事業ノ管理ヲ爲サシムルコト

三 特許ノ全部又ハ一部ヲ取消スコト

前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セラレルコトヲ得ス

第一項第二號ノ規定ニ依リ事業ノ管理ヲ爲ス者ハ其ノ管理ニ付主務大臣ニ對シ當該軌道經營者ト共ニ其ノ責任

第二十八條 特許ヲ受ケスシテ軌道ヲ敷設シ又ハ認可ヲ受ケスシテ運輸ヲ開始シタル者ハ百圓以上二千圓以下ノ罰

金ニ處ス

第二十九條 左ノ場合ニ於テハ軌道經營者又ハ其ノ役員若ハ使用人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 前條ノ場合ヲ除クノ外本法ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケヘキ事項ヲ許可又ハ認可ヲ受ケスシテ爲シタルトキ

二 法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ特許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルト

三 監査員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタルトキ

四 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス命令ニ依リテ爲スヘキ届出、報告其ノ他ノ書類圖面ノ提出若ハ調製ヲ怠リ又ハ虛

偽ノ届出、報告若ハ記載ヲ爲シタルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第三十條 前二條ノ規定ハ公共團體力軌道ヲ經營スル場合ニ之ヲ適用セス

第三十一條 本法ハ一般交通ノ用ニ供スル軌道ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

前項ノ軌道ニ準スヘキモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 國ニ於テ軌道ヲ敷設シテ運輸事業ヲ經營セムトスルトキハ當該官廳ハ主務大臣ニ協議ヲ爲スヘシ其ノ

工事施行ニ付亦同シ

國ニ於テ經營スル軌道ニ付テハ第二條、第十二條第一項、第十四條及第二十四條第一項ノ規定ヲ除クノ外本法ヲ

適用セス但シ第十四條中軌道ノ役員及會計ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ協議ヲ了シタルトキハ第四條及第六條ノ規定ヲ準用ス

附則

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十二年十二月勅令第五百八號ヲ以テ十三年一月一日ヨリ施行)

軌道條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ爲シタル特許、認可、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依

リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ特許、認可其ノ他ノ處分ニ附シタル條件ニシテ本法ニ抵觸スルモノハ其ノ

效力ヲ失フ

他ノ法令中軌道條例トアルハ軌道法トス

● 軌道法施行期日ノ件

大正十二年十二月二十日
勅令第五百八號

朕軌道法施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

軌道法ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 軌道法施行規則

大正十二年十二月二十日
內務鐵道省令

軌道法施行規則左ノ通定ム

軌道法施行規則

第一條 軌道ノ特許申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一 起業目論見書

二 線路豫測圖

三 建設費概算書(第一號様式)

四 運輸事業ノ收支概算書(第二號様式)

軌道ヲ道路ニ敷設スルコトヲ得サル場合ニ在リテハ其ノ事由書ヲ前項申請書ニ添附スヘシ

第二條 起業目論見書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 目的(旅客運送、荷物運送ノ別)

二 商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地

第二編 保安 第四章 交通

- 三 軌道事業ニ要スル資金ノ總額及其ノ出資方法
- 四 線路ノ起終點及併用軌道ノ始終點ノ地名、地番並其ノ經過市町村名
- 五 軌道ヲ敷設スヘキ道路ノ種類毎ノ延長、一般幅員及計畫幅員
- 六 線路ノ延長及單線、複線等ノ別
- 七 軌間及車輛ノ最大幅員
- 八 動力(人力、馬力、蒸汽、電氣等ノ別)、電氣ヲ動力トスルモノニシテ自ラ發電設備ヲ有スルモノニ在リテハ原動力ノ種類(火力、水力ノ別)、他ヨリ電力ノ供給ヲ受クルモノニ在リテハ供給者名
- 第三條 線路豫測圖ハ縮尺二萬五千分一以上ノ平面圖トシ線路ノ經過市町村名、地形、一キロメートル又ハ半哩毎及單線複線等ノ分界點ノキロメートル程又ハ哩程、道路ノ種類並沿線人家連檐ノ狀況ヲ記シ縮尺、方位ヲ示スヘシ
- 第四條 地方長官特許申請書ヲ受付タルトキハ期限ヲ指定シ軌道敷設ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵スヘシ道路管理者ハ前項ノ意見ヲ決定スルニ付期限ヲ指定シ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ議會ノ意見ヲ徵スヘシ
- 前二項ノ場合ニ於テ期限内ニ意見ヲ答申セザルトキハ直ニ之ヲ處理スルコトヲ得
- 第五條 地方長官ハ特許申請書ニ左ノ事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ特許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ
 - 一 申請者ノ資産及信用程度
 - 二 事業ノ成否
 - 三 事業ノ效果
 - 四 道路管理者ノ意見
 - 五 他ノ鐵道又ハ軌道(未開業ノ鐵道又ハ軌道ヲ含ム)ニ及ボス影響
 - 六 他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱、區間、申請者名及申請書ノ受付年月日
- 第六條 工事施行ノ認可ヲ受クル前ニ於テ起業目論見書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ商號又ハ名稱、主タル事務所ノ設置地及電力供給者ノ變更ハ之ヲ届出ツヘシ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

前項ノ場合ニ於テ記載事項ノ變更カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第七條 工事施行認可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

- 一 線路實測圖
- 二 工事方法書
- 三 建設費豫算書(第三號様式)
- 四 特許ヲ受ケタル者會社ノ發起人ナルトキハ定款及會社設立登記謄本

第八條 線路實測圖ハ左ノ三種トス

- 一 平面圖
 - 縮尺ハ二千五百分一以上トシ線路ノ左右各四十メートル又ハ二十間以内ノ地形ヲ明ニシ道路ノ種類、軌道ノ中心線、線路ノ單線複線等ノ分界點ノキロメートル程又ハ哩程、道路水路等ノ附換、人家連檐又ハ連檐スヘキ箇所、行政區劃ノ境界、縮尺及方位ヲ示スヘシ
 - 線路ノ中心線ニハ二百メートル又ハ八分一哩毎ニキロメートル程又ハ哩程ヲ記シ曲線ノ半徑、交角、停留場ノ位置、名稱及中心キロメートル程又ハ哩程ヲ記スヘシ
- 二 縱斷面圖
 - 縮尺ハ横平面圖ト同一、縱二百分一以上トシ中心線ノ地盤高及施工基面高ヲ二十メートル又ハ一領毎ニ記シ陸道ノ長、橋梁溝橋ノ徑間及徑間數、桁ノ種類及材質、停留場ノ名稱及中心キロメートル程又ハ哩程、交通頻繁ナル踏切道並線路ノ勾配ヲ記シ縮尺ヲ示スヘシ
 - 三 軌道ヲ敷設スル道路ノ橫斷面圖

第九條 軌道ノ中心、車道歩道ノ區別、橫斷勾配、路上建設物ノ位置、車體外有效幅員ヲ記スヘシ

- 一 動力
- 二 軌間
- 三 單線、複線等ノ別

- 四 軌道中心間隔
 - 五 最小曲線半徑及最急勾配
 - 六 土工定規(新設軌道ニ限ル)
 - 七 橋梁、溝橋
 - 八 隧道
 - 九 軌條、轉轍器、轆又及枕木
 - 十 停留場
 - 十一 踏切ノ構造(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - 十二 他ノ軌道又ハ鐵道トノ交叉方法
 - 十三 閉塞信號機
 - 十四 車輛
 - 十五 特殊設計
- 電氣ヲ動力トスルモノニ在リテハ前項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 送電系統
 - 二 電氣軌道ノ方式
 - 三 發電所、變壓所、蓄電所及配電所
 - 四 送電線路及饋電線路
 - 五 電車線路
 - 六 電氣機關車及電車
 - 七 軌道ノ動力トシテ他ヨリ電力ノ供給ヲ受ケル場合
- (イ) 供給電力ノ電氣方式、最大電壓、容量及受給時間
 - (ロ) 送電上ノ責任分界點、電氣工作物ノ所有權分界點(圖面ニ依リ明示スルコト)
 - (ハ) 受電設備ノ大要(圖面ヲ添附シ説明スルコト)

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

地方鐵道法施行規則第十二條ノ規定ハ前二項ニ規定スル事項ノ記載方法ニ之ヲ準用ス
併用軌道ニ在リテハ前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 道路ノ種類毎ニ區別セル併用軌道ノ延長及其ノ始終點ノ地名、地番

二 軌道ノ構造及道路ノ鋪裝(圖面ニ依リ明示スルコト)

三 軌道ノ排水設備(圖面ニ依リ明示スルコト)

第十條 地方長官工事施行認可申請書ヲ受付タルトキハ軌道工事ニ關シ關係道路管理者ノ意見ヲ徵シ認可ノ可否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スヘシ

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 工事施行ノ認可ヲ受ケタル後線路ヲ變更セムトスルトキハ第八條ノ規定ニ準ジ線路實測圖(新舊對照圖添附)ヲ、工事方法書ノ記載事項ヲ變更セムトスルトキハ第九條ノ規定ニ準ジ變更セムトスル事項ニ關スル工事方法書(停留場ノ變更ニ在リテハ新舊對照圖添附)ヲ作製シ其ノ事由ヲ具シ內務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

前項ノ認可申請書ニハ工費豫算書ヲ添附シ工費支出ノ途ヲ明ニスヘシ但シ重要ナラサル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ場合ニ於テ變更セムトスル事項カ道路ニ重大ナル關係ヲ有スルトキハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第十二條 工事施行又ハ前條第一項ノ認可申請書ヲ提出スルトキハ同時ニ軌道敷設ノ爲ニスル道路及河川ノ占面積圖ヲ地方長官ニ提出スヘシ

工事施行又ハ前條第一項ノ認可アリタルトキハ地方長官其ノ旨ヲ道路又ハ河川管理者ニ通知シ前項ノ占面積圖ヲ送付スヘシ

第十三條 軌道經營者工事ニ著手シ又ハ之ヲ竣工セシメタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク之ヲ內務大臣及鐵道大臣ニ報告スヘシ

第十四條 地方長官軌道法第八條ノ規定ニ依リ道路管理者ヲシテ工事ヲ執行セシメムトスルトキハ道路管理者及軌道經營者ノ意見ヲ徵シ事由ヲ具シ左ノ書類ヲ添附シ內務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第二編 保安 第四章 交通

- 一 工事設計書
- 二 工費豫算書
- 三 工費負擔調書

四 道路ニ關スル費用ヲ負擔スル公共團體ノ當該年度歲入出豫算書

第十五條 地方長官前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ工事ノ設計、著手及竣功ノ期限並工費豫算書ヲ道路管理者ニ示シ

道路管理者工事ヲ竣功セシメタルトキハ運滯ナク工事竣功調書及工費精算書ヲ作製シ地方長官ニ報告シ軌道經營者ニ通知スヘシ

第十六條 道路管理者軌道法第九條ノ規定ニ依リ軌道敷地ヲ道路敷地ト爲サムトスルトキハ其ノ事由及區間ヲ記載シ工事設計書ヲ添附シ内務大臣及鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ此ノ場合ニ於テハ道路管理者ハ軌道經營者ノ意見ヲ徵シ之ヲ申請書ニ附記スヘシ

道路管理者前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ運滯ナク道路敷地ト爲スヘキ區間ヲ示シ工事設計書ヲ添附シ其ノ旨ヲ軌道經營者ニ通知スヘシ

第十七條 地方長官運輸開始認可申請書ヲ受付タルトキハ工事ヲ検査シ支障ナシト認メタル場合ニ限り運輸開始ヲ認可スヘシ

軌道經營者運輸ヲ開始シタルトキハ運滯ナク其ノ旨ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第十八條 第十五條ノ規定ハ軌道法第十二條第二項及第二十四條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 旅客運賃ノ認可申請書ニハキロメートル制又ハ哩制ニ在リテハ一キロメートル當又ハ一哩當ノ運賃、區間制ニ在リテハ區間ノ運賃、均一制ニ在リテハ均一運賃及運賃計算ノ方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハキロメートル制又ハ哩制及區間制ニ在リテハ貨物換算中心キロメートル程表又ハ哩程表(第四號様式)營業キロメートル程表又ハ哩程表(第五號様式)及旅客運賃表(第六號様式)ヲ添附スヘシ

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

方法ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

荷物運賃ニ關シ別ニ營業キロメートル程又ハ哩程ヲ制定セムトスルトキハ其ノ增加割合ヲ前項ノ申請書ニ記載シ其ノ計算方法ヲ附記シ荷物營業キロメートル程表又ハ哩程表(第七號様式)ヲ添附スヘシ

第二十一條 旅客運賃又ハ荷物運賃ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ變更後ニ於ケル收支豫算書ヲ添附シ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十二條 運輸ニ關スル料金ノ認可申請書ニハ其ノ種類及金額ヲ記載シ鐵道大臣ニ之ヲ提出スヘシ

運輸ニ關スル料金ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十三條 前四條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運賃又ハ料金ヲ實施シタルトキハ運滯ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

第二十四條 運轉時刻ノ認可申請書ニハ發著時刻表ヲ添附スヘシ但シ左ノ事項ヲ記載シタル場合ニ於テハ之ヲ省略スルコトヲ得

- 一 運轉系統
- 二 各運轉系統ニ於ケル始發及終發時刻
- 三 各運轉系統ニ於ケルキロメートル程又ハ哩程、運轉所要時分及停車時分(新設軌道ト併用軌道ト其ノ平均運轉速度ヲ異ニスルトキハ區別記載スルコト)
- 四 各運轉系統ニ於ケル發車度數(第八號様式)前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ認可ヲ受ケヘシ

前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル運轉時刻ヲ實施シタルトキハ運滯ナク其ノ月日ヲ鐵道大臣及地方長官ニ届出ツヘシ

- 第二十五條 軌道法第十八條第二項ノ規定ニ依リ買收ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
- 一 買收ノ事由書
- 二 買收物件ノ範圍ニ關スル調書
- 三 買收價格算出説明書

第二編 保安 第四章 交通

- 四 買収ニ關シ軌道經營者ト爲シタル交渉ノ願末書
- 五 買収代價支拂ニ關スル説明書(支拂ノ方法、時期等ヲ記載スルコト)
- 六 買収ニ關スル公共團體ノ議會ノ決議書(附本)
- 七 買収後ニ於ケル軌道事業計畫書及收支豫算書
- 八 公共團體ノ當該年度歲入出豫算書

第二十六條 車輛ノ衝突、顛覆其ノ他旅客ニ死傷ヲ生シタル重大ナル運轉事故ハ即時電信、電話又ハ口頭ヲ以テ務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ報告スルノ外七日以内ニ第九號様式ニ依リ内務大臣、鐵道大臣及地方長官ニ之届出ツヘシ

前項以外ノ事故ハ一月ヲ取總メ翌月十五日限り第十號様式ニ依リ鐵道大臣及地方長官ニ之ヲ届出ツヘシ

第二十七條 地方鐵道法施行規則第三條、第八條、第十三條、第十五條、第二十條、第二十一條、第二十五條第一項第二項、第二十六條、第二十七條、第三十條乃至第三十三條、第四十五條、第四十六條、第四十八條、第四十九條、第五十一條及第五十二條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣及鐵道大臣トス

地方鐵道法施行規則第十八條ノ規定ハ新設軌道ニ之ヲ準用ス但シ監督官廳トアルハ内務大臣、鐵道大臣及地方長官トス

第二十八條 地方鐵道法施行規則第二十條但書ノ場合ニ於テ内務大臣ニ提出スル申請書ニハ地方鐵道ノ車輛ニ限リ機關車ニ在リテハ重量、主要寸法(圖面ヲ除ク)、制動機ノ種類及裝置ヲ、客車及貨車ニ在リテハ車種、輻數、自重、定員、定員一人ニ對スル客室面積、積載容積及積載重量、最大寸法、固定輪軸距、制動機ノ種類及裝置並汽動車、電氣機關車及電車ニ關スル事項ヲ記載スヘシ地方鐵道法施行規則第二十六條ノ認可申請ニ付亦同シ

第二十九條 軌道法又ハ本令ノ規定ニ依リ特許、許可及認可申請書並届書ハ軌道ヲ敷設スル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ但シ二府縣以上ニ互リ敷設スル軌道ニ在リテハ事件カ二府縣以上ニ關スル場合ニ限り其ノ起點所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ申請書又ハ届書ヲ受付タル地方長官ハ關係地方長官ニ商議スヘシ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

本令ハ軌道法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十三年一月一日ヨリ施行)

從來爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之レニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

〔書式略ス〕

●軌道法第二十五條ノ職權委任指定ノ件

大正十二年十二月二十九日
内務省告示第四百四號

大正十二年内務省令軌道法第二十五條ノ規定ニ依リ職權委任ニ關スル件第二條第二項ノ規定ニ依リ左ノ市ヲ指定ス

東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市、長崎市、名古屋市、仙臺市、金澤市、廣島市、吳市、八幡市、鹿兒島市、札幌市、函館市、小樽市、堺市、尼崎市、新潟市、岡山市、下關市、福岡市、門司市、小倉市、若松市、熊本

●軌道取締規則

明治四十年十月二十二日
縣令第九十三號

改正 明治四一年九月縣令第七八號、四三年三月第二二號、九年二月第一三號

軌道取締規則左ノ通之ヲ定ム

第一章 總則

第一條 本則ハ軌道條例ニ依リ主務大臣ノ特許ヲ受ケタル運輸軌道ニ適用ス但シ他ニ別段ノ規定若ハ命令事項アルモノハ其ノ規定又ハ命令事項ニ從フ

第二條 本則ノ規定ニヨリ當廳ニ差出スヘキ書類ハ凡テ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第二章 營業者ニ對スル規定

第三條 軌道ハ危險ノ虞ナキ標常ニ係員ヲシテ注意セシメ車輛運轉上特ニ注意ヲ要スル場所ニハ番人又ハ信號人ヲ置キ之ヲ看守セシムヘシ

第四條 體力強壯ナラサル馬匹ヲ使用スヘカラス

第五條 車輛及之ニ附屬スル機械器具ハ當廳ノ検査ニ合格シ検査證書ヲ受ケタルモノニアラサレハ使用スルコトヲ得ス

検査證書ヲ受ケタル後ニ於テ車輛及之ニ附屬スル機械器具ヲ改造若ハ修理セムトスルトキハ其ノ程度及期間ヲ詳記シ著手前當廳ニ届出ツヘシ其ノ竣功後使用ヲ開始セムトスルトキハ更ニ當廳ノ検査ヲ受ケヘシ

第六條 車輛及之ニ附屬スル機械器具並馬匹ハ毎年一回當廳ノ検査ヲ受ケヘシ但シ當廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時検査ヲ施行スルコトアルヘシ

第七條 車輛ニハ左ノ設備ヲ爲スヘシ
一、車體ニハ制動器、救難器、音響器及車掌、運轉手間ニ通スル信號器ヲ裝置スヘシ

二、客車ニ在テハ其ノ内外、貨車ニ在テハ其ノ外部ニ車輛ノ番號ヲ明記スヘシ

三、客車ニハ晝間ハ標札、夜間ハ標燈ヲ以テ其ノ行先ヲ示スヘキ裝置ヲ爲スヘシ

四、客車ニハ乗客ノ滿員ヲ示ス爲滿員札ヲ掲グル裝置ヲ爲スヘシ

五、客車ニハ睡臺ヲ備ヘ置クヘシ

六、客車ニハ車内見易キ場所ニ車輛検査證書、乗客ノ定員表、乗車賃錢表、車掌、運轉手、馭者ノ氏名ヲ記シタル標札及第四章ノ規定ヲ揭示スヘシ

七、客車ノ室内ニハ相當ノ光力ヲ有スル燈火ノ裝置ヲ爲スヘシ

第八條 車輛及之ニ附屬ノ機械器具ハ常ニ安全清潔ニ保持スヘシ

第九條 營業者ハ營業開始前左ノ事項ヲ定メ當廳ノ認可ヲ受ケヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
一、乗客ノ昇降場
二、車掌、運轉手、轉轍手、馭者及信號人等ノ服制並服務ニ關スル規定
三、信號人、轉轍手及番人ヲ配置スヘキ場所

(神奈川警)

(神奈川警)

第十條 車掌、運轉手、馭者ヲ雇入ムトスルトキハ其ノ原籍、住所、氏名、年齢ヲ記シ履歷書ヲ添ヘ會社所在地、所轄警察官署ニ届出テ免許ヲ受ケシムヘシ

第十一條 車掌、運轉手及馭者ノ職務ハ無免許者ヲシテ代理セシムヘカラス

第十二條 車掌、運轉手、轉轍手、馭者、信號人及番人本則ニ違背シ又ハ其ノ業務ニ不適當ト認ムルトキハ從業ノ停止又ハ禁止ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ検査證ノ書換又ハ再渡ヲ受ケ第二號ノ場合ニ於テハ検査證ヲ返納スヘシ

一、車輛検査證書ヲ亡失毀損シ又ハ検査證書記載ノ事項ニ異動ヲ生シ若ハ文字不分明トナリタルトキ

二、車輛ノ使用ヲ廢止シタルトキ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三日以内ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ免許證ノ書換又ハ再渡ヲ受ケ第二號ノ場合ニ於テハ免許證ヲ返納スヘシ

一、車掌、運轉手、馭者ノ免許證ヲ亡失毀損シ又ハ免許證記載ノ事項ニ異動ヲ生シ若ハ文字不分明トナリタルトキ

二、車掌、運轉手、馭者ヲ解雇シ又ハ死亡若ハ所在不明トナリタルトキ

第十五條 何等ノ事由ヲ問ハス運轉上故障發生シタルトキハ直チニ其ノ顛末ヲ具シ發生地及營業所所在地警察官署ニ届出ツヘシ

第十六條 客車ニハ公安風俗ヲ害シ又ハ危險發生ノ虞アル廣告ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカラス

第十七條 本縣下ニ營業區域ヲ有スル他管ノ營業者ニシテ其ノ管轄廳ヨリ第五條、第六條ニ該當スル検査ヲ受ケタル者又ハ從業者ニシテ第十條ノ免許證ヲ受有スル者ハ更ニ検査又ハ免許證ヲ受クルヲ要セス但シ第六條ノ臨時検査ハ此ノ限リニアラス

第十條ノ從業者ニシテ其ノ管轄廳ノ規定ニ據リ其ノ職務ヲ公認セラレタルモノハ前項ノ免許證受有者ト看做ス
第一項營業者ニシテ其ノ管轄廳ヨリ本則第九條第二號ニ該當スル事項ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ事項ヲ當廳ニ届出ツヘシ

第三章 從業者ニ對スル規定

- 第十八條 左ニ掲クル者ハ車掌、運轉手、轉轍手、馭者、信號人、番人タルコトヲ得ス
- 一、十八歳未満ノ者但シ車掌ハ十六歳未満ノ者
 - 二、精神ニ異常ナル者
 - 三、素行不良ノ者
 - 四、其ノ他公安風俗ヲ害スル虞アル者

第十九條 車掌、運轉手、轉轍手、馭者、信號人及番人ハ左記事項ヲ遵守スヘシ

- 一、從業中制服ヲ脱スヘカラス
- 二、受持場所ヲ離ルヘカラス
- 三、銘附シテ就業スヘカラス
- 四、馬匹ヲ虐待スヘカラス
- 五、乘客及公衆ニ對シ侮慢ノ言行ヲ爲スヘカラス

第二十條 車掌、運轉手、馭者ハ左記ノ事項ヲ遵守スヘシ

- 一、就業中ハ免許證ヲ携帯シ且如何ナル場合ト雖免許證ヲ有セサル者ニ自己ノ職務ヲ委託スヘカラス
- 二、電車ノ運轉手已ムコトヲ得スシテ運轉手臺ヲ離ルルトキハ制御器ノ把手ヲ外シ之ヲ携帯シ其ノ他ノ運轉手ニシテ運轉手臺ヲ離ルルトキハ他人ノ制御スルコト能ハサル旨注意ヲナスヘシ
- 三、制限速度ヲ超過シテ進行スヘカラス
- 四、道路交叉部、街角、橋上、坂路又ハ往來雜踏ノ場所ニ於テハ音響器ヲ鳴ラシ徐行スヘシ
- 五、車馬及歩行者、車ノ前路ヲ通行シ又ハ車ニ接近シタルトキハ音響器ヲ鳴ラシ徐行シ又ハ停止スヘシ
- 六、昇降場以外ノ場所ニ於テヲ猥リニ停車スヘカラス
- 七、乘客ノ昇降ヲ終リタル後ニアラサレハ行車シ又ハ行車ノ信號ヲ爲スヘカラス
- 八、消防器械又ハ郵便用馬車若ハ軍隊通過ノトキハ其ノ通行ノ障礙ヲ與ヘサル様徐行シ又ハ停車スヘシ
- 九、客車ノ行先ヲ示ス爲査問ハ標札ヲ掲ケ夜間ハ標燈ヲ點スヘシ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

十、定員ヲ超エ客ヲ乗載スヘカラス乘客定員ニ達シタルトキハ車掌ハ滿員札ヲ揭示スヘシ

十一、客車内ノ燈火ハ隧道内又ハ夜間ニ在リテハ必ス之ニ點火スヘシ

十二、昇降臺又ハ運轉手臺ニハ客ヲ乗載スヘカラス

第二十一條 車掌ハ左記ノ者ニ對シテハ乗車ヲ拒絕スヘシ

- 一、銘附シタル者
- 二、同乗者ニ厭忌ノ感ヲ起サシムヘキ疾病アル者
- 三、同乗者ニ不快ヲ感セシムヘキ不潔ノ容裝ヲ爲シタル者

第二十二條 車掌ハ第二十三條ニ違背スル者アルトキハ之ヲ制止シ尙ホ背セサルトキハ乗車ヲ拒絕スヘシ其ノ職務上正當ノ請求ニ應セサルトキ亦同シ

第四章 公衆ニ對スル規定

第二十三條 乘客ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

- 一、携帯制限ヲ超ユル火藥類及危險ヲ他ニ及スヘキ虞アル物竝不潔臭氣等ノ爲ニ同乗者ノ迷惑トナルヘキ手荷物ヲ携帯スヘカラス
- 二、滿員札ヲ掲ケタル場合ハ乗車スヘカラス
- 三、車ノ進行中昇降スヘカラス
- 四、昇降口又ハ運轉手臺ニ立止マリ又ハ肢體ヲ車外ニ出スヘカラス
- 五、唾壺外ニ啖唾スヘカラス
- 六、車内ノ器具裝置ヲ汚損スヘカラス
- 七、車窓ヨリ車外ニ物品ヲ投棄スヘカラス
- 八、放歌、喧嘩又ハ他人ノ嫌惡スヘキ行為ヲ爲スヘカラス
- 九、車内ニ於テ喫煙スヘカラス但シ横濱市内線及同市連絡線以外ハ此ノ限ニ在ラス
- 十、第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依リ車掌ヨリ乗車ヲ拒絕セラレタルトキハ即時又ハ最近ノ昇降場ニ於テ降車スヘシ

第二十四條 軌道車輛及電氣ノ裝置ヲ爲シタル機械器具其ノ他工作物ヲ毀損シ又ハ電線ニ接觸スヘカラス
 第二十五條 車ニ竹木瓦石ヲ投擲シ又ハ何等ノ方法ヲ用ハス車輛ノ進行ヲ妨害スヘカラス
 第二十六條 牛車、馬車及重量ノ荷車ハ軌道外ニ相當ノ餘地ヲ存スルトキハ軌道ヲ通行スヘカラス
 第二十七條 車輛通過スルトキハ車馬又ハ通行人ハ軌道外適當ノ位置ニ避ケヘシ
 第二十八條 農業用其ノ他止ムヲ得サルニアラサレハ踏切ノ外專用軌道敷ニ立入ルヘカラス

第五章 罰則

第二十九條 本則ニ違背シタル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス
 第三十條 十二歳未滿ノ者本則ニ違背シ其ノ所爲監護者ノ怠慢ニ出タルトキハ前條ノ科料ヲ監護者ニ科ス
 第三十一條 法人ノ代表者又ハ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本則ニ違背シタルトキハ第二十九條ノ科料ヲ法人ノ代表者ニ科ス

附則

第三十二條 電氣動力以外ノ現在營業者ハ明治四十年十一月三十日迄ニ本則第七條第九條第十條ノ規定ニ從フヘシ
 第三十三條 現在ノ電氣鐵道營業者ニシテ當廳又ハ所轄警察官署ノ検査免許若ハ認可ヲ受ケタル事項ニ付テハ本則ノ手續ヲ要セス
 第三十四條 明治三十七年四月神奈川縣令第三十三號電氣鐵道取締規則ハ之ヲ廢止ス

軌道取締規則施行手續

明治四十年十月二十三日 示令第八五號

第一條 警察官署ニ於テ規則第六條ノ臨時検査ヲ要スト認メタルトキハ其ノ事由ヲ知事ニ具申スヘシ
 第二條 警察官署ハ規則第十條ノ出願アリタルトキハ同則第十八條各號ニ違フモノニアラサルヤ否ヤヲ精査シ支障ナキモノハ免許證ヲ交附シ名簿ニ記載スヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ警察官署ハ別記第一號様式ノ車掌、運轉手、取者名簿ヲ作製スヘシ
 第三條 車輛検査證書及車掌、運轉手、取者ノ免許證ハ別記第二號第三號様式ニ依ル
 第四條 警察官署ハ常ニ軌道車輛及之ニ附屬スル機械器具其ノ他ノ工作物並ニ馬匹等ヲ監査シ危險又ハ障害ナカラ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

シムルコトニ注意スヘシ

前項工作物ニシテ危險又ハ障害ノ虞アリト認ムルトキハ修理若ハ豫防施設ヲ命ジ又ハ一時其ノ使用ヲ停止スル等相當措置ヲ爲シ其ノ事由ヲ本官(警察部長)ニ報告スヘシ

第五條 警察官署ハ規則第十二條ニ依リ停止又ハ禁止ヲ命スヘキ必要アリト認ムルトキハ其ノ事由ヲ知事ニ具申スヘシ

第六條 警察官署ハ規則第十五條ニ依リ運轉上ノ故障發生ノ届出ヲ受ケ又ハ之ヲ認知シタルトキハ左記ノ事項ヲ具シ本官ニ報告スヘシ其ノ重要ナルモノニアリテハ其ノ概況ヲ電報スヘシ

- 一 事故ノ種類
- 一 發生ノ年月日
- 一 發生ノ原因
- 一 關係車輛番號及車掌、運轉手、取者ノ氏名
- 一 被害ノ狀況
- 一 處分ノ顛末

電氣原動力ニシテ電氣事業取締規則第二十六條第一號ニ該當スルモノハ同則ニヨルノ外規則第十五條及前項ノ手續ヲ爲スヲ要セス

第七條 警察官署ハ營業者又ハ從業者ニ對シ處罰ヲ加ヘタルトキハ直チニ本官(警察部長)ニ報告スヘシ

第八條 明治三十七年四月示令第五十四號電氣鐵道取締規則施行手續ハ之ヲ廢止ス

(第一號様式 美濃紙)

營業者		營業		氏名		備考	
氏名	番號	免許年月日	禁止年月日	族籍、住所、身分	氏名	年齢	備考

備考欄ニハ廢業ノ理由及業務禁止並ニ其ノ事由等ヲ記入スヘシ
車掌ト運轉手トハ別口ト爲スヘシ

(第二號樣式 用紙鳥之子 縱五寸橫八寸)

車輛(客車貨車主動車附屬車) 検査證書		検査	車	營業者	乘客定員	年月日
第	第	號	號	氏名	又ハ貨物ノ制限	神奈川縣印
號	號	號	號			

(第三號樣式 木製)

表 二寸

○車掌運轉手免許證

何會社履 何 某 年月日生

裏 面

○明治年月日下附

九分角烙印

川神 縣奈

車輛検査表	検査年月日	検査年月日	検査年月日	検査年月日
同	同	同	同	同
同	同	同	同	同
同	同	同	同	同
同	同	同	同	同

〔神奈川管〕

軌道事務ニ關スル件

明治四十一年十月十日 内務省土甲第三八號内務省土木局長通牒

二府縣以上ノ管轄ニ跨ル軌道ノ事務ハ關係府縣廳ニ於テ共同處辦相成居リ候處路線ノ一局部ニ於ケル變更ニシテ建設定規ニ適合シ其ノ箇所一管内ニ限レルモノハ自今當該所管廳ニ於テ稟伺ノ上處分シ他ノ府縣廳ヘハ其ノ事蹟ヲ通牒相成可然候依命此段及通牒候也

追テ一管内ニ止マル一部路線ノ運輸開始モ事務ノ簡捷ヲ期スル爲メ本文ニ準シ御取扱相成可然候依命此段添テ申進候也

鐵道又ハ軌道ニ關スル犯罪告發ニ關スル件

明治四十四年九月十六日 監甲第一二二五〇號鐵道院管理部長通牒

司法大臣ヨリ別紙寫ノ通り通牒有之候ニ付テハ貴管内軌道ニ對シ取締方御命シ相成度

(別紙寫)

犯罪事件ノ告發ニ關スル件 (明治四十四年八月十八日司法省刑事丙第二五四七號司法大臣ヨリ鐵道院總裁宛)

近來鐵道又ハ軌道ニ障害物ヲ置キ又ハ汽車、電車ニ對シ投石スル等ノ犯行頻繁ナル趣ニ有之候處從來右等重大ナル犯罪行爲ニ對シ檢察又ハ司法警察官ニ告發ヲ爲ササルモノモ往々有之候ニ付テハ捜査上必要有之候條爾今右等ノ事故發生ノ節ハ無漏檢察又ハ司法警察官ニ對シ告發相成候様其向ヘ御調達御取計相成度此段及通牒候也

私設鐵道線路ニ於ケル事故報告ノ件

明治三十年八月二十七日 逓信省訓令第四號

警視總監 各府縣知事 東京府知事ヲ除ク

其府縣管内ニ敷設スル私設鐵道線路ニ於テ左記ノ事故發生シタルトキハ直ニ其旨ヲ報告スヘシ

- 一 車輛脱線
- 一 車輛衝突
- 一 線路故障及其他危險ナル運轉上ノ事故

●軌道ニ關スル書類送付方ノ件

大正六年八月十五日
發第二一〇號內務省土木局長
軌道ニ關スル書類ハ明治四十一年十一月十八日鐵第六八七號內務、遞信兩次官通牒ニ依リ總テ二通(圖面共)送付可相成義ニ候處右ニ關シ當局ヨリノ單獨照會ニ對シテハ往々當局長宛ニテ一通丈回答セラルル向有之事務處理上支障不尠候ニ付自今當局ヨリスル照會ニ對シテモ鐵道院ヨリ發スル照會ニ對シテモ當局宛ト共ニ必ス二通各別ニ同答書送付相成候様御取計相成度

●軌道車運轉手、車掌兼務ニ關スル件

大正九年二月四日
申警保收第一四九〇號
軌道取締規則ニ依リ運轉手、車掌ハ各其ノ兼務ヲ許サルルコトニ取扱相成候處右ハ相互之ヲ兼務セシムルモ別段不都合無之ノミナラス反ツテ運轉ノ滿滑チ期スルニ利便アルモノト見込候條資格調査ノ上支障ナキ場合ハ兼務セシメ候様取扱相成度此段及通牒候也

●軌道取締規則改正施行ニ關スル件

大正九年二月二十二日
申警保收第二五八七號
軌道現業員ノ年齢ハ何レモ滿十八歳以上ト規定シアリタルモ車掌ハ他ノ現業員ニ比シ年齢チ低下スルモ其ノ性行智識體格等嚴密ニ之ヲ調査シ許否ヲ決スルニ於テハ敢テ支障ナキモノト認メラルルノミナラス反ツテ現業員チ充實シ

〔神奈川警〕

運轉ノ圓滑チ期シ得ルモノト認メラルルチ以テ之レカ年齢チ滿十六歳以上ニ改メ公布相成候次第二有之付テハ自今之方許否ニ當リテハ如上ノ主旨チ載シ調査チ嚴密ニシ以テ遺憾ナカラシムル様致度依命此段及通牒候也

●軌道事故月報ニ關スル件

大正十年五月十日
西警保發第八四號
横濱市内(水上署ヲ除ク)、鎌倉、藤澤、川崎、小田原、大磯、鶴見、伊勢原、秦野各警察官署長宛
調査上必要有之候ニ付大正十年四月分ヨリ別紙様式ニ基キ(一ヶ月中ニ於ケル)軌道事故御調査ノ上翌月十日限リ報告相成度依命此段及通牒候也

〔別紙〕
第一様式(但シ第一、第二様式共美濃紙ヲ使用シ各別業ニ作製ノコト)
軌道事故表 (月分)

事業	者名	事故	種別			件數
			電車	電車	電車	
横濱市街	突	突	電車	電車	電車	
			電車	電車	電車	
			電車	電車	電車	
京濱電氣鐵道株式會社	突	突	電車	電車	電車	
			電車	電車	電車	
			電車	電車	電車	
江ノ島電氣鐵道	突	突	電車	電車	電車	
			電車	電車	電車	
			電車	電車	電車	

其	計	他
---	---	---

備考

死ハ赤字ニ傷ハ黒字トス

軌道事故ニ關スル件

大正十二年八月七日
十二保發第一九〇號

近來軌道事故頻發ノ虞向アリ其ノ原因ハ從業員カ必要ナル注意ヲ怠ルニ基因スルモノ多キカ如ク被認之等從業員ノ内ニハ軌道取締規則第十二條ヲ適用シ從業ノ禁止處分ヲ爲ス必要アルモノモ有之ヘク被存候條自今處分ノ必要アリト認メタルモノニ對シテハ同則施行手續第五條ニ依リ事由ヲ具申相成度依命此段及通牒候也

第三節 車馬

●自動車取締令

大正八年一月十一日
內務省令第一號

改正 大正一二年二月內務省令第四四號
自動車取締令左ノ通之ヲ定ム

自動車取締令

- 第一條 本令ニ於テ自動車ト稱スルハ原動機ヲ用キ軌條ニ依ラスシテ運轉スル車輛ヲ謂フ
- 第二條 自動車ノ通行スル道路、區域又ハ時間ニ關スル制限ハ地方長官之ヲ定ム
- 第三條 自動車ノ最高速度ハ一時間十六哩トス但シ地方長官ハ道路、區域、時間又ハ自動車ノ種類ヲ指定シテ之ニ異ナル速度ヲ定ムルコトヲ得
- 第四條 自動車ハ左ノ各號ノ構造裝置ヲ具備スルコトヲ要ス
 - 一 轍ハ護謨製ノモノタルヘキコト但シ貨車ニ在リテハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ之ニ異ナルモノヲ用ウルコトヲ得

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

- 二 各獨立ニ作用スヘキ二箇以上ノ制動機ヲ備フヘキコト
 - 三 變速機ヲ備ヘ且運轉手ノ賭易キ箇所ニ速度計ヲ備フヘキコト
 - 四 蒸氣、瓦斯又ハ油其ノ他爆發性若ハ可燃性ノモノヲ容ルヘキ匱、管及氣筒並電氣裝置等ハ堅固ニ作り漏洩又ハ危險ノ虞ナキモノタルヘキコト
 - 五 運轉ニ際シ甚シキ騒音ヲ發シ又ハ有臭若ハ有害ノ瓦斯若ハ煤煙ヲ多量ニ發散セサル構造タルヘキコト
 - 六 車輛ノ總重量八百封度以上ノ自動車ハ短半徑ヲ以テ容易ニ方向ヲ轉シ及逆行シ得ヘキ裝置ヲ有スヘキコト
 - 七 適當ナル音響器ヲ備フヘキコト
 - 八 車輛ノ前面ニハ二箇以上、後面ニハ一箇以上ノ相當光力ヲ有スル燈火ヲ備ヘ後面燈火ハ運轉手ノ座席ヨリ消燈シ得サル樣裝置スヘキコト
- 第五條 營業用又ハ家用ノ爲自動車ヲ使用セムトスル者ハ主タル使用地ノ地方長官ニ願出テ其ノ検査ヲ受クヘシ
- 商品トシテ自動車ヲ所持スル者ハ自動車所在地ノ地方長官ノ検査ヲ受クルコトヲ得
- 検査ニ合格シタルトキハ検査ノ證明ヲ爲シ車輛番號ヲ指示ス
- 検査證明ノ爲検査證ヲ交付セラレタルトキハ車體内部ニ之ヲ標示スヘシ

第六條 自動車ノ主タル使用地ヲ變更シタルトキハ運轉ナク其ノ旨後ノ使用地ノ地方長官ニ届出テ更ニ車輛番號ノ指示ヲ受クヘシ

検査ニ合格シタル自動車ヲ讓受又ハ相續シタル者ハ其ノ旨主タル使用地ノ商品トシテ讓受又ハ相續シタル地方長官ニ届出ツヘシ其ノ主タル使用地ノ商品トシテ讓受又ハ相續シタル検査ヲ受ケタル地ト異ナルトキハ更ニ車輛番號ノ指示ヲ受クヘシ

- 第七條 自動車ノ構造裝置ニシテ左ノ各號ノ部分ヲ變更シタルトキハ更ニ地方長官ノ検査ヲ受クヘシ
- 一 原動機
 - 二 爆發性若ハ可燃性ノモノヲ容ルヘキ匱、管
 - 三 氣筒及曲柄

四 制動機、變速機及換向機

五 電氣裝置 電路ヲ

六 車臺

七 車體

第八條 検査ニ合格シタル自動車ニ非サレハ使用スルコトヲ得ス但シ地方長官ノ定ムル所ニ依リ検査又ハ試運轉若ハ運搬等ノ爲一時自動車ヲ使用スルハ此ノ限ニ在ラス

第九條 當該地方長官ハ定期又ハ臨時ニ自動車ノ検査ヲ行ヒ必要ト認メタルトキハ使用ノ禁止ヲ命スルコトヲ得前項ニ依リ使用ノ禁止ヲ命セラレタルトキハ検査證ヲ返納シ其ノ他検査證明ノ取消ヲ受クヘシ

第十條 營業用又ハ自家用ノ爲自動車ヲ使用スル者ハ其ノ構造裝置ニ付危害ヲ防止スルニ必要ナル注意ヲ爲スヘシ

第十一條 營業用又ハ自家用ノ爲自動車ヲ使用スル者其ノ使用ヲ廢止シタルトキハ地方長官ニ届出テ検査證ヲ返納シ其ノ他検査證明ノ取消ヲ受クヘシ

第十二條 自動車ニ依リ運輸ノ業ヲ營マムトスル者ニシテ一定ノ路線又ハ區間ニ據ルモノハ營業地ノ地方長官其ノ他ノモノハ營業所所在地ノ地方長官ニ願出テ其ノ免許ヲ受クヘシ

第十三條 前條ノ規定ニ依リ營業ノ免許ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ讓受又ハ相續スルコトヲ得ス

第十四條 營業ヲ廢止シタルトキハ運轉ナク地方長官ニ届出ツヘシ但シ一定ノ路線又ハ區間ニ據ルモノニ在リテハ廢止前營業地ノ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條 運轉手タラムトスル者ハ主タル就業地ノ地方長官ニ願出テ其ノ免許ヲ受クヘシ免許ヲ與ヘタルトキハ免許證ヲ交付ス

運轉手免許證ハ甲乙ノ二種トシ甲種免許證ヲ有スル運轉手ハ各種ノ自動車ヲ運轉スルコトヲ得乙種免許證ヲ有スル運轉手ハ特定又ハ特種ノ自動車ニ非サレハ之ヲ運轉スルコトヲ得ス

第十六條 運轉手ノ免許ハ試験ニ合格シ左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニ之ヲ與フ
一 十八歳未満ノ者

〔神奈川県〕

〔神奈川県〕

二 精神病者、癲者、啞者又ハ盲者

三 其ノ他地方長官ニ於テ不適當ト認ムル者
運轉手ノ試験ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ自動車ノ構造、取締規則及實地ノ技能ニ關シ之ヲ行フ

第十六條ノ二 現ニ運轉手タル者ニシテ運轉手免許ノ有效期間滿了後仍ホ引續運轉手タラムトスル者ニ付テハ前條ノ第一項各號ノ一ニ該當セス且相當技量アリト認メタル者ニ限り前條ノ規定ニ拘ラス試験ノ全部又ハ一部ヲ省略シテ免許ヲ與フルコトヲ得

第十七條 運轉手免許證ハ就業中ニ携帶スヘシ
第十八條 自動車検査證又ハ運轉手免許證ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ再交付ヲ地方長官ニ願出ツヘシ

第十九條 左ニ掲クル場合ニ於テハ運轉手ハ運轉ナク免許證ヲ返納スヘシ
一 第二十七條ニ依リ免許ノ取消又ハ就業ヲ停止セラレタルトキ

二 免許ノ有效期間ヲ經過シタルトキ
運轉手死亡シ又ハ行衛不明ト爲リタルトキハ其ノ雇主、戸主又ハ家族ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 運轉手其ノ主タル就業地ヲ變更シタルトキハ五日內ニ免許證ノ寫ヲ添へ後ノ就業地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十一條 前條ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テ當該地方長官必要ト認ムルトキハ第十六條第二項ニ依リ試験ヲ行フコトヲ得

前項ノ試験ニ合格セサルトキハ其ノ道府縣內ニ於ケル就業ヲ停止スルコトヲ得

第二十二條 運轉手ヲ雇入レタル者ハ五日內ニ免許證ノ寫ヲ添へ運轉手ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
運轉手ヲ解雇シタル者ハ十日內ニ運轉手ノ氏名ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十三條 車輛番號ハ車輛ノ前面及後面賭易キ箇所ニ標示スヘシ
後面車輛番號ハ夜間三十間ノ距離ニ於テ明瞭ニ認メ得ヘキ燈火ヲ以テ照射スヘシ

第二十四條 検査證及車輛番號ハ他ノ車輛ニ使用スルコトヲ得ス

第二十五條 自動車ニ依リ人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキハ運轉手ハ直ニ其ノ運轉ヲ停止スヘシ
前項ノ場合ニ於テ運轉手及其ノ他ノ從業員ハ被害者ノ救護其ノ他ニ付必要ナル應急ノ措置ヲ爲スヘシ但シ警察官
吏在ルトキハ其ノ指示ニ從フヘシ

運轉手其ノ他ノ從業員ハ前項ノ措置ヲ了シ且各本人、雇主、自動車使用者ノ氏名、住所、法人ニ在リテハ其ノ及車
輛番號ヲ警察官吏ニ申告シ、警察官吏在ラサルトキハ被害者若ハ其ノ同伴者ニ同一事項ヲ通告スルニ非サレハ自
動車ノ運轉ヲ繼續スルコトヲ得ス

前項後段ノ規定ニ從ヒ自動車ノ運轉ヲ爲シタルトキハ運轉手其ノ他ノ從業員ハ遲滞ナク前各項ノ事實ヲ警察官吏
ニ申告スヘシ

乗用者ハ運轉手其ノ他ノ從業員カ前四項ノ措置ヲ爲スニ付之ヲ妨グルコトヲ得ス

第二十六條 地方長官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ第十二條ノ規定ニ依ル營業免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止ス
ルコトヲ得

一 正當ノ事由ナクシテ許可ノ日ヨリ百二十日以内ニ營業ヲ開始セサルトキ

二 營業ヲ繼續スルニ適セスト認メタルトキ

三 公安上危害ヲ生スルノ虞アリト認メタルトキ

四 營業免許ノ條件ニ違反シタルトキ

五 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

第二十七條 地方長官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ運轉手ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ就業ヲ停止スルコトヲ得

一 自動車ニ依リ人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキ

二 第十六條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スルニ至リタルトキ

三 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

第二十八條 第八條、第十二條、第十三條、第十五條第一項第二項、第二十五條ノ規定ニ違反シタル者、又ハ第九
條第一項、第二十六條及第二十七條ニ基ク地方長官ノ處分ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ百圓以
下ノ罰金若ハ拘留又ハ科料ニ處ス

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第二十九條 過失ニ因リ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第三十條 故意又ハ過失ニ因リ第五條第四項、第六條、第七條、第九條第二項、第十條、第十一條、第十四條、第
十七條、第十九條、第二十條、第二十二條乃至第二十四條ノ規定又ハ第二條、第二十一條第二項ニ基ク地方長官
ノ命令若ハ處分ニ違反シ又ハ第三條及第三條ニ基キテ地方長官ノ定メタル速度ヲ超過シテ自動車ヲ運轉シタル者
ハ拘留又ハ科料ニ處ス地方長官ノ定メタル期日ニ自動車ノ検査ヲ受タルコトヲ怠リタル者亦同シ

第三十一條 營業用又ハ家用自動車ノ使用者ニシテ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本令又ハ本令ニ基キテ發ス
ル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未
成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 法人ノ代表者其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ
其ノ罰則ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三十三條 自動自轉車ノモトヲ除ク及オートベツドノ類ニ付テハ其ノ運轉者ニ對シ第三條、第二十五條及其ノ罰
則ノ規定ヲ適用スルノ外本令ヲ適用セス

前項ノ外特種ノ自動車ニ付テハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ第四條ノ規定ニ依ル構造裝置ノ一部ヲ省略スルコトヲ
得

第三十四條 本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ地方長官之ヲ定ム

附 則

第三十五條 本令ハ大正八年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第三十六條 本令施行前ニ於テ自動車營業ノ免許ヲ受ケタル者ハ本令ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行前ニ於テ自動車ノ検査又ハ運轉手ノ免許ヲ受ケタル者ハ本令施行後東京府ニ在リテハ六箇月内ニ、其ノ
他ノ地方ニ在リテハ三箇月内ニ本令ニ依リ検査又ハ免許ヲ受ケヘシ

前項ニ依リ運轉手ノ免許ヲ願出テタル者ニ對シテハ地方長官ハ第十六條第二項ノ規定ニ依ル試験ノ全部又ハ一部
ヲ省略スルコトヲ得

第二編 保安 第四章 交通

一〇四七

第三十七條 東京府ニ在リテハ地方長官ノ職務ハ警視總監之ヲ行フ

●自動車取締令施行細則

大正八年二月十四日
縣令第八號

改正 大正八年二月縣令第九〇號

自動車取締令施行細則左ノ通り定ム

自動車取締令施行細則

第一條 自動車ハ其ノ幅二倍半未満ノ道路ヲ通行スルコトヲ得ス但シ警察官吏ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限リニアラス

第二條 自動車ノ速度ハ市街地ニアリテハ一時間十四哩其ノ他ノ場所ニアリテハ一時間十六哩ヲ超過スヘカラス

第三條 所轄警察官署ハ公安保持上必要ト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス區域ヲ指定シ其ノ速度ヲ制限シ又ハ通行ヲ禁止スルコトヲ得

第四條 營業用自動車ニハ豫備タイヤ一個以上ヲ備付スヘシ

第四條ノ二 雨雪泥濘ノ際自動車ヲ運轉スル場合ハ汚水ノ放射ヲ防止スヘキ適當ナル裝置ヲ施スヘシ

但シ「サイドカー」附自動車及之ニ類スル自動車ニシテ重量八百封度全長八尺全幅五尺五寸未満ノモノハ許可ヲ受ケ之ヲ省略スルコトヲ得

警察官吏ニ於テ前項ノ防止裝置不適當ト認ムルトキハ之カ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 乘用自動車ノ座席ハ一人ニ付幅一尺二寸以上トス

第六條 自動車ノ検査ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ヲ具シ當廳ニ願出ツヘシ

一、使用者又ハ所持者ノ本籍、住所、職業氏名、生年月、法人ニアリテハ其ノ名稱事務所々在地及代表者ノ住所

職業、氏名、生年月

二、使用ノ目的 商品トシテ所持スルモ

三、乗用車ニアリテハ乘客定員、貨車ニアリテハ貨物ノ積載定量

四、車輛ノ重量長サ、幅、高

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

五、動力ノ種類、原動機ノ名稱、製造所名

六、車輛ノ構造仕様書及其ノ圖面

七、馬力數

検査ニ合格シタルトキハ検査證明ヲ爲シ検査證ヲ交付ス

第七條 取締令第六條ノ届書ニハ前條各號ノ外前使用地又ハ使用者若クハ所持者ノ住所氏名ヲ記載スヘシ但シ検査ニ合格シタル自動車ヲ讓受ケ又ハ相續シタル者ニシテ其ノ主タル使用地 商品ニアリテニ變更ナキトキハ前條各號ノ事項ヲ記載スルヲ要セス

第八條 取締令第七條ニ依リ検査ヲ受ケントスル者ハ其ノ變更シタル部分ヲ詳具シ當廳ニ願出ツヘシ

第九條 試運轉又ハ運搬等ノ爲メ一時自動車ヲ使用セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ發車地所轄警察官署ニ願出テ許可ヲ受ケヘシ

一、出願人ノ住所氏名、法人ニアリテハ其名稱、事務所々在地及代表者ノ住所氏名

二、車輛ノ重量、長サ、幅、高及車輛數

三、使用ノ目的

四、使用ノ日時及道筋

五、運轉手ノ住所、氏名、生年月

前項ノ許可ヲ受ケ又ハ検査ノ爲自動車ヲ使用セントスル者ハ所轄警察官署ヨリ標板ノ交付ヲ受ケ車輛ノ前部及後部ノ賭易キ個所ニ掲ケ使用ヲ終リタルトキハ速カニ返納スヘシ

第十條 營業用自動車ハ毎年二回(四月)自家用自動車ハ一回(五月)當廳ノ検査ヲ受ケヘシ但シ必要ト認ムルトキハ臨時検査ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ検査ヲ受ケサルモノハ使用ヲ廢止シタルモノト看做ス

第十一條 自動車々輛番號ハ左ノ寸法ニ從ヒ黒地長方形ノ標板ニ白色ノ亞刺比亞文字ヲ以テ記シ「神」ノ字ヲ冠スヘシ

一、前面番號ハ文字ノ太サ五分幅二寸(1)ノ字ヲ除ク高サ三寸各字ノ間隔四分

第二編 保安 第四章 交通

二、後面番號ハ文字ノ太サ六分幅二寸五分(「」ノ字ヲ除ク)高サ四寸各字ノ間隔五分

第十二條 取締令第十二條ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ヲ具シ當廳ニ願出ツヘシ

第二號乃至第九號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同シ

一、出願者ノ本籍、住所、職業氏名、生年月、法人ニアリテハ其ノ名稱事務所々在地定款ノ寫及代表者ノ住所、職業、氏名、生年月

二、營業所及支店又ハ出張所(他人ノ所有ニ係ルモノハ所有者ノ承諾書ヲ添付スヘシ)

三、一定ノ路線又ハ區間ニ據ルモノハ其ノ路線又ハ區間ノ圖面(道幅記入ヲ要ス)

四、車輛置場ノ位置及構造

五、停車場ヲ設ケルモノニアリテハ其ノ位置

六、一定ノ路線ニ據ルモノニ在リテハ發著時間

七、使用車輛數

八、營業開始期日

九、賃金額

第十三條 營業ノ免許ヲ承繼セムトスル者ハ雙方連署ノ上(連署不能ノ場合ハ其ノ旨附記)左ノ事項ヲ具シ當廳ニ願

出ツヘシ

一、免許年月日(免許指令添付ノコト)

二、承繼車輛數及其ノ番號

第十四條 營業者ハ左記事項ヲ遵守スヘシ

一、營業所又ハ支店若ハ出張所ニハ發著時間及賃金表ヲ掲ケ且ツ各車内ニ車掌運轉手ノ氏名ヲ明示スヘシ

二、故ナク發車ヲ拒ムヘカラス

三、哩數ヲ以テ賃金ヲ計算スルモノニアリテハ哩計器ヲ車内ニ裝置スヘシ

四、名義ノ如何ニ拘ラス定額賃金以外ノ金品ヲ請求シ又ハ請求セシムヘカラス

第十五條 運輸營業ニ關シ危險豫防上必要アリト認メタルトキハ特ニ信號人ノ配置又ハ營業線路ノ變更若クハ廢止

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

ヲ命シ其ノ他保安並ニ衛生上必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

第十六條 一定ノ路線並ニ區間ニ據ル營業用客車ニハ各車毎ニ運轉手ノ外車掌一名當置スヘシ但シ車輛ノ構造ニ依

リ當廳ノ許可ヲ受ケ運轉手ヲシテ車掌ノ職務ヲ兼ネシムルコトヲ得

第十七條 車掌ヲ雇入レントスルトキハ左記事項ヲ具シ當廳ニ願出テ免許證ヲ受ケヘシ

一、本人ノ本籍、住所、氏名、生年月日

二、本人ノ履歷書

免許證ヲ滅失毀損シタルトキハ再交付其ノ記載事項ニ移動ヲ生シタルトキハ書換ヲ受ケヘシ

第十八條 運轉手ノ免許ヲ受ケントスル者ハ本籍、住所、氏名、生年月、ヲ具シ履歷書及名刺形半身ノ正面寫眞二

葉ヲ添付シ當廳ニ願出ツヘシ

第十九條 運轉手ノ試驗ハ每週一回之ヲ行フ但シ特ニ必要アリト認ムルトキハ隨時試驗ヲ行フコトアルヘシ

試驗ニ要スル費用ハ受験者ノ負擔トス

第二十條 左ノ場合ニハ五日以内ニ當廳ニ届出テ第一號ノ場合ハ検査證若クハ免許證ノ書換ヲ受ケ第二號第三號ノ

場合ハ移轉先ヲ明記スヘシ

一、検査證又ハ運轉手免許證ノ記載事項ニ異動ヲ生シ若クハ其ノ文字不分明トナリタルトキ

二、自動車ノ主タル使用地商品ニアリテ他ノ廳府縣ニ變更シタルトキ

三、運轉手主タル就業地ヲ他ノ廳府縣ニ變更シタルトキ

四、自動車ヲ讓受ケ又ハ讓渡シ若クハ相續シタルトキ

五、自動車ノ使用ヲ廢止シタルトキ

六、細則第十二條第一號ニ移動ヲ生シタルトキ

七、營業者ハ車掌ヲ解雇シタルトキ

車掌死亡シ又ハ行衛不明トナリタルトキハ其ノ雇主、戶主又ハ家族ノ順位ニヨリ前項ノ手續ヲ爲シ免許證ヲ返納

スヘシ

第二十一條 車掌本則又ハ本則ニ依リ發シタル命令ニ違反シ又ハ就業上不適切ト認ムルトキハ免許ヲ取消シ又ハ就

業ヲ停止スルコトアルヘシ

前項ニ依リ免許ノ取消又ハ就業ノ停止ヲ命セラレタルトキハ速ニ免許證ヲ當廳ニ返納スヘシ

第二十二條 車掌、運轉手ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、客車ニアリテハ定員以上乗車セシムヘカラス但シ四歳未満ノ者ハ定員外トシ四歳以上十二歳以下ハ二人ヲ以テ一人ト看做ス

二、免許證ハ他人ニ貸與スヘカラス

三、酒氣ヲ帯ヒ就業スヘカラス

四、夜間ハ制規ノ燈火ヲ點シ規定ノ光力ヲ保持セシムヘシ

五、警察官吏ニ於テ停車ヲ命ジタルトキハ直ニ停車スヘシ

第二十三條 運轉手ハ前條ノ外左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、停車中運轉臺ヲ離レルトキハ危險豫防ノ措置ヲ爲スヘシ

二、他車ト並行スヘカラス

三、自動車二輛以上連續行進スルトキハ後車ハ前車ニ對シ十間以上ノ距離ヲ保ツヘシ

四、往來雜踏ノ場所道路ノ交叉部、街角、橋上、坂路、泥濘ノ道路ヲ運轉スルトキハ絶ヘス音響器ヲ鳴シ徐行スヘシ鐵道及軌道ヲ横斷セントスルトキ亦同シ

五、街角通過ノ際ハ右ハ大廻リ左ハ小廻リヲ爲スヘシ

六、街角橋上其ノ他往來ノ妨害トナルヘキ場所ニ停車スヘカラス

七、出火場其ノ他群集ノ場所ヲ行進スヘカラス

八、軍隊ニ行進フトキハ右側其ノ他ハ左側ニ避ケヘシ

九、進行中ノ自動車ヲ追越サントスルトキハ音響器ヲ鳴シ前車ノ右側ヲ通過スヘシ

一〇、消防車、又ハ郵便車ニ行進フトキハ其ノ進行ヲ妨ケヘカラス

一一、馬匹ニ近クトキハ徐行シ驚逸セシメサル様注意スヘシ

一二、自動車又ハ其ノ他ノモノヲ連結シテ運轉スヘカラス但シ運轉不能トナリタル自動車ヲ牽引スルノ必要アル

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

トキハ此ノ限ニアラス

一三、自動車ニ行進ヒタルトキハ「ヘッドライト」ノ光力ヲ減シ運轉ニ便ナラシムヘシ

第二十四條 營業用自動車ノ車掌及運轉手ハ同乗者ニ厭忌ノ感ヲ起サシムヘキ疾患アル者若ハ不快ヲ感セシムヘキ不潔ノ容裝ヲ爲シタル者ノ乗車ヲ拒絕スルコトヲ得

第二十五條 乗客ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、放歌喧噪又ハ他人ノ嫌惡スヘキ行為ヲ爲スヘカラス

二、車内ヨリ物品ヲ投棄スヘカラス

三、自動車ノ進行中昇降スヘカラス

第二十六條 第二十四條ノ規定ニ依リ車掌又ハ運轉手ヨリ乗車ヲ拒絕セラレタルトキハ即時又ハ最近ノ停車場ニ於テ降車スヘシ

第二十七條 「サイドカー」附自動車又ハ「オートフライヤ」ニ裝置スヘキ前面燈火及制動機ハ各一個ト爲スコトヲ得

第二十八條 自動自転車及「オートハット」ノ類ニシテ自動車取締令ニ規定セルモノヲ除ク外明治三十五年七月縣令第五十二號自轉車取締規則ヲ準用ス

第二十九條 本則ニ據ル願届ハ總テ所轄警察官署ヲ經由スヘシ

第三十條 第四條第四條ノ二第一項第九條第十一條第十二條第十四條第十六條第十七條第二十條第二十二條第二十三條第二十五條ノ規定ニ違反シ又ハ第三條第四條ノ二第二項第十五條及第二十一條ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第三十一條 本則ニ規定シタル違反行為ヲ教唆シ又ハ幫助シタル者ニ對シテハ前條ノ罰則ヲ適用ス

附 則

第三十二條 本則ハ大正八年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

車輛番號ノ冠字ノ書換ハ本則施行ノ日ヨリ九十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

附 則

第三十二條 本則ハ大正八年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

車輛番號ノ冠字ノ書換ハ本則施行ノ日ヨリ九十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第三十三條 明治四十五年五月神奈川縣令第四十七號ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●自動車取締令施行ニ關スル件

大正八年一月二十五日
内務省發警第二號警保局長通牒

自動車取締令今回發布相成候處右施行ニ關シテハ大要別紙ニ準據シ御處理相成候也

(別紙)

- 一、第四條本條ニ於テ自動車ノ具備スヘキ構造裝置ハ概ネ之ヲ既定セリト雖モ本令ニ定ムルモノノ外尙構造裝置ヲ爲サシムルノ必要アリト認メラルルニ於テハ廳府縣令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ妨ケス
- 二、第五條車輛番號ハ漢字ヲ以テ道府縣名ノ頭字ヲ冠セシメ番號數字ハ亞刺比亞文字ヲ用ヒ地方中其頭字ヲ同フスルモノニ在リテハ例ヘハ福井又ハ福島ト冠セシムヘシ但シ東京ニ在リテハ番號數字ノミニテ頭字ヲ冠セス大阪ニ在リテハ大ノ字ヲ冠セシムルモノトス
- 三、第六條第一項自動車使用者ノ主タル使用地ヲ變更シタル旨ノ届出ヲ受理シタルトキハ直ニ前ノ地方長官ニ届出人ノ氏名指示ヲ爲シタル車輛番號其ノ他必要ノ事項ヲ通知シ第二項ノ場合ニ於テモ同様措置セラルヘシ尙本項末段主タル使用地若クハ商品所在地檢査ヲ受ケタル地ト異ナルトキハ更ニ車輛番號ノ指示ヲ受ケシムル外檢査證ノ書替等檢査證明ヲ改メシムルノ必要アルニ於テハ廳府縣令ニ於テ其ノ旨ヲ規定セラルヘシ
- 四、第七條自動車ノ構造裝置ヲ變更シタル場合ニ於テ更ニ檢査ヲ受ケシムル部分ニ對スル列記事項ノ内車臺中單ニ車輪ノミニ變更ニ止マルモノハ包含セス
- 五、第十二條自動車ニ依リ運輸ノ業ヲ營マントスル者ニシテ其ノ營業區域ニ地方以上ニ涉ルトキハ願書宛名ハ關係地方長官連名ニテ提出セシメ相互協議ヲ遂ケラルヘシ
- 六、第十四條本條但書ニ於テ營業廢止前許可ヲ受ケシムルコト、爲シタルハ一定ノ路線又ハ區間ニ據ル營業ノ廢止キモノヲ意味シタルモノトス

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

チ一ニ營業者ノ任意ト爲スニ於テハ一般公衆ニ與フルノ不利不便等影響ノ及ホス所少カラサルヲ顧慮シタルニ依リタルモノナルヲ以テ廢業ノ出願アリタル場合ニ於テハ營業狀態ノ全ク之ヲ繼續スルニ堪ヘサルヤ否ヤ其ノ他廢業ノ已ムヲ得サル事由ノ有無ニ就キ詳細調査ノ上之ヲ處理セラルヘシ

七、第十五條本條中特定ノ自動車トハ一定番號ノ自動車ヲ意味シ特種ノ自動車トハ「サイドカー」附自動車又ハ「アールドフライヤー」ノ如キ種類ノ自動車ノ意味ニシテ甲種免許證ハ白色乙種免許證中特定自動車ノモノハ青色特種自動車ノモノハ赤色トセラルヘシ

八、第十六條運轉手ニ對スル試驗事項中取締規則トハ自動車取締令之ニ伴フ廳府縣令道路取締規則ノ如キ運轉手ノ就業上必須ナル規則ヲ指示シタルモノトス

九、第二十條運轉手ノ主タル就業地ヲ變更シタルノ届出ヲ受理シタルトキハ直ニ前ノ就業地地方長官ニ通知セラルヘシ

十、第二十五條自動車ノ使用倍倍増加スルニ伴ヒ之ニ因テ人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞スル等ノ事故頻々發生シ世ノ非難ヲ惹起スルコト少カラス本條ハ運轉手其ノ他ノ從業員ヲシテ事故發生ノ場合ニ於テ必要ナル措置ヲ講セシメ更ニ又乗用者ヲシテ之ヲ妨害スルノ行爲ナカラシムル旨ヲ規定シ其ノ違反ニ對シテハ嚴ニ之ヲ處罰スルノ方針ヲ探リタルモノナルヲ以テ本件事務發生ノ場合ニ於テハ詳細ニ事實ヲ調査シ處罰上其ノ他ノ資料ニ供スルニ於テ遺憾ナキ時期セシムルヲ要ス又本條第二項ハ被害者ノ救護其ノ他ニ關シ警察官吏在ルトキハ運轉手其ノ他ノ從業員ヲシテ警察官吏ノ指示ニ從ハシムル旨ヲ以テセルニ依リ是等ノ場合ニ處スル措置ニ付テハ警察官吏ニ對シ平素ニ於テ豫メ周到ノ注意ヲ與ヘ置カルヘシ尙本條第四項ハ事故發生ノ場所ニ警察官吏在ラサルトキハ自動車ノ運轉開始後運轉手其ノ他ノ從業員ヲシテ他ノ警察官吏ニ運轉ナク事故ノ頭末ヲ申告セシムルノ義務ヲ命ジタルモノナルヲ以テ其ノ申告ヲ受ケタル場合ニ於ケル警察官吏ノ措置ニ付テモ如上ノ趣旨ニ依リ豫メ相當注意ヲ加ヘ取締上ノ必要ニ應セシメラルヘシ

十一、第三十三條本條第一項ニ於テ自動車ノ「サイドカー」ヲ付セサルモノ及「オートベツト」ノ類ニ對シ本令ヲ適用スヘキ條項ハ之ヲ限定セリト雖モ其ノ條項ニ規定セル以外ノ事項ニシテ取締上ノ必要アルニ於テハ廳府縣令ヲ以テ自動車取締規則ニ據ル等相當規定ヲ設ケタルヲ妨ケサルモノトス本條第二項特種ノ自動車トハ前項第

- 十五條ニ規定セル「サイドカー」付自動自轉車又ハ「オートフライヤー」ノ如キ種類ノ自動車ヲ指示シタルモノニシテ是等ハ從テ本令ノ適用ヲ受クルモノナリト雖唯其ノ構造裝置ニ至リテハ車輛ニ依リ本令第四條第二號ノ制動器及第八號ノ車輛前面ニ備フル燈火ハ必スシモ二箇以上ヲ備ヘシムルヲ要セス制動機車輛前面ノ燈火共ニ一箇ニテ足レリトスルモノアリ又速力ハ最高速度十六哩以上ヲ出スノ不可能ニシテ同條第三號ノ速度計及變速機ヲ備ヘシムルノ必要ナキモノアルヲ以テ車輛ノ體狀ニ徵シ構造裝置ヲ省略セシムルコトヲ得シムルノ趣旨ナルニ依リ廳府縣令ノ制定ニ際シテハ前記ノ事項ニ限定セラルヘシ
- 十二、第三十四條本令ハ運轉手車掌ノ就業中若クハ乘客ノ遵守スヘキ事項其ノ他從來廳府縣令ニ規定セルモノニシテ本令ニ規定セサルモノ及本令ニ規定セル事項ニ伴ヒ必要ト認ムル事項ハ本條ノ委任ニ依リ總テ之ヲ廳府縣令ニ讓リタルヲ以テ其ノ規定スヘキ條項ニ關シテハ此際速ニ調査ヲ遂ケ本令施行期目前廳府縣令ヲ發布シテ必要ニ應セラルヘシ
- 十三、自動車ニ因テ生スル事故ノ發生頻々ニシテ公衆ノ保護危害ノ防止上自動車ノ運轉ニ關シテハ特ニ慎重注意ヲ必要トスルノ狀況ニ鑑ミ官廳又ハ公署ニ於テモ進テ本令ニ準據スヘキハ當然ナルヲ以テ貴管下所在ノ官公署ニシテ自動車ヲ使用スル向ニ對シテハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル廳府縣令ニ準據スル様知照セラルヘシ

●自動車營業免許ニ關スル件依命通牒

大正八年一月二十五日
內務省發土第三號內務省警保局長及土木局長通牒

自動車ノ取締令今同省令ヲ以テ發布相成候處一定ノ路線又ハ區間ニ據ル自動車營業ハ道路交通ニ至大ノ利便ヲ與フルモノナリト雖モ道路ノ築造並ニ其ノ維持修繕ニ對シ重大ナル影響ヲ及ボスモノナルト共ニ軌道ノ如キ特許企業ニモ影響スルコト尠カラズ候ニ付本營業免許ニ際シテハ道路交通取締上ノ見地ノミヨリモ道路ノ實體ニ關シ十分考慮ヲ加フルト同時ニ一般交通上ノ關係ニモ留意セラレ特ニ左ノ要項ニ關シ慎重ナル考慮ヲ盡シ道路政策上遺憾ナキヲ期セラレ度

- 一、運轉道路管理者ノ意見ヲ徵スルコト

〔神奈川県警〕

〔神奈川県警〕

- 二、運轉道路ノ狀況ヲ精査シ道路橋梁ノ保護上並道路交通ノ保安上適當ナル條件ヲ附スルコト（特ニ車輛ノ構造裝置其ノ重量積載重量及容量並ニ運轉速度ノ制限等）
 - 三、起業ノ計畫ヲ考査シ成業ノ見込アルモノニ限リ免許ヲ與ヘ開業日ナラスシテ廢業スルカ如キコトナカラシムルコト特ニ自動車營業免許ノ出願競合スル場合ニ於テハ慎重ナル考慮ヲ加フルコト
 - 四、出願ニ係ル自動車營業ノ免許方既特許ノ軌道又ハ既免許ノ無軌條式電車若ハ自動車營業ニ及ボス影響ヲ考査シ此等ノ起業力相兩立スト認ムル場合ニ於テ出願ヲ免許スルコト
 - 五、軌道又ハ無軌條式電車ト自動車營業ノ許可出願トカ競スル場合ニ於テハ特ニ永遠ニ互リ地方交通ノ狀況ヲ精査シ其ノ許否ヲ決定スルコト
 - 六、前數項ノ外必要事項ヲ調査シ免許ニ際シテハ以上ノ要項ニ依ル命令事項ト共ニ一括シタル命令書ヲ下付スルコト
- 追テ免許後關係書類ノ要領及圖面ヲ具シ當省ニ報告相成度又既免許ノ分ハ此際通報相成度尙營業ノ廢止ヲ許可セラレタル場合ニ於テモ同様御報告相成度

●自動車取締令施行ニ關スル件

大正八年二月十九日
未警保發第一五號

自動車取締令及同施行細則今般發布相成候處其ノ實施ニ關シテハ施行手續ニ據ルノ外尙ホ左記ニ準據シ御取扱相成度依命此段及通牒候也

左記

- 一、細則第一條ニ據リ規定外道路ノ通行ヲ承認セントスル場合ニハ道路幅ノ廣狹等ニ依ル交通安全上ノ見地ノミナラス道路橋梁ノ保護上ニモ留意シテ其ノ行先及用務等ヲ考査シ已ムヲ得サル場合ニ限ルコト
- 二、自動車ニ依リ運輸業ヲ營マントスル者ニシテ其ノ營業區域他府縣ニ涉ルトキハ關係地方長官連名ノ宛名ニテ願書ヲ提出セシムルコト

- 三、一定ノ路線又ハ區間ニ據ル自動車營業ハ交通上至大ノ利便ヲ與フルモノナリト雖モ一面道路橋梁ノ管理保全ニ重大ナル影響ヲ及ホスモノナルヲ以テ本營業ノ出願アリタル場合ハ之等ニ關シ細密調査スルト共ニ尙ホ起業ノ計畫ヲ考査シ成業ノ見込アルヤ否ヤ
- 特ニ競願ノ場合ニ於テハ慎重ニ考慮スルコト
- 四、細則第十一條及第三十二條第二項ニ規定スル冠字ハ楷書ニテ左ノ如ク一定セシメラレタシ
神 (文字ノ太サ二分五厘、高サ三寸、幅二寸五分)
- 五、取締令第三十六條第二項ニ基ク運轉手ノ免許願ニ對シテハ素行等ニ關シ著シキ事實アルモノノ外施行手續第六條ノ各號ヲ調査スルニ及ハス
- 六、取締令第十二條ニ規定スル區間ニ據ル營業トハ出發地點及到達地點一定シ自動車ヲ運轉使用スル路線ハ其ノ間何レニ依ルモ妨ケナキモノヲ意味ス
- 七、取締令第十五條中ノ特定ノ自動車トハ一定ノ番號ノ自動車ヲ指シ特種ノ自動車トハ「サイドカー」附自動車轉車又ハ「オートフライヤー」ノ如キ種類ノ自動車ノ意味ニシテ甲種免許證ハ白色乙種免許證中特定自動車ノモノニハ青色特種自動車ノモノニハ赤色ノモノヲ交付ス

●自動車運轉手免許證ニ關スル件

大正十年四月六日
警保局長通牒

別紙甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通り回答致置候條此段及通牒候也

甲號

乙種自動車運轉手免許證ニ關スル件 (大正十年二月二十四日) 高知縣知事ヨリ
 保發第五八號 內務省警保局長宛
 自動車取締令第十五條ニ規定セル特定自動車ノ意義ニ付テハ大正八年一月二十五日付內務省發給第二號依命通牒ニ一定ノ番號ノ自動車ヲ意味ストノ御見解ニ有之右ハ勿論同令第五條及同第六條ノ規定ニ依ル車輛番號ヲ基準トセルモノト存セラレ當廳ハ從來此ノ方針ニ準據シテ乙種免許證ヲ下付致居候而シテ免許後ニ於ケル特定車輛變更願ニ對シテハ縱令車輛番號ヲ異ニスルモ車輛ノ型式構造設備等同様ノモノニ付テハ之ヲ操縦セシムルモ別ニ支障無之様認

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

メラレ特ニ試験ヲ省略シ免許證ヲ下付セシ實況ニ有之候然ルニ特定ヲ前敘ノ如ク一車輛ニ局限スルトキハ修繕其他ニ際シ自然他ノ同一型自動車ヲ運轉スル等違反行爲ヲ醸成スルノ嫌アルヲ以テ免許證下付出願ニ對シ二輛若クハ三輛ヲ指定免許スルコトトセハ當業者ハ素ヨリ取締上好都合ニ有之今後右様ノ通取扱致度候條至急何分ノ御回示相成度候

乙號

警保局長回答 (大正十年四月六日)
 高知縣知事宛
 本件ニ付二月二十四日保發第五八號ヲ以テ御照會有之候處自動車取締令第十五條ニ依ル特定自動車ハ必スシモ一車輛ニ限定シタルモノニ無之私人ニ於テ二三ノ車輛ヲ有スル場合ト雖單ニ其ノ車輛ノミニ限リ運轉操縦スル者ニ對シテハ乙種免許證ヲ下付相成可然モノニ有之候條右ニ御承知相成度候也

●自動車運轉手乙種免許證ニ關スル件

大正十三年二月十九日
內務省一二視警第二二號內務省警保局長

神奈川縣知事宛

自動車取締令第十五條第二項ノ規定ニ依リ乙種免許證ヲ有スル運轉手ノ運轉シ得ル特定自動車ノ義ニ付大正八年一月二十五日發給第二號自動車取締令施行ニ關スル件通牒中特定自動車トハ一定ノ番號ノ自動車ヲ意味スル旨申進置候處右ハ家用自動車トシテ私人所有ノ一定セル自動車ノミヲ運轉スル者ノ類ニ對シテハ各種ノ自動車ヲ運轉スル者ト趣キ異ニスルヲ以テ乙種免許證ニ依ルハ却テ便宜ナルヘク且取締上支障ナキヲ考慮シタルノ趣旨ニ出テタルモノニ有之候得共右ノ外自動車ノ種類構造及其ノ運轉方法ノ同一ナルモノハ家用タルト營業用タルトヲ間ハス特定自動車ト爲シ之カ運轉操縦ニ從事スル運轉手ニ對シテハ乙種免許證ヲ交付セラレ可然候間右ニ依リ御取扱相成度候

●自動車運轉手乙種免許證ニ關スル件

大正十四年二月二十七日
十四保發第五一號

大正八年二月十九日附未警保發第一五號ヲ以テ自動車取締令第十五條中ノ特定自動車トハ一定番號ノ自動車ヲ指稱スル旨依命通牒置候處爾今右特定自動車ノ意義ヲ廣意ニ解釋スルノ必要ヲ認メ自動車ノ種類構造運轉方法ノ同一ナルモノハ特定自動車ト爲シ之ヲ力運轉操縦ニ從事スル運轉手ニ對シテハ乙種免許證ヲ交付可致候ニ付御承知相成度尙現在乙種免許證ヲ有スル運轉手ニ對シテハ申請ニヨリ訂正交付可致候條此旨貴管内乙種免許證受有者ヘ洩レナク御傳達相煩度依命此段及通牒候也

●自動車二屋上燈裝置ニ關スル件依命通牒

大正八年二月十日
內務省第六號警保局長通牒

宮内省所管自動車中御料車、貴賓車及臣下車ニハ諸官衙其ノ他ニ於テ使用スル自動車ト區別スル爲屋上燈「カノフヒーライト」ヲ設置相成居候處近來之ニ類スル燈ヲ設ケ居ルモノ往々有之一見識別難致斯クテハ同省所期ノ趣旨ニモ相反スルコトト相成候間今同當省令自動車取締令發布ヲ機トシ一般自動車ニハ屋上燈ノ裝置無之様致度候ニ付車輛検査等ノ際ニ於テ右様ノモノ發見候場合ニ於テ如上ノ趣旨懇篤御説諭ノ上裝置方見合セ候様御取計相煩度本件ニ付テハ宮内省ヨリ特ニ申越ノ次第モ有之右申進候也

●自動車検査證明ニ關スル件

大正八年三月十四日
未警保發第二一號

本年二月神奈川縣令第八號自動車取締令施行細則第六條第二項ニ基キ自動車ノ證明ニハ添付封票ヲ使用可致候條御了知相成度依命此段及通牒候也
追テ該證明ハ明年度定期検査ノ際改定致スヘク又封票ノ下部ニハ車輛番號ヲ打込ム管ニ付申添候

●自動車營業許可指令ニ關スル件

大正八年四月九日
內務省發警第二號警保局長通牒

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

首題ノ件ニ關シ甲號照會ニ對シ乙號ノ通り回答候條此段及通牒候也

(甲號)

愛知縣知事照會(大正八年四月五日)

(保第一〇四號)

自動車ニ依リ運輸ノ業ヲ營マントスル者ニシテ其ノ營業區域ニ地方ニ涉ルトキハ願書宛名ハ關係地方長官連名ニテ提出セシメ相互協議ヲ爲スヘキ旨內務省發警第二號御通牒ニ依リ了承致候モ之カ許否ノ指令モ同様關係地方長官連名ト爲ス様取扱可然哉聊カ疑義相生シ候ニ付テハ何分ノ御意見承知致シ度此段及照會候也

(乙號)

警保局長回答(大正八年四月九日內務省發警第二號)

本月五日保發第一〇四號ヲ以テ本件疑義ニ付御照會相成候處右ハ關係地方長官連名ヲ以テ指令相成候様致度

●自動車輸送ノ普及發達助成ノ件

大正九年七月二日
內務省發土第七六號土木局長警保局長通牒

歐洲大戰ニ於ケル實績ニ徴スルモ又勞銀騰貴ノ趨勢ニ顧ルモ將來世界ノ大勢ニ順應シ平和ノ競走ニ應スルカ爲ニハ自動車輸送ノ普及發達ヲ圖ルノ最モ緊要タルヲ認ム然ルチ地方幹線道路及重要都市内ノ主要街路ニシテ尙ホ自動車ノ使用ヲ自由ナラシムルノ城ニ達セサルモノアルハ洵ニ遺憾ニ存スル次第ニ有之是等道路ノ改良ニ付テハ夫夫御計劃中ニ可有之トハ存候ヘ共應急ノ策トシテ自動車ノ自由ニ適セサル部分ニハ勾配標識ヲ建設シ運轉手ヲシテ前途ニ於ケル道路ノ性質ヲ前知シ豫メ速度ヲ加減シ其ノ他ノ運轉上必要ナル措置ヲ探ラシムルト共ニ一層取締ヲ嚴重ニシ少クトモ地方幹線道路及重要都市ノ主要街路ニ於テハ可成速ニ普通單車ハ長サヲ制限スルコトナク運轉セシムルコトト相成様御考慮相成度

●自動車取締令施行規則ニ關スル件

大正九年八月四日
內務省發警第四一號警保局長通牒

自動車取締令施行規則夫夫御報告相成候處其ノ所定速度等別表ノ通り有之爲御參考及送付候本件ニ關スル事項ハ各地ノ狀況ニ依リ他ノ區間ニ涉ルハ不得止義ニハ有之候へ共甲地ヨリ乙地ニ涉リ使用候モノニ對シ其ノ車番號ニ表ハス數字ニシテ自家用營業用ノ區別甲乙地方其ノ色合ヲ異ニスル如キハ取締上其ノ他ノ不便不謬哉ニモ被存他ノ事項ニ於テモ或程度迄早晚統一ヲ要スルノ必要有之様ニ被存候間豫メ御考慮煩置度別表差進旁右申進候也
(別表ハ各府縣速度表ナリ)

●自動車取締令ヲ消防自動車ニ適用ノ件

大正十年十一月二十二日
警保局長通牒

別紙甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通り回答致シ置候條此段及通牒候也

(甲號)

兵庫縣知事照會(大正十年十一月十五日保發第三六八號)

消防自動車ノ火災警防出動ニ際シテハ大正八年一月內務省令第一號自動車取締令ノ適用ヲ受クヘキ限リニアラスト

思料候モ取締上疑義相生シ候條何分ノ御指示相成度此段及照會候也

(乙號)

內務省警保局長回答(大正十年十一月二十二日)

本件ニ付本月十五日保發第三六八號ヲ以テ御照會有之候處御來示自動車ハ貴縣消防署用ノモノヲ指示セラレタルモノニ可有之右官廳用ノモノニ對シテハ自動車取締令ノ適用無之候其該規定ノ條項ハ官廳ニ於テモ之ニ準據スヘキモノト存候へ共火災警防ノ出動ニ際シ現場到達ノ遲速如何ハ直接警防上ニ及ホスノ影響甚大ニ有之當省令又ハ之ニ基キテ貴縣令ニ依リ定メラレタル速力ノ制限ヲ超過候ハ不得已義ト思料被致候

●自動車運轉手出願者身元調査ニ關スル件

大正九年二月十日
申警保收第一八九四號

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

自動車運轉手出願者ニシテ在郷軍人ナルトキハ自動車取締令施行手續第六條ノ外特ニ左記事項調査記入ノ上願書御進達相成度依命此段及通牒候也

左記

- 一、役種 兵種 官等級

●自動車運轉手免許再試験ニ關スル件

大正十四年六月九日
署長會議注意事項

自動車運轉手免許證下附出願者ニシテ試驗ノ結果不合格ト決定シタル者ニ對シテハ二ヶ月間受験スルコトヲ得サル事ト相成リ居レルカ二ヶ月經過後再出願ニ際シ改メテ其ノ身元調査ヲ爲ササル趣ナルヲ以テ其ノ遠キ原籍地ニ於テ爲スモノ等ニ對シテハ再ヒ永キ月日ヲ徒費スルノ結果ヲ生シ出願者ノ蒙ル不利益蓋シ慮外ニ屬スルモノアリ固ヨリ二ヶ月以上ノ月日ヲ經過スルニ於テハ各本人ノ事情或ハ異ルモノアルヘシト雖モ如斯事例ハ極メテ稀ニシテ大體二ヶ月前ト事情ヲ同シラスルモノト見テ大ナル支障無カルヘキヲ以テ爾後一旦不合格ト決定シタルモノニ對シテハ其ノ名簿ヲ作製シ置キ再出願ノ場合ハ身元調査等省略ノ上直チニ書類進達セラレハシ

●自動車検査證交付ニ關シ郡市役所ニ通知方

大正九年九月十六日
申内地發第三七五號內務、警察部長

各署長宛

近來自動車ノ需用著シク増加シ從テ之カ脱稅取締上必要有之候條爾今自動車取締令施行規則第六條ノ車體検査證ヲ經由交付シタルトキハ直ニ左記要項ヲ所轄郡市役所ニ通知相成度依命及通牒候

左記

- 一、所有者住所氏名 法人ニ在リテハ其名稱事務所々在地
- 二、車輛番號

- 三、自家用營業用ノ區別
- 四、自家用ニ在リテハ其ノ馬力數營業用ニ在リテハ乘客定員貨物運搬用ニ在リテハ積載噸數
- 五、其ノ他検査證記載事項ニ變更ヲ生シタルトキ

●自動車取締並事故報告ニ關スル件

大正八年九月十八日
未警保發第一一四號

自動車取締令及自動車取締令施行細則ノ實施以來ソノ趣旨ニ依リ相當之レカ取締ニ御配慮相成居リ候事トハ察シ居
モ自動車ノ發達ハ最近殊ニ著シク從ツテ之ニ基因スル事故ノ如キモ其數ニ於テ逐次増加ノ傾向アルハ道路ノ不備或
ハ一般ノ交通道德ノ缺點等其一因タルヘシト雖一面運轉手ノ不注意及怠慢又ハ是等ノ原因タル本人ノ素行不良等ニ
依ルハ明瞭ニシテ之ヲ監視シ督勵シ及本人素行ノ善良ナラシムルハ交通ノ安全ヲ保持シ事故ノ發生ヲ豫防スヘキ交
通警察ノ目的ヲ達スル第一義ト思料セラレ候ニ就テハ爾今關係法規ノ勵行ハ勿論特ニ本人ノ素行ニ付嚴重御監視ノ
上若不良ト認ムル點有之候ハハ其ノ狀況ヲ具體的ニ御記入ノ上就業禁止ニ關スル意見ヲ附シ御報告相成度若又萬
一事故發生シタル場合ニ於テハ左記様式ニ依リ一ヶ月分ヲ翌月十日迄御報告相成様依命此段及通牒候也

發生事故及法規違反者報告月表

事故發生又ハ法規違反ノ年月日時	事故又ハ法規違反ノ概要	住所	氏名	年齢	有處	無	備	考
-----------------	-------------	----	----	----	----	---	---	---

記載例

- 一、事故又ハ違反概要欄ニハ事故ノ原因加害ノ狀又ハ法規ノ條文等記入ノ事
- 二、處罰有無欄ニハ刑事訴訟手續中ノモノハ其ノ旨ヲ記入シ其ノ結果判明シタル翌月ノ表欄外但書ニ記入報告ノ事
- 三、事故當時書面報告シタルモノハ本表ニ記載スルヲ要セス

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

四、備考欄ニハ免許ノ有無甲乙ノ別免許番號等ヲ參考トシテ記入ノ事

●自動車事故報告ニ關スル件

大正十一年八月二十一日
戊警保發第一四三號

近時自動車業ノ勃興ニ伴フ之カ事故ノ頻發甚シク自今其ノ數ヲ算スルノ狀態ニシテ右責任者タル自動車運轉手ニ對
シテ事故報告ニ基キ夫々調査ノ末相當行政處分ニ付シツ、アルモ各署ノ報告書中簡ニ失シテ要點ヲ脱シ事件唯一ノ
決定資料ニ乏シキモノ有之處分上支障有之候ニ付テハ爾今自動車事故報告ノ場合ニ行政處分ヲ要スト認ムルトキハ
此點留意相成速ニ依命此段及通牒候也

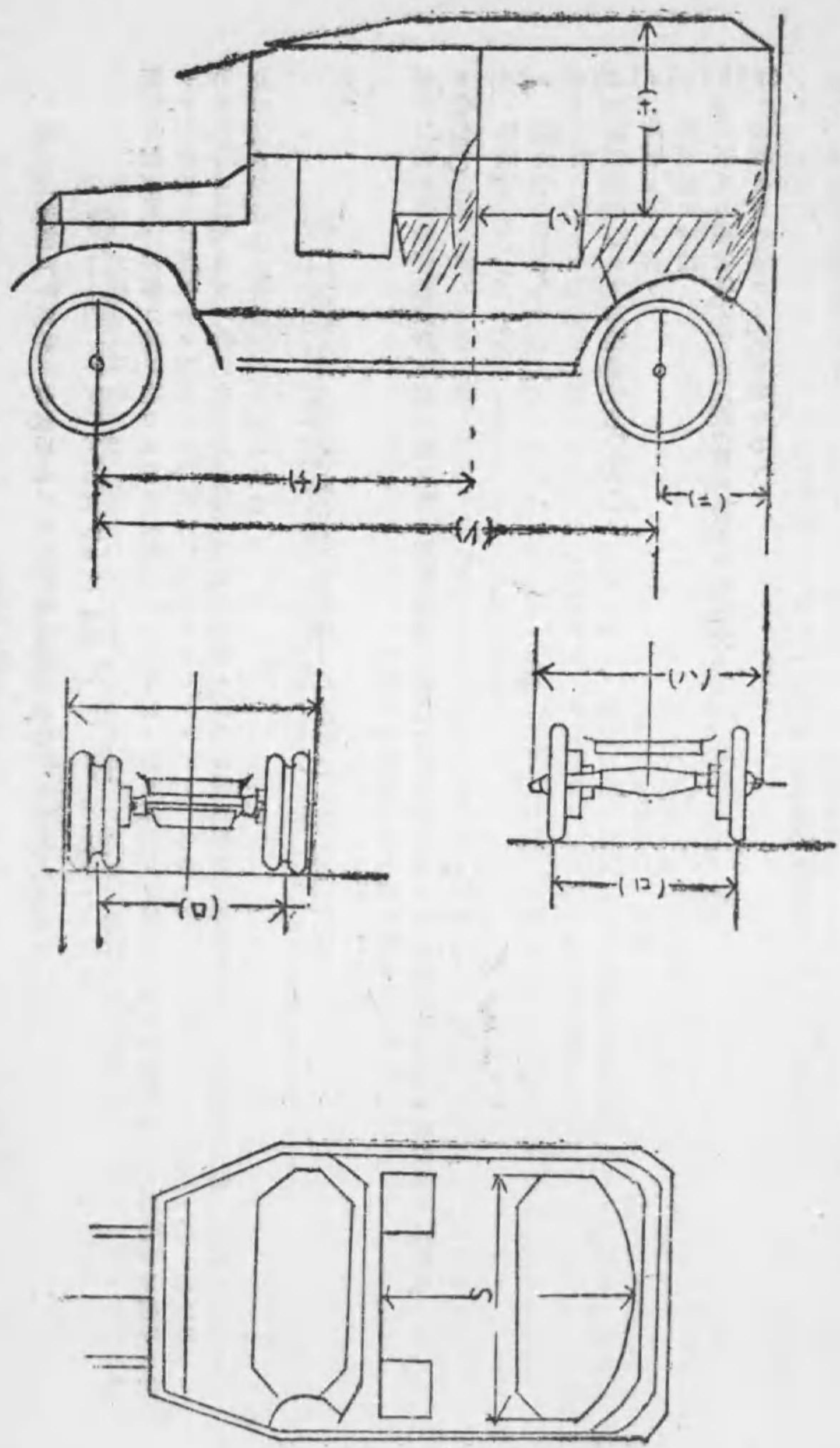
●自動車運輸營業及增車願ニ關スル件

大正十一年八月二十二日
戊警保發第一四四號

爾今自動車運輸營業及增車願ニ對シテハ別紙略圖(寸法記入)ヲ添附セシメ進達相成度依命此段及通牒候也
(別紙)

- 軸間(ホキルマス)
- 軸間(トレード)
- 全幅
- 後車輪中心ヨリ車體最後部(外矩)
- 座席上方ノ高サ
- 客室縦ノ寸法
- 客室又ハ座席横ノ寸法(座席面ニ於ケル内矩)
- 運轉臺背面線ヨリ前車輪中心マテ

(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)(チ)



〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

●自動車運轉手免許證再下付願取扱ニ關スル件

大正十二年十月五日
十二保發第三一號

爾今首題ノ出願ニ對シテハ左記事項ヲ記入セシメ且ツ既ニ免許證ヲ受有シタル事實御調査ノ上意見ヲ付シ申達相成
様致シ度依命此段及通牒候也
追テ臺帳作製ノ必要有之候ニ付手札型半身正面寫眞ニ葉添付セシメラレ度

左記

- 一、免許證ノ種類(乙種ノ場合ハ特定車輛番號又ハ特種車輛ノ種類)
- 一、舊免許證ノ番號並ニ下付年月日
- 一、本年九月一日前ノ最近ノ就業所(自家用自カラ運轉スルモノハ其ノ旨)
- 一、本籍現住所氏名生年月日

●就業地ヲ變更シタル自動車運轉手免許證亡失毀損ノ

場合再交付ニ關スル件

大正十二年十一月二十一日
警保局警務乙第一四二號 警保局長通牒

本件ニ付別紙甲號京都府知事照會ニ對シ乙號ノ通回答取計置候間御參考迄寫差進候也
別紙

(甲號)

(内務省警保局長宛 京都府知事ヨリ) (大正十二年十一月九日保第一一〇八三號)

自動車取締令第二十條第二十一條ノ規定ニ依リ就業地變更ヲ認メラレタル自動車運轉手カ免許證ヲ滅失又ハ毀損シ
タルトキ其ノ再交付ニ付本府ニ於テハ從來前ニ交付シタル地方長官トノ解釋ニヨリ取扱ナシ來タリタルモ府縣ニヨ
リテハ就業變更承認地ノ地方長官ト解釋シ取扱ヲ爲シ居レルモノモ有之取締令第十八條ノ地方長官ノ解釋上疑義有
之關係府縣トノ交渉上支障有之候條何分ノ御指示相成度右相伺候也

(乙號)

(京都府知事宛 内務省警保局長ヨリ) (大正十二年十一月二十一日警保局警發乙第一四二號)

自動車運轉手免許證再交付ニ關スル件同答

本月九日付保第一〇八三號ヲ以テ本件ニ付御問合有之候處右ハ運轉手免許證ノ效力内地全般ニ涉レル以上變更地先主タル就業地ヲ管轄スル地方ニ於テ再交付ヲ爲シ前ニ交付ヲ爲シタル地方長官ニ其旨通牒セラレ可然ト存候

●自動車運轉手免許證再下附願取扱ニ關スル件

大正十三年二月五日
十三保發第四四號保安課長依命通牒

客年十月五日附十二保發第三十一號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ通牒致置候處爾今乙種運轉手免許證再下附出願ニ對シテハ左記ニ據リ御調査ノ上意見ヲ附シテ御進達相成度依命此段及通牒候也

記

- 一、乙種運轉手免許證再下附願書ニハ十二保發第三十一號保安課長依命通牒ニ據ル事項記入ノ外免許證交付ノ當時指示セラレタル特定車輛番號及種類(種類不詳ノ時ハ其ノ車輛使用者名)特種ニ在リテハ其ノ種類ヲ記入セシムルコト
- 二、免許證再下附後運轉スル車輛ノ番號及種類ハ最初免許證交付當時指示セラレタル番號及種類ト同一ナリヤ否ヲ調査相成度
- 三、右ノ場合ニ於テ車輛番號又ハ種類異ル時ハ免許證再下附願ノ外特定車輛變更願ヲナサシメ再下附願ニ添付御進達相成度
- 四、特定車輛變更願ニハ本籍、現住所、氏名、生年月日、免許證ノ種類及番號、下附年月日、舊特定車輛番號及種類、變更セムトスル特定車輛番號及種類、同車輛使用者又ハ所有者ノ住所氏名ヲ記入セシメラレ度

●自動車取締令施行ニ關スル件

大正十三年一月十四日
十二保發第三一六七號

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

現ニ自動車運轉手タルモノニシテ來ル大正十三年上半年前後ニ於テ免許有效期間滿了ニ至ル者各管内ヲ通シ其ノ數不少有之候處大正十二年十二月七日内務省令第四十四號ヲ以テ自動車取締令第十六條中改正相成是等現ニ運轉手タル者ニシテ運轉手免許有效期間滿了後尙引續キ運轉手タラントスル者ニ對シ有效期間滿了前ニ於テモ試驗ヲ行ヒ得ルノ途ヲ開カレ且ツ多年ノ實驗上自動車ノ運轉操縦ニ熟練ヲ重ネ相當技能アリト認ムル者ニ對シテハ試驗ノ全部又ハ一部ヲ省略シ得ルコトト相成候ニ就テハ本件ノ實施ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成度依命此段及通牒候也

記

- 一、現ニ運轉手タル者ニシテ運轉手免許ノ有效期間滿了後仍ホ引續キ運轉手タラムトスル者ニ對シテハ期間滿了前六ヶ月以内ニ出願セシムルコト
- 二、前項出願アリタルトキハ大正八年二月十九日訓示甲第一號自動車取締令施行手續第六條各號ノ事項ヲ調査スルノ外出願前六ヶ月間中斷ナク運轉手トシテ就業シタル者ナルヤ否ヤニ關スル具體的事實ヲ調査シテ進達スルコト
- 三、運轉手中ニハ種々ノ方法ニ依リ雇主ニ迷惑ヲ及ホシ又ハ公衆ニ對シ倨傲不遜ノ態度ニ出ツル等人格ノ疑ハシキ者之レナキニアラサルヲ以テ本件出願ニ對シテハ就業事實ト共ニ特ニ素行ヲ慎重調査シ運轉手トシテ不都合ノ行爲アリタル者ハ其ノ具體的事實ヲ記載シ進達スルコト

●自動車取締令ニ關スル件依命通牒

大正十二年十二月七日
内務省警發第四號警保局長

今般省令第四十四號ヲ以テ自動車取締令第十六條中改正相成候處右ハ現ニ自動車運轉手タル者ニシテ來ル大正十三年上半年前後ニ於テ免許有效期間滿了ニ至ル者不少是等ニ對シ其ノ際ニ臨ミ一時ニ試驗ヲ實行候ハ困難ナルノミナラス就業上ニ及ス影響亦少ナカラサルヘキヲ願慮シ有效期間滿了前試驗ヲ行ヒ得ルノ途ヲ開キ其ノ多年ノ實驗上自動車ノ運轉操縦ニ熟練ヲ重ネ相當技能アリト認メラレタル者ニ對シテハ試驗ノ全部又ハ一部ヲ省略シ得ルコトト爲シ彼是緩和ヲ圖リタル義ニ之有就テハ本件ノ實效ニ關シテハ大要左記ニ依リ御處理相成度右進達候也

記

- 一、現ニ運轉手タル者ニシテ運轉手免許ノ有效期間後引續運轉手タラムトスル者ニ對シテハ期間滿了前六ヶ月以内ニ出願セシムルコト
- 二、試驗ノ全部又ハ一部ヲ省略シ得ヘキ者ハ出願前六ヶ月間ハ中斷ナク運轉手トシテ就業シ居ルモノナルコト

- 三、運轉手中ニハ種々ノ方法ニ依リ雇主ニ迷惑ヲ及ホシ又ハ公衆ニ對シテ傲慢不遜ノ態度ニ出ツル等人格ノ疑ハシキ者之ナキニアラサルヲ以テ本件出願ニ對シテハ就業事實ト共ニ素行ヲ調査シ運轉手トシテ不都合ノ行爲ナカリシ者ニ對シテ免許セラレタキコト
- 四、運轉免許證ハ必スシモ運轉手有効期間満了ノ日ヲ待ツテ交付スルヲ要セス其ノ新ニ交付スヘキ免許證ニ其ノ交付ノ年月日效力ノ發生及滿期ノ年月日ヲ明記シ遲滞ナク交付スルヲ妨ケス

●自動車取締令施行ニ關スル件

大正十三年三月七日
十二保收第三一六七號ノ一

首題ノ件ニ關シ本年一月十四日付十二保收第三一六七號ヲ以テ及通牒ヒ置候處書類ノ取扱各署區々ニ互リ處理上不便不尠候ニ付其ノ様式ヲ一定致度候條爾今本件ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也
追テ本件關係者ニ就此際御調査ノ上至急規定ノ願出ヲ爲サシメラレ度候

記

- 一、副申書ニハ出願人ノ本籍住所氏名生年月日免許證ノ種類番號下付年月日及有効期間満了期日ヲ記入相成度
- 二、本人ニ付テハ嚴重ナル身元調査ヲナシ其ノ調査シタル事項ハ施行手續第六條ニ據ル各號チ一ヨリ五トシ
- 六、出願前六ヶ月間中斷ナク運轉手トシテ就業シタルモノナリヤ否ヤニ關スル具體的事實
- 七、特ニ素行ニ就テ不都合行爲アリタルトキハ其ノ具體的事實
チ各項目別ニ調査ノ結果ヲ御記入相成度
- 三、願書ハ別紙様式ニ依リ記載セシメ履歷書及寫眞ニ葉免許證ノ寫ヲ添附出願セシメラレ度
(別紙)(様式) (但シ用紙ハ半紙ノコト)

本籍
現住所

一、免許證種類(甲乙)種第 號
下附年月日 大正 年 月 日

氏 名
生年月日

縣 知 事 宛

右 氏 名 印

〔神奈川警〕

●自動車車輛ニ關スル願屆書進達ノ件

大正十三年三月五日
十三保發第八七號

自動車車輛ニ關スル願屆書ニ就テハ往々不備ノモノ有之候爲メ處理上義疑相生シ屢々照會ヲ要シ候場合モ不尠候條特ニ左記事項ニ就テハ遺漏ナク御調査ノ上御進達相成度依命通牒候也

- 一、車輛検査願出ニ對シテハ必ス職業ヲ記載セシメ實際ノ用途ヲ明ニシ且營業用ナルトキハ其許可ノ有無及許可車輛數ノ過不足等慎重ニ調査ノコト
- 一、讓渡屆ノ場合ハ前所有者所轄警察署ニ書類ヲ提出セシメ讓受人所轄警察署ニ移牒シ其用途ニ就テ調査ヲ遂ケ進達ノコト
- 一、廢車屆出ハ必ス検査證並ニ検査票ヲ添付シ若シ不能ノ場合ハ其事由附記ノコト

●自動車標識ニ關スル件

大正十三年三月二十五日
十三保第一〇七號

自動車ノ運搬又ハ試運轉等ノ場合揭示セシムル標板ニ付左記金額配當可相成候ニ付至急貴署ニ於テ作製シ應急ノ現標板ヲ廢止シ嚴重御取締相成様致度
追而八幡橋及保土ヶ谷分署ニ於テハ左圖様式ヲ以テ作製相成度依命此段及通牒候也

警察(分)署名	所要組數	一枚一組	額
加賀町署	二	二〇	六〇、〇〇
伊勢佐木署	〇	〇	三〇、〇〇
森部署	〇	〇	三〇、〇〇
戸部署	〇	〇	三〇、〇〇
山手本町署	〇	〇	三〇、〇〇
神奈川署	五	五〇	一五〇、〇〇
八幡橋分署	五	五〇	一五〇、〇〇
保土ヶ谷分署	五	五〇	一五〇、〇〇
計	七	七五	二二五、〇〇

注意 標板一枚ニ付金壹圓五拾錢ノ見込ニ付本金額内ニ於テ尙剩餘アル場合ハ組數ヲ變更スルモ差支ナシ

標識 様式



赤地 赤地 赤地 赤地 赤地

八幡橋分署ハ「八」保土ヶ谷分署ハ「保」ノ頭文字トス

一 材料 鐵板又ハ銅板厚サ一ミリメートル以上

二 色別 白地ニ黒文字及赤棒赤線二本

三 文字 中央ニ神奈川県トシ其ノ左側ニ警察(分)署頭文字右側ニ第一號ヲ始メトシテノ番號

四 寸法 文字周圍間隙(神奈川県ヲ除ク)

最少五分文字ノ太サ數字ハ五分頭文字及神奈川県ヲ適當トス

棒ハ上下ヲ三分左右端及中二線ヲ五分トス

文字ハ前各號ノ寸法ニ差支ナキ限リ大ナルヲ要ス

〔神奈川県〕

〔神奈川県〕

●自動車運轉手願届取扱方ニ關スル件

大正十三年六月十八日
十三保發第一八四號

首題ノ件ニ關シ各署ニ於テハ夫々規定ノ手續ヲ勵行シ居ラル、コトト思料候へ共書類ノ取扱區々ニ互リ處理上不便不抄候ニ付爾今本件ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成度此段及依命通牒候也

記

- 一 取締令第二十條ノ「運轉手其ノ主タル就業地ヲ變更シタルトキ」トハ從來他ノ廳府縣ニ就業シ居リタルモノ本縣内ニ就業地ヲ變更セシトキニ於テ届出スヘキコトヲ規定セラレタルモノニシテ縣内ニ於テ雇主ヲ變更シタル爲メ其ノ住所ヲ異動シタルカ如キハ本條ニ該當セス
- 二 右届出アリタル時ハ當廳ニ於テ就業地變更承認試驗ヲ執行シ合格ノトキハ其ノ變更ヲ承認ノ旨免許證ニ記入スルヲ以テ同届書ヲ受理シタルトキハ添付免許證ノ寫ト本免許證ト對照ノ上相違ナキトキハ其ノ旨朱書捺印ノ上五日以内ニ本人ヲシテ書類持參當廳ニ出頭セシメラレ度
- 三 就業地變更届ニハ本籍現住所氏名年齢前就業地現就業地ヲ記載セシメラレ度
- 四 取締令第二十二條第一項ニヨリ運轉手雇入届アリタルトキハ添付ノ免許證寫ト本免許證ト對照ノ上相違ナキトキハ其ノ旨朱書捺印ノ上御進達有之度
- 五 取締令第二十二條第二項ニヨリ運轉手解雇届ニハ運轉手ノ氏名ノ外ニ免許證種類番號ヲ記載セシメラレ度
- 六 施行細則第二十條第一號ニ依リ住所異動届アリタルトキハ「他ノ廳府縣ヨリ住所ヲ異動セシムルニ非ラサルヤ若シ然ルトキハ此ニ伴ヒ就業地ヲ變更スルコト多キヲ以テ同届ヲ要ス」御調査ノ上本縣内ニ於テノ住所異動ナルトキハ十二保發第一三九號ニ依リ免許證寫ヲ添付セシメ本免許證ト對照ノ上相違ナキトキハ其ノ旨朱書捺印ノ免許證相當欄ニ記入臺帳整理ノ上御進達有之度
- 七 右關係書類受理ノトキハ左記御調査ノ上其々規定ノ届出ヲナサシメラレ度
 - (一) 就業地變更届アリタルトキハ此ニ伴ヒ住所ヲ異動シ又ハ雇主ヲ變更シタルモノニアラサルヤ
 - (二) 住所異動届アリタルトキハ此ニ伴ヒ雇主ヲ變更シタルモノニ非ラサルヤ

- (三) 雇入届アリタルトキハ他ノ廳府縣ヨリ就業地ヲ變更セシモノニ非ラスタ又ハ雇主ノ變更シタル爲メ住所異動シタルモノニ非サルヤ
- 八 右關係届書ニハ特別ノ事由アルモノノ外副申ヲ要セス單ニ受付ノ上其ノ署經由テ證スル爲メ欄外適當ノ處ヘ署印捺捺御進達有之度

(参照)
自動車運轉手並ニ車掌ニ關スル件(大正十二年十二月二十四日十二保發第一三九號)
過般震火災ニ依リ運轉手並ニ車掌ノ住所異動不詳儀ト存シ候ニ付貴管内ニ居住スル本縣關係者調査ノ上至急規定ノ届出ヲ爲サシメ且ツ違反者ニハ嚴重御取締相成様致度尙ホ當分ノ間本屆書ニハ免許證ノ寫ヲ添付シ本免許證ト對照シ相違ナキヤ否ヤ御調査相成度依命此段及通牒候也

●自動車運轉手就業地變更届處理ニ關スル件

大正十四年二月十九日
十四保發第四二號

自動車運轉手就業地變更届ヲ受理シタル場合ノ取扱方ニ關シテハ客年六月十八日附保發第一八四號ヲ以テ依命通牒候處右通牒ニ於テハ各署ニ於テ同届ヲ受理シタルトキハ五日以内ニ本人ヲシテ書類ヲ持參當廳ニ出頭セシムルコトニ相成居候得共爾今同届ヲ受理シタルトキハ本人ヲシテ書類ヲ持參セシムルコトナク速ニ書類ノミ御進達相成度尙就業地變更者ニ對シテハ從來ノ通牒記試驗施行可成相候ニ付テハ此旨各本人ヘ示達シ相當準備セシムル様致度依命此段通牒候也

●自動車運轉手技倆證明ニ關スル件

大正十三年七月三日
警保局發中第四九號

陸軍ニ於テ左記部隊ハ別紙教育時間表ノ如ク大正十年十二月九日付警保第三九二號通牒ノ自動車隊同様自動車運轉

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

手トシテ充分ノ技倆有之モノニ付當該隊長ノ附與シタル技倆證明書所有者ニ對シテハ自動車隊長ノ附與シタル技倆證明書所有者ト同様特別ニ取扱方ノ義陸軍省ヨリ照會ノ次第モ有之候ニ付右技倆證明書ヲ有スルモノニシテ運轉手免許ノ出願アリタル場合ニ於テハ前項大正十年警保第三九二號通牒ノ趣旨ニ依リ可然御取計相煩度右申進候也

左記

- 飛行大隊長
- 氣球隊長
- 野戰重砲兵第七八聯隊長

大正十三年四月陸軍省

自動車教育ニ關スル時間表

隊	號	教育年數	自動車ニ關スル學科時間	術科時間	計
自動車隊	一	二	五二二	一〇二八	一、五四〇
飛行隊	二	一	四五〇	九一七	一、三七七
氣球隊	三	一	四五四	七三一	一、一八五
野戰重砲兵第七八聯隊	四	一	四五四	七三一	一、一八五

大正十二年度 飛行隊 自動車ニ關スル學科教育時間表

大正十三年四月十九日陸軍航空部

科	目	時間	第一年度	第二年度	計
學	自動車ノ名稱	自動車學	一〇時	三〇時	四〇時
	軍用自動車構造機能取扱手入保存法	軍用自動車學	二五	二〇	四五
	軍用特種自動車自動二輪車構造機能取扱手入保存法	軍用特種自動車學	一五	二〇	三五
	航空兵假規定中自動車教練ニ關スルモノ	航空兵假規定中自動車教練	二〇	一五	三五

第二編 保安 第四章 交通

科	術	科
計	貨物自動車操縦法 乗用自動車操縦法 特種自動車操縦法 自動車二輪車操縦法 自動車教練 自動車野外教練 各種自動車工術 車廠勤務 梱包積載	自動車操縦教範 汽車汽船積載卸下法 自動車ニ關スル諸法規 地圖ノ見解 運轉日誌ノ記載法 自動車大體ニ關スル學科 自動車ニ附屬セル材料ニ關スル學科
計	四 三 一 四 六 四 三 二 三 二 三 九 〇 〇	二 三 二 三 一 二 一 二 二 一 三 二 三 五 〇 〇
計	四 五 三 一 三 五 五 四 四 〇 九 〇 〇	二 一 三 一 五 五 五 五 五 〇 二 一 二 二 五 〇
計	九 一 七 二 〇 七 五 〇 〇 〇 五 〇 〇	四 五 三 六 一 三 四 二 四 〇 五 〇 五 〇

備考 航空各部隊自動車教育時間ヲ綜合算定セシモノナリ

科目	時間
自動車ノ名譽	第一 年 實施 時間
自動車學	四 一 三 七 七 八 二 〇

大正十二年度 野戰砲兵學校教導 聯隊 自動車教育時間表

〔神奈川營〕

科	術	科	學
計	乗用自動車操縦法 自動車二輪車操縦法 索引自動車操縦法 自動車操縦法 自動車工術 自動車ヲ以テスル部隊教練 自動車積載法 汽車汽船積載法 其ノ他自動車ニ關スル術科	計	自動車ノ取扱法 自動車ノ保持法 自動車ニ關スル法規 自動車ニ關スル操典 自動車操縦教範 運轉手日誌ノ記載法 自動車構造機能取扱手法 特種自動車構造機能取扱法 汽車汽船搭載法 自動車工術法 其ノ他自動車ニ關スル學科
計	三 八 二	二 四 一 二 一 八 九 四 〇 四 二 六 三 六 八 八	二 二 一 一 二 二 二 二 二 一 二 二 二 二 二 三
計	三 四 九	二 〇 二 二 二 三 三 五 四 六 二 二 二 九 六 二 三	二 二 一 一 二 二 二 二 一 二 二 二 二 二 二 三
計	七 三 一	四 五 三 五 一 四 八 六 六 八 二 二 三 五 五 〇 一	四 五 三 五 一 四 八 六 六 八 二 二 三 五 五 〇 一

備考 野戰砲兵學校自動車手ハ第一年度ニ於テ七月下旬迄原隊(野戰重砲兵第七第八聯隊)ニ於テ教育ヲ受ケ第
二編 保安 第四章 交通

(總時間 一一八五時間)

二年度ニ於テハ八月一日原隊復歸後更ニ四ヶ月間自動車ノ教育ヲ受ク其ノ教育時間ハ學校ニ於ケル教育及派遣前歸隊後ノ教育ヲ通算シ概ネ本表ニ同シ

●陸軍自動車隊運轉手歸郷後ニ於ケル免許ニ關スル件

大正十年十二月九日
警備第三九二號警保局長

各廳府縣長官宛(東京府ヲ除ク)

陸軍自動車隊ニ於テハ兵卒ニ對シ別紙教育時間表ニ依リ自動車運轉手トシテノ充分ノ技術ヲ養成致居候處之カ滿期歸郷後ニ於テモ其ノ技能ヲ維持増進シ以テ有事ノ際ニ於ケル軍部ノ要求ヲ充足スルニ備フル爲メ平素ニ於テ民間自動車運轉手トシテ可成多數ノ者ヲ就職致サセ度陸軍省ノ希望ニ有之就テハ是等歸郷兵卒ニシテ自動車隊長ノ技術證明書ヲ添ヘ運轉手ノ免許ヲ出願候場合自動車取締令第十五條ノ試驗ニ付テハ別紙ノ通長期ニ涉リ自動車ノ運轉ニ關スル必須ナル事項ヲ修得シタル者ニモ有之前顯御含ミノ上相當裁量ヲ加ヘラレ可成同省ノ希望ニ副フ様御取扱相成度候

大正十年度自動車隊兵自動車ニ關スル學科教育時間表

科目	時間		計
	第一年度	第二年度	
自動車ノ名稱	一五時	六〇時	二〇時
自動車學	六〇	四〇	一〇〇
自動車取扱法	四〇	四〇	八〇
自動車保存法	四〇	四〇	八〇
自動車ニ關スル法規	一〇	一〇	二〇
自動車操典	一〇	一〇	二〇
自動車操縱教範	一〇	一〇	二〇
梱包積載教範	一〇	一〇	二〇
運轉日誌ノ記載法	一〇	一〇	二〇
計	三六〇	三六〇	七二〇

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

科目	時間		計
	第一年度	第二年度	
自動車構造機能取扱手入法	一五	一五	三〇
特種自動車構造機能取扱法	一五	一五	三〇
汽車汽船搭載法	一五	一五	三〇
自動車工術法	一五	一五	三〇
計	六〇	六〇	一二〇
自動車各個教練	一九五	一九五	三九〇
乗用自動車操縱法	九六	九六	一九二
自動二輪車操縱法	六三	六三	一二六
牽引車操縱法	九四	九四	一八八
タンク操縱法	一五	一五	三〇
裝甲自動車操縱法	一五	一五	三〇
其他特種自動車操縱法	一五	一五	三〇
自動車操縱法	一五	一五	三〇
自動車中隊教練	一五	一五	三〇
自動車教練	一五	一五	三〇
自動車工術	一五	一五	三〇
自動車積載法	一五	一五	三〇
汽車汽船搭載	一五	一五	三〇
計	一五四〇	一五四〇	一〇八〇

(總時間 一五四〇)

●在郷軍人ニ對シ自動車運轉手免許證交付ニ關スル件

大正九年二月七日
警保局長通牒
勤員計畫上必要有之候趣ヲ以テ在郷軍人ニ對シ自動車運轉手免許證ヲ交付セラレタル場合ハ其ノ在郷軍人本籍地ノ

聯隊區司令部へ左記事項御通報相成度旨陸軍次官ヨリ申越候條御了知ノ上右御取計相煩度候也

左記

- 一、本籍 氏名
- 二、役種 兵種 官等級
- 三、免許證ノ種類

●自動車検査及運轉手免許試験内規

大正十三年八月六日
決裁

自動車検査及運轉手免許試験内規左ノ通之ヲ定ム

第一章 自動車検査

第一條 自動車ノ検査ハ指定シタル技術官及警部警部補巡查部長ノ内一名ヲ以テ之ヲ行フ

第二條 自動車検査ノ日時及場所ハ主務部課長別ニ之ヲ定ム

第三條 自動車ノ検査ハ機關車體其ノ他各部ノ構造ニ就キ精密ナル検査ヲ行ヒ必要ニ應ジ試乗シテ停車徐行回轉等ヲ爲サシメ場合ニ依リ機械ノ一部又ハ全部ヲ解體セシムルコトアルヘシ

第四條 自動車ノ検査ニ合格シタルモノニ非サレハ車輛番號ノ指示ヲ爲サス

第五條 自動車ノ検査ニ合格シタルモノハ後部番號札ニ封緘ヲ施シ検査證明ヲ爲スヘシ

第二章 運轉手免許試験

第六條 運轉手免許試験ハ指定シタル技術官一名以上及保安課長又ハ警部警部補巡查部長ノ内一名以上ヲ以テ之ヲ行フ

第七條 試験ノ日時及場所ハ受檢者ニ對シ豫メ直接之ヲ通知スヘシ

第八條 自動車ノ構造及取締規則ニ關スル試験ハ各二問題以上ヲ課シ筆答セシム但シ就業地變更承認試験特定車輛變更承認試験免許證有效期間經過ニ因リ免許試験日本語ニ通セス又ハ日本文字ヲ知ラサル外國人其ノ他保安課長

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

ニ於テ事情已ムヲ得サルモノト認メラルル者ニ對スル試験ニ限リ警部又ハ警部補立會ノ上口頭ニ依リ試験スルコトヲ得

實地ノ技能ニ關スル試験ハ自動車ヲ實地ニ運轉セシメ警察官立會ノ上技術官之ヲ行フ

第九條 試験ハ左ノ三種トス

- 一、甲種運轉手免許試験
- 二、乙種(特定)運轉手免許試験
- 三、乙種(特種)運轉手免許試験

前項第一號實地ノ技能ニ關スル試験ハ乗用車二臺(アオード型一臺及フオード以外ノ型一臺)ニ依リ之ヲ行ヒ第二號第三號自動車ノ構造ニ關スル試験ハ其ノ特定、特種ノ自動車ニ必要ナル事項ニ就キ之ヲ行フ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ自動車ノ構造ニ關スル試験ヲ省略スルコトヲ得

- 一、他廳府縣ヨリ本縣ニ其ノ就業地ヲ變更シタル者ニシテ適當ト認メタル者
- 二、特定車輛變更承認出願ノ者ニシテ其ノ使用セントスル車輛前使用ノ車輛ト構造同一ナルトキ
- 三、日本語ニ通セス又ハ日本文字ヲ知ラサル外國人
- 四、文部省認定工業學校機械科ヲ卒業シタル者
- 五、陸海軍ニ於ケル相當部隊長ヨリ附與セラレタル運轉手技術證明書ヲ有スル者
- 六、臺灣總督府樺太廳朝鮮總督府關東廳及南洋廳ノ當該官憲ヨリ下附セラレタル有效運轉手免許證ヲ有スル者

第十一條 試験ノ順序ハ先ツ實地ノ技能ニ關スル試験ヲ行ヒ其ノ合格者ニ對シ自動車ノ構造及取締規則ニ關スル試験ヲ行フ

第十二條 試験問題ハ取締規則ニ關シテハ保安課長自ラ出題シ又ハ警部警部補特ニ指定シタル巡查部長ヲシテ自動車ノ構造ニ關シテハ技術官ヲシテ出題セシメ保安課長之ヲ撰定ス

第十三條 答案ノ審査採點ハ出題者之ヲ爲スヘシ

第十四條 試験ノ採點ハ百點ヲ以テ滿點トシ六十點ヲ以テ合格點トス

第十五條 不正ノ方法ヲ用ヒ受験シタルモノハ成績ノ如何ヲ問ハス總テ不合格ト看做ス

第十六條 試驗ノ通知ヲ受ケタル者止ムヲ得サル事情ノ爲メ受験スルコトヲ得サルモノハ試驗日ノ翌日迄ニ相當證明書ヲ添附シ理由ヲ具シ受験延期願出タル者ニ限リ次同ノ試驗迄之ヲ延期ス

第十七條 試驗ニ無斷不應ノ者ハ特別ノ事情アル者ノ外不合格ト看做ス

第十八條 試驗不合格ニ因リ運轉手不免許ノ指令ヲ受ケタルモノハ更ニ免許出願スルモ不免許ノ日ヨリ二ヶ月間試験ヲ行ハス

第十九條 第十五條第十七條ノ規定ニ因リ不合格ト看做サレ運轉手不免許ノ指令ヲ受ケタルモノハ更ニ免許出願スルモ不免許ノ日ヨリ三ヶ月間試験ヲ行ハス

附則

第二十條 大正十年五月二十五日決定自動車検査及運轉手免許試驗規定ハ之ヲ廢止ス

●乗合自動車營業取締ニ關スル件

大正十三年七月四日
十三保發第二〇一號 警察部長

乗合自動車營業取締ニ關シテハ既ニ屢次依命通牒スルトコロアリ最近縣下各警察官署長會議ニ於テモ之カ路線整理ニ關シ特ニ注意セラレタルコロナルヲ以テ各位ニ於テハ相當其取締ニ從事セラレツツアルコトト存セラレ候處其ノ實況ヲ監察スルニ未タ之カ取締徹底セサル緣アリ營業者ノ内ニハ其名義ヲ他人ニ貸シ不當ノ權利金ヲ食ルモノアリ又權利者ノ名義ヲ藉リ無免許營業ヲ爲ス者アリ殊ニ暑氣益々其度チ加ヘ縣下各地ニ避暑客ノ激增シ又富士登山者大山道了山參詣者等殺到スルノ季ニ際シ此ノ如キ違反行爲ヲ敢テ行フモノノ増加スルハ過去ノ事實ニ徴シ明瞭ナリトス故ニ各位ハ豫メ營業者ニ對シ法令ノ趣旨ヲ徹底セシメ彼等ヲシテ乗客ノ増加ニ備フルノ準備ヲ爲サシムルト同時ニ當該路線ニ於ケル營業許可ヲ得サルモノハ假令短期間ト雖モ之カ營業者ヲ爲スチ得サルコトヲ注意シ特定期間ニ限リ相當ノ理由ヲ以テ營業セムトスルモノニ對シテハ夫成規ノ出願ヲ爲サシムル様御示達相成度而シテ將來ニ於テ權利者カ其ノ名義ヲ他人ニ貸シ權利金ヲ食リ又ハ他人ノ名義ヲ藉リ所謂朦朧營業ヲ爲スカ如キ者ヲ根絶セシムル方針ヲ以テ嚴重之カ取締ノ任ニ當リ萬一此ノ如キ違反者アリタル場合ニ於テハ前者ニ對シテハ營業禁止處分ノ上

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

申後者ニ對シテハ無免許營業者トシテ處分執行ニ關シ遺憾ナキチ期セラレ度

●乗客ヲ輸送スル貨物自動車ノ取締ニ關スル件

大正十三年八月十二日
十三保發第二二九號

凡テ自動車ハ乗用車タルト貨物車タルトヲ問ハス内務省令自動車取締令第五條及本縣令自動車取締令施行細則第六條ノ定ムル所ニ依リ其ノ車輛ノ構造裝置及乗用車ニアリテハ乗客定員及貨物車ニアリテハ積載定員等ヲ検査シ其ノ用途ニ依リ或ハ貨物車或ハ乗用車タルコトノ検査證明ヲ爲シシモノニシテ隨テ検査證明ノ爲メ自動車ノ使用者ニ交付スヘキ検査證ニモ其ノ用途及乗客定員又ハ貨物ノ積載定員ヲ明記シアルモノナレハ之カ使用者ニ於テ擅ニ其ノ用途ヲ變更シ乗用車ヲ以テ貨物ヲ運搬シ又ハ貨物車ヲ以テ人ノ輸送ヲ爲スコトヲ得サルハ自動車検査證明ノ精神ニ照シ明瞭ナル所トス然ルニ之カ使用者ニ於テ往往擅ニ其ノ用途ヲ變更シ貨物車ヲ以テ人ヲ輸送スルノ事實(但シ貨物積卸ノ爲メ必要ナル人員ノ乗車ハ妨ケナシ)アルハ自動車取締上甚タ遺憾トスル所ナリ此ノ點ニ關シ大磯警察署長ヨリ別紙ノ通取締方報告モ有之候處定ニ適當ナル意見ト思料被致候ニ付右ノ趣旨ヲ貴管内貨物自動車使用者一般ニ御示達ノ上嚴重御取締相成度依命此段及通牒候也

●自動車運轉手免許願調査ニ關スル件

大正十三年九月十一日
十三保發第二五四號

必要有之候ニ付自動車運轉手免許願(有效期間滿了ニ因ル出願ヲ除ク)ヲ受理シタルトキハ大正八年二月十九日訓示甲第一號自動車取締令施行手續第六條各號ノ事項ヲ調査スルノ外爾後尙ホ左ノ事項ヲ調査シテ御進達相成度依命此段及通牒候也

記

一 願人ハ本縣ヲ主タル就業地トスルノ意思ナク單ニ受験ノ爲ニ住所ヲ偽裝シテ出願シタルモノニ非ラサルヤ否

二 曾テ當廳ニ於テ施行シタル自動車運轉手試験ニ不合格又ハ無斷不應ノ爲メ不免許處分ニ附セラレタルモノニ非サルヤ否
若シ不免許處分ニ付セラレタルモノナルトキハ其ノ指令年月日

● 自動貨物運搬車ノ件

大正十三年九月十三日
警保局警發甲第八八號

各廳府縣長官宛

本件ニ付別紙ノ通廣島縣知事稟請ニ對シ通牒取計置候間御承知相成度候
(別紙)

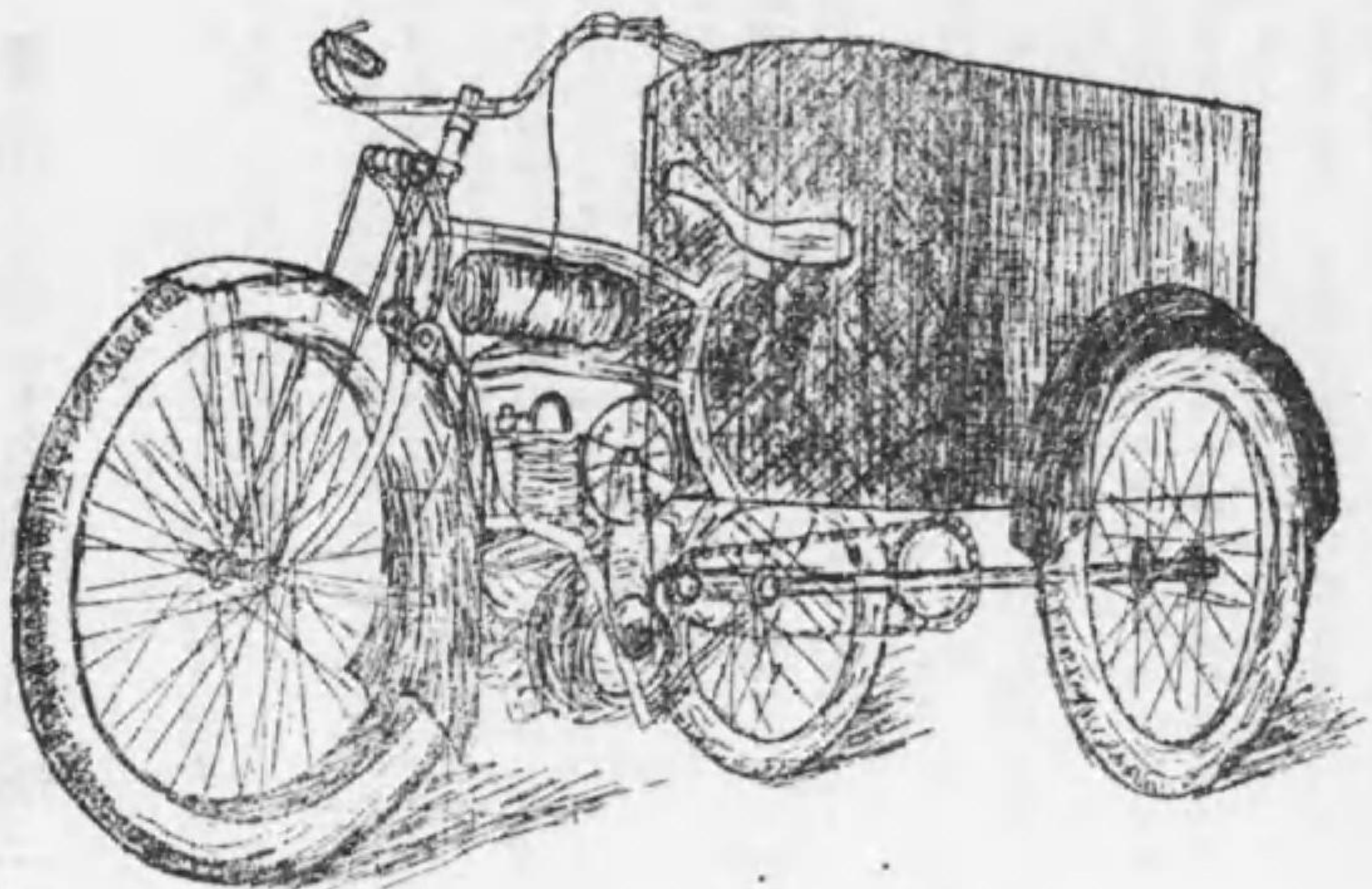
自動車取締上疑義ニ關スル件(廣島縣知事稟請大正十三年五月二十七日保第八二七四號)
別紙構造説明書⑦面所載リヤカー式オートサンリン自動貨物運搬車ハ運轉手免狀ヲ要セス運轉シ得ル旨説明シアルモ其ノ構造リヤカー付自動自轉車ト大差ナク從來警保局長ヨリ免狀ヲ要セサルモノトシテ通牒ニ接シタル中ニハ之ニ該當スルモノナク且速力モ一時間二十五哩出ツルヲ以テ運轉手免許證ヲ要スルモノニ非サルヤト思料セラレモ取締上疑義有之候ニ付何分ノ御指示相成度構造説明書添付此段及稟申候也

自動貨物運搬車ノ件(大正十三年九月十二日警發乙第一三五四號)(警保局長通牒)
五月二十七日附保第八二七四號ヲ以テリヤカー式オートサンリン自動貨物運搬車ノ件ニ付御稟請有之候處右ハ構造簡易操縱亦容易ニ有之候間自動車取締令第三十三條ニ依ル特種自動車トシテ御取扱相成可然ト存候
追テ御回付別紙ニ依レハ速力二十五哩ト記載有之候得共馬力ヨリ推算スレハ普通道路ニ於テハ概ネ最高速度十五哩位ト存候

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

自動車貨物運搬車



構造説明抜抄

リヤカー式オートサンリン
構造

- 一、動力二馬力四分ノ一
- 一、始動ハ足踏式
- 一、速力一時間二十五哩
- 一、積載面積二尺四寸長サ三尺
- 一、積載量六十貫
- 一、モーターハ非キ型
- 一、制動ハバンドブレーキ
- 一、特別装置モーターニハ空器冷却用旋風機付

●通信事業専用ノ車輛ニ關スル警察取扱方ノ件

大正十三年十一月十五日
十三保收第二二五二〇號

標記ノ件ニ關シ内務省警保局長ヨリ別紙寫ノ通通牒ノ次第モ有之候ニ付御部下一般ニ通達ノ上其ノ取扱方ニ關シ量
憾ナキナラシ度依命此段及通牒候也

(別紙)

通信事業専用ノ車輛ニ關スル警察取扱方ノ件 (大正十三年十一月四日警保局警發甲第一二二號)

通信事業専用車輛ニ警察取締法規適用ノ有無ニ關シ通信省通信局長ヨリ照會有之候ニ付警察法令ハ官廳ニ對シテハ
適用無之モ其ノ適用ナキナ理由トシテ規定條項ニ違反スルノ行為ヲ遂行スヘカラサルハ言テ俟タサル處ニ有之從テハ
自動車取締令其他之ニ類似ノ取締法令ニ付テハ交通事故類發スルノ近況ニ顧ミ交通保全上官廳亦其規定條項ニ準據
セラル、コトヲ特ニ希望スル旨及回答候處郵便物選送用サイドカ、リヤーカー附自動車乘務選送人ニ當省令自動
車取締令ニ依ル運轉手免許證ヲ受有セシムルニ於テハ給與ノ厚キ他方面ニ趣クノ傾向ヲ生シ支障少カラサル趣ヲ以
テ事情申越ノ次第有之候ニ付通信省ニ於テ交付シタル伎倆證明書ヲ以テ運轉手免許證ニ代フル件其他ニ關シ左記ノ
通り協定致候間右御承知相成度尙本件伎倆證明書附與ノ件ハ急速準備致候得共之カ實施ニハ多少ノ日子ヲ要スル趣
ニ有之候間別ニ通牒スヘキ實施期日迄ハ從前ノ通りニ被差置候様致度右申進候也

記

- 一、郵便物選送用「サイドカ」「リヤーカー」付自動車乘務選送人タルヘキ者ニハ通信省ニ於テ相當期間練習
ヲ行ヒ考查ノ上合格シタル者ニ對シ別紙雛形ノ伎倆證明書ヲ附與スルコトト爲シ之ヲ有スル者ハ自動車取締
令ニ依ル運轉手免許證ヲ要セサルコト
- 二、伎倆證明書ハ選送人ヲシテ常時之ヲ携帯セシメ規則違反ノ事實ヲ發見シタル場合ニ於テハ警察官ニ於テ之カ
提示ヲ求ムルコトト爲シ一面當該警察官憲ヨリ之カ事實ヲ通信省ニ内報シ同省ニ於テハ相當戒飭ノ方法ヲ講
スルコト
- 三、通信官署ニ於テ自動車、自轉車ヲ通信事業専用トシテ設備スルトキハ車體適當ノ箇所ニ㊦ノ徽章及局整
理番號ヲ表示シ其旨所轄警察官署ニ通知スルコト

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

表 面

印刷

第 號

自動自轉車運轉伎倆證明書



大正 年 月 日

何 郵 便 局

選 送 人

何

某

明 治 年 月 日 生

選 借 省

- 一、周圍ニハ花紋ヲ施ス
- 二、用紙色合ハ白色若ハ卵色トス
- 三、大サハ大體本雛形ノ通トス
- 四、本書裏面ニハ自動自轉車運轉上ノ注意事項ヲ印刷ス

●自動車取締令中疑義ニ關スル件通牒

大正十三年十一月二十六日
警保局警發甲第一三四號

本件ニ付別紙甲號大阪府知事照會ニ對シ乙號ノ通同答取計置候間御承相成度候

(別紙)

甲號

自動車取締令中疑義ニ關スル件 (大正十三年九月十七日保第一二四二一號)(大阪府知事照會)

自動車運轉手ノ就業地變更其他ニ關シ府縣ニ依リ其取扱區々ニ涉レルモノ有之取扱上聊カ疑義有之候條左記事項ニ付至急何分ノ御回答相煩度此段及照會候也

左記

- 一、免許證有效期間ノ起算點ニ付テ當府ニ於テハ政府縣ニ就業ヲ變更セル場合ト雖モ當初免許ノ日ヲ起算點ノ基礎トセルモ他府縣ニ於テハ然ラサルモノアリ之方當否如何
- 二、免許證ハ内地一般ニ效力ヲ有スルヲ原則トシ(大正十二年十一月二十一日警保局警發乙一四二號京都府知事

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

〔回答〕 例外トシテ土地ノ狀況其他ニ依リ試驗ヲ行ヒ就業ノ許否ヲ決定スルノ法意ナリト解シ居レリ從テ當府ニ於テハ就業ヲ承認スル場合ハ前面許證ノ裏面ニ就業承認ノ旨ヲ記載スルニ止メ居レルモ二三ノ他府縣ニ於テハ新ニ免許證ヲ交付シ舊免許證モ亦其ノ所持ニ任スルノ處置ヲトレルカ故ニ甲縣ノ免許證ヲ有スル者乙縣ニ就業地ヲ變更シ乙縣ニ於テハ試驗ノ上就業支障ナシト認メタルトキハ新ニ免許證ヲ與フル結果同一人カ甲乙二縣ノ免許證ヲ有スルコトトナリ若シ乙縣ニ於テ免許ヲ取消タル場合ニ於テモ甲縣ノ免許證ヲ以テ(有效期間内)更ニ丙縣ニ就業地ヲ變更シ依然運轉手タル資格ヲ繼續スルノ不合理ヲ生スルコト無キニアラス

三、取締令第二十七條ニ依リ免許取消ヲ爲シタル場合ハ當府ニ於テハ將來再下付ヲ爲ササルヲ原則トシ唯取消後相當期間經過シ改悛ノ情特ニ著シキ者ニ對シ相當考慮スル方針ニ有之モ如何

四、免許證ノ效力ハ内地一般ニ互レルカ故ニ取消ノ效力又同様ニ論スルヲ妥當ト認メラレルモ其當否

乙號

自動車取締令中疑義ニ關スル件回答

(大正十三年十一月二十四日警保局警發乙第一七六一號警保局長回答)

本件ニ付九月十七日附保第一二四二一號ヲ以テ御照會之趣了承右ハ左記ノ通御承相成度候

記

- 第一項 御意見ノ通
- 第二項 貴府御取扱ノ通爲スヘキモノニシテ新ニ免許證ヲ交付スルハ取締令第二十條ニ於テ届出ニ止メタル趣旨ニ反スルモノト存候
- 第三項 取消處分後相當期間ヲ經過シ運轉手トシテ適當ナリト認メラレルニ至リタル者ニ對シテハ更ニ試驗ノ上免許ヲ下付セラレ可然ト存候
- 第四項 御意見ノ通

●電気自轉車ニ關スル自動車取締令適用ニ關スル件

大正十年四月二十八日
警視第九〇號警保局長通牒

別紙圖形エスビー(SB)電氣自轉車ハ其ノ外形普通自動車ニ類似致居候ヘ共構造簡易ニシテ速度ハ一時間五六哩ヲ出テス操縦亦自轉車ヨリ容易ナルヲ以テ格段ノ練習ヲ要セス交通上ニ及ホスノ危險モ尠少ニ可有之候間本自轉車ニ對シテハ當省令自動車取締令第三十三條第一項ノ規定ニ依ル自動車及オートベツトノ類ト等シク特種自動車トシテ同令中第三條第二十五條及罰則ノ適用ノミニ止メラレ候様致度別紙説明書相添ヘ右申進候也

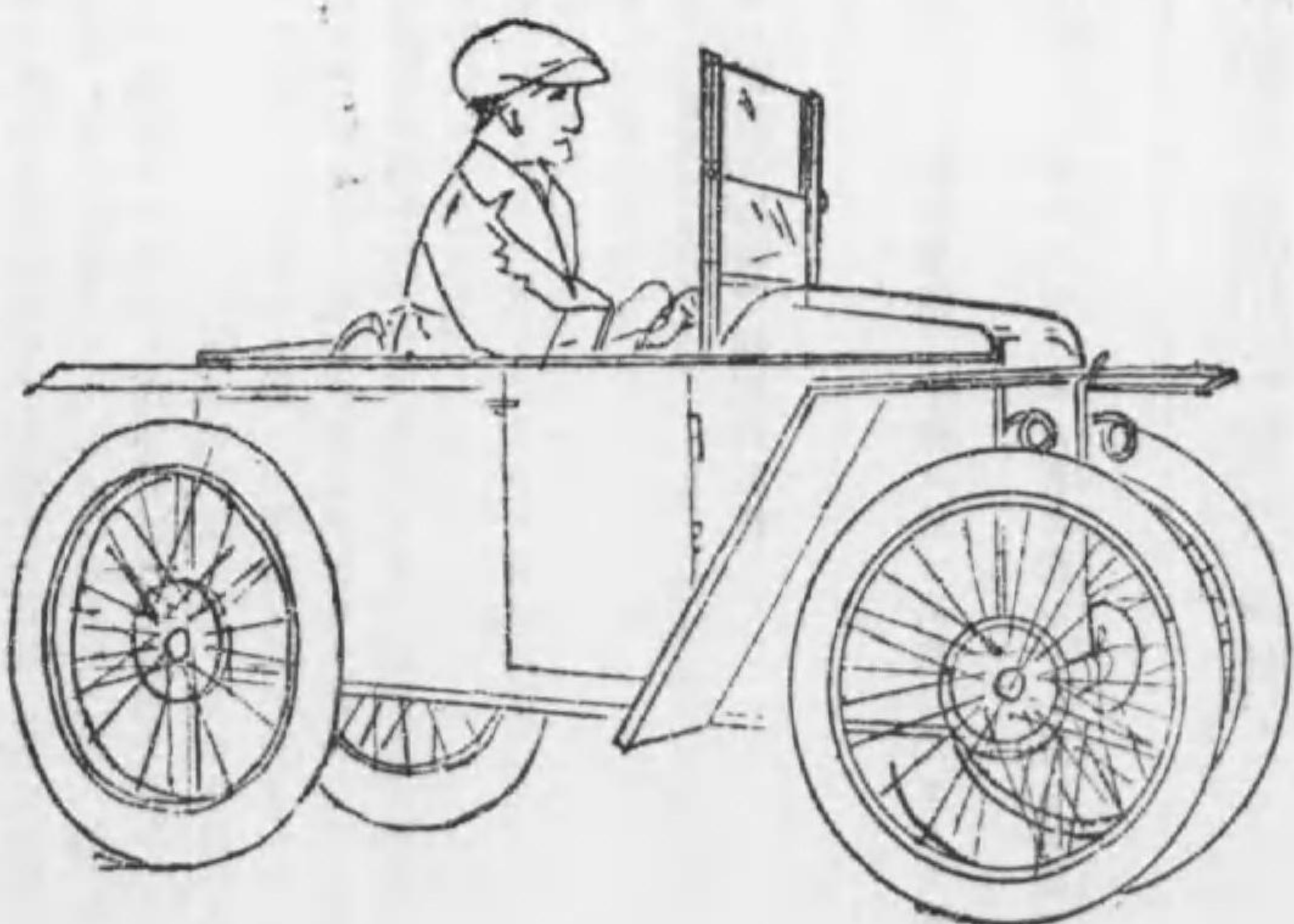
追テ本月十八日附乙保第八、一一〇號ノニヲ以テ具申相成度自動車取締令中改正ノ件ハ本文通牒ノ通リ承知相成度此ノ義申添候也

(別紙圖形)

電氣自轉車説明

- 機關 スレービー式一馬力(逆轉自在)四十ボールド
- 電氣 獨逸チユードル會社製二十槽八十アンペア時
- 車輪 徑二十六吋サスク式鋼鐵板製
- 車帶 二十六吋太サ二吋半ダンロツプ
- 車室 飛行機用パネル式
- 運轉 前進二段及後進二段
- 速度 一時間——十六哩迄
- 登坂 百分ノ二十度迄急勾配ヲ登リ得
- 齒止 足踏電氣手止ノ三種
- 推進 後車輪チエーン、ドライブ
- 點燈 前燈左右二個尾燈一個(電燈)
- 信號 ラツバ又ハクラソン
- 寸法 全幅三尺三寸全長七尺六寸車軌二尺八寸

〔神奈川警〕



〔神奈川警〕

● 小型自動車ニ關スル件通牒

大正十年十二月二十二日 警山第一〇四號ノ内

別紙甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答置候條此段爲參考及通牒候也

(甲號)

山口縣知事照會 大正十年八月十七日 特種自動車取締標準ニ關スル件 保第九六四四號

別紙圖形ノ自動車ハ自動車及オートベツトノ類ト等シク特種自動車トシテ自動車取締令中第三條第二十五條及其ノ罰則ノ適用ノミニ止メ取締ルヘキ義ニ候哉何分ノ義御同示相成度此段及照會候也 (別紙圖形ハ略之)

(乙號)

警保局長回答 大正十年十二月二十二日 小型自動車ニ關スル件通牒 警山第一〇四號

スミスモーター原動機トセル別紙圖形小型自動車ハ構造簡易操縦亦容易ニシテ普通自動車ニ比シ交通上ノ危險モ尠少ニ有之候間當省令自動車取締令ノ適用ニ付テハ本年四月二十八日警視第九〇號ヲ以テ申進置候電氣自轉車ト同様特種自動車トシテ第三條第二十五條及其ノ罰則ノミニ適用ニ止メラレ可然ト存候ニ付右ニ依リ御取扱相成様致度右申進候也

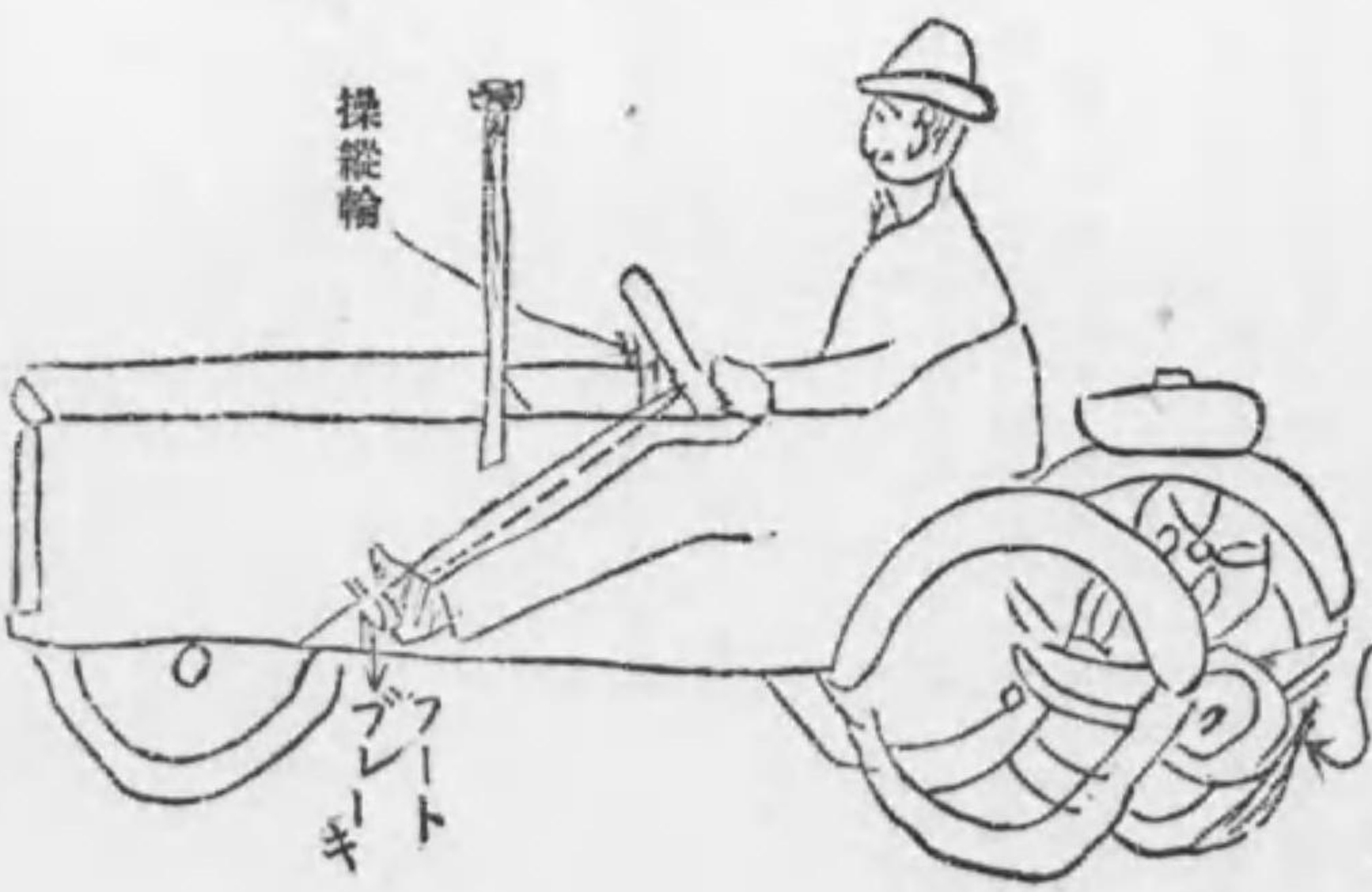
追テ去ル八月十七日保第九六四四號特種自動車取締標準ニ關スル件ニ付キ御照會ノ義ハ本文ニ依リ御承知相成度尤モ御照會添付圖面第四B型運搬用ノモノハ「スミスモーター」ヲ使用シ馬力三馬力以下ナルノミニ於テハ本文同様ニ御取計相成度候



スミスモーター

フライヤー構造
 車長 七尺
 車幅 三尺
 車輪 二十吋×二吋
 車體ノ高 三尺
 地上ヨリ 一尺
 車體迄
 動力 スミスモーター
 ノ一 二馬力四分
 重量 約二十貫
 乗員 一人
 但他二人乗ル餘裕アリ
 速度 一時間三哩ヨ
 リ十六哩
 特別装置 モーターニハ
 空器冷却用旋
 風機付
 スミスモーター
 車輪數 一共五輪

〔神奈川警〕



スミスモーター

サイクロモビル構造ハフライヤーニ同マ
 但シスミスモーター共四輪

オートサンリンの圖



スミスモーター

オートサンリン構造 二重フレーム
 フレーム 厚パイプ
 組立堅牢
 荷受臺 長 二尺三寸
 車長 八尺
 車幅 三尺
 積載量 六十貫
 車輪 二十六吋×二吋
 フレッキー ハンドルプレッキー及コースタープレ
 ッキー付
 サントル ツロキセル型
 動力 スミスモーター二馬力四分ノ一
 重量 約十五貫
 乗員 一人
 速度 三哩ヨリ十三哩
 車輪數 スミスモーター共ニ四輪

● エスビー電気自轉車ニ關スル件

大正十二年五月
警保局警務受第一六一五號

標記ノ件ニ關シ警視總監ヨリ別紙甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答致候條御諒承相成度爲御參考右申進候也

別紙
甲號

エスビー電気自轉車ニ關スル件

(大正十二年三月十三日保第五四號
警視總監赤池濃ヨリ内務省警保局長宛)

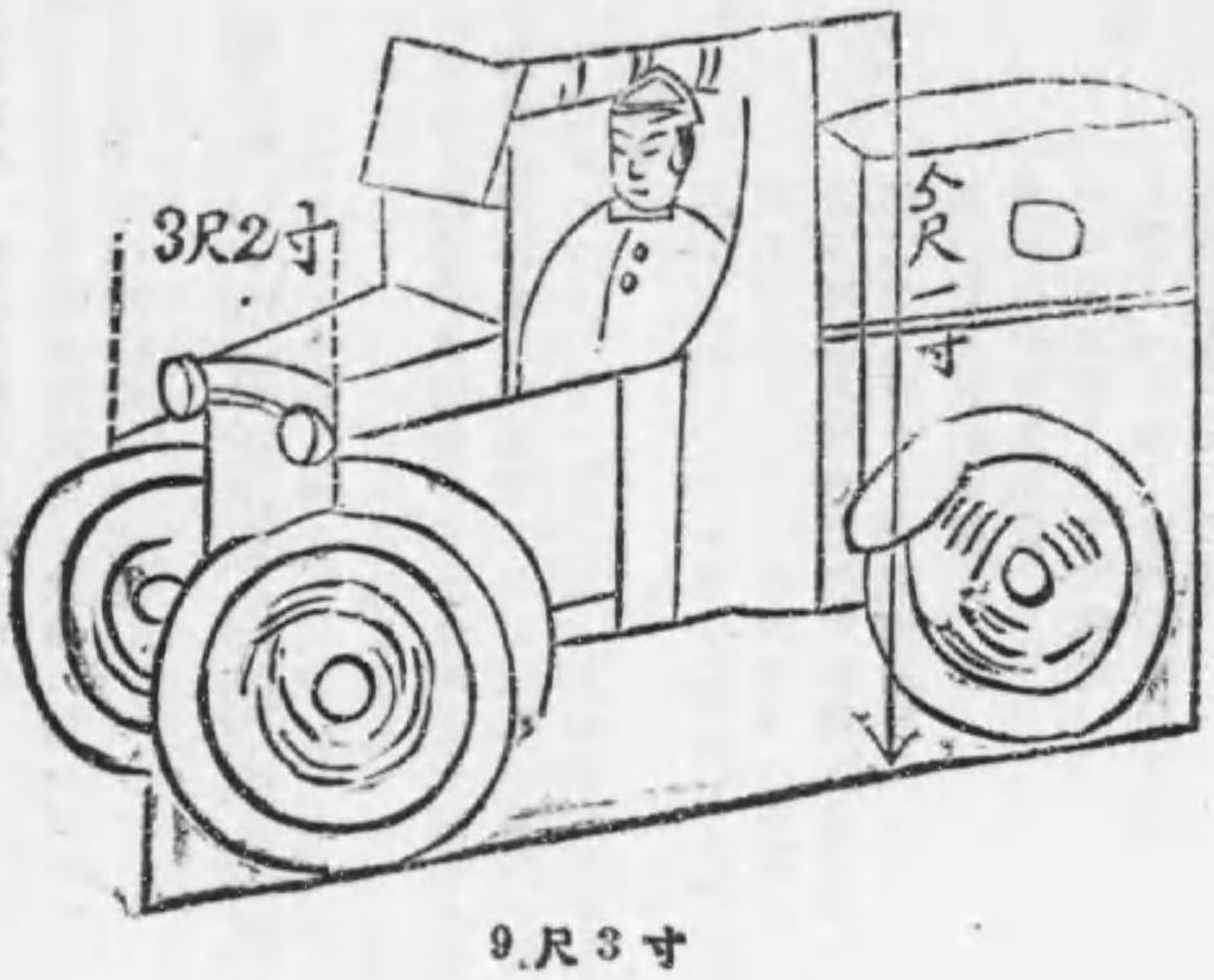
乗用ニ供スル標記ノ車輛ニ付テハ大正十年四月二十八日警視第九〇號ヲ以テ自動車取締令第三條第二十五條及其ノ
罰則ノミノ適用ニ止ムヘキ旨通牒有之候處近來尙該車輛ノ後部ニ貨物積載ノ裝置ヲ施シタル別紙型錄記載ノ如キ形
狀ノモノニシテ機械ノ構造竝操縦上ニ付何等變更ヲ見サル貨物運搬用ノモノヲ販賣スルモノ有之右ハ營業用ニ供ス
ル虞ナリ且ツ大正十年十二月二十二日付警山第一〇四號ヲ以テ通牒ニ係ル貨物運搬用小型自動車「オートサンリン」
ト對比スルモ冒頭記載ノ車輛ト同様ノ取扱可然様認メラレ候ヘ共一應之方取締ニ關シ何分ノ御指揮仰度此段及稟議
候也

〔神奈川警〕

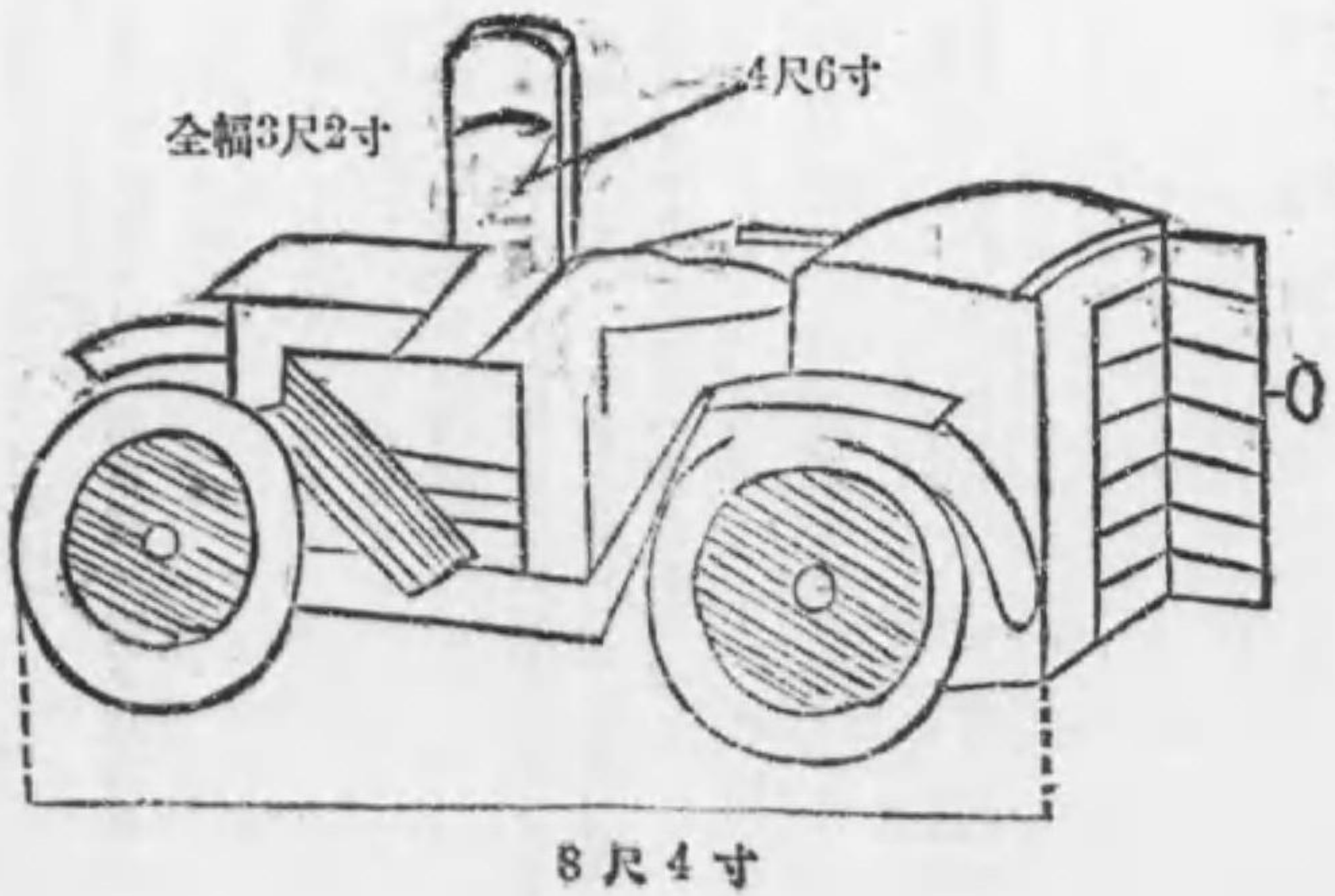
〔神奈川警〕

別紙(型錄)

重量七十八貫



重量六十二貫



乙號

エスビー電氣自轉車ニ關スル件

(大正十二年五月四日警務受第一六一五號)

(内務省警保局長ヨリ警視總監宛)

本件車輛ニ對シ當省令自動車取締令ノ適用ニ關シ三月十三日付保第五四號ヲ以テ御申越ノ趣了承右車輛ハ御來示ノ通御取扱相成可然ト存候間御承知相成度

●KDW式電氣自轉車取締ニ關スル件

大正十一年十月十六日
警發乙第三五五號警保局長通牒

標記ノ自轉車ハ其ノ構造簡易操縱亦容易ニシテ交通上ノ危險モ寡少ニ有之候間當省令自動車取締令ノ適用ニ就テハ昨年四月二十八日警視第九〇號通牒ノSB式電氣自轉車ト同様特種自動車トシテ第三條第二十五條及其ノ罰則ノミ適用ニ止メラレ然ルヘシト存候ニ就キ右ニ御取扱相成度別紙車體構造使用書相添ヘ右申進候也

車體構造

- 機關 KDW式二分ノ一馬力(運轉自在)
- 車帶 徑二十六吋太サ二吋四分ノ一空氣入
- 電氣 日本電氣株式會社製十八槽八〇アンペア
- 車輪 徑二十六吋ワイヤ附鋼鐵製
- 車臺 飛行機用材料木製
- 運轉 前進四段後進四段
- 速度 一時間五哩——十六哩迄
- 登坂 五分ノ一度迄ノ急勾配ヲ登リ得
- 齒止 足踏電氣手止ノ三種
- 推進 後車輪チェーンドライブ
- 點燈 電燈左右二個

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

- 信號 ラツバ又ハハメル
- 寸法 全幅三尺五寸全長六尺五寸
- 車軌 二尺八寸
- 車軸ノ距離 四尺八寸
- 重量 五十五貫
- 座席 一人(操縦者ノミ)

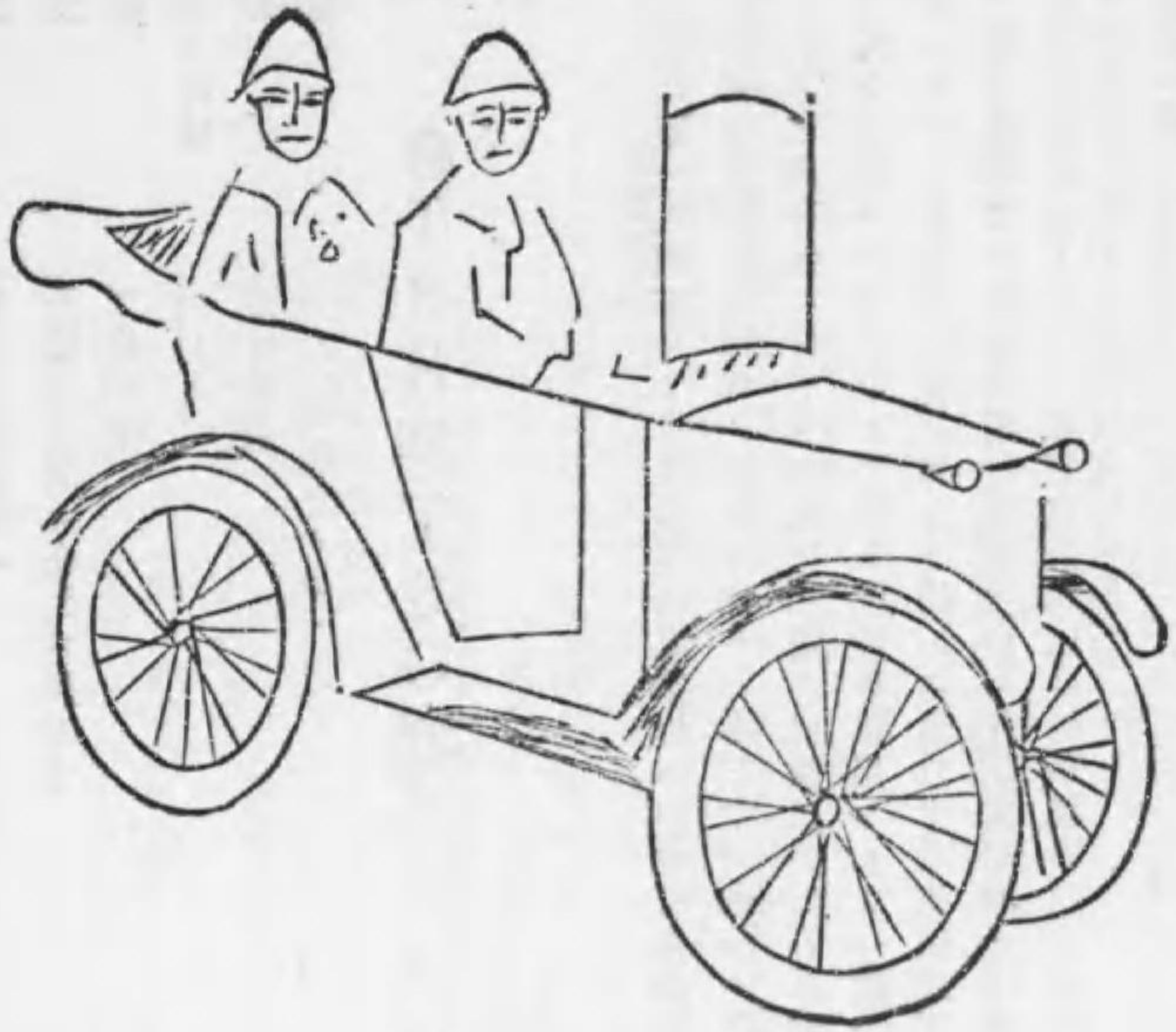
●TSH型TSG型及ハワ自動車取締ニ關スル件通牒

大正十四年一月十九日
警保局長警發甲第二號内務省警保局長

各廳府縣長官宛

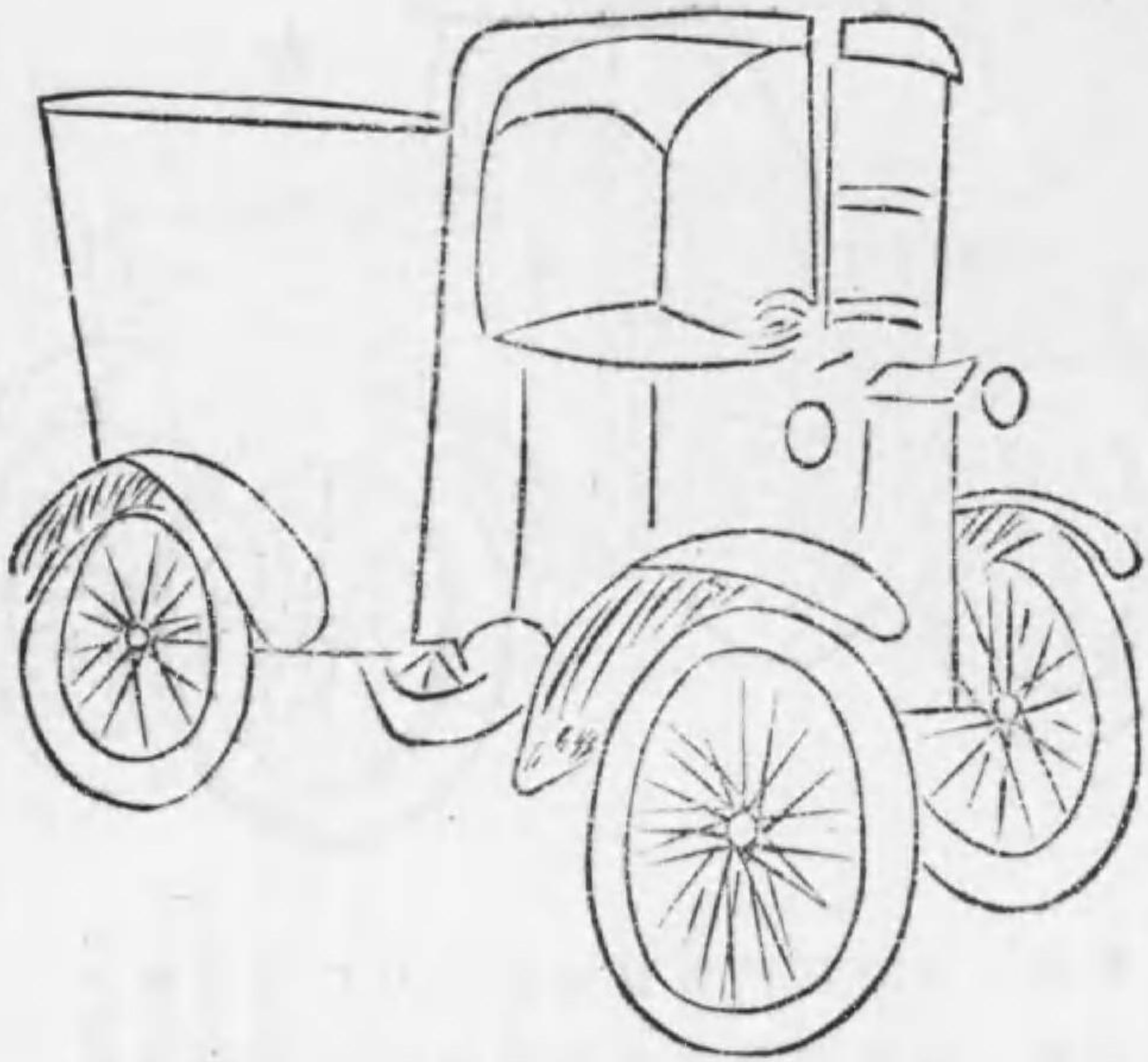
標記TSH型一人乗車及TSG型貨物運搬用小型電氣自動車ハ其構造簡易操縱亦容易ニシテ交通上ノ危險モ寡少ニ有之候間省令自動車取締令ノ適用ニ付テハ第三十三條第一項ノ特種自動車トシテ第三條第二十五條及其罰則ノミノ適用ニ止メ可然存候ニ付右ニ御取扱相成度又同TSH型中二人乗及ハワ二人乗自動車ハ操縦者ノミ乗用スル一人乗ノ分ト同視スヘカラサルヲ以テ運輸營業用トシテ一般公衆ノ乗用ニ供スル場合ハ取締令第十二條ニ依ラシメ車體檢査ニ付テハ家用ト營業用トナ間ハ第三十三條第二項ノ特種自動車トシテ御取扱相成度尤モ之ヲ操縦ハ一人乗型ト同様簡單ナルニ付運轉手免許試驗ハ相當御斟酌ノ上簡易ニ御實行相成電氣自動車ニ限定ノ旨ヲ記入シタル乙種運轉手免許證ヲ下付スル様御取計相成度別紙圖形及車體構造書相添右申進候

(別紙)



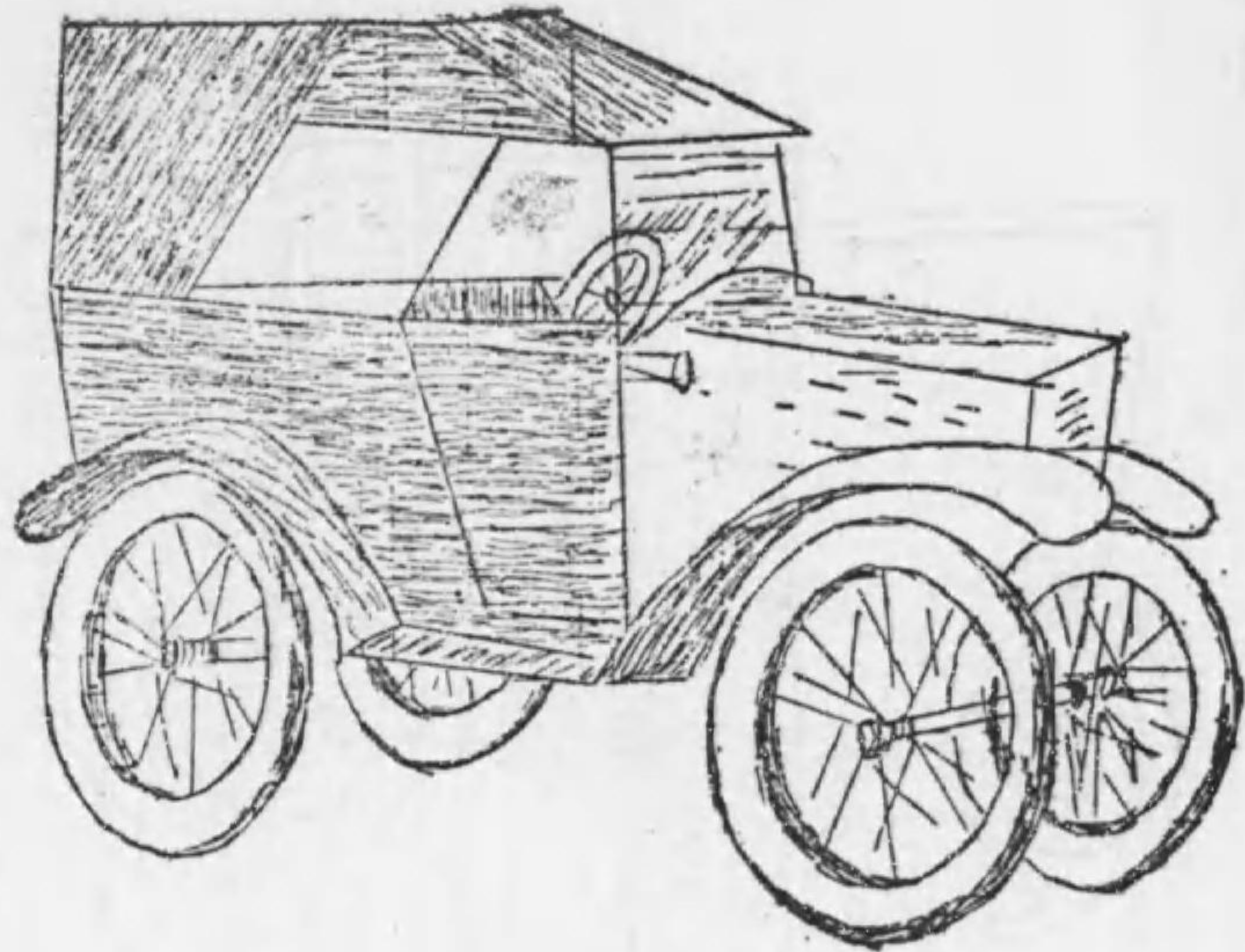
〔神奈川管〕

T S H型構造(二人乗)
 電動機 T S 式一馬力
 電池 日本電池株式會社製十六槽百二十アンペア時
 車輪 徑二十六吋ワイヤ式鋼鐵製
 車帶 徑二十六吋太サ二吋半空氣入
 車室 自動車用木製エナメル塗
 運轉 前進三段及後退一段
 速度 一時間六哩ヨリ十六哩迄
 登坂 百分ノ二十五マテノ急勾配ヲ登リ得
 齒止 足踏手止ノ二種
 推進 後車輪スパイラルレキヤ一及ローラーチエンドライア
 點燈 前燈右左二個尾燈一個(赤)何レモ電燈
 寸法 全長七尺六寸全幅三尺七寸車軌三尺一寸
 座席 前後二人並列二人(運轉手共)
 重量 七十貫匁



〔神奈川管〕

T S G型運搬車構造
 電池 運搬車用特形電池(一馬力以下)
 速度 一時間五哩ヨリ十二哩迄
 寸法 全長八尺全幅三尺九寸車軌三尺三寸
 重量 八十貫匁
 容積 長サ三尺八寸幅二尺六寸高サ三尺四寸
 積載 重量五十貫匁
 其ノ他前説明ニ同シ



〔神奈川警〕

ハツ電氣自動車構造

機 關 ハツ式モーター一馬力

座 席 二人(乗客一人運轉手一人)

電 池 獨逸チユードル會社製二十槽百二十アンペア

車 輪 徑二十六吋鋼鐵スポーク式

車 體 徑二十六吋太サ三吋

車 室 飛行機用木製

運 轉 前進三段後進三段

速 度 一時間最高十二哩

登 坂 百分ノ二十五度迄ノ急勾配ヲ登リ得

齒 止 足踏手止ノ二種

推 進 後車輪チエーンドライア

點 燈 正面一個左右二個尾燈一個何レモ電燈

信 號 空氣ラツバ電氣ホーン二種

寸 法 全長八尺三寸五分全幅三尺六寸五分車軌二呎七吋

重 量 百二十二貫

附 屬 幌前カラス速力及速度計

〔神奈川警〕

● スミスモーター應用小型自動車ニ關スル件通牒

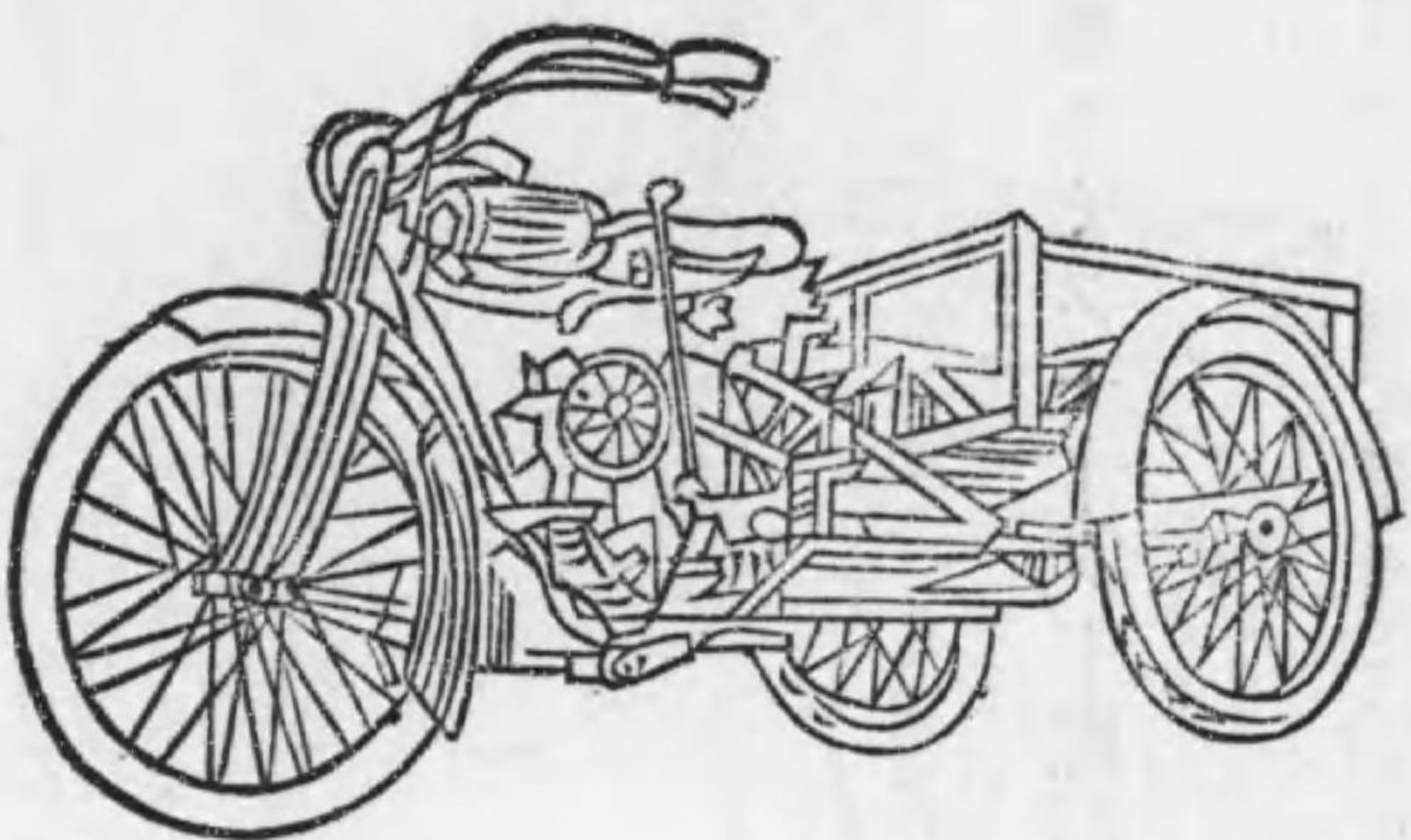
大正十四年二月二十日
警保局警發甲第二〇號

各廳府縣長官宛

別紙圖形スミスモーター應用小型自動車ハ構造簡易操縱容易ニ有之候間自動車取締令第三十三條第一項ニ依ル特種自動車トシテ御取扱相成度候

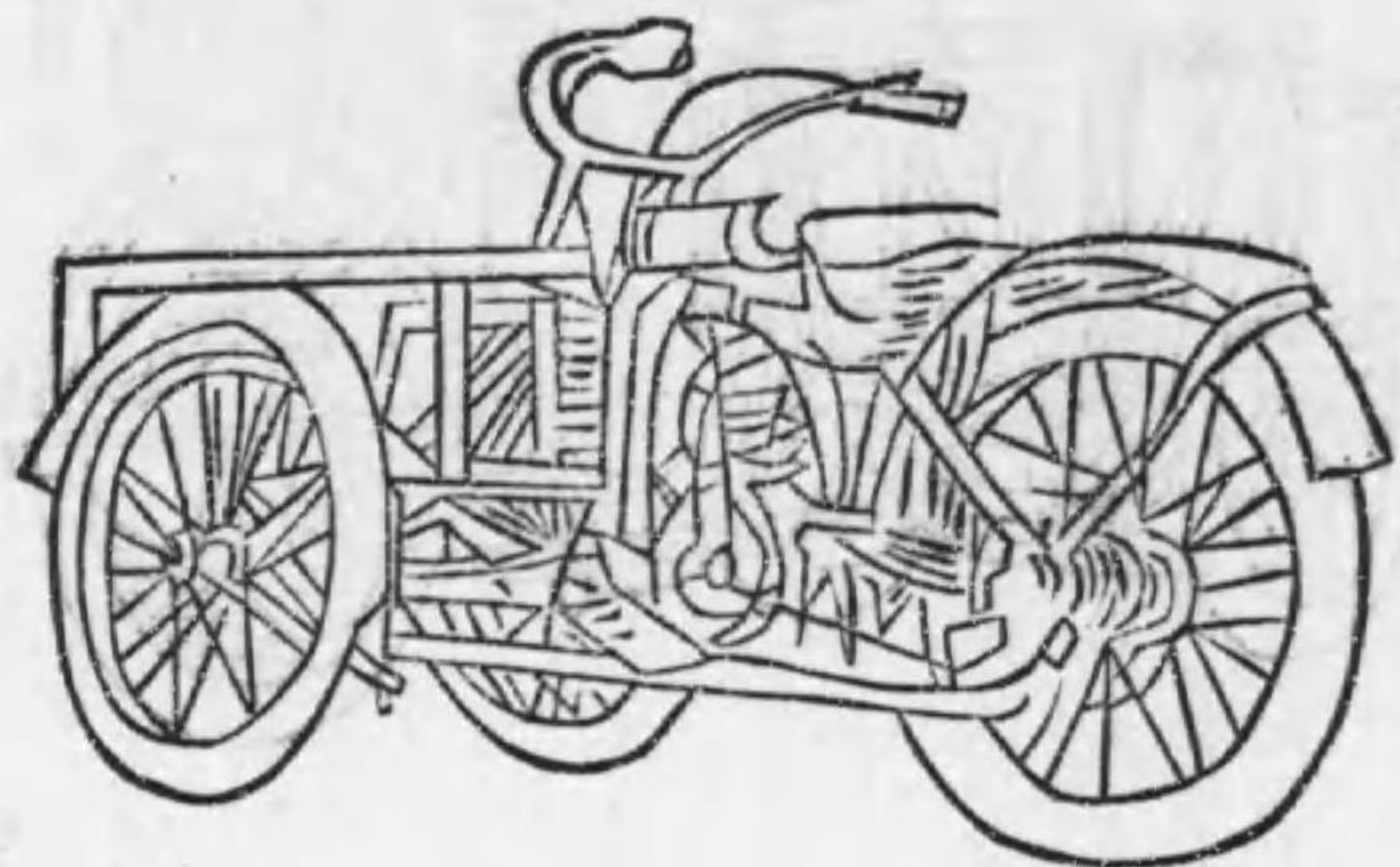
第二編 保安 第四章 交通

〔別紙〕



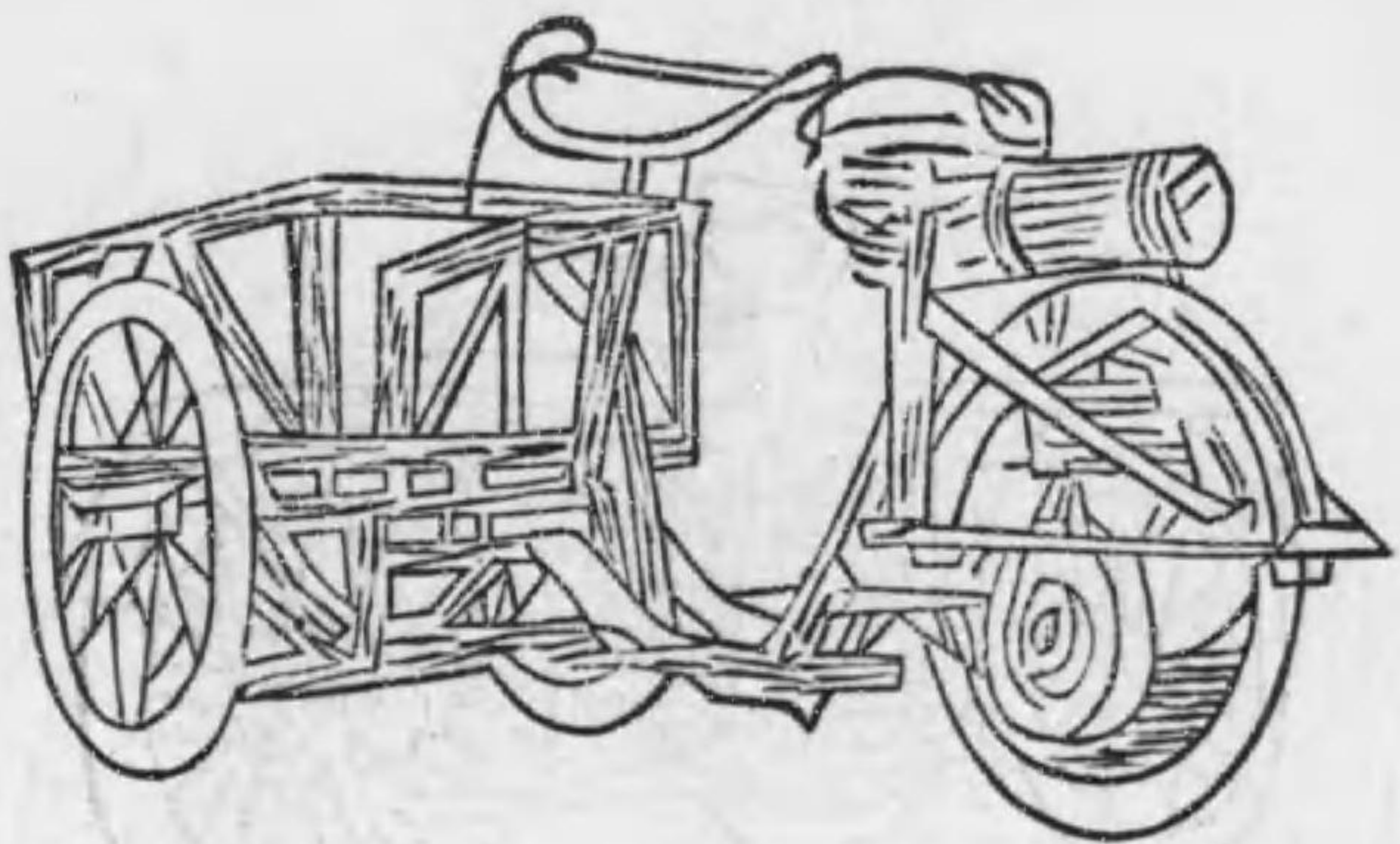
〔神奈川警〕

- リヤーカー式
- オートサンヨン
- 一、ピー型モーター二馬力四分ノ一
 - 一、始動ハ足踏式
 - 一、速力一時間三哩ヨリ二十五哩
 - 一、積載面幅二尺四寸長サ三尺
 - 一、積載量六十貫
 - 一、モーターバキキ型ハンドル及サドル
 - 一、制動ハバンドブレーキ及エヤーブレーキ式
 - 一、ミッション附

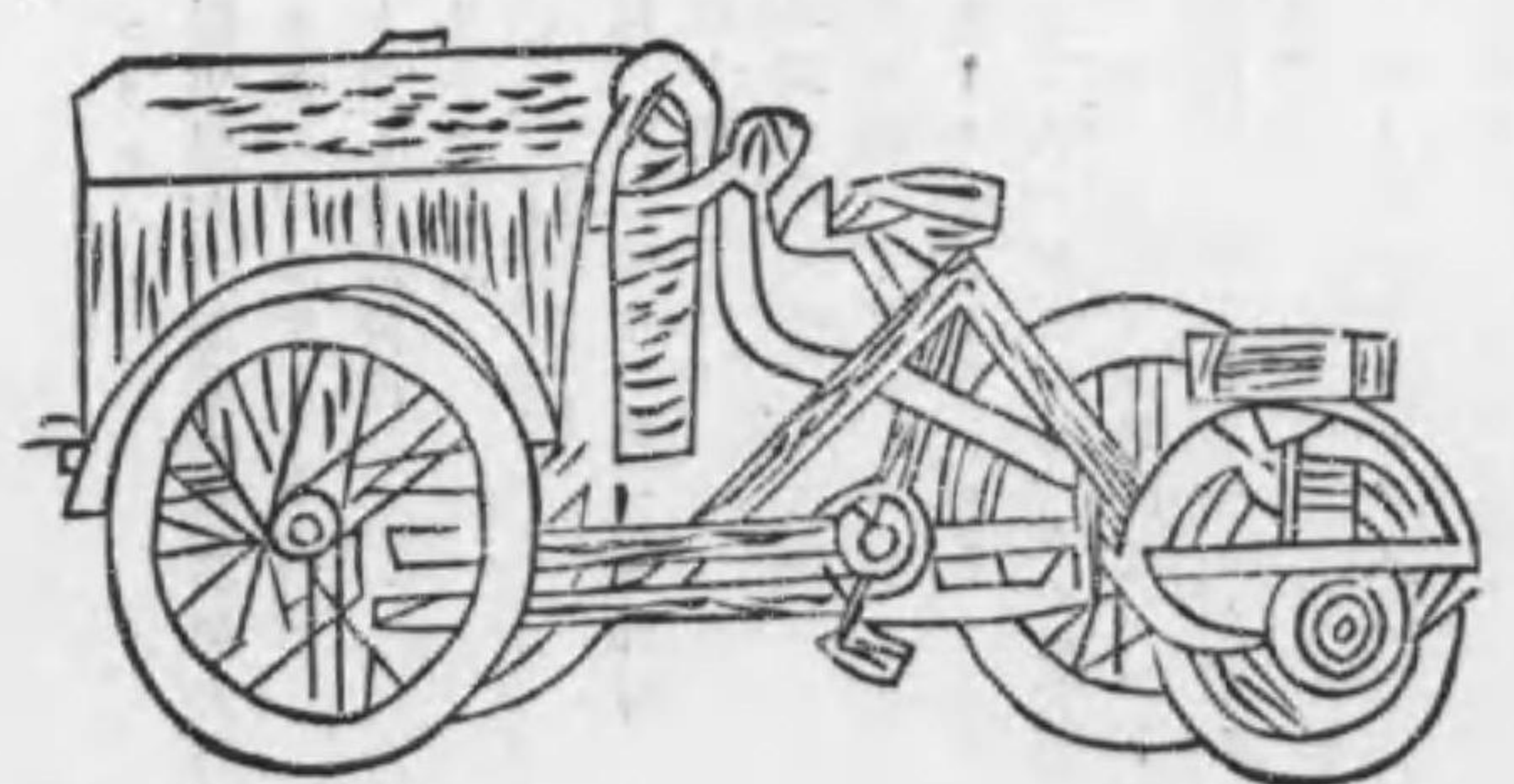


〔神奈川警〕

- フロントカー式
- オートサンヨン
- 一、原動力 動力用ピー型發動機二馬力四分ノ一
 - 一、フライホイール、マグネット式
 - 一、扇風機ツキ空氣冷却装置
 - 一、單氣筒四サイクル式
 - 一、車長 約七尺 幅三尺二寸
 - 一、積載面 幅二呎二吋半 長二呎九吋
 - 一、積載量 六十貫
 - 一、速力 一時間五哩ヨリ二十五哩
 - 一、フレーム製別調パイプ
 - 一、アルミニウム製フロントレスト
 - 一、二重支柱固定式ハンドルニツケル鍍金
 - 一、舶來製ベタル二分チエン足踏式バンドブレーキ
 - 一、モーター型舶來大型トロキセルサドル
 - 一、塗 藍色及黒色
 - 一、後車心棒ニボールベヤリシタ入



スクーター式
オートサンリ
ン
一、原動力ス
ミスモ
ター新式
二馬力四
分ノ一



スミスモーター附三輪車

全長 八尺
全幅 三尺
ホキール二
十六吋
アレイキニ
ツケル鍍金
製ハンドル
アレイキ及
コストア
レイキ附
ラツバ赤色
塗
二馬力四分
ノ一
速度 一時
間二十五哩
積載量 六
十貫
始動 足踏
式直チニス
タートス

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

●アイザワ號オート三輪車ニ關スル件

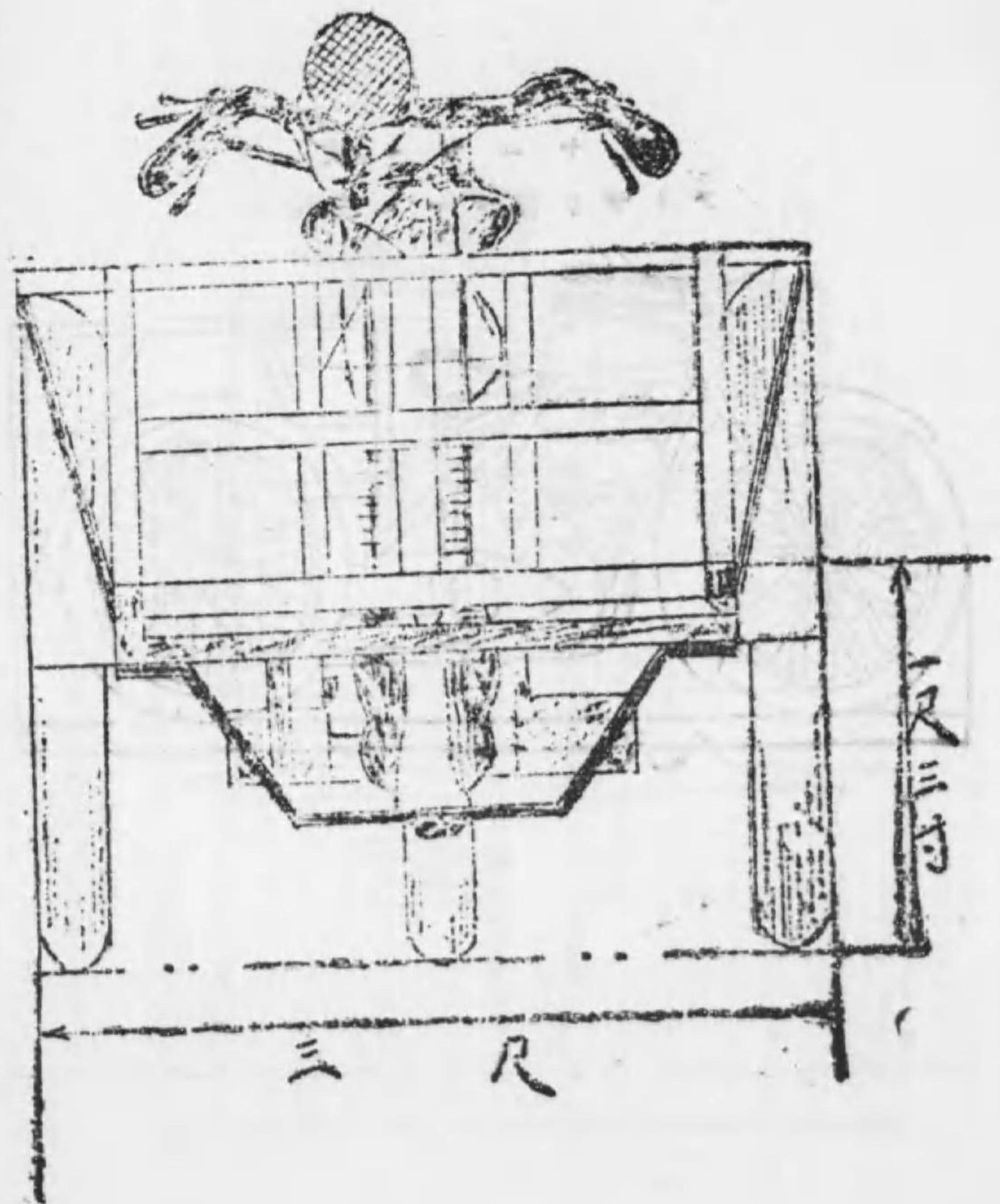
大正十四年七月十五日
十四保收第一二八〇二號保安課長依命通牒

今回内務省警保局長ヨリフ Rond ガー式アイザワ號オート三輪車、リヤガー式アイザワ號オート三輪車ハ其ノ構造
簡易操縦容易ノ故チ以テ自動車取締令第三十三條第一項ニ依ル特種自動車トシテ取扱方通牒有之候ニ付貴管下ニ於
テモ右ニヨリ御取締相成度依命此段及通牒候也

記

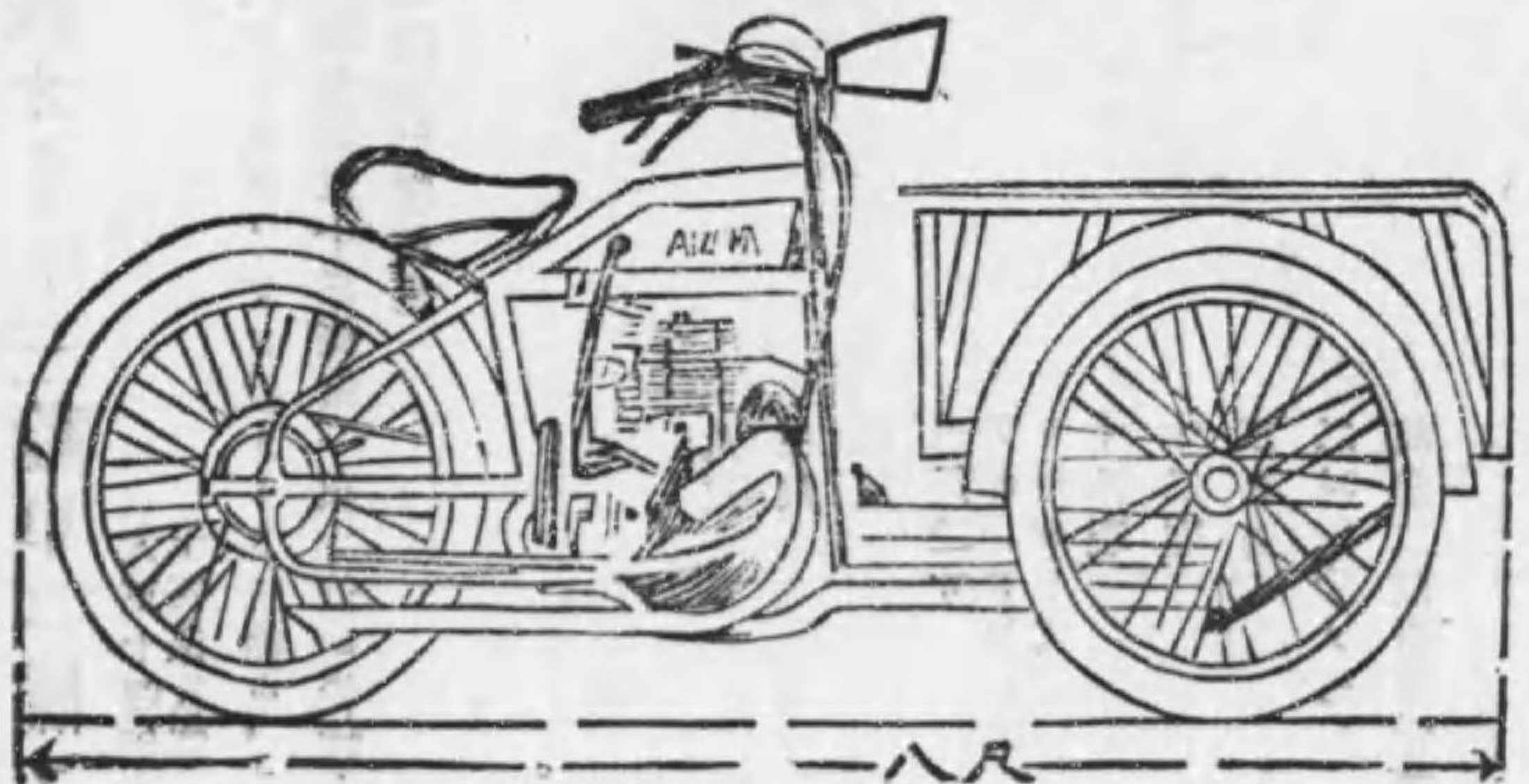
構造概要

- 一、寸法
- 車輪ノ全長 八尺
 - 同 幅 三尺
 - 荷臺ノ全長 三尺
 - 同 幅 二尺二寸
 - 荷臺地上ヨリノ高 フロンドガー式 一尺三寸
 - リヤガー式 一尺五寸
 - 十八哩
 - 十二哩
 - 三馬力
 - 二吋四分ノ三
 - 前進二段變速裝置
- 二、空車ノ時ニ於ケル最大速度
- 三、最大積載ノ時ニ於ケル最大速度
- 四、エンジン馬力
- 汽笛ノ徑
- 五、トランスミツション

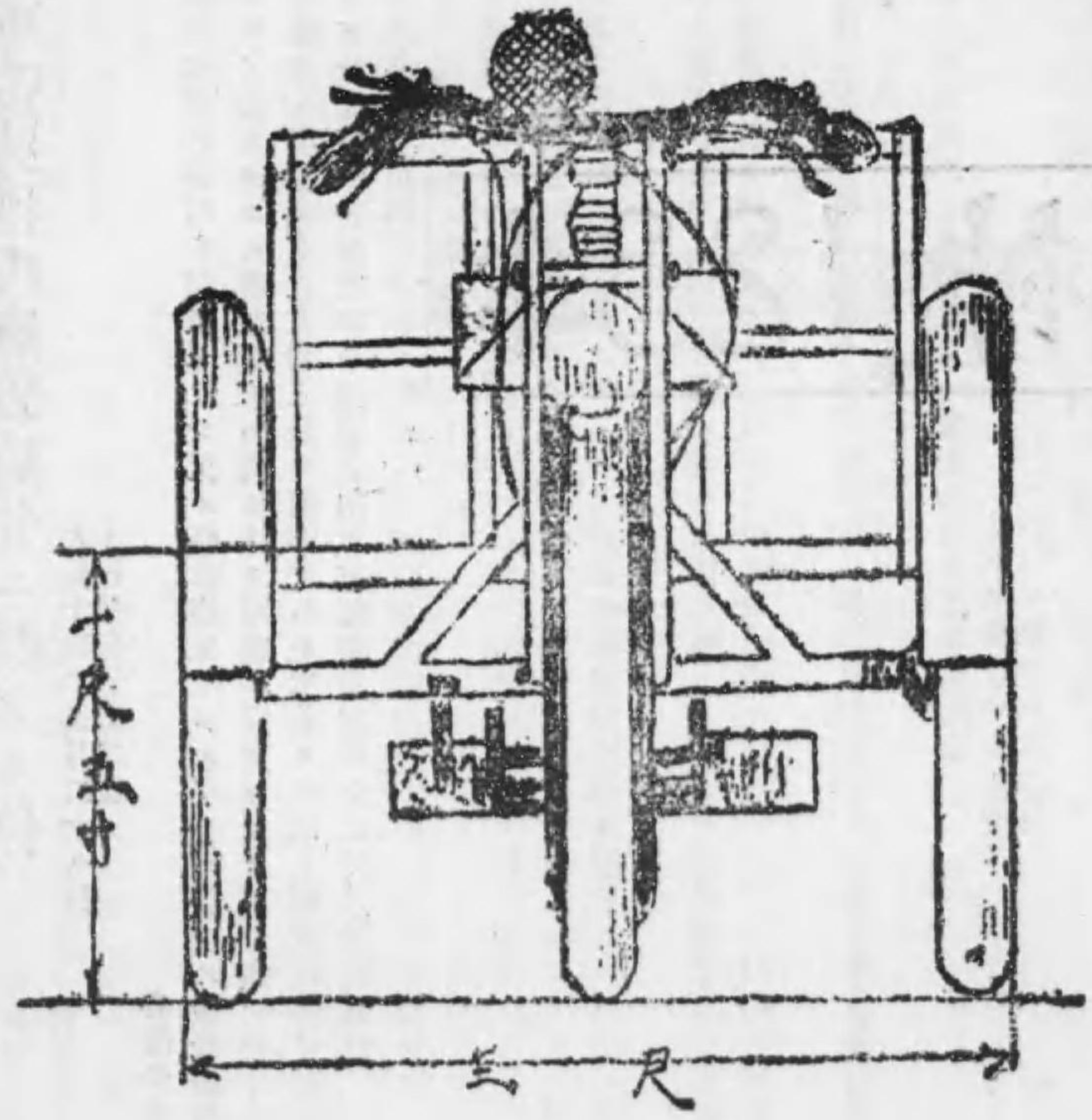


〔神奈川書〕

フロントカー式
アイザワ號 オート三輪車

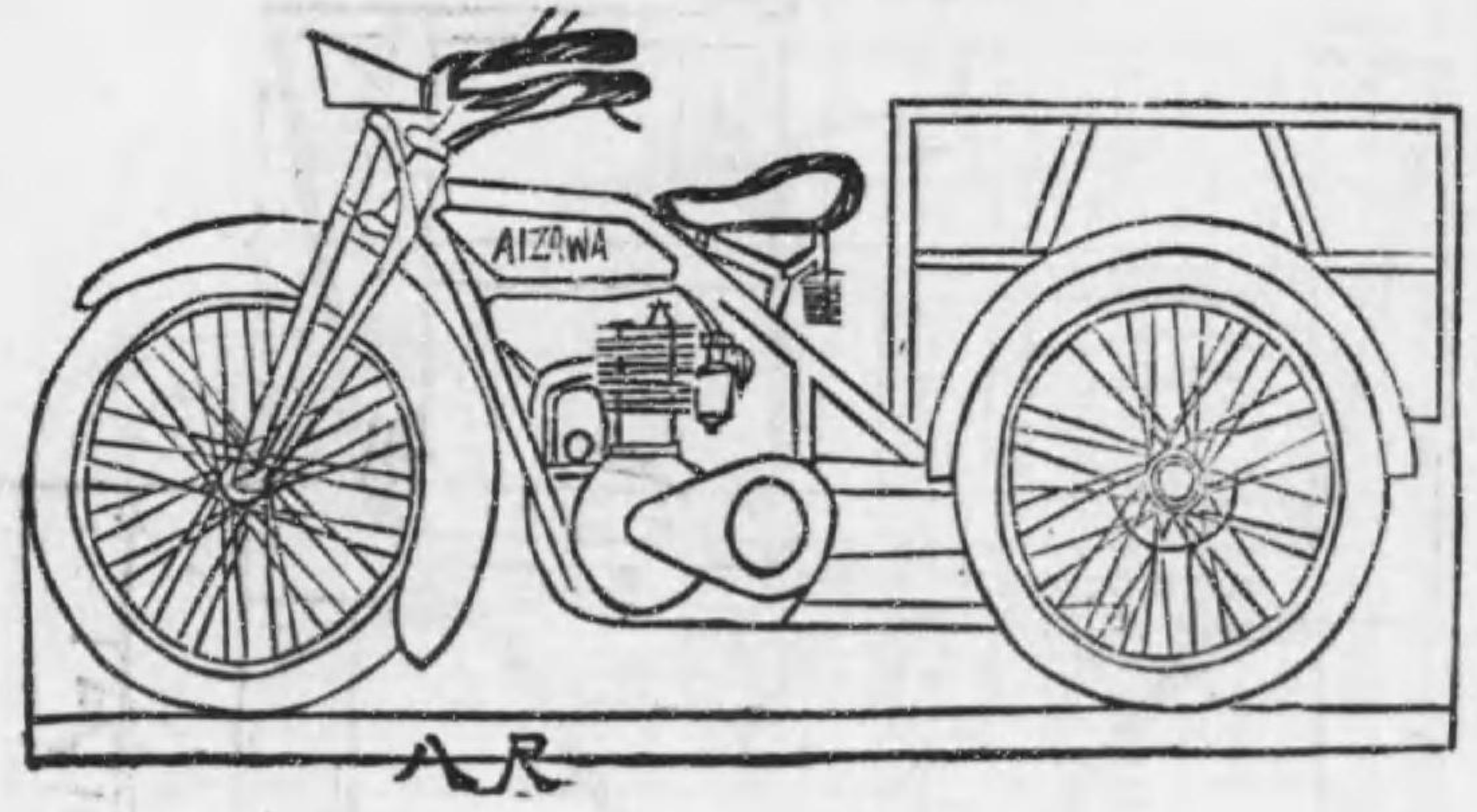


〔神奈川書〕



〔神奈川管〕

リヤーカー式
アイザワ製オート三輪車



〔神奈川管〕

● 自動車番號標板廢毀處分ニ關スル件

大正十四年三月二十七日
十四保發第七二號

各署長宛(水上署ヲ除ク)

從來營業用若クハ家用自動車ノ使用ヲ禁止セラレ又ハ任意廢止シタル場合ニ於テハ檢査證明取消ノ方法トシテ檢査證明及ヒ封緘ヲ返納セシメ居リタルモ番號標板ハ尙ホ之ヲ車輛ニ附著セシメタル儘ナルヲ以テ使用禁止若クハ廢車シタル車輛ヲ惡用シ運轉スル者應々有之取締上甚タ遺憾トスル處多キヲ以テ爾後斯クノ如キ場合ニ於テハ車輛番號指示ノ取消處分方法トシテ標板ノ番號文字ヲ左記ノ如ク被毀相成度依命此段及通牒候也

左記



〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

● 自動車取締令ノ施行ニ關スル件

大正十四年六月二日
十四保發第一〇三號

左記諸項ニ就テハ其取扱上萬遺漏無キヲ期セラレ度依命此段及通牒候也

左記

- 一、自動車運輸營業出願アリタル場合ハ豫メ營業計劃書ヲ提出方法ノ詳細及事業遂行性ノ確否等精査ノト並連セラルヘキコト
- 二、自動車乗合運輸營業免許者ニ對シテハ六ヶ月毎ニ營業報告書ヲ調製シ三十日以内ニ當廳ニ提出セシムルノ義務ヲ負ハシメ有ルニ拘ラス之レカ勵行ヲ爲スモノハ誠ニ稀ナルヲ以テ爾後嚴重之レカ實行ヲ督勵セラルヘキコト
- 三、自動車運輸營業者就中乗合運輸營業者ニアリテハ發著時間並賃金額ノ變更ハ一々必ス當廳ノ許可ヲ經ヘキ管ナルニ往々勝手ニ之レカ變更ヲ爲シ所轄警察官署ニスラ何等申出ナキモノアルヤニテ同業者ヨリ屢々陳情等有之候ニ就キテハ此際各營業者ニ對シ如斯違反行爲無之様而シテ現ニ無斷變更シツ、アルモノニ對シテハ相當御處分ノ上改メテ手續ヲ爲ス様示達セラルヘキコト
- 四、自動車運輸營業者及自動車運轉手ニシテ各ソノ免許證等遺失又ハ紛失シ再下附願出アリタル場合ソノ本人ノ不注意ニ因ルモノナルニ於テハ始末書ヲ徴シ添附ノ上進達ノコト
- 五、自動車檢査證若クハ運轉手免許證等ノ書換願出アリタル場合直チニ之ヲ願書ニ添付進達相成ニ於テハ再下附ニ至ル迄ノ間各本人ハ營業若クハ使用又ハ就業スルコトヲ得サルニ至ルヘク斯クテハ當事者ノ不便尠カラサルヘキヲ以テ爾後如斯場合ニ於テハ先ツソノ寫ヲ添付シタル願書ノミ進達セラレ證書ハ再下附ノ際新舊取換ノ上同送セラルヘキコト
- 六、自動車運轉手ノ就業地變更届出アリタル時ハ直チニ本人ヲ當廳ヘ差向ケラレ度(一應當課ノ都合問合ハセラレ度)而シテ聽届相成迄ハ假令本縣内到來後五日以内ト雖モ就業相成難キ儘ト御承知相成度キコト
- 七、乗合自動車運輸營業ノ出願アリタル時ハ其ノ營業路線又ハ區間ヲ明記シ且ツ詳細ナル地圖(成ル可ク陸地測

量部製ノ二萬分ノ一ノ地圖使用セシメラレ手製ノモノハ受付ケサルコト。添附セシメラレ度キコト

●自轉車取締令

大正十年三月十八日
縣令第二十六號

明治三十五年七月神奈川縣令第五十二號自轉車取締規則ヲ左ノ通改ム

自轉車取締令

第一條 自轉車ニハ制動機及音響器ヲ裝置スルニ非サレハ乗用スルコトヲ得ス

前項ノ音響器ハ「ベル」又ハ空氣喇叭トス

第二條 自轉車ニ物品ノ容器ヲ裝置スルトキハ左ノ制限ニ從フヘシ

一、容器ノ大サハ三輪車ニ在リテハ長二尺五寸幅二尺以内ニ輪車ニ在リテハ長一尺五寸幅一尺三寸以内タルヘシ
コト

二、容器ノ高ハ地上四尺以内タルヘキコト

第三條 自轉車ノ所有者ハ其ノ住所氏名及車體ノ種別、個數ヲ具シ所轄郡市役所ニ届出テ記號番號ノ指示ヲ受クヘシ

前項ノ記號番號ハ左ノ寸法ニ從ヒ金屬板ノ黒地ニ白色ヲ以テ明記シ車體後部諸易キ箇所ニ之ヲ固著セシムヘシ但シ車體後部泥除ノ諸易キ箇所ニ表記シ之ニ代フルコトヲ得

一、記號ハ輪廓ノ徑一寸五分以上タルコト

二、番號ハ文字ノ幅一寸五分高一寸以上トシ千位ニハ「コンマ」ヲ附スルコト

自轉車ヲ廢棄シ又ハ盜難若ハ亡失シタルトキハ七日以内ニ所轄郡市役所ニ届出ツヘシ住所ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ此ノ場合ニ於テ管轄ヲ異ニスルトキハ新ニ記號番號ノ指示ヲ受クヘシ

第四條 自轉車乗用ニ關シテハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、十歳未満ノ者又ハ酩酊セル者若ハ乗用不熟練ノ者自轉車ヲ乗用シ又ハ是等ノ者ヲ乗用セシメサルコト

二、第二條、第三條第二項ノ規定ニ適合セサル自轉車又ハ下リ「ハンドル」若ハ向フ「ハンドル」ノ自轉車ヲ乗用シ又ハ乗用セシメサルコト

〔神奈川縣〕

〔神奈川縣〕

三、自轉車ニ長大又ハ過重ノ物品ヲ携帯シ若ハ搭載シテ乗用セサルコト

四、容器ヲ裝置シタル自轉車ニ在リテハ物品ヲ容器ノ外側ニ出シ又ハ地上高四尺以上ニ積載セサルコト

五、市街地又ハ交通頻繁ノ場所ニ於テ乗用中同時ニ兩手ヲ「ハンドル」ヨリ離ササルコト

六、車體ノ定員以外ニ乗用シ又ハ乗用セシメサルコト

七、夜間ハ車體ノ前部ニ燈火ヲ點スルコト

八、道路ニ於テ競走若ハ曲乘ヲ爲サ、ルコト

九、出火場其他群衆ノ場所ヲ乗用セサルコト

第五條 自轉車ニ依リ人ヲ殺傷シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキハ停車シ警察官吏ノ指揮ヲ受クヘシ

第六條 警察官吏ニ於テ交通取締上其ノ他ノ事由ニヨリ停車ヲ命ジタルトキハ速ニ停車シ其ノ指揮ニ從フヘシ

第七條 第一條、第三條、第四條、第五條、第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附則

第八條 本令施行ノ際自轉車ヲ所有スル者ハ本令施行ノ日ヨリ六十日以内ニ第三條ノ規定ニ從ヒ其ノ手續ヲ爲スヘシ

●自轉車取締令施行手續

大正十年三月十八日
訓令第九號

郡役所 市役所

自轉車取締令施行手續左ノ通定ム

一、自轉車取締令施行手續

一、自轉車取締令第三條ノ届出ヲ受理シタルトキハ同令第一條、第二條ノ事項ヲ調査シ記號番號ヲ指示スヘシ
記號ハ郡市ノ頭文字ヲ冠スヘシ但シ足柄上郡ハ「足上」足柄下郡ハ「足下」三浦郡ハ「浦」トシ横須賀市ハ「賀」トス
番號ハ逐次番號トシ「一、二、三」以下同シノ文字ヲ用キ一萬ニ達シタルトキハ之ヲ改ムヘシ此ノ場合ニ於テハ
記號ノ次ニ「甲、乙、丙」ノ順序ニ依リ符號ヲ付スヘシ

二、自轉車取締令第三條第三項ニヨリ他ノ管轄ニ屬スル自轉車所有者ノ轉住届ヲ受理シタルトキハ舊住所地ノ郡市

役所ニ通報スヘシ
三、郡市役所ニハ自轉車臺帳ヲ備付シ届出ニ依リ隨時整理スヘシ

●自轉車記號ニ關スル件

大正十年五月二十八日
西警保發第九三號

自轉車取締令第三條ニ依リ記號ハ賦課規則第十九條ノ規定ニ該當スル免稅自轉車ニ在リテハ郡市頭文字ノ上部ニ「特」ノ文字ヲ冠セシムルコトニ決定シ郡市長ニ對シテハ別紙ノ通り通牒相成候條御了知相成度依命此段及通牒修也
追テ自轉車ハ免稅タルト否トナ問ハス郡市役所ノ指示スル記號番號ヲ附スルヲ至當ト認メ候條特ニ申添候也

●自轉車番號ニ關スル件

大正十年五月二十三日
西内地發第二三二號

本年三月改正ニ係ル標記取締令第三條ニ依リ記號番號ノ儀一般課稅車ニ對シテハ曩ニ鑑札番號ニ依リ指示方及通牒
當候處賦課規則第十九條第十二號其ノ他課稅外ノ自轉車ニ對シテハ郡市頭文字ノ上ニ「特」ノ字ヲ冠シ別ニ順次番
號ヲ付シタル上指示相成度依命及通牒候
參照

神奈川縣郡縣稅賦課規則拔萃

第十九條 左ニ掲ケルモノハ營業稅雜稅ヲ賦課セズ

十二、官公署所屬又ハ神佛宗教若ハ慈善事業專用ノ船車及自轉車

●乘合馬車取締規則

明治二十二年四月二十四日
縣令第二十三號

改正 明治二十五年三月縣令第九號、二九年六月第二七號、三八年七月第三七號、三九年一月第一號、大正一〇年五月第七三號
乘合馬車取締規則別冊ノ通り相定メ來ル五月十五日ヨリ施行ス
但明治十四年五月甲第七十八號布達ハ本令施行ノ日ヨリ廢ス
〔別冊〕

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

乘合馬車取締規則

第一章 通則

第一條 乘合馬車營業ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ所轄警察官署ニ願出許可ヲ受クヘシ

第二條 乃至第六條ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

一、本籍住所氏名生年月日法人ニ在リテハ其ノ名稱所在地代表者ノ氏名及定款寫

二、車體ノ員數及乗客ノ定員

三、馬匹ノ員數

四、營業路線ヲ定ムルモノハ其ノ路線

五、駐車場ヲ設ケルモノハ其ノ位置及構造設備

六、乗車又ハ貨賃料金

前項ノ車體、馬匹及ヒ駐車場ハ所轄警察官署ノ検査ヲ受ケルニ非ラサレハ使用スルコトヲ得ス

第二條 營業者ハ馭者馬丁ノ族籍住所氏名年齢ヲ所轄警察署ヘ届出一人毎ニ鑑札ヲ受クヘシ

第三條 營業者自ラ馭者馬丁ノ業ヲ爲サントスル時ハ總テ馭者馬丁ニ關スル規則ニ從フヘシ

第四條 馭者馬丁ノ鑑札ハ毎年三月中所轄警察署ノ検査ヲ受クヘシ其検査ヲ受ケサル者ハ無効トス

第五條 車體及ヒ馬匹ハ毎年三月及ヒ九月ニ於テ所轄警察官署ノ検査ヲ受クヘシ

第六條 左ノ場合ニ於テハ七日以内ニ所轄警察署ヘ届出書換又ハ再渡ヲ乞フヘシ

一 轉居改氏名其他免許證検査證及ヒ鑑札面記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル時

二 免許證検査證鑑札ヲ遺失毀損シ又ハ其文字不分明ニ至リタル時

第七條 左ノ場合ニ於テハ七日以内ニ所轄警察署ヘ届出免許證検査證又ハ鑑札ヲ返納スヘシ

一 廢業シタル時

二 車馬ヲ賣渡シ又ハ讓渡シ若クハ使用ヲ廢シタル時

三 馭者馬丁ヲ解約シ又ハ馭者馬丁ノ失踪逃亡若クハ死去シタル時

第八條 免許證検査證又ハ鑑札ハ之ヲ貸與スヘカラス

第九條 車體検査證ハ車體内部見易キ所ニ釘付スヘシ

第十條 検査證アル車馬ト雖トモ此規則ノ制限ニ適セス又ハ車體器具ノ破損若クハ不潔ニ至リ或ハ馬匹疾病衰弱ノ状アル時ハ其使用ヲ差止ムヘシ

第十一條 公益上必要ナリト認メタルトキハ營業線路又ハ駐車場ノ變更ヲ命シ若ハ制限ヲ加フルコトアルヘシ

第十二條 左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ營業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

一 公安ヲ害スルノ虞アルトキ

二 本則ニ違背シタルトキ

取者馬丁ニシテ前項各號ノ一ニ該當シタルトキハ就業ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルヘシ

第二章 車體馬匹及器具

第十三條 車體ハ堅牢ニシテ其構造及ヒ附屬品ハ左ノ制限ニ從フヘシ

一 車ハ四輪以上ニシテ適當ナル駐車機ヲ備フヘシ

二 車體ハ無地漆塗又ハ磨出ニシテ其屋根覆ハ木製或ハ護謨引ノモノヲ用ユヘシ

三 客座ハ適當ナル裝置ヲ爲スヘシ但一人ノ座席幅一尺二寸ヲ下ルヘカラス

四 車體ニハ適當ナル泥除ヲ設クヘシ

五 車體前面ノ兩側ニハ硝子燈ヲ備フヘシ

六 運轉器心棒發條力革手綱及ヒ其他ノ器具ハ堅牢強靱ノモノヲ用フヘシ

七 雨具ハ護謨引又ハズツク製ノモノヲ用フヘシ

第十四條 馬匹ハ五歳以上ニシテ強壯ナルモノニ限ルヘシ

第三章 取者馬丁ノ資格及服裝

第十五條 取者ハ滿二十年以上馬丁ハ滿十六年以上ニシテ身體強壯ナル者且ツ取者ハ取術ニ熟達シタル者ニ限ルヘシ

第十六條 醉狂又ハ暴行ノ癖アル者若クハ盜罪強姦及ヒ過失ニアラサル殺傷罪ヲ犯シ若クハ現ニ監視中ニ係ル者ハ取者馬丁タルコトヲ得ス

〔神奈川警〕

第十七條 取者馬丁ハ左ノ制限ニ從ヒ不潔ナラサル服裝ヲ爲スヘシ

一 取者ハ帽子筒袖ゾボン靴

二 馬丁ハ帽子又ハ饅頭笠紺無地筒袖若クハ法被及ヒバツチ股引

三 雨具ハ護謨引桐油製其他羅紗類

第四章 取者馬丁就業制限

第十八條 取者ハ乗合馬車取締規則及ヒ現ニ使用スル所ノ馬匹検査證ヲ所持シ警察官吏又ハ乗客ニ於テ見シコトヲ求メタルトキハ直チニ之ヲ示スヘシ

取者馬丁ノ其鑑札ニ於ケルモ亦同シ

第十九條 馬車ハ取者ノ外馬丁ヲ常置スヘシ但シ一頭立馬車又ハ車掌ヲ常置スル馬車ニ在リテハ此ノ限りニ在ラス

第二十條 類冠リ鉢巻其他不體裁ノ形裝ヲ爲シ又ハ徒跣ニテ業ニ就クコトヲ得ス

第二十一條 取者ハ駐車中ト雖トモ馬車ヲ離ルヘカラス但止ムヲ得サル場合ハ馬丁ヲシテ馬車ノ管守ヲ爲サシムヘシ

第二十二條 乗客著席シ又ハ降車シ畢リタル後ニアラサレハ車ヲ進行スヘカラス

第二十三條 乗客中粗暴ノ所爲アル時ハ之ヲ制止シ若シ肯セサル時ハ降車セシムヘシ

第二十四條 取者臺ニ客ヲ乗載スヘカラス又屋根ニ物品ヲ載スヘキ構造ヲ爲サシテ物品ヲ載スヘカラス

第二十五條 行車中ハ飲食ヲ爲スヘカラス又醉中其業ニ就クコトヲ得ス

第二十六條 取者ハ他人ヲシテ馬ヲ取セシムヘカラス

第二十七條 行人ニ對シ強テ乘車ヲ勸メ又ハ侮慢ノ言行ヲ爲スヘカラス

第二十八條 定員半數以上ノ乗客アル時ハ正當ノ理由ナクシテ出車ヲ拒ムヘカラス又正當ノ理由ナクシテ定員内ノ乗合ヲ拒ムヘカラス

第二十九條 取者ハ左ノ場合ニ於テハ乗取スルコトヲ得ス但シ馬丁ヲ常置シタル馬車ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一 道路ノ交叉點、曲角其ノ他屈曲ノ場所又ハ雜沓ノ場所ヲ通過スルトキ

二 歩道ヲ横切ルトキ

三、坂路隧道又ハ橋梁ヲ通過スルトキ

第二十九條乃至第三十五條 (削除)

第三十六條 車體馬匹ハ常に清潔ニスヘシ

第三十七條 乗客降車ノ際ハ其所持品等ニ注意シ若シ遺留品アリタル時ハ直チニ返付スヘシ其主分明ナラサル時ハ速ニ最寄警察署分署又ハ巡查駐在所巡查派出所ニ申出ヘシ

第五章 乗車制限

第三十八條 乗客定員ハ車内ニ乗車又ハ貨貨料金ハ車内及ヒ駐車場賭易キ箇所ニ揭示スヘシ

第三十九條 定員外ノ客ヲ乗載スヘカラス
但十年未滿ノ者ハ二人ヲ以テ一人ト看做シ三年未滿ノ者ハ定員外トス

第四十條 左ニ記載シタルモノハ乗載スヘカラス
但警察官吏ノ承認若クハ指圖ヲ受ケタル時ハ此限リニアラス

- 一 十種傳染病疥癬癩病其他乗客ニ於テ厭忌スヘキ病狀アル者
- 二 瘋癲者暴行者亂醉者及ヒ乞食體ノ者
- 三 汚穢物其他惡臭ヲ發シ又ハ汚染ノ虞アル物品
- 四 獸類

但獸欄アルモノ若クハ飼主ニ於テ其車輛ヲ雇切タル場合ハ此限リニアラス

第六章 貨錢及駐車場

第四十一條 (削除)

第四十二條 何等ノ名義ヲ以テスルモ乗客ニ對シ貨錢定額外ノ金錢ヲ請求スヘカラス

第四十三條 駐車場ニハ乗合馬車駐車場ト記シタル標識ヲ設ケヘシ

第四十四條 駐車場ノ外車馬ヲ置ケヘカラス

但乗客用辨ノ爲メ往來ノ妨害トナラサル場所ニ一時駐車スルハ此限リニアラス

第四十五條 駐車場ノ地盤ハ石煉化石散キ又ハ板ヲ敷キ且ツ馬尿溜ヲ設ケヘシ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第四十六條 駐車場ハ日々掃除ヲ爲シ常に清潔ニスヘシ

第七章 保證金

第四十七條乃至第五十條 (削除)

第八章 罰則

第五十一條 此規則第一條第二條第五條第六條第七條第八條第九條第十七條第十八條第二十條第二十一條第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條第四十條第四十一條第四十二條第四十三條第四十四條第四十五條第四十六條ニ違背シタル者及ヒ第十條ニ違背シテ使用シタル者第十二條第十六條第三十六條第四十三條第四十五條第四十六條ニ違背シテ官ノ督促ニ從ハサル者第十九條第四十四條ニ違背シテ制止ヲ背セサル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

其刑法ニ正條アルモノハ各其本條ニ依テ處分セラルヘシ

附 則

一 従前免許ヲ得タル馬車營業者ニシテ引續キ營業ヲ爲サントスル者及ヒ従前檢印済ノ馬車ニシテ此規則ノ制限ニ適セサル者ハ來レ十一月十五日限リ此規則ノ手續ニ從ヒ更ニ免許ヲ受ケ且第二條ノ手續ヲ爲スヘシ其期限ヲ過キ之ヲ行ハサル者ハ免許ノ效ヲ失ヒ又ハ使用スルコトヲ得ス

●乗合馬車取締規則取扱手續

明治二十二年五月 規甲第二〇號

第一條 馬車營業ヲ願出タルトキハ營業場所及既ノ構造車體馬匹ノ制限ヲ取調ヘ不都合ナキ者ハ手数料ヲ徵收シ第一號第三號第四號第五號雜形ノ通記載シ免許證檢査證ヲ下付スヘシ但他署部内ニ係ル駐車場ノ構造調査方ハ各其ノ所轄署ニ囑托スヘシ

第二條 取車馬丁ノ鑑札下付ヲ請フモノアルトキハ規則第三章ノ規定ニ適スルヤ又第十七條ノ規則書ヲ所持スルヤ否ヲ取調ヘ不都合ナキモノハ手数料ヲ徵收シ第二號第六號雜形ノ通記載シ鑑札ヲ下付スヘシ

第三條 鑑札又ハ車體馬匹ノ檢査ヲ請フモノアルトキハ名簿ニ照合シ不都合ナキモノハ名簿中檢査欄内ニ其ノ月日ヲ記入シ主任者認印スヘシ若シ檢査ヲ受ケサルモノアルトキハ鑑札及檢査證ヲ取揚ケヘシ

第四條 本則第六條ノ再渡ヲ申出ルモノアルトキハ其ノ事情ヲ取調ヘ手数料ヲ徵收シ下付スヘシ若シ他ノ警察署部

第二編 保安 第四章 交通

内へ轉居スルモノハ免許證及鐵札ハ原警察署へ返納セシムヘシ
 第五條 本則第十條ニ依リ使用ヲ差止メタルトキハ檢査證ヲ預リ置キ更ニ改良ノ上檢査ヲ請フトキハ該檢査證ヲ下
 渡スヘシ
 第六條 本則第四十條ノ承認ヲ乞フ者アルトキハ警察署分署ニ在リテハ事情取調へ差支ナキ者ハ承認若ハ指圖シタ
 ル旨ヲ記載シ署印ヲ捺シ下付スヘシ
 第七條 賃錢表ハ和英兩文ヲ記載セシムヘシ
 第九條 營業上他人ニ被ラシメタル損害ノ賠償ハ可成營業者ヨリ出金セシムヘシ若シ出金ノ見込ナキモノハ事情ヲ
 具シ警察部長ノ指揮ヲ受ケヘシ
 第十一條 營業者取者馬丁ノ名簿用紙ハ警察本部主計課ニ於テ調製シ各署へ交付スヘシ其ノ番號ハ逐年逐號トシ廢
 業者ノ番號ハ創業者ヲシテ之ヲ襲ハシムヘシ
 又營業者ニシテ取者又ハ馬丁ヲ兼ル者ハ雙方ノ名簿欄内ニ營業ノ二字ヲ朱記スヘシ
 但シ營業者少數ノ地ニ在リテハ營業者取者馬丁ノ二帖ヲ合綴シ口取ヲ以テ區別スルコトヲ得
 第十二條 免許證鐵札檢査證ハ人力車取締規則取扱手續第十八條ニ準據スヘシ
 第一號雜形

番 號	保 及	證 種	金 額	事 故	車 番	體 及
號一(許可年月日)		〔金高又ハ公債證書銀行預リ券ノ種類金額〕 〔ナ記入ノコト〕		〔保證金ヲ以テ損害ヲ賠償シ缺額ヲ生シタル事由又ハ其ノ缺額ヲ補充シタル等ノ事由又ハ期限 補充セサルニ付免許證ヲ取揚タル事由〕	〔番號ハ各自ニ起號ス〕 〔第何號幾人乘〕 〔第何號幾人乘〕	馬 色 匹 及 毛 番 號
原籍	住	所	氏	名	〔番號同〕 〔第何號栗毛幾歲上〕	

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第二號雜形

日月年查檢	初	年	二	年	三	年	四	年	五	年	六	年	七	年
八	年	九	年	十	年	十	年	十二	年	十三	年	十四	年	

許 可 年 月 日	原 籍	住 所	氏 名
初	年	二	年
年	三	年	四
年	五	年	六
年	七	年	
年			
年			
年			
年			
年			
年			

第三號雜形 三寸

表 二 寸	三 寸
乘合馬車營業免許證	國郡町村香地
身分	氏名
明治	年
月	日
何警察	署烙印

第二編 保安 第四章 交通

第二編 保安 第四章 交通

第四號鑑形

三寸

番 號	車 體 檢 査 證
明 治 年 月 日	何 警 察 署 烙 印

第五號鑑形

三寸

番 號	馬 匹 檢 査 證
明 治 年 月 日	何 警 察 署 烙 印

第六號鑑形

三寸

番 號	取 者 (馬 丁) 鑑 札
明 治 年 月 日	何 警 察 署 烙 印

裏	明 治 年 月 日
何 警 察 署 烙 印	

●人力車營業取締規則

明治二十五年七月四日 縣令第五十號

改正 明治三十一年五月縣令第二〇號、一〇月縣令四六號、三十四年八月縣令四五號、三十五年四月縣令三〇號、三十六年五月縣令九號、三十七年七月縣令九號、三十八年四月縣令一九號、六月縣令三二號、三十九年六月縣令三七號、四一年九月縣令七八號、大正一〇年三月縣令二四號、五月縣令七四號

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

人力車營業取締規則左ノ通之ヲ定ム
但明治二十二年四月縣令第二十二號營業人力車取締規則ハ自今之ヲ廢止ス

第一章 通則

- 第一條 人力車營業トハ轆子ヲシテ車ヲ轉カシメ又ハ車ヲ貨貨スルヲ以テ營業トスルモノヲ云フ
- 第二條 人力車營業ヲ爲サントスル者ハ管轄警察官署ニ願出免許ヲ受ケ同時ニ車體ノ檢査證ヲ受ケヘシ
- 第三條 轆子ヲラントスル者ハ族籍住所氏名生年月日ヲ記シ營業者之ニ連署シ管轄警察官署ニ願出鑑札ヲ受ケヘシ
- 第四條 醉狂又ハ暴行ノ癖アル者若クハ盜罪強姦及幼者ヲ略取誘拐スル罪又ハ過失ニアラサル殺傷罪ヲ犯シタル者ハ轆子タルコトヲ得ス但管轄警察官署ニ於テ改悛ノ狀顯著ナリト認ムルモノハ特ニ許可スルコトアルヘシ
- 第五條 車體及其ノ附屬品ハ毎年四月五月ノ間ニ於テ管轄警察官署ニ出頭シ又ハ其ノ指定スル場所ニ於テ定期ニ檢査ヲ受ケヘシ
- 車體ヲ新造改造又ハ買受ケ讓受ケテ爲シタルトキハ使用前ニ願出臨時檢査ヲ受ケヘシ
- 警察官署ハ檢査ニ際シ車體ニシテ一ケ年ノ保存ニ耐ヘスト認ムルトキハ特ニ使用ノ期限ヲ付スヘシ
- 使用期限ヲ過キタル車體ハ使用スルコトヲ得ス
- 第六條 轆子鑑札ハ毎年四月五月ノ間ニ於テ管轄警察官署ノ檢査ヲ受ケヘシ其檢査ヲ受ケサルモノハ無効トス
- 第七條 管轄警察官署ハ第五條第六條ノ定期ニ拘ハラス臨時檢査ヲ爲スコトアルヘシ
- 第八條 左ノ場合ニ於テハ三日以内ニ管轄警察官署ニ届出テ鑑札檢査證ノ書換再渡又ハ消印ヲ請フヘシ
 一 廢業又ハ轉居改氏名其他鑑札檢査證面記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキ
 二 鑑札檢査證ヲ亡失毀損シ又ハ其文字不分明ニ至リタルトキ
 三 車ヲ賣渡シ又ハ讓渡シ若クハ使用ヲ廢シタルトキ
 四 轆子ノ失踪逃亡若クハ死去シタルトキ

第二編 保安 第四章 交通

第九條 鐵札、検査證及番號ヲ付シタル冠リ物ハ之ヲ貸借スヘカラス

第十條 検査證ハ車ノ鐵込正面ニ釘付スヘシ

第十一條 検査ノ證アル車ト雖トモ警察官吏ニ於テ第十六條ノ制限ニ適セス又ハ破損若クハ不潔ニ至リタルヲ認ルトキハ其使用ヲ差止ムヘシ

第十二條 鐵札検査證ニ充ツル木札ハ左ノ寸法ニ據リ營業者ニ於テ之ヲ製スヘシ

鐵札 堅二寸横三寸

検査證 堅三寸横四寸

第十三條 營業者自ラ車ヲ繞クトキハ總テ鏡子ニ關スル規則ニ從フヘシ

第十四條 人力車營業者ハ警察官署ノ管轄區域毎ニ組合ヲ設クヘシ但シ地形ノ狀況ニ因リ組合ヲ合併シ又ハ分離スルコトヲ得

前項ノ組合ニ入ラサル者ハ人力車營業者タルコトヲ許サス組合規約ハ管轄警察官署ニ届出テ認可ヲ受クヘシ

組合ニハ取締人ヲ置キ營業ニ關スル願届書ニ加印シ其ノ他取締人ハ組合ニ關スル一切ノ事務ヲ整理スヘシ

取締人ハ願届書ノ加印ヲ拒ムコトヲ得ス若シ意見アルトキハ別ニ意見書ヲ付スヘシ

第十五條 管轄警察官署ハ鏡子ニシテ第二十條第二十二條第二十三條第三十二條第三十三條ヲ犯シタル者又ハ營業者ニシテ第三十一條第三十三條ヲ犯シタル者再ヒ同罪ヲ犯シ處罰ヲ受クルモ仍ホ改悛ノ狀ナシト認メタルトキハ其ノ鐵札ヲ取揚ケ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトアルヘシ

第二章 車體ノ構造及附屬品ノ制限

第十六條 車體ハ堅牢ニシテ其構造及附屬品ハ左ノ制限ナドルヘカラス

一 壹人乗ハ横幅内法二尺未満貳人乗ハ二尺以上トス

二 車體ハ無地漆塗中張ハ革天鵞絨羅紗ノ類ヲ用フヘシ但シ白地ノ上張リヲ用フルコトヲ得

三 車體ト同色ノ泥除ヲ備フヘシ

四 車體ト同色ノ護膜引又ハ桐油製ノ母衣前掛清潔ナル蒲團及膝掛ヲ備フヘシ但シ晴天ニハ日除ノ爲制限外ノ母衣ヲ使用スルコトヲ得

〔神奈川県〕

〔神奈川県〕

五 營業用ノ提燈ニハ組名ヲ記シ且ツ日本亞刺比亞兩數字ニテ鏡子鐵札ノ番號ヲ附記スヘシ但シ數字ノ上ニハ組名ノ頭字(組合ヲ設ケタル鐵道停車場ニ在リテハ日本數字ノ上ニ組名ノ頭字及鐵ノ字亞刺比亞數字ノ上ニ組名ノ頭字及Sノ字)ヲ和英兩文ニテ冠記スヘシ

第十七條 鏡子就業中ノ服裝ハ左ノ制限ニ從ヒ破損又ハ不潔ナルモノヲ著用スヘカラス但シ著服竝ニ雨具ノ背及冠物ニハ第十六條第五ノ規定ニ依リ其ノ文字ヲ記スヘシ

一 著服ハ筒袖又ハ法被及バツチ又ハ股引

二 冠物ハ帽子又ハ銀頭笠

三 雨具ハ護膜引桐油製又ハ絨製但シ防水布製筒袖又ハ法被ヲ著用スル者ハ本具ヲ省クコトヲ得

第十八條 鏡子就業中ハ鐵札ヲ所持シ警察官吏又ハ乗客ノ要求アルトキハ之ヲ示スヘシ

第十九條 類冠リ鉢巻其他見苦シキ形裝ヲ爲スヘカラス

第二十條 乗客ノ承諾ヲ得ス途ニ於テ他車ニ乗セ替ヘ又ハ駐車シ若クハ下車ヲ請フヘカラス

第二十一條 道路ニ於テハ駐車場ノ外車ヲ置クヘカラス

第二十二條 宿屋飲食店及其他ノ營業者ト謀リ乗客ヲ誘引シ又ハ乗客ノ指示セサル場所ニ輓入ルヘカラス

第二十三條 行人ニ對シ強テ乗車ヲ勸メ又ハ侮慢ノ言行ヲ爲スヘカラス

第二十四條 乃至第二十六條 (削除)

第二十七條 街角橋上其他往來ノ妨害ト爲ルヘキ場所ニ於テ客ヲ昇降セシムヘカラス

第二十八條 (削除)

第二十九條 客ヨリ求メアリタルトキハ正當ノ理由ナクシテ乗車ヲ拒ムヘカラス

第四章 貨錢

第三十條 貨錢額ハ組合ニ於テ豫メ之ヲ定メ管轄警察官署ニ届出テ認可ヲ受クヘシ之ヲ更正セントスルトキ亦同シ

第三十一條 營業者ハ検査證ノ寸法ニ等シキ木札ノ貨錢表ヲ製シ車體ノ鐵込ニ釘付スヘシ之ヲ更正シ又ハ其文字不分明トナリタルトキハ書換ヲ爲スヘシ

横濱市内ニ於テ營業スル者ノ貨錢表ハ木札又ハ板紙ニ和英兩國文ヲ以テ之ヲ併書スルコトヲ要ス

警察官吏又ハ乗客ニ於テ賃錢表ノ提示ヲ求ムルトキハ直ニ之ニ應スヘシ

第三十二條 何等ノ名義ヲ以テスルモ乗客ニ對シ定額外ノ金錢ヲ請求スヘカラス

第三十三條 乗客ニ於テ單ニ行先ヲ示シ其道筋ヲ定メサルトキハ最近ノ路程ニ依リ賃錢ヲ計算スヘシ

第五章 乗載制限

第三十四條 一人乗ニ二人二人乗ニ三人以上ヲ乗載スヘカラス但十年未滿ノ者ハ二人ヲ以テ一人ニ算シ三年未滿ノ者ハ定員外トス

第三十五條 汚穢物其他車ヲ汚染シ又ハ惡臭ヲ遺留スヘキ物品又ハ車體外ニ張出スヘキ長大ノ物品ヲ乗載スヘカラ

第六章 駐車場

第三十六條 駐車場ヲ分テ公設私設ノ二種トス

第三十七條 公設駐車場ハ管轄警察官署ニ於テ之ヲ定メ標示スヘシ

警察官署ハ土地ノ狀況又ハ取締ノ必要上公設駐車場ニ於テ就業スヘキ人力車輓子ニ對シ特別ノ制限ヲ付スルコトアルヘシ

第三十八條 私有地ニ私設駐車場ヲ設ケントスル者ハ管轄警察官署ニ願出テ許可ヲ受ケ之ヲ標示スヘシ

第三十九條 公設駐車場ニ在ル人力車ハ整列ノ順序若クハ籤取ヲ以テ出車スヘシ但客ノ特ニ指定シタル場合ハ此限ニアラス

第七章 罰則

第四十條 本則第二條第三條第八條第九條第十條第十四條第十六條ノ第五第十七條第十八條第二十條第二十二條第二十三條第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十三條第三十五條第三十八條ヲ犯シタル者第十一條ニ依リ使用ヲ差止メラレタル車ヲ使用シタル者第三十七條第二項第三十九條ニ違ヒ爭テ生シタル者第十六條第四ニ違ヒ督促ニ從ハサル者第十九條第二十一條第三十四條ニ違ヒ制止ヲ背セサル者第二十七條ニ違ヒ通行ノ妨害ヲ爲シタル者及検査ヲ受ケス又ハ検査期限使用期限ヲ經過シテ車體ヲ使用シ若ハ營業者ニシテ免許證札ヲ受有セサル者ニ車體ヲ貸與シタル者及ヒ輓子ニシテ車體ノ轉貸ヲ爲シタル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

附則

- 一 從前下附シタル車體検査證及輓子證札ハ明治二十五年十月検査ノ期迄有效トス
- 二 乘車賃錢額ハ本則第二十九條ニ從ヒ本則施行ノ日迄ニ更ニ届出テ且ツ第三十條ニ從ヒ其表ヲ車體ニ釘付スヘシ

●人力車營業取締規則執行手續

明治二十五年七月 規甲第三號

改正 明治四一年七月訓示第三九號

第一條 人力車營業又ハ輓子ノ業ヲ許可シタルトキハ第十二條ノ規定ニ依リ臺帳ニ登記スヘシ

第二條 検査ノ日時場所ハ土地ノ狀況ニ依リ適宜ニ之ヲ定メ營業者又ハ乗客ニ不便ヲ與ヘサル様注意スヘシ

第三條 鐵札検査證ノ記入檢印ハ雛形ニ倣ヒ取扱フヘシ

検査ニ際シ特ニ使用期限ヲ付スルトキハ其ノ期限ヲ検査證ニ記入スヘシ

第四條 人力車輓木ノ右又ハ左(懸込ニ屬スル部分)ニ檢印ヲ以テ検査證ノ番號(假令ハ第一二四號ノ如ク)烙シ照査ノ用ニ供スヘシ

第五條 車體ノ修理ヲ命ジタルトキハ再ヒ検査ヲ受ケルマテ検査證ヲ引揚ケ置クヘシ

第六條 車體ノ使用ヲ禁シ又ハ車體若クハ鐵札ノ検査ヲ受ケサルモノアルトキハ検査證又ハ鐵札ヲ引揚ケ消印ノ上還付スヘシ

第七條 輓子規則第四條ニ觸ルル行爲アルトキハ鐵札ヲ引揚ケ消印ノ上還付スヘシ

規則第十五條ノ場合ニ於テモ亦同シ

第八條 他管ノ輓子規則第四條ニ觸ルル行爲アルトキハ其ノ旨管轄警察官署ニ通知スヘシ規則第二十條第二十二條

第二十三條第三十一條第三十二條ヲ犯シタル者アルトキ亦同シ

第九條 營業者規約ヲ設ケタル届ケアルトキハ其ノ寫シヲ添ヘ警察部ニ報告スヘシ
 規約法律規則ニ觸ルルモノト認ムルトキハ之ヲ更正セシムヘシ
 第十條 營業者賃錢額ノ認可ヲ請フトキハ之ヲ審査シ不當ト認ムルモノハ更正セシメ警察部ニ稟議ノ上許否スヘシ
 第十一條 公設駐車場ノ標杭ハ楕圓形ニ微ヒ調製シ其ノ位置ノ兩端ニ建設スヘシ
 第十二條 營業者及轆子臺帳ハイロハ順トシ番號ハ逐年逐號トシ廢業番號ハ開業者チシテ製カシムヘシ
 營業者小數ノ地方ハ營業者轆子ノ二帳チ一綴トシ耳札ヲ以テ區別スルコトヲ得
 第十三條 凡テ検査證又ハ鑑札ヲ引揚ケタル場合及營業者又ハ轆子規則ヲ犯シ處罰セラレタルトキハ其ノ要領ヲ臺帳ニ記入スヘシ
 第十四條 規則第八條ノ届ケ處分シタルトキハ臺帳ヲ訂正シ事由ヲ摘記スヘシ(明治四十一年七月訓示第三)九號ヲ以テ第十五條削除

寸三横 (表)

第 號	住 所
氏 名	生年月日
年 月 日	印

人力車轆子鑑札

(裏)

年 年 年	月 月 月	日 日 日
檢	檢	檢

徑六分 烙印

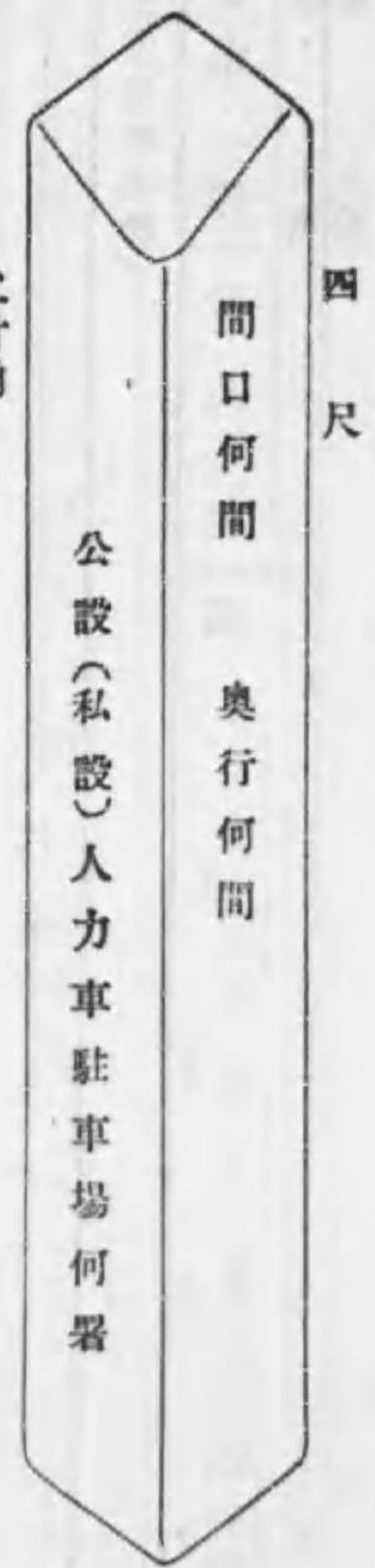
寸四横

第何號	人力車體検査證	署印
明治 年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日

徑六分烙印

〔神奈川県〕

〔神奈川県〕



人力車定期検査表様式

人力車定期 四月検査表	人力車定期 十月検査表
車體検査總數	乗 二 人
修繕ヲ命シタル數	乗 二 人
使用ヲ禁シタル數	乗 合
	計

何警察署(分)署

●人力車營業者及同轆子臺帳ノ件

明治二十五年九月十九日 規甲第四號

人力車營業者及同轆子臺帳並ニ人力車臺帳用紙左ノ通リ改正ス
 但シ來ル十月定期検査ヨリ之ヲ實施ス
 人力車營業者臺帳(用紙美濃)

原籍住所	免許番號	第 號	免許年月日	氏名	年齢	業年月日	年月日
------	------	-----	-------	----	----	------	-----

車数	一人乗 二人乗	輛	後見人
其他ノ其罰處	名氏子鏡履		

人力車鏡子臺帳雛形(用紙美濃)

住所	原籍	免許	第	號	免許	年	月	日	發業	年	月	日
	姓名	年	月	日	發業	年	月	日	姓名	年	月	日
住所	原籍	免許	第	號	免許	年	月	日	發業	年	月	日
姓名	年	月	日	發業	年	月	日	姓名	年	月	日	發業

人力車臺帳雛形(用紙美濃)

検査番号	車	體	持	主	備	考	檢	査	年	月	日	印				
第	第	第	第	第	第	第	初	年	二	年	三	年	四	年	五	年
人	人	人	人	人	人	人	初	年	二	年	三	年	四	年	五	年

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第	第	第	第	第	第
號	號	號	號	號	號
人	人	人	人	人	人
乘	乘	乘	乘	乘	乘

●人力車臺帳記載例ノ件

明治二十五年九月二十六日
規甲第五號

人力車營業及同鏡子臺帳並ニ人力車臺帳記載例左ノ通り之ヲ定ム

- 一、記入ノ文字ハ階行ニ限ル
- 一、文字ヲ訂正スルハ朱書ニ限ル
- 一、捺印ヲ捺スルトキハ其ノ月日ヲ記入ス
- 一、發業廢車(他管ヘ賣渡シ讓渡シタルモノモ亦廢車ト見做ス)シタルモノハ朱線ヲ以テ抹殺ス
- 一、車體ノ番號ハ新入車ヲシテ之ヲ製カシム
- 一、但シ廢車ノ番號ハ届出ノ都度臺帳ノ末ニ記入シ置キ搜索ニ便ス
- 一、人力車臺帳ノ備考欄内ニハ車體ノ賣買讓與又ハ廢車届出等ノ年月日其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記入ス

●人力車駐車場設置ニ關スル件

明治二十二年六月八日
規甲第二三號

道路竝木敷ヘ人力車駐車場ヲ設ケ並ニ又ハ芝草ヲ損傷致候場所モ有之趣相聞ヘ候處右ノ道路及竝木保存上重要ノ關係有之儀ニ付自今駐車場設置ノ節ハ竝木及竝木敷芝草ニ損傷無之場所ニ限ル儀ト心得フヘシ
但シ従前設置ノ場所ト雖モ竝木ニ關係アル分ハ取拂方取計フヘシ

●人力車檢印検査方注意

明治三十一年九月二十八日
示令第八〇號

人力車營業定期検査ノ際ハ地方税賦課規則ニ依ル檢印ノ有無ヲモ検査シ若シ檢印ナキモノハ脱税ト認メ其ノ事實ヲ所轄郡市長ニ通知スヘシ

●人力車附屬品検査心得

明治三十一年十月二十八日 示令第九一號

營業人力車ノ定期又ハ臨時検査ノ際ハ附屬品タル蒲團前掛提燈等ノ検査ヲ爲シ其ノ粗惡ニシテ乘客ニ迷惑ヲ與ヘ又ハ使用ニ耐ヘサルモノハ車體ト共ニ檢了セサル儀ト心得ヘシ但シ本文ノ主旨ハ豫メ組合取締ニ命令シ置クヘシ

●人力車検査心得

明治三十二年四月十日 示令第二六號

自今人力車定期検査ハ左ノ通り心得ヘシ但シ第一項ノ主旨ハ豫メ營業者ニ示達シ置クヲ要ス
一 人力車輓子冠物ニ附記スヘキ番號ノ文字ハ大サ直徑五分以上ニ横書シ縫ヒ込ミ又ハ染メ抜キハキ其ノ他容易ニ褪色セサルモノニアラサレハ檢了セサルコト
二 前項ノ番號ハ規則上羅馬數字トアルモ亞列比亞數字ニテ書スルモ妨ケナキコト
三 人力車營業取締規則第十九條第二十條第二十一條第二十三條第二十四條等ハ定期検査ノ際輓子ニ於テ記憶スルヤ否ヤチ便宜ノ方法ヲ以テ問答ヲ試ミ若シ記憶セサル者ハ懇々教示スルコト

●人力車検査心得

明治三十一年三月三十一日 警發第一一九號

人力車營業取締規則第五條第六條ニ依リ検査ヲ受ケヌ又ハ使用スルコトヲ得サル車體鐵札ヲ使用シタル者ハ第三十七條ニ依リ處分ヲ受ケル儀ト思考致候處近來定期検査ノ際病氣休業又ハ旅行シ居タル爲期限内検査ヲ受ケル能ハサル如キ正當ノ理由存スルニモ拘ハラズ右期限後ハ處罰ヲ加ヘラレタル後ニアラサレハ検査ヲ遂ケサルノ習慣アリテ未ダ正式裁判ヲ求メタル者ハ無之モ不幸ナル趣當業者間ニ苦情アルヤニ相聞ヘ候條御注意迄ニ依命從本官此段申進置候也

●人力車輓子目章ニ關スル件

明治三十五年四月七日 警保發第五五號

〔神奈川警〕

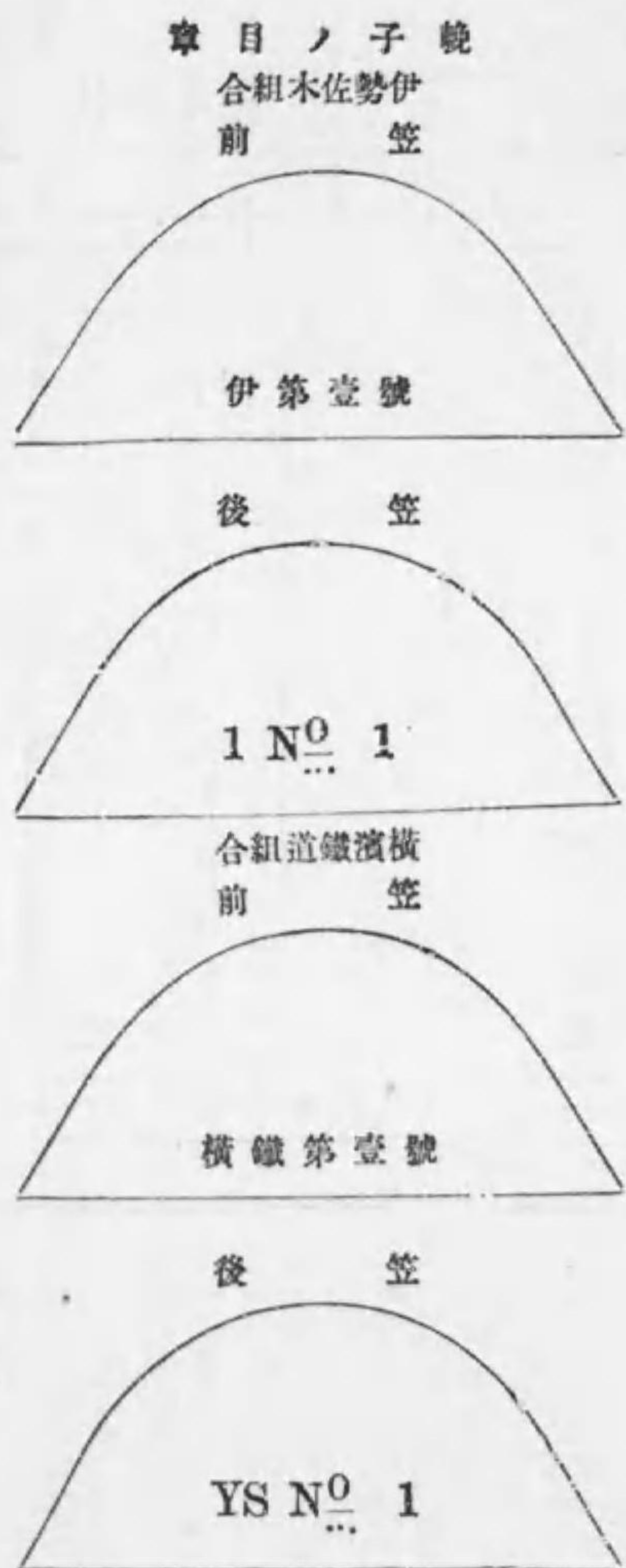
〔神奈川警〕

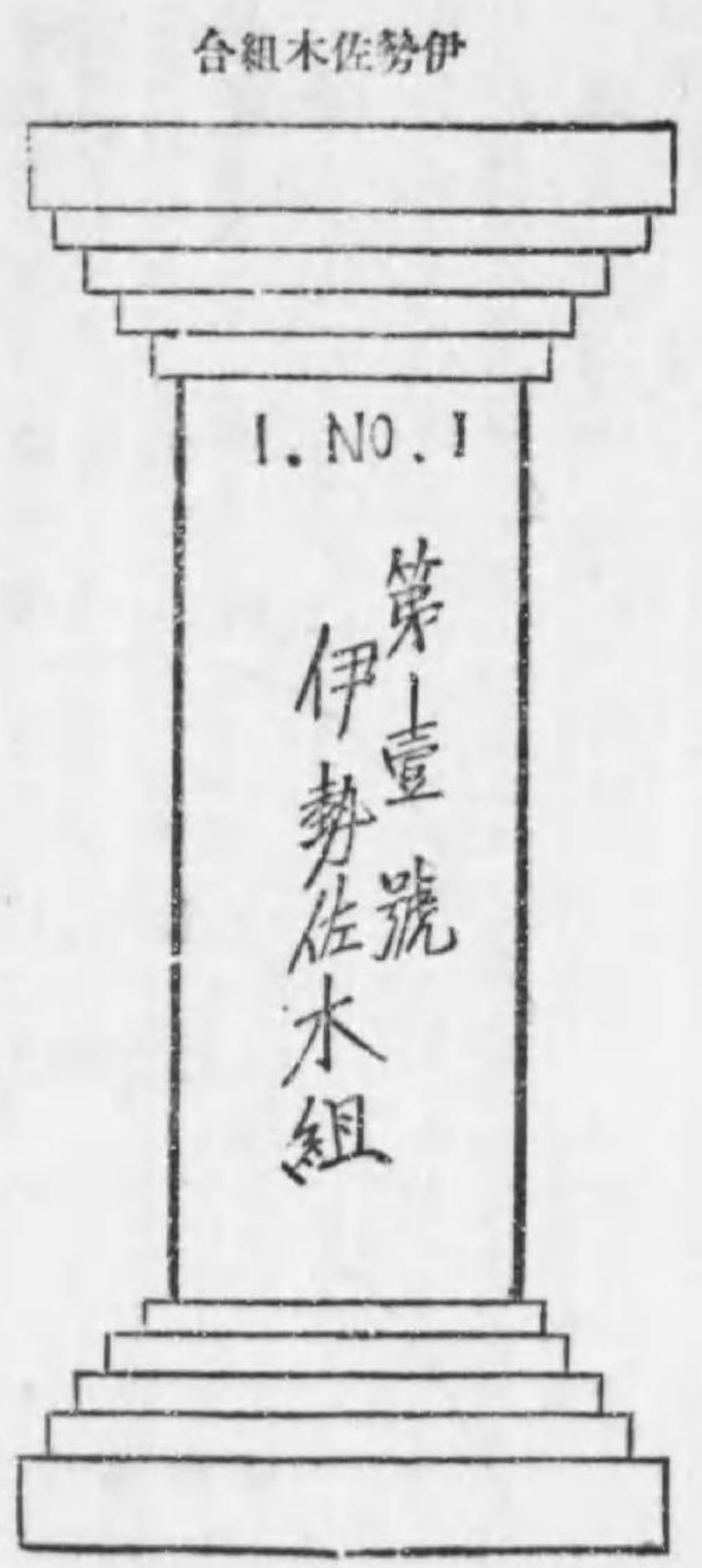
今般縣令第三十號ヲ以テ人力車營業取締規則中改正相成候處輓子目章ハ別紙圖令^ニ通り調製セシムルモノニ候條速ニ實行ヲ期スル爲メ此ノ際取締人ヘ此ノ旨示達相成度依命此段及通牒候也

追テ横濱市内輓子ノ目章ハ從來届出ノ通りニシテ横濱鐵道組合輓子ニ限り目章中冠物及提燈ハ現在使用ノ分チ其ノ儘使用セシメ新調ノ際改造セシムル儀ニ候條此段申添候也

第一例 (伊勢佐木町警察署附屬)

其ノ一笠

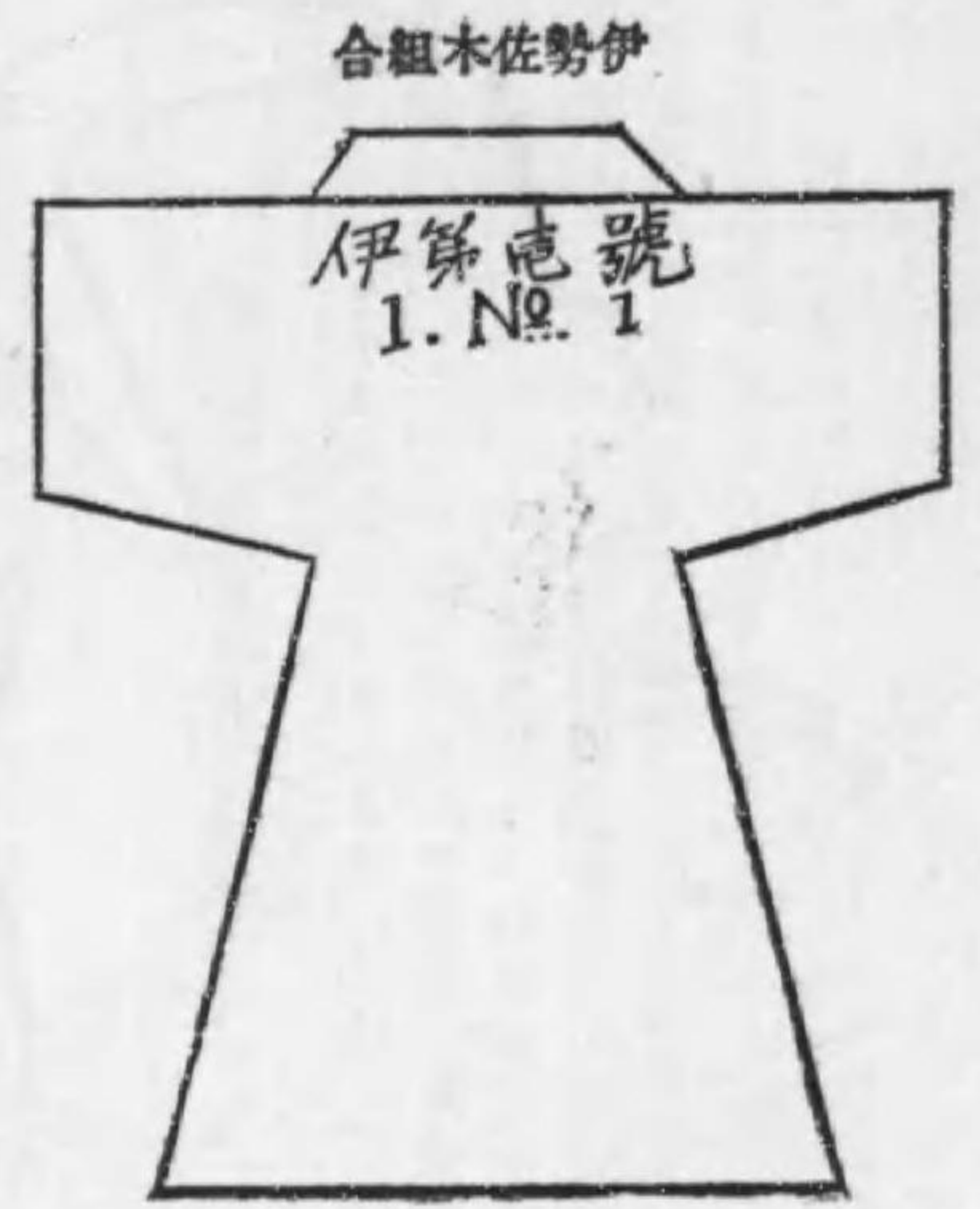




〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

其ノ三 著服及雨具



● 人力車用提燈ノ件

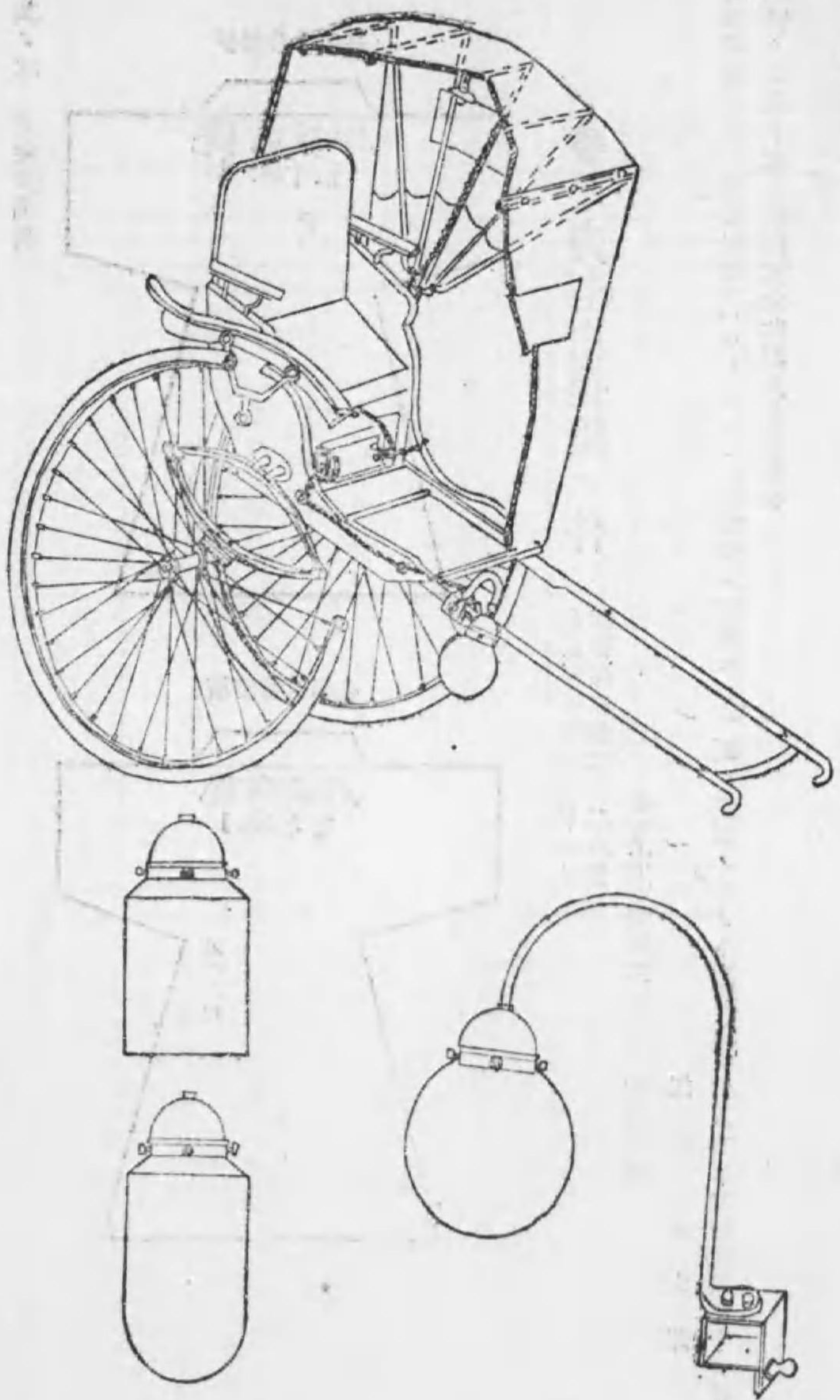
大正四年四月二十一日
卯警保收第二二六號

横濱市常盤町三丁目三十四番地

江尻 政太郎

右者發賣ニ係ル別紙圖面ノ「セルロイト」製電燈ハ新案ニシテ頗ル便利ノモノト認メ候ニ付人力車取締規則第十六條五號ノ提燈ト認メ候條依命此段及通牒候也

(別紙)



(神奈川警)

丑警保發第三七號

● 交通事故ノ取扱ニ關スル件

大正二年三月二十七日

電車、自動車其ノ他諸車牛馬等ニシテ交通上衝突又ハ死傷事件其ノ他事故ノ發生ニ關シテハ之カ原因御精査ノ上適當ナル御措置相成居候儀ト存候得共事件ノ報告書等ニ徴スレハ往往執レノ過失ニ出テタルモノナリヤ責任ノ歸著スヘキ原因如何ニ就テ何等ノ事由記載無之示談等ノ結果ノミニシテ事實ノ真相竝ニ措置ノ適否訴追ノ有無ヲ窺知シ得サルモノ有之候處元來示談等ハ民事ノ關係ニ屬シ之カ處理上重キヲ措クヘキモノニアラス警察取締ノ目的ハ交通ノ秩序維持ニアルヲ以テ自今是等事故ニ該リテハ其ノ原因ヲ探査シ責任ヲ明確ニシ苟モ其ノ行爲ニシテ交通ニ關スル取締規則若クハ刑法上ノ違反トナルヘキ場合ハ示談ノ成否如何ヲ問ハス處罰又ハ刑事訴追ノ措置ヲ採リ報告ノ際ハ其ノ顛末ヲ詳記シ尙交通機關ニシテ業務上ノ責任者カ必要アル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷シタル場合ハ特ニ其ノ事由記入報告相成候様致度依命此段及通牒候也

● 交通事故報告方ノ件依命通牒

大正十二年十一月二日
十二保發第七八號

交通事故發生ノ場合ハ即時電話ヲ以テ次イテ書面ヲ以テ報告ノコトニ相成居リ候處近時電話報告ニシテ著シク遅延スル向アリ又報告事項精粗區々ニシテ其ノ真相ヲ監察スルニ苦シムコトアリ取締上支障不尠候ニ付今般報告事項左ノ通定メラレ候ニ付爾今右ニ依リ敏速御取扱相成度尙自動車事故ニシテ運轉手ニ對シ就業ノ禁停止處分ヲ要スト認メラルモノニ付テハ詳細ナル意見ヲ附シ之ニ聽取書寫一部添附上申相成度
追テ電車(軌道)事故報告ニ付テハ從來ノ様式ニ依リ御取扱相成度爲念

記

電話報告事項

- 一 事故ノ種類
- 二 發生ノ年月日時
- 三 發生ノ場所

第二編 保安 第四章 交通

- 四 被害者ノ本籍 住所 職業 氏名 生年月日
- 五 加害者ノ本籍 住所 職業 氏名 生年月日
- 六 關係車輛番號
- 七 發生ノ原因及被害ノ狀況
- 八 措置ノ顛末
- 九 參考事項

書面報告事項

- 一 事故ノ種類
- 二 發生ノ年月日時
- 三 發生ノ場所
- 四 被害者ノ本籍 住所 職業 氏名 生年月日
- 五 加害者ノ本籍 住所 職業 氏名 生年月日
- 六 免許證下附年月日下付官廳免許證番號
- 七 關係車輛番號
- 八 發生ノ原因及被害ノ狀況
- 九 措置ノ顛末
- 一〇 就業禁止處分ノ要否
- 一一 參考事項

馬匹運動禁止街路名

明治三十六年三月三十一日 縣令第二十四號

改正 明治三十六年四月縣令第三〇號、四一年九月第七八號

左記ノ街路ニ於テ馬匹ヲ運動セシムル爲キ歩クコトヲ禁ス
本令ニ違背シタル者ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

〔神奈川管〕

〔神奈川管〕

- 一 横濱市山手町ノ内谷戸坂ヨリ山手本町通ヲ經テ山元町二丁目終端ニ至ル街路
- 一 横濱市山手町ノ内谷戸坂通ノ街路

第四節 航空

●航空法

大正十年四月九日 法律第五十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル航空法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
航空法

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ航空機トハ人ノ搭乘シ得ル氣球、風、航空船及飛行機ヲ謂フ

本法ニ於テ航空トハ陸上又ハ水上ノ滑走ヲ、離陸又ハ著陸トハ離水又ハ著水ヲ包含ス

第二條 左ノ各號ノ一二該當スル者ノ所有スル航空機ハ之ヲ日本航空機トス

- 一 日本國又ハ日本ノ公共團體
 - 二 日本臣民
 - 三 日本法令ニ依リ設立シタル會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民タルモノ
 - 四 前號ニ掲クル法人以外ノ法人ニシテ日本法令ニ依リ設立シ其代表者ノ全員カ日本臣民タルモノ
- 第三條 本法ハ本章及第四十一條乃至第四十三條ノ規定ヲ除ク外軍用航空機ニ之ヲ適用セス
- 國ノ使用ニ供スル航空機ニ付テハ第二十一條、第二十八條乃至第三十條、第三十三條、第三十四條及第四十條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第四條 航空ニ關シ條約又ハ之ニ準スヘキモノニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二章 航空機ノ検査及登錄

第五條 航空機ヲ製造スル者ハ其ノ設計、材料、部分品、技功及製品ニ付行政官廳ノ検査ヲ受クヘシ

第二編 保安 第四章 交通

堪航證明書ナキ航空機ノ所有者ハ其ノ航空機ニ付行政官廳ノ検査ヲ受ケヘシ
前二項ノ検査ニ合格シタル航空機ニ對シテハ堪航證明書ヲ交付ス

第一項及第二項ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル航空機ニ之ヲ適用セス

第六條 堪航證明書ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

一 堪航證明書ニ記載シタル有効期間ヲ經過シタルトキ

二 第十四條第一項ノ規定ニ依リ航空機ノ使用ノ禁止ヲ命ジタルトキ

前項第一號ノ有効期間ハ前條ノ検査ニ合格シタル日ヨリ起算シ六月以内ニ於テ行政官廳之ヲ定ム有効期間ハ第十
一條ノ検査ノ結果ニ依リ検査ノ日ヨリ起算シ六月以内ニ於テ行政官廳之ヲ延長スルコトヲ得

第七條 第五條ノ検査ニ合格シタル航空機ノ所有者ハ行政官廳ニ其ノ航空機ノ登録ヲ申請スルコトヲ得

航空機ノ登録事項ハ航空機ノ所有者ノ氏名名稱、登録記號其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項トス

登録シタル事項ニ變更アリタルトキハ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ行政官廳ニ變更ノ登録ヲ
申請スヘシ

登録シタル航空機ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空機ノ所有者ノ氏名名稱、登録記號其ノ他ノ登録事項ヲ記
載シタル登録證明書ヲ交付ス

第八條 航空機カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ際ノ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ
行政官廳ニ堪航證明書ヲ返付スヘシ

一 滅失又ハ破壊シタルトキ

二 解撤セラレタルトキ

三 其ノ堪航證明書カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

登録シタル航空機カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ際ノ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以
内ニ行政官廳ニ登録證明書ヲ返付スヘシ

一 滅失又ハ破壊シタルトキ

二 解撤セラレタルトキ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

三 日本國籍ヲ喪失シタルトキ

四 其ノ堪航證明書カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ同時ニ抹消登録ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テ抹消登録ノ申請ナキトキ又ハ第二項第四號ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ職權ヲ以テ抹消ノ登録ヲ
爲スコトヲ得

第九條 登録シタル航空機ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ國籍記號、登録記號並所有者ノ氏名名稱及住所ヲ表示ス
ヘシ

第十條 航空機ハ前條ノ規定ニ依ル表示ヲ爲シ且堪航證明書及登録證明書ヲ備附クルニ非サレハ之ヲ航空ノ用ニ供
スルコトヲ得ス

第十一條 行政官廳ハ定期又ハ臨時ニ航空機ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十二條 第五條第一項第二項及第十條ノ規定ハ航空機ノ試験ノ爲飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空ス
ル航空機ニ關シテハ之ヲ適用セス

第十三條 第五條、第七條、第八條及第十一條ニ規定スルモノノ外航空機ノ検査又ハ登録ニ關スル事項ハ命令ヲ以
テ之ヲ定ム

第十四條 行政官廳ハ第十一條ノ検査ノ結果ニ基キ其ノ他航空機ノ現狀ニ因リ必要アルトキハ航空機ノ使用ノ制
限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ堪航證明書ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中
堪航證明書ヲ領置ス

第三章 乗員

第十五條 航空機ノ乗員ニ非サレハ航空機ニ搭乘シテ其ノ運航ニ從事スルコトヲ得ス

乗員ハ技術證明書及航空免狀ヲ有スルコトヲ要ス

第十六條 技術證明書ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ行フ考査ニ合格シタル者ニ之ヲ交付ス技術證明書ヲ有ス
ル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空免狀ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第二編 保安 第四章 交通

第二編 保安 第四章 交通

第二編 保安 第四章 交通

第二編 保安 第四章 交通

第十七條 乗員ハ技術證明書及航空免狀ヲ携帯スルニ非サレハ運航ニ従事スルコトヲ得ス

第十八條 行政官廳ハ乗員ニ對シ定期又ハ臨時ニ検査ヲ爲スコトヲ得

第十九條 第十五條第一項ノ規定ハ飛行場又ハ命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ航空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者及

運航練習ノ爲乗員ト同乘シ共同シテ運航ニ従事スル者ニ之ヲ適用セス

第二十條 行政官廳ハ乗員引續キ六月以上運航ニ従事セサルトキ、第十八條ノ検査ノ結果ニ基キ必要アルトキ又ハ保安上必要アルトキハ就業ノ制限、停止又ハ禁止ヲ命スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ規定ニ依リ制限ヲ命シタルトキハ航空免狀ニ制限事項ヲ附記シ停止ヲ命シタルトキハ停止中航空免狀ヲ領置ス

第一項ノ規定ニ依リ禁止ヲ命セラレタル乗員ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ行政官廳ニ航空免狀ヲ返付スヘシ

第四章 飛行場及其ノ經營者

第二十一條 飛行場ヲ設置セムトスル者、其ノ區域ヲ變更セムトスル者又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ廢止セムトスル者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケヘシ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ公共ノ用ニ供セサル飛行場ニ變更シ又ハ公共ノ用ニ供セサル飛行場ヲ公共ノ用ニ供スル飛行場ニ變更セムトスル者亦同シ

第二十二條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空ニ必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第二十三條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ其ノ飛行場ヲ他ノ目的ニ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得ス

第二十四條 行政官廳ハ飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノアルトキハ飛行場ノ經營者ニ對シ必要ナル航空標識ノ設置ヲ命スルコトヲ得

飛行場ノ經營者ハ前項ノ航空標識ノ設置又ハ維持ノ爲必要アルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ日出後日没前ニ限リ他人ノ土地ニ立入り若ハ障礙ト爲ルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ經營者ハ豫メ其ノ土地又ハ物件ノ占有者ニ其ノ旨通知スヘシ

飛行場ノ經營者ハ第一項ノ航空標識ノ維持ノ爲緊急ノ必要アルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス他人ノ土地ニ立入り若ハ障礙ト爲ルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ經營者ハ運滞ヲ

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

ク其ノ旨行政官廳ニ届出テ且其ノ土地又ハ物件ノ占有者ニ通知スヘシ

第二十五條 前條ノ規定ニ依リ立入、除去又ハ使用ニ因リ生シタル損害ハ飛行場ノ經營者之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依リ補償ノ金額ニ關シ協議調ハサルトキハ行政官廳ノ決定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十六條 第二十四條第二項第三項及前條ノ規定ハ許可又ハ届出ニ關スル規定ヲ除クノ外軍用ニ供スル飛行場ノ境界ヨリ外方五百「メートル」ノ區域内ニ於テ航空ノ障礙ト爲ルヘキモノアルトキ必要ナル航空標識ヲ設置又ハ維持スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ他人ノ運航スル航空船又ハ飛行機ニ對シ其ノ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スルコトヲ拒ムコトヲ得但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ經營者其ノ飛行場ノ使用ニ對シ使用料ヲ請求セムトスルトキハ豫メ其ノ額ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受ケヘシ

第二十八條 公共ノ用ニ供セサル飛行場ノ經營者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ他人ノ運航スル他人ニ屬スル航空機ヲシテ其ノ飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸セシムルコトヲ得ス

第五節 航空及運送

第二十九條 航空船及飛行機ハ陸上ニ在リテハ飛行場ニ非サル場所、水上ニ在リテハ命令ヲ以テ禁止スル場所ニ於テ離陸又ハ著陸スルコトヲ得但シ故障若ハ避難ノ爲其ノ他已ムコトヲ得サル事由アルトキ又ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 故ナク皇居、禁苑、離宮、行在所若ハ神宮ノ上空ニ於テ又ハ皇陵ノ上空千「メートル」以下ニ於テ航空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 前項ニ掲グル場所ノ外航空ニ關スル制限又ハ禁止ヲ必要トスル場所ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ行政官廳ハ航空機ノ航空ヲ禁止スルコトヲ得

第三十三條 日本航空機ニ非サル航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ航空ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第三十三條 日本國外ヨリ發航シテ日本國內ニ至リ若ハ日本國內ヨリ發航シテ日本國外ニ至ル航空機又ハ日本國外

ヨリ發航シ著陸スルコトナクシテ日本國ヲ通過シ日本國外ニ至ル航空機ハ行政官廳ノ指定スル航空路ニ由リ航空スヘシ

第三十四條 日本國外ヨリ發航シテ日本國內ニ至リ又ハ日本國內ヨリ發航シテ日本國外ニ至ル航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ指定スル飛行場ニ於テ著陸又ハ離陸スヘシ

第三十五條 日本航空機ニ非サル航空機ニ依リ有償ニテ日本各地ノ間ニ於テ旅客又ハ貨物ノ運送ヲ爲スコトヲ得ス但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 行政官廳ノ許可ヲ受ケタルニ非サレハ日本航空機ニ依リ運送業ヲ營ムコトヲ得ス

第六章 雜則

第三十七條 航空標識ノ用地又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地トスル爲必要ナル土地及水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

第三十八條 公共ノ用ニ供スル飛行場ノ用地ニ付テハ納稅義務者ノ申請ニ因リ其ノ地租ヲ免除ス但シ一時ノ使用ニ供スルモノ又ハ有料借地ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 關稅法中船舶、船長、船用品及海路運送並之ニ關スル犯罪事件ノ調査、處分及處罰ニ付テノ規定ハ航空機、航空機ノ長、航空機ノ機用品及航空機ニ依ル外國貨物ノ運送並之ニ關スル犯罪事件ノ調査、處分及處罰ニ付テノ準用ス但シ關稅法中開港トアルハ第三十四條ノ飛行場トス

第四十條 第三十三條ノ航空機方故障又ハ避難ノ爲其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ第三十四條ニ規定スル著陸ノ場所以外ニ著陸シタルトキハ稅關官吏其ノ地ニ在ル場合ニ於テハ稅關官吏ニ、稅關官吏其ノ地ニ在ラサル場合ニ於テハ警察官吏ニ遲滞ナク届出ツヘシ

前項ニ規定スル航空機ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ離陸スルコトヲ得ス

第四十一條 日本國外ヨリ發航シテ日本國內ニ至ル航空機ニ關シテハ傳染病豫防ノ爲檢疫ヲ施行ス

前項ノ檢疫ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 前條ノ規定ハ内地、朝鮮、臺灣相互間ニ付テノ準用ス

〔神奈川書〕

〔神奈川書〕

前項ノ内地ニハ樺太ヲ包含ス

第四十三條 航空機ノ救難及之ニ關スル處罰ニ付テハ水難救護法ヲ準用ス

第四十四條 左ノ事項ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

一 航空機ニ備附クヘキ日誌其ノ他ノ帳簿書類及附屬品其ノ他ノ物件ニ關スル事項

二 保安上又ハ軍事上ノ必要ノ爲航空機ニ搭載スルコトヲ制限又ハ禁止スル火藥類、寫眞機其ノ他ノ物件ニ關スル事項

三 航空機ニ關スル燈火及信號ニ關スル事項

四 航空ニ關スル保安上必要ナル制限及航空機ト船舶トノ衝突豫防ニ關スル事項

五 航空標識及其ノ設置ニ關スル事項

六 飛行場ノ設備ニ關スル事項

第四十五條 當該官吏ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ナリト認ムルトキハ航空機ノ離陸差止又ハ著陸ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 當該官吏ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ナリト認ムルトキハ航空機、飛行場又ハ格納庫ニ臨檢シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ備附テ要スル帳簿書類及物件ニ關シ檢査ヲ爲スコトヲ得

第四十七條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第三十七條第二項、第三十八條及第四十三條ノ規定ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第七章 罰則

第四十八條 航空標識ヲ損壞シタル者又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無効タラシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千元以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條 詐偽ノ信號ヲ爲シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ航空ノ危險ヲ生セシメタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第五十條 現ニ航空ノ用ニ供スル航空機ヲ墜落、顛覆若ハ覆没セシメ又ハ破壞シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

前條ノ罪ヲ犯シ因テ現ニ航空ノ用ニ供スル航空機ノ墜落、顛覆、覆没又ハ破壞ヲ致シタル者亦前項ノ例ニ同シ

第五十一條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第五十二條 過失ニ因リ航空ノ危険ヲ生セシメ又ハ現ニ航空ノ用ニ供スル航空機ノ墜落、顛覆、覆没又ハ破壊ヲ致シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

其ノ業務ニ從事スル者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十三條 詐術ヲ用キ第五條若ハ第十一條ノ検査ヲ受ケ又ハ不實ノ事項ヲ登録セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條 第四十九條、第五十條第一項及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條又ハ第十一條ノ検査ニ合格セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ第三十二條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ爲シタル命令ニ違反シタル者

三 第九條ノ規定ニ違反シテ國籍記號若ハ登録記號ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ國籍記號若ハ登録記號ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

第五十六條 第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第二十條第一項ノ規定ニ依リ爲シタル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十七條 第三十條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第三十條第二項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止ニ違反シタル者、第三十一條ノ規定ニ依ル禁止ニ違反シタル者又ハ第三十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條 第二十九條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第四十五條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ命令ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ命令ニ違反シタル者

二 故ナリ當該官吏ノ臨檢若ハ検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

〔神奈川警〕

〔神奈川警〕

第六十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第九條ノ規定ニ違反シテ航空機所有者ノ氏名名稱若ハ住所ヲ表示セサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者又ハ虚偽ノ氏名名稱若ハ住所ヲ表示シタル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

二 第十條ノ規定ニ違反シテ堪航證明書又ハ登録證明書ヲ備附ケサル航空機ヲ航空ノ用ニ供シタル者

三 第十七條ノ規定ニ違反シタル者

第六十一條 第二十一條、第二十二條、第二十七條第一項、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條又ハ第四十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十三條ノ規定ニ違反シタル者

二 第二十七條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケスシテ使用料ノ請求ヲ爲シタル者

第六十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

一 第五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 第七條第三項又ハ第八條第三項ノ規定ニ依リ登録ノ申請ヲ怠リタル者

三 第八條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ堪航證明書又ハ登録證明書ノ返付ヲ怠リタル者

四 第二十條第三項ノ規定ニ依リ航空免狀ノ返付ヲ怠リタル者

五 第四十條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ怠リタル者

前項ニ規定スル過料ハ法人ニ在リテハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス

第六十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●航空取締規則

大正十年三月十八日
陸軍内務省令

改正 大正十三年一月通省令第五二號

第二編 保安 第四章 交通